

No.

国際協力事業団

フォローアップ調査（開発調査実施済案件現状調査）

個別調査案件要約表

第2分冊

アセアン

（シンガポール～ヴェトナム）

その他アジア地域

2001年3月

財団法人 日本国際協力センター

財団法人 国際開発センター

社 調 計

CR (10)

01-53

国際協力事業団

フォローアップ調査（開発調査実施済案件現状調査）

個別調査案件要約表

第2分冊

アセアン

（シンガポール～ヴェトナム）

その他アジア地域

2001年3月

財団法人 日本国際協力センター

財団法人 国際開発センター

目 次

I. 個別案件要約表の利用にあたって

| | |
|--|-------|
| 1. 個別案件要約表の概要..... | 1 |
| (1) 作成対象とした開発調査案件..... | 1 |
| (2) 作成の方法..... | 1 |
| 2. 個別案件要約表の読み方..... | 2 |
| (1) 個別案件要約表の様式..... | 2 |
| (2) 個別案件要約表の項目..... | 2 |
| 3. 国別・調査種類別開発調査実施済案件一覧表 (社会開発および農林水産開発) | 11～42 |

II. 個別案件要約表 [全 1187 件]

| | |
|--|----------|
| 1. 第1分冊 [アセアン (ブルネイ～フィリピン) : 351 案件] | 1～351 |
| 2. 第2分冊 [アセアン (シンガポール～ヴィエトナム) 、その他アジア地域 : 323 案件] | 352～674 |
| 3. 第3分冊 [中近東地域、アフリカ地域 : 258 案件] | 675～932 |
| 4. 第4分冊 [アフリカ地域、中南米地域、オセアニア地域、 ヨーロッパ地域、複数国 : 255 案件] | 933～1187 |

I. 個別案件要約表の利用にあたって

1. 個別案件要約表の概要

本表は、調査の概要および調査終了後の状況等を簡潔にまとめ、地域、国ごとに編集したものである。

(1) 作成対象とした開発調査案件

本表が対象とした案件は、JICAの開発調査事業のうち(項)開発調査事業費により実施された調査の社会開発調査部(1989年6月30日までは社会開発協力部)および農林水産開発調査部(1992年度3月31日までは農林水産計画調査部)の所掌に属する案件である。無償資金協力を対象とする基本設計調査および特別案件調査については、本表から除外した。また、事前調査のみで終了し本格調査に至らなかった案件についても除外した。対象はJICA設立の1974年8月1日以降事前調査を開始し1999年度末(2000年3月31日)迄に調査を終了した案件を対象とした。この基準により設定された開発調査案件は全体で1,187件(うち、社会開発848件、農林水産339件)である。

(2) 作成の方法

本表に記載されている情報は、次の4つの方法により収集し、整理を行った。

- ① 調査担当コンサルタント等に対する国内調査
- ② 事業団在外事務所等を通じた相手国政府担当機関に対するアンケート調査である在外事務所調査(1991年度より)
- ③ 国際協力事業団資料の検討
- ④ その他の国内外の関係機関等の情報

2. 個別案件要約表の読み方

(1) 個別案件要約表の様式

様式は次に掲げるA、B、Cの3種類を用い、調査種類により各々の様式に整理した。

様式A…M/P (マスタープラン調査)、基礎調査、その他

様式B…M/P+F/S (マスタープラン調査とフィージビリティ調査を、同一案件として行った調査)

様式C…F/S (フィージビリティ調査)、D/D (実施設計)

様式A、様式B、様式Cは次に示されているように、社会開発調査部および農林水産開発調査部が実施した各調査案件の「I. 調査の概要」、その調査結果・成果、提言、提案された計画等を内容とする「II. 調査結果の概要」、および報告書が提出された後の「III. 調査結果の活用の現状」(様式A)、「III. 案件の現状」(様式BおよびC)の3部に分けて整理している。

(2) 個別案件要約表の項目

様式A、B、Cのそれぞれについて、要約表を構成する各項目の定義および原則的な記載内容等を以下に説明する。

(様式A)

I. 調査の概要

実施された開発調査の概要を以下の12項目について表示。

I-1 国名

本件フォローアップ調査実施時における最新の「JICAシステムコード表」(1999年5月)の「漢字表示」(漢字と片仮名)により表示。

I-2 調査名

JICA刊行資料目録に表示された調査報告書の名称を表示(国名表示は省略)。英文等の外国語名は、要約表の下方欄外に表示。

I-3 分野分類

分野(セクター)による分類は、次ページの表に示すように、「JICAシステムコード表」(2000年10月)の分野別分類の中分類/小分類を用いて表示。

I-4 分類番号

| 大分類 | 中分類 | 小分類 |
|------------|----------|--|
| 1. 計画・行政 | (1)開発計画 | 1) 開発計画一般 2) 総合地域開発計画 |
| | (2)行政 | 1) 行政一般 2) 財政・金融 3) 環境問題 4) 統計 5) 情報・広報 |
| 2. 公共・公益事業 | (1)公益事業 | 1) 公益事業一般 2) 上水道 3) 下水道 4) 都市衛生 |
| | (2)運輸交通 | 1) 運輸交通一般 2) 道路 3) 陸運 4) 鉄道 5) 海運・船舶 6) 港湾 7) 航空・空港 8) 都市交通 9) 気象・地震 |
| | (3)社会基盤 | 1) 社会基盤一般 2) 河川・砂防 3) 水資源開発 4) 都市計画・土地造成 5) 建築・住宅 6) 測量・地図 |
| | (4)通信・放送 | 1) 通信・放送一般 2) 郵便 3) 電気通信 4) 放送 |
| 3. 農林水産 | (1)農業 | 1) 農業一般 2) 養蚕 3) 農業土木 4) 農業機械 5) 農産加工 6) 食糧増産援助 |
| | (2)畜産 | 1) 畜産 2) 家畜衛生 3) 畜産加工 |
| | (3)林業 | 1) 林業・森林保全 2) 林産加工 |
| | (4)水産 | 1) 水産 2) 水産加工 |
| 4. 鉱工業 | (1)鉱業 | 1) 鉱業 |
| | (2)工業 | 1) 工業一般 2) 化学工業 3) 鉄鋼・非鉄金属 4) 機械工業 5) 繊維工業 6) パルプ木材製品 7) 食品工業 8) その他工業 |

| 大分類 | 中分類 | 小分類 |
|----------|----------|--|
| 5. エネルギー | (1)エネルギー | 1) エネルギー一般 2) 電力 3) ガス・石油 4) 新・再生エネルギー 5) その他エネルギー |
| 6. 商業・観光 | (1)商業・貿易 | 1) 商業経営 2) 貿易 |
| | (2)観光 | 1) 観光一般 2) 観光施設 |
| 7. 人的資源 | (1)人的資源 | 1) 人的資源一般 2) 体育 3) 教育 4) 職業訓練 |
| | (2)科学・文化 | 1) 科学 2) 文化 |
| 8. 保健・医療 | (1)保健・医療 | 1) 保健・医療 2) 人口・家族計画 |
| 9. 社会福祉 | (1)社会福祉 | 1) 社会福祉 2) 労働 3) 災害援助 4) 食糧援助 5) その他福祉 |
| 10. その他 | (1)その他 | 1) その他 |

I-5 調査の種類

調査の種類による分類は、次表に示す通りである。

調査種類分類表

| 調査の種類 | 内 容 |
|------------|--|
| 1. M/P | マスタープラン調査 |
| 2. M/P+F/S | M/PとF/Sを同一案件として行った調査 |
| 3. F/S | フィージビリティ調査 |
| 4. D/D | 実施設計調査 |
| 5. 基礎調査 | 長期調査、地形図作成、海図作成、地下水開発調査、林業・水産資源調査、農業実証調査等、基礎資料を整備するための調査 |
| 6. その他 | ガイドライン、マニュアル作成等を中心とする制度・ソフト面に関する調査およびアフターケア調査等 |

※ 調査の種類と案件No.との関連は、M/P：100番台、M/P+F/S：200番台、F/S：300番台、D/D：400番台、基礎調査：500番台、その他：600番台である。

I-6 相手国の担当機関

当該開発計画の調査実施、または完成後の運用を担当する相手国機関の名称。

I-7 調査の目的

当該調査が目的とした事項。

I-8 S/W締結年月

事前調査によりS/Wを締結した年月（西暦表示）。

I-9 コンサルタント

調査の実施を担当した日本のコンサルタントの名称（本件フォローアップ調査実施時に当該法人が使用している名称を「調査時」とし、その後名称の変更があったものについては、「現在」として表示）。

I-10 調査団

本件調査（現地調査、国内作業を含む）に従事した調査団員総数、調査期間（第1回業務実施契約における業務開始年月～最終契約の履行期限の年月（または、報告書の刊行年月）で、西暦〇〇〇〇年〇〇月～〇〇〇〇年〇〇月（〇ヶ月）と表示）、延べ人・月（統計、国内作業および現地調査に分類）を表示。

I-11 付帯調査・現地再委託

当該調査に付帯する調査（例えばフィージビリティ調査における地形図作成など）および現地業者に再委託した調査の名称。

I-12 経費実績

上段は、調査に要した全ての経費（事前調査、コンサルタント契約分および直営分）の累計額（財務諸表から計算）、下段は、担当コンサルタントの経費（精算額）。

II. 調査結果の概要

相手国に提出した最終報告書の要約および報告書に記載された調査結果の概要。調査により判明した事項、提案された計画、提言等の概要を次の5点について表示。

II-1 サイトまたはエリア

当該開発計画・プロジェクトが実施される地域名（対象地域の面積、人口等の指標を含む）。

II-2 提案プロジェクト／計画予算

当該開発計画の実現に要する全ての費用（US1,000ドル単位）、その内貨と外貨の内訳および為替レートを表示。複数の代替案、あるいは、ステージないしフェーズへの分割がある場合は、区別して記入。

II-3 主な提案プロジェクト

当該開発計画等の事業概要を表示。調査種類が「基礎調査」あるいは「その他」の場合は、主な成果物、作業内容等を記載。

II-4 条件または開発効果

当該開発プロジェクト実施のための前提条件とその開発の効果を説明。

II-5 技術移転

当該開発調査の実施過程における相手国カウンターパートへの技術移転の概要を説明。

Ⅲ. 調査結果の活用の現状

調査報告書提出後のその活用の現状（主に提案プロジェクト、提案計画の現状）を以下の4点について説明。

Ⅲ-1 プロジェクトの現況

（区分）欄では、報告書に記載された提案プロジェクト・計画や提言内容等の調査結果の具体化状況について、次表に示す規準に従って「進行・活用」、「遅延」、「中止・消滅」のうちから該当する現況区分を表示。（状況）欄では、提案プロジェクト・計画や提言内容等の調査結果の具体化状況など事実関係を説明。「進行・活用」に区分される現状にあるもので、その具体的内容（例えば、計画、プロジェクト）の名称が判明しているものについてはそれも説明。

Ⅲ-2 主な理由

「進行・活用」、「遅延」、「中止・消滅」いずれかの現況区分に至った主な理由および理由と考えられる状況を説明。

Ⅲ-3 主な情報源

調査結果の活用に関する情報源およびその入手方法を以下のように表示。

- ① 担当コンサルタントに対するアンケート調査
- ② 当事業団在外事務所ないし協力隊調整員を通じた相手国担当機関に対するアンケート調査
- ③ 現地フォローアップ調査
- ④ J B I C 情報（旧 O E C F）
- ⑤ 在外公館情報
- ⑥ その他（上記以外の情報源を明記）

Ⅲ-4 フォローアップ調査終了年度およびその理由

フォローアップ調査を必要としなくなった（実施済、中止・消滅等）案件について、その調査最終年度と理由。

「M/P 調査等」の現況区分と判断基準

| 区 分 | 判 断 基 準 |
|----------|---|
| a. 進行・活用 | この調査の提言、計画、成果等が次のいずれかにある段階 (i) この調査の次の調査が実施されている。または、関連調査の実施にあたって、この調査の成果が活用されている。 (ii) この調査の提言等に基づいて、開発調査以外の技術協力が実施されている。 (iii) 相手国側の政策、開発計画等に具体的に取り入れられている。または、政策・計画等の策定、形成に活用されている。 (iv) その他、提言内容等の具体化に向けて、相手国政府により何らかの措置が講じられている。 |
| b. 遅延 | この調査の提言、計画、成果等が次の状況のいずれかにある段階 (i) 調査終了後、相手国が具体的な行動をとっていない。または、具体的な活用が行われていない。 (ii) 具体化の方向で検討された後、何らかの事由により棚上げされている。 |
| c. 中止・消滅 | この調査の提言、計画等が次の状況のいずれかにある段階 (i) 相手国政府により公式な中止が決定されている。 (ii) 他の調査による代替案が採用ないし活用されている。 (iii) 長期にわたり遅延となっている。 |

(様式B)

I. 調査の概要

上述の様式Aと同じ。

II. 調査結果の概要

II-1 様式Aと同じ。

II-2 提案プロジェクト予算

様式AのII-2 提案プロジェクト/計画予算と同じ。

II-3 主な事業内容

F/S調査等の対象となる事業内容を表示。この欄ではさらに、計画事業期間を記述。

II-4 フィージビリティとその前提条件

当該開発計画のフィージビリティの有無、EIRR、FIRRを記載。

EIRR、FIRRについては、複数の代替案、あるいは、ステージないしフェーズへの分割がある場合は、区別して記入。

II-5 様式Aと同じ。

III. 案件の現状

III-1 プロジェクトの現況

(区分) 欄では、最終報告書に記載された事業内容、勧告等の具体化状況について、次表に示す基準に従って「実施済・進行中」、「具体化準備中」、「遅延・中断」、「中止・消滅」のうちから該当する現況区分を表示。さらに、「実施済・進行中」の案件については、「実施済」、「一部実施済」、「実施中」、「具体化進行中」のいずれかも細分類表示。(状況) 欄では事業内容の具体化状況等の事実関係を説明。「実施済・進行中」に区分される案件で、その具体的内容(例えば、一部ないし全部のD/D、E/S、L/A、無償資金協力等)の名称が判明しているものについては、その名称を記入する。

F/S調査等の現況区分と判断基準

| 区分 | 判断基準 |
|------------|---|
| a. 実施済・進行中 | |
| a1. 実施済 | この開発プロジェクトが完成し、既に供用を開始している。 |
| a2. 一部実施済 | この開発プロジェクトが一部完成し、供用を開始している。 |
| a3. 実施中 | この開発プロジェクトが実施中の段階。 |
| a4. 具体化進行中 | この開発プロジェクトが以下の状況のいずれかにある段階 (イ) 本体事業について、入札が実施されている。 (ロ) 本体事業について、資金の調達が確定している。(注) (ハ) フィージビリティ調査の次の段階として行われる実施設計等の作業が我が国を含む外国または国際機関の公的資金協力により実施され、具体化の可能性が極めて高いと判断される。 (ニ) その他、特定の理由により、具体化の可能性が極めて高いと判断される。 |

| 区分 | 判断基準 |
|-----------|--|
| b. 具体化準備中 | この開発プロジェクトが、以下の状況のいずれかにある段階 (イ) 本体事業への資金協力要請が我が国を含む外国政府、国際機関に対して行われている。 (ロ) 国内資金により、JICA報告書に基づいて、詳細設計あるいは、次段階調査が実施されている。 (ハ) その他、具体化に向け相手国政府が積極的に動いている。 |
| c. 遅延・中断 | この開発プロジェクトが、以下の状況のいずれかにある段階 (イ) 報告書提出後、相手国政府は具体的行動をとっていない。 (ロ) 具体化の方向で検討された後、何らかの事由によって棚上げされている。 |
| d. 中止・消滅 | この開発プロジェクトが、以下の状況のいずれかにある段階 (イ) 相手国政府は公式に中止の決定を行っている。 (ロ) JICA報告書の内容とは著しく異なる形で実現・具体化されている。 (ハ) 長期にわたり遅延となっている。 |

(注) 確定とは、この資金について貸付契約が全て締結されている場合、あるいは、特に我が国の円借款に関して意図表明（プレッジ）または交換公文締結が行われている場合をいう。

Ⅲ-2 様式AのⅢ-1に同じ。

Ⅲ-3 様式AのⅢ-2に同じ。

Ⅲ-4 様式AのⅢ-3に同じ。

Ⅲ-5 様式AのⅢ-4に同じ。

(様式C)

I. 調査の概要

様式Aに同じ。

II. 調査結果の概要

II-1 様式Aに同じ。

II-2 様式Bに同じ。

II-3 様式Bに同じ。

II-4 様式Bに同じ。

II-5 様式Aに同じ。

Ⅲ. 案件の現状

Ⅲ-1 様式Bに同じ。

Ⅲ-2 様式Aに同じ。

Ⅲ-3 様式Aに同じ。

Ⅲ-4 様式Aに同じ。

3. 国別・調査種類別開発調査実施済案件一覧表

個別要約表を作成した全開発調査案件リストを、地域・国、終了年度、調査の種類、分野区分、現況区分とともに表示した。

3. 国別・調査種類別開発調査実施済案件一覧表
(社会開発および農林水産開発)

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野（小分類） | 現況 |
|-----|-----|--------|---------------|-------------------------------------|---------|----------|--------|
| 1 | アジア | ブルネイ | BRN/S 601/83 | 印刷局改善計画 | その他 | 建築・住宅 | 中止・消滅 |
| 2 | アジア | ブルネイ | BRN/S 101/85 | 公共交通網整備計画 | M/P | 運輸交通一般 | 中止・消滅 |
| 3 | アジア | ブルネイ | BRN/A 503/93 | 森林資源調査 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 4 | アジア | カンボディア | KHM/S 201/93 | プノンペン市上水道整備計画調査 | M/P+F/S | 上水道 | 一部実施済 |
| 5 | アジア | カンボディア | KHM/A 201/94 | プノンペン周辺地域農村総合開発計画 | M/P+F/S | 農業土木 | 一部実施済 |
| 6 | アジア | カンボディア | KHM/S 302/95 | プノンペン市及びその周辺地域における電気通信網整備計画調査 | F/S | 電気通信 | 一部実施済 |
| 7 | アジア | カンボディア | KHM/S 305/96 | メコン河本流架橋計画調査 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 8 | アジア | カンボディア | KHM/S 201/97 | シハヌークヴィル港整備計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化進行中 |
| 9 | アジア | カンボディア | KHM/A 307/97 | メコン河環境適応型農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 10 | アジア | カンボディア | KHM/S 501/98 | シェムリアップ州及びアンコール遺跡公園地形図作成調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 11 | アジア | カンボディア | KHM/S 203/99 | プノンペン市都市排水・洪水対策計画調査 | M/P+F/S | 下水道 | 具体化準備中 |
| 12 | アジア | インドネシア | IDN/S 601/74 | ソロ河流域開発計画アフターケア | その他 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 13 | アジア | インドネシア | IDN/S 101/75 | 東部ジャワ州総合開発 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 14 | アジア | インドネシア | IDN/S 301/75 | ウオノギリ多目的ダム建設計画 | F/S | 水資源開発 | 実施済 |
| 15 | アジア | インドネシア | IDN/A 301/76 | ウオノギリダムかんがい及び河川改修計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 16 | アジア | インドネシア | IDN/S 302/76 | ウオノギリ多目的ダム計画関連灌漑及び河川改修計画 | F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 17 | アジア | インドネシア | IDN/S 303/76 | 中東部ジャワ道路改良計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 18 | アジア | インドネシア | IDN/S 102/77 | 中部ジャワ州総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 19 | アジア | インドネシア | IDN/S 304/77 | バンジャルマシン港開発計画 | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 20 | アジア | インドネシア | IDN/S 602/77 | ブランタス河（ウリンギダム）アフターケア | その他 | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 21 | アジア | インドネシア | IDN/S 603/77 | ブランタス河中流部河川改修計画アフターケア | その他 | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 22 | アジア | インドネシア | IDN/S 103/78 | スマトラ西部及び北部トバ湖周辺基盤整備計画 | M/P | 観光一般 | 進行・活用 |
| 23 | アジア | インドネシア | IDN/S 201B/78 | ウラル河治水及び灌漑・排水改良計画（M/Pはウラル河総合河川改修計画） | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 24 | アジア | インドネシア | IDN/S 305/78 | ジャカルタリングロード計画 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 25 | アジア | インドネシア | IDN/S 306/78 | ピトン港拡張計画 | F/S | 港湾 | 具体化進行中 |
| 26 | アジア | インドネシア | IDN/S 307/78 | スマラン港開発計画（フェーズI） | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 27 | アジア | インドネシア | IDN/S 308/78 | 病院整備計画 | F/S | 建築・住宅 | 実施済 |
| 28 | アジア | インドネシア | IDN/A 501/78 | 中部ジャワ州ブカロンガン林業資源調査 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 29 | アジア | インドネシア | IDN/S 604/78 | ソロ河ウオノギリ多目的ダム関連河川改修計画アフターケア | その他 | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 30 | アジア | インドネシア | IDN/S 104/79 | 造船振興計画 | M/P | 海運・船舶 | 進行・活用 |
| 31 | アジア | インドネシア | IDN/S 107/79 | 南スラウェシ州中部水資源総合開発計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 32 | アジア | インドネシア | IDN/A 302/79 | リアムカナンかんがい計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 33 | アジア | インドネシア | IDN/S 309/79 | バリクババン港湾整備計画 | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 34 | アジア | インドネシア | IDN/S 310/79 | ポロブドール・ブランパン国立史跡公園整備計画 | F/S | 観光一般 | 実施済 |
| 35 | アジア | インドネシア | IDN/S 605/79 | ジャカルタ - メラク間道路アフターケア | その他 | 道路 | 進行・活用 |
| 36 | アジア | インドネシア | IDN/A 101/80 | 南スマトラ州ムシ河上流流域管理計画 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 37 | アジア | インドネシア | IDN/S 105/80 | 沈船除去計画 | M/P | 海運・船舶 | 進行・活用 |
| 38 | アジア | インドネシア | IDN/S 106/80 | 東部ジャワ州南部沿岸地域開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|--------|---------------|--|---------|-----------|--------|
| 39 | アジア | インドネシア | IDN/S 108/80 | メラピ火山砂防基本計画 | M/P | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 40 | アジア | インドネシア | IDN/S 109/80 | メダン地域都市交通計画 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 41 | アジア | インドネシア | IDN/S 311/80 | 地方小都市上水道整備計画 | F/S | 上水道 | 実施済 |
| 42 | アジア | インドネシア | IDN/S 312/80 | マカッサル造船所整備計画 | F/S | 海運・船舶 | 中止・消滅 |
| 43 | アジア | インドネシア | IDN/S 313/80 | マディウン河緊急治水計画 | F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 44 | アジア | インドネシア | IDN/S 501/80 | 地方道整備計画 | 基礎調査 | 道路 | 進行・活用 |
| 45 | アジア | インドネシア | IDN/S 202B/81 | ローコスト住宅開発計画 | M/P+F/S | 建築・住宅 | 中止・消滅 |
| 46 | アジア | インドネシア | IDN/S 203B/81 | ソロン港整備計画 | M/P+F/S | 港湾 | 中止・消滅 |
| 47 | アジア | インドネシア | IDN/S 204/81 | ジャカルタ首都圏電話網整備拡充計画 | M/P+F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 48 | アジア | インドネシア | IDN/A 303/81 | ランケメかんがい開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 49 | アジア | インドネシア | IDN/S 314/81 | 沿岸無線通信網整備拡充計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 50 | アジア | インドネシア | IDN/S 316/81 | 地方都市周辺電気通信網整備計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 51 | アジア | インドネシア | IDN/S 317/81 | ジャカルタ湾岸道路計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 52 | アジア | インドネシア | IDN/S 318/81 | パダン空港整備計画 | F/S | 航空・空港 | 具体化進行中 |
| 53 | アジア | インドネシア | IDN/A 102/82 | 米穀収穫後処理法改善計画 | M/P | 農産加工 | 進行・活用 |
| 54 | アジア | インドネシア | IDN/S 110/82 | 海上無線通信網整備拡充計画 | M/P | 電気通信 | 進行・活用 |
| 55 | アジア | インドネシア | IDN/S 204B/82 | ジャカルタ大都市圏鉄道輸送計画(中央線高架化) | M/P+F/S | 鉄道 | 実施済 |
| 56 | アジア | インドネシア | IDN/S 205B/82 | スラウェシ電気通信網整備計画(東部地域電気通信網整備計画のF/S) | M/P+F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 57 | アジア | インドネシア | IDN/A 304/82 | コメリン川上流域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 58 | アジア | インドネシア | IDN/A 305/82 | 稲病害虫発生予察防除計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 59 | アジア | インドネシア | IDN/A 306/82 | 稲種子生産・配布計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 60 | アジア | インドネシア | IDN/A 307/82 | ピラかんがい開発計画 | F/S | 農業土木 | 実施済 |
| 61 | アジア | インドネシア | IDN/A 308/82 | サンレゴかんがい開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 62 | アジア | インドネシア | IDN/S 319/82 | ジェネベラン河下流域治水計画/ジェネベラン河治水計画(Phase II) | F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 63 | アジア | インドネシア | IDN/S 320/82 | バリ国際空港整備拡充計画 | F/S | 航空・空港 | 一部実施済 |
| 64 | アジア | インドネシア | IDN/S 111/83 | ジャワ島幹線鉄道電化計画 | M/P | 鉄道 | 進行・活用 |
| 65 | アジア | インドネシア | IDN/S 112/83 | スラバヤ都市圏都市計画 | M/P | 都市計画・土地造成 | 進行・活用 |
| 66 | アジア | インドネシア | IDN/S 113/83 | 北バンテン水資源開発基本計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 67 | アジア | インドネシア | IDN/S 114/83 | 国際通信長期開発計画 | M/P | 通信・放送一般 | 進行・活用 |
| 68 | アジア | インドネシア | IDN/S 206B/83 | ドマイ港整備計画 | M/P+F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 69 | アジア | インドネシア | IDN/S 207B/83 | パダン治水計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 70 | アジア | インドネシア | IDN/A 309/83 | K-C-C 地区灌漑開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 71 | アジア | インドネシア | IDN/S 321/83 | ジャカルタ住宅市街地再開発計画 | F/S | 都市計画・土地造成 | 中止・消滅 |
| 72 | アジア | インドネシア | IDN/S 208B/84 | ラジオ・テレビ放送総合開発5ヵ年計画 | M/P+F/S | 通信・放送一般 | 実施済 |
| 73 | アジア | インドネシア | IDN/S 209B/84 | ジャカルタ市水道整備計画 | M/P+F/S | 上水道 | 実施済 |
| 74 | アジア | インドネシア | IDN/S 322/84 | ヌサテンガラ電気通信網整備計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 75 | アジア | インドネシア | IDN/S 323/84 | ジャカルタ大都市圏鉄道輸送計画(チェンカレン空港鉄道新線計画) | F/S | 鉄道 | 中止・消滅 |
| 76 | アジア | インドネシア | IDN/S 324/84 | ジャカルタ大都市圏鉄道輸送計画(マンガラ駅立体交差化、メワ線ケケラン線改良) | F/S | 鉄道 | 一部実施済 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野（小分類） | 現況 |
|-----|-----|--------|---------------|-------------------------------------|---------|-----------|--------|
| 77 | アジア | インドネシア | IDN/S 325/84 | スメル火山砂防・水資源保全計画 | F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 78 | アジア | インドネシア | IDN/S 115/85 | 航行援助施設整備基本計画 | M/P | 海運・船舶 | 進行・活用 |
| 79 | アジア | インドネシア | IDN/S 116/85 | アサハン河下流域開発計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 80 | アジア | インドネシア | IDN/S 117/85 | 地方電気通信網整備計画 | M/P | 電気通信 | 進行・活用 |
| 81 | アジア | インドネシア | IDN/S 210B/85 | ウジュンパンダン市水道整備計画 | M/P+F/S | 上水道 | 実施済 |
| 82 | アジア | インドネシア | IDN/S 211B/85 | ウィダス川流域開発計画 | M/P+F/S | 水資源開発 | 実施中 |
| 83 | アジア | インドネシア | IDN/S 326/85 | カリアン多目的ダム建設計画 | F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 84 | アジア | インドネシア | IDN/S 327/85 | ジャカルタ大都市圏鉄道輸送計画（カンボンパンダン駅地区改良計画） | F/S | 鉄道 | 一部実施済 |
| 85 | アジア | インドネシア | IDN/S 328/85 | ジャワ島幹線鉄道電化計画 | F/S | 鉄道 | 中止・消滅 |
| 86 | アジア | インドネシア | IDN/S 329/85 | 地方道路整備計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 87 | アジア | インドネシア | IDN/S 330/85 | メダン・スマラン・ソロ電話網整備計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 88 | アジア | インドネシア | IDN/S 502/85 | カリマンタン州ネガラ河上流域地図作成事業 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 89 | アジア | インドネシア | IDN/A 502/85 | 南カリマンタン州ネガラ河下流域写真図作成調査 | 基礎調査 | 農業一般 | 進行・活用 |
| 90 | アジア | インドネシア | IDN/S 118/86 | 電気通信システム長期開発計画 | M/P | 通信・放送一般 | 進行・活用 |
| 91 | アジア | インドネシア | IDN/S 212B/86 | スマラン港整備計画（フェーズII） | M/P+F/S | 港湾 | 実施済 |
| 92 | アジア | インドネシア | IDN/S 213B/86 | 中部ジャワ・ジョグジャカルタ空港整備計画 | M/P+F/S | 航空・空港 | 実施済 |
| 93 | アジア | インドネシア | IDN/S 331/86 | スラバヤ - パンジャルマシム海底ケーブル建設計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 94 | アジア | インドネシア | IDN/A 103/87 | 主要食用作物生産振興計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 95 | アジア | インドネシア | IDN/S 119/87 | ジャカルタ首都圏幹線道路網整備計画 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 96 | アジア | インドネシア | IDN/S 120/87 | ジャワ西部地域開発計画 | M/P | 観光一般 | 進行・活用 |
| 97 | アジア | インドネシア | IDN/S 121/87 | 島嶼間交通需要予測 | M/P | 航空・空港 | 進行・活用 |
| 98 | アジア | インドネシア | IDN/S 332/87 | ジャカルタ市都市廃棄物整備計画 | F/S | 都市衛生 | 一部実施済 |
| 99 | アジア | インドネシア | IDN/S 333/87 | スマトラ縦断幹線伝送路整備計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 100 | アジア | インドネシア | IDN/S 122/88 | ウジュンパンダン都市圏道路網整備計画 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 101 | アジア | インドネシア | IDN/S 123/88 | 海難搜索救助並びに海難予防体制整備計画 | M/P | 海運・船舶 | 進行・活用 |
| 102 | アジア | インドネシア | IDN/S 214B/88 | チタルム川上流域洪水防衛計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施中 |
| 103 | アジア | インドネシア | IDN/A 310/88 | パタンクム農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 104 | アジア | インドネシア | IDN/S 334/88 | カリマンタン - スラウェシ海底ケーブル建設計画（フェーズI及びII） | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 105 | アジア | インドネシア | IDN/S 335/88 | ガルングン火山防災計画 | F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 106 | アジア | インドネシア | IDN/S 336/88 | 都市加入者マイクロ波網整備計画 | F/S | 電気通信 | 中止・消滅 |
| 107 | アジア | インドネシア | IDN/S 337/88 | バリ海岸緊急保全計画 | F/S | 河川・砂防 | 具体化進行中 |
| 108 | アジア | インドネシア | IDN/A 104/89 | ネガラ河下流域かんがい開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 109 | アジア | インドネシア | IDN/A 105/89 | 収穫後処理及び流通改善計画 | M/P | 農産加工 | 進行・活用 |
| 110 | アジア | インドネシア | IDN/S 125/89 | 北部スマトラ地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 111 | アジア | インドネシア | IDN/S 215B/89 | クマヨラン地区都市・住宅再開発計画 | M/P+F/S | 都市計画・土地造成 | 実施中 |
| 112 | アジア | インドネシア | IDN/S 216B/89 | ラジオ・テレビ放送総合開発計画 | M/P+F/S | 放送 | 実施済 |
| 113 | アジア | インドネシア | IDN/S 217/89 | ジャカルタ首都圏電気通信網整備計画 | M/P+F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 114 | アジア | インドネシア | IDN/A 311/89 | 産業造林計画 | F/S | 林業・森林保全 | 実施済 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野（小分類） | 現況 |
|-----|-----|--------|---------------|-----------------------------|---------|----------|--------|
| 115 | アジア | インドネシア | IDN/S 338/89 | チカンベック・チレボン有料高速道路建設計画 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 116 | アジア | インドネシア | IDN/S 126/90 | 地方空港整備計画 | M/P | 航空・空港 | 進行・活用 |
| 117 | アジア | インドネシア | IDN/A 201B/90 | アサハン河下流域開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 118 | アジア | インドネシア | IDN/S 217B/90 | ジャボタベック圏統合輸送システム改良計画 | M/P+F/S | 鉄道 | 一部実施済 |
| 119 | アジア | インドネシア | IDN/S 218B/90 | スラバヤ都市圏電気通信網整備計画 | M/P+F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 120 | アジア | インドネシア | IDN/S 219B/90 | ジャカルタ市都市排水・下水道整備計画 | M/P+F/S | 下水道 | 実施中 |
| 121 | アジア | インドネシア | IDN/A 312/90 | アイルスラガン灌漑開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 122 | アジア | インドネシア | IDN/S 339/90 | ボゴール - バンドン道路整備計画 | F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 123 | アジア | インドネシア | IDN/S 340/90 | パンジャルマシン港航路維持・浚渫計画 | F/S | 港湾 | 実施中 |
| 124 | アジア | インドネシア | IDN/S 220B/91 | ブラワン パダン統合河川流域開発計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 125 | アジア | インドネシア | IDN/A 313/91 | ニアス島灌漑農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 126 | アジア | インドネシア | IDN/S 341/91 | スラバヤ～モジョクルト有料道路建設計画 | F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 127 | アジア | インドネシア | IDN/S 106/92 | 第6次5カ年電気通信網開発計画 | M/P | 電気通信 | 進行・活用 |
| 128 | アジア | インドネシア | IDN/S 127/92 | 南部スマトラ地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 129 | アジア | インドネシア | IDN/S 221B/92 | スマトラ東海岸道路整備計画 | M/P+F/S | 道路 | 実施中 |
| 130 | アジア | インドネシア | IDN/S 222B/92 | 全国フェリー網整備計画 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化進行中 |
| 131 | アジア | インドネシア | IDN/A 314/92 | 小規模かんがい施設整備計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 132 | アジア | インドネシア | IDN/A 315/92 | ローカン川流域灌漑開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 133 | アジア | インドネシア | IDN/S 342/92 | 地方水道整備計画 | F/S | 上水道 | 実施済 |
| 134 | アジア | インドネシア | IDN/S 343/92 | チダナオ・チバンテン水資源開発計画 | F/S | 水資源開発 | 遅延・中断 |
| 135 | アジア | インドネシア | IDN/S 344/92 | デンパサル下水道整備計画 | F/S | 下水道 | 実施中 |
| 136 | アジア | インドネシア | IDN/A 112/93 | 全国灌漑開発プログラム形成計画調査 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 137 | アジア | インドネシア | IDN/S 203/93 | スラバヤ市廃棄物処理計画調査 | M/P+F/S | 都市衛生 | 実施済 |
| 138 | アジア | インドネシア | IDN/S 204/93 | 東部インドネシア海上輸送近代化総合計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 139 | アジア | インドネシア | IDN/S 205/93 | スマラン市周辺緊急治水・水資源開発計画調査 | M/P+F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 140 | アジア | インドネシア | IDN/A 323/93 | チタリック水源林造成計画調査 | F/S | 林業・森林保全 | 実施中 |
| 141 | アジア | インドネシア | IDN/A 316/94 | 沿岸資源管理強化計画 | F/S | 水産 | 一部実施済 |
| 142 | アジア | インドネシア | IDN/S 345/94 | ジャカルタ都市圏都市幹線道路網整備計画調査 | F/S | 道路 | 遅延・中断 |
| 143 | アジア | インドネシア | IDN/S 346/94 | チウジュン・チドリアン水資源総合開発計画調査 | F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 144 | アジア | インドネシア | IDN/A 106/95 | ヌサテンガラ地域小規模溜池農村開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 145 | アジア | インドネシア | IDN/A 107/95 | 東ヌサテンガラ州半乾燥地森林復旧計画 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 146 | アジア | インドネシア | IDN/S 128/95 | 技能・技術分野に係る人的資源開発計画策定 | M/P | その他 | 進行・活用 |
| 147 | アジア | インドネシア | IDN/S 223/95 | コンテナ港湾ドライポート及び関連鉄道マスタープラン計画 | M/P+F/S | 港湾 | 実施中 |
| 148 | アジア | インドネシア | IDN/S 224/95 | カンプール・インドラギリ河流域総合開発計画 | M/P+F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 149 | アジア | インドネシア | IDN/S 225/95 | ウジュンパンダン環境衛生整備計画（契約変更分） | M/P+F/S | 都市衛生 | 具体化準備中 |
| 150 | アジア | インドネシア | IDN/A 317/95 | ギリラン灌漑計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 151 | アジア | インドネシア | IDN/A 101/96 | アンブレラ協力計画策定 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 152 | アジア | インドネシア | IDN/S 203/96 | ジャボタベック総合水管理計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施中 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野（小分類） | 現況 |
|-----|-----|--------|---------------|---|---------|-----------|--------|
| 153 | アジア | インドネシア | IDN/S 401/96 | メダン市洪水防衛計画調査 | D/D | 河川・砂防 | 実施中 |
| 154 | アジア | インドネシア | IDN/S 102/97 | ジャカルタ市大気汚染総合対策計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 155 | アジア | インドネシア | IDN/S 204/97 | アンボン及びバサハリ地区洪水対策計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 具体化準備中 |
| 156 | アジア | インドネシア | IDN/S 205/97 | ジャカルタ市水道整備計画（見直し）調査 | M/P+F/S | 上水道 | 具体化準備中 |
| 157 | アジア | インドネシア | IDN/S 206/97 | スラバヤ都市圏幹線道路網整備計画 | M/P+F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 158 | アジア | インドネシア | IDN/A 309/97 | ムシ川上流地域社会林業開発計画調査 | F/S | 林業・森林保全 | 実施中 |
| 159 | アジア | インドネシア | IDN/S 402/97 | ジャカルタ都市排水計画 | D/D | 下水道 | 実施中 |
| 160 | アジア | インドネシア | IDN/S 102/98 | 港湾整備長期政策調査 | M/P | 港湾 | 進行・活用 |
| 161 | アジア | インドネシア | IDN/S 103/98 | ブランタス川流域水資源総合管理計画調査 | M/P | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 162 | アジア | インドネシア | IDN/S 104/98 | 長期開発計画推進のための経済モデル開発調査 | M/P | 開発計画一般 | 進行・活用 |
| 163 | アジア | インドネシア | IDN/S 113/98 | 西部カリマンタン地域総合開発調査 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 164 | アジア | インドネシア | IDN/A 117/98 | 熱帯果樹品質向上計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 165 | アジア | インドネシア | IDN/S 203/98 | 中央及び南東スラウェシ道路網整備計画調査 | M/P+F/S | 道路 | 遅延・中断 |
| 166 | アジア | インドネシア | IDN/S 204/98 | 全国フェリー網整備計画調査（フェーズ2） | M/P+F/S | 海運・船舶 | 具体化準備中 |
| 167 | アジア | インドネシア | IDN/A 219/98 | 村落協同組合活性化推進計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 168 | アジア | インドネシア | IDN/S 202/99 | ジャカルタ首都圏地域都市・宅地開発手法構築調査 | M/P+F/S | 都市計画・土地造成 | 具体化準備中 |
| 169 | アジア | ラオス | LAO/S 201B/89 | ヴィエンチャン排水網整備計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施中 |
| 170 | アジア | ラオス | LAO/A 301/89 | 首都郊外農村開発計画調査 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 171 | アジア | ラオス | LAO/S 301/90 | タゴン架橋計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 172 | アジア | ラオス | LAO/A 101/92 | サバナケート県農業開発計画実施調査 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 173 | アジア | ラオス | LAO/S 202B/92 | 首都廃棄物処理計画 | M/P+F/S | 都市衛生 | 実施済 |
| 174 | アジア | ラオス | LAO/A 221/93 | ウドムサイ県焼畑地域農業開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 175 | アジア | ラオス | LAO/S 203/95 | チャンパサック及びサラワン県地下水開発計画 | M/P+F/S | 水資源開発 | 一部実施済 |
| 176 | アジア | ラオス | LAO/S 501/95 | ポーリカムサイ県地形図作成（地形図） | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 177 | アジア | ラオス | LAO/A 201/96 | ボロベン高原農業・農村総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 178 | アジア | ラオス | LAO/S 306/96 | バクセ橋建設計画調査 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 179 | アジア | ラオス | LAO/A 118/98 | ヴァンヴィエン地域森林保全流域管理計画調査 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 180 | アジア | マレーシア | MYS/S 301/77 | 東西マレーシア海底ケーブル敷設計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 181 | アジア | マレーシア | MYS/S 201B/78 | ペナン州下水道・排水計画 | M/P+F/S | 下水道 | 実施済 |
| 182 | アジア | マレーシア | MYS/A 201B/79 | トレンガヌ沼沢地農業総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 183 | アジア | マレーシア | MYS/S 601/79 | ピンツル港建設計画 | その他 | 港湾 | 進行・活用 |
| 184 | アジア | マレーシア | MYS/S 202B/80 | ケラントラン州港湾建設計画 | M/P+F/S | 港湾 | 中止・消滅 |
| 185 | アジア | マレーシア | MYS/S 302/80 | サラワク幹線道路建設計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 186 | アジア | マレーシア | MYS/S 303/80 | サバ・サラワク洪水予警報計画 | F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 187 | アジア | マレーシア | MYS/S 203B/81 | アロースター下水道及び排水計画 | M/P+F/S | 下水道 | 一部実施済 |
| 188 | アジア | マレーシア | MYS/S 304/81 | F M放送網整備計画 | F/S | 放送 | 実施済 |
| 189 | アジア | マレーシア | MYS/S 101/82 | 全国水資源開発計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 190 | アジア | マレーシア | MYS/S 204B/82 | ジョージタウン・バタワース道路計画（フェーズII・ステージI及びフェーズII・ステージ2） | M/P+F/S | 道路 | 具体化準備中 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|-------|---------------|-------------------------|---------|-----------|--------|
| 191 | アジア | マレーシア | MYS/S 205B/82 | クラン地域下水道・排水計画 | M/P+F/S | 下水道 | 一部実施済 |
| 192 | アジア | マレーシア | MYS/S 305/82 | 錫鉱埋立跡地住宅開発計画 | F/S | 建築・住宅 | 中止・消滅 |
| 193 | アジア | マレーシア | MYS/S 306/82 | キナバタンガン河流域開発計画 | F/S | 水資源開発 | 中止・消滅 |
| 194 | アジア | マレーシア | MYS/S 102/83 | 鉄道整備計画 | M/P | 鉄道 | 進行・活用 |
| 195 | アジア | マレーシア | MYS/S 307/83 | 東マレーシアFM放送網整備計画 | F/S | 放送 | 実施済 |
| 196 | アジア | マレーシア | MYS/S 206B/84 | ジョホールバル道路交通計画 | M/P+F/S | 道路 | 実施済 |
| 197 | アジア | マレーシア | MYS/S 208/84 | ペルリス港開発計画 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 198 | アジア | マレーシア | MYS/A 301/84 | サバ州ベンコカ地区造林・入植計画 | F/S | 林業・森林保全 | 中止・消滅 |
| 199 | アジア | マレーシア | MYS/S 309/84 | ペルリス・ケダ・ブラウピナン地域水資源開発計画 | F/S | 水資源開発 | 中止・消滅 |
| 200 | アジア | マレーシア | MYS/S 103/85 | トレンガヌ南部地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 201 | アジア | マレーシア | MYS/S 104/85 | 南ジョホール地域水資源開発計画 | M/P | 水資源開発 | 中止・消滅 |
| 202 | アジア | マレーシア | MYS/S 310/85 | タタウ・カピト幹線道路計画 | F/S | 道路 | 中止・消滅 |
| 203 | アジア | マレーシア | MYS/S 311/85 | 鉄道整備計画(東西線・西線) | F/S | 鉄道 | 中止・消滅 |
| 204 | アジア | マレーシア | MYS/S 105/86 | クランバレー交通計画 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 205 | アジア | マレーシア | MYS/S 312/86 | クアンタン～コタキナバル海底ケーブル建設計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 206 | アジア | マレーシア | MYS/A 302/87 | タンジョンカラン灌漑計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 207 | アジア | マレーシア | MYS/S 313/87 | ペナン市都市交通コンピューター制御システム | F/S | 都市交通 | 実施済 |
| 208 | アジア | マレーシア | MYS/S 207B/88 | クラン川流域治水計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施中 |
| 209 | アジア | マレーシア | MYS/S 314/88 | 地域総合開発計画 | F/S | 観光一般 | 一部実施済 |
| 210 | アジア | マレーシア | MYS/S 208B/89 | クランタン川流域治水計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 具体化準備中 |
| 211 | アジア | マレーシア | MYS/S 209B/89 | ペナン廃棄物処理計画 | M/P+F/S | 都市衛生 | 一部実施済 |
| 212 | アジア | マレーシア | MYS/S 315/89 | クランバレー地域都市交通施設計画 | F/S | 都市交通 | 一部実施済 |
| 213 | アジア | マレーシア | MYS/S 316/89 | 高速道路交通管理計画 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 214 | アジア | マレーシア | MYS/A 101/90 | 水産物流通システム総合計画 | M/P | 水産 | 進行・活用 |
| 215 | アジア | マレーシア | MYS/A 202B/90 | 非穀倉灌漑地区合理化・作付多様化計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 216 | アジア | マレーシア | MYS/S 210B/90 | ペナン島洪水緩和排水計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 217 | アジア | マレーシア | MYS/S 317/90 | クランバレー地域鉄道改良計画 | F/S | 鉄道 | 実施済 |
| 218 | アジア | マレーシア | MYS/S 211B/91 | ラジャン港開発計画 | M/P+F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 219 | アジア | マレーシア | MYS/S 106/92 | 全国道路網整備計画 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 220 | アジア | マレーシア | MYS/S 107B/92 | 全国橋梁維持・修理計画 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 221 | アジア | マレーシア | MYS/S 103/93 | 首都圏大気汚染対策計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 222 | アジア | マレーシア | MYS/A 311/93 | 東ジョホール水産物流通システム改善計画 | F/S | 水産 | 実施中 |
| 223 | アジア | マレーシア | MYS/A 102/94 | 北部サバ州造林計画 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 224 | アジア | マレーシア | MYS/S 213/94 | 全国河口処理計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 225 | アジア | マレーシア | MYS/A 312/94 | 半島マレーシア小規模貯水池農業開発計画 | F/S | 農業土木 | 実施済 |
| 226 | アジア | マレーシア | MYS/S 107/95 | ムダ川流域総合管理計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 227 | アジア | マレーシア | MYS/S 318/95 | 土地区画整理事業適用調査 | F/S | 都市計画・土地造成 | 具体化準備中 |
| 228 | アジア | マレーシア | MYS/S 108/96 | 橋梁設計標準化計画調査 | M/P | 道路 | 進行・活用 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野（小分類） | 現況 |
|-----|-----|-------|---------------|--|---------|----------|--------|
| 229 | アジア | マレーシア | MYS/S 307/96 | 首都圏外郭環状道路計画調査 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 230 | アジア | マレーシア | MYS/A 310/97 | サバ州北部マラックパラック地域林業開発計画調査 | F/S | 林業・森林保全 | 遅延・中断 |
| 231 | アジア | マレーシア | MYS/S 205/98 | 河川流域情報システム計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施中 |
| 232 | アジア | マレーシア | MYS/A 220/98 | 半島マレーシア穀倉地域農業用水管理システム近代化計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 233 | アジア | マレーシア | MYS/S 222/99 | クアラランブール歩行者空間整備計画調査 | M/P+F/S | 都市交通 | 実施中 |
| 234 | アジア | マレーシア | MYS/S 314/99 | クランバレー交通管制データ整理調査 | F/S | 都市交通 | 遅延・中断 |
| 235 | アジア | ミャンマー | MYN/A 101/79 | イラワジ川流域農業総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 236 | アジア | ミャンマー | MYN/A 301/79 | ライスミル建設計画 | F/S | 農産加工 | 実施済 |
| 237 | アジア | ミャンマー | MYN/S 301/80 | ラングーン国際空港拡張計画 | F/S | 航空・空港 | 実施中 |
| 238 | アジア | ミャンマー | MYN/A 302/80 | 南ナウインかんがい計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 239 | アジア | ミャンマー | MYN/A 303/81 | オカンダムかんがい計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 240 | アジア | ミャンマー | MYN/S 302/84 | 船舶修理ドックヤード | F/S | 海運・船舶 | 具体化準備中 |
| 241 | アジア | ミャンマー | MYN/S 303/84 | ラングーン鉄道環状線電化計画 | F/S | 鉄道 | 中止・消滅 |
| 242 | アジア | ミャンマー | MYN/S 304/86 | イラワジ河橋梁建設計画 | F/S | 運輸交通一般 | 中止・消滅 |
| 243 | アジア | ミャンマー | MYN/S 305/86 | 幹線鉄道整備計画 | F/S | 鉄道 | 具体化準備中 |
| 244 | アジア | フィリピン | PHL/S 301/76 | スービック修理用造船所建設計画 | F/S | 海運・船舶 | 実施済 |
| 245 | アジア | フィリピン | PHL/A 301/76 | カガヤン農業総合開発 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 246 | アジア | フィリピン | PHL/S 302/76 | フェリー計画 | F/S | 海運・船舶 | 実施済 |
| 247 | アジア | フィリピン | PHL/S 303/76 | マニラ地下鉄（1号線）計画 | F/S | 鉄道 | 中止・消滅 |
| 248 | アジア | フィリピン | PHL/A 302/77 | 穀物ターミナルサイロ建設プロジェクト（マニラ・セブ区） | F/S | 農業土木 | 中止・消滅 |
| 249 | アジア | フィリピン | PHL/S 304/77 | アグノ川、ピコ川、カガヤン川における洪水予警報システムの総合計画設立のための調査 | F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 250 | アジア | フィリピン | PHL/A 501/77 | 水産資源開発調査 | 基礎調査 | 水産 | 中止・消滅 |
| 251 | アジア | フィリピン | PHL/S 601/77 | フェリー計画アフターケア | その他 | 海運・船舶 | 進行・活用 |
| 252 | アジア | フィリピン | PHL/S 101/78 | 小水系河川総合開発計画 | M/P | 水資源開発 | 中止・消滅 |
| 253 | アジア | フィリピン | PHL/A 303/78 | ボホール農業総合開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 254 | アジア | フィリピン | PHL/S 305/78 | マニラ首都圏道路計画（C-3・R-4道路建設計画） | F/S | 道路 | 実施済 |
| 255 | アジア | フィリピン | PHL/S 306/78 | ルソン島北部電気通信網建設計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 256 | アジア | フィリピン | PHL/A 601/78 | 漁港整備計画レビュー調査 | その他 | 水産 | 進行・活用 |
| 257 | アジア | フィリピン | PHL/S 102/79 | ボホール州総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 258 | アジア | フィリピン | PHL/S 307/79 | 病院整備計画 | F/S | 建築・住宅 | 中止・消滅 |
| 259 | アジア | フィリピン | PHL/S 103/80 | マヨン火山砂防基本計画 | M/P | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 260 | アジア | フィリピン | PHL/A 304/80 | イロコスノルテかんがい計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 261 | アジア | フィリピン | PHL/S 308/80 | マニラ・パターン道路およびC-5、C-6道路建設計画 | F/S | 道路 | 中止・消滅 |
| 262 | アジア | フィリピン | PHL/S 104/81 | ダバオ都市交通計画 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 263 | アジア | フィリピン | PHL/S 309/81 | 中部ルソン電気通信網整備計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 264 | アジア | フィリピン | PHL/S 310/81 | パンバンガデルタ開発計画 | F/S | 河川・砂防 | 実施中 |
| 265 | アジア | フィリピン | PHL/S 201B/82 | アイリーン港整備計画 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 266 | アジア | フィリピン | PHL/S 202B/82 | 地方都市上水道計画 | M/P+F/S | 上水道 | 一部実施済 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|-------|---------------|------------------------------|---------|-----------|--------|
| 267 | アジア | フィリピン | PHL/A 305/82 | マビニ地区農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 268 | アジア | フィリピン | PHL/A 306/82 | アルコガス計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 269 | アジア | フィリピン | PHL/S 311/82 | ダルトン・パス・トンネル計画 | F/S | 道路 | 中止・消滅 |
| 270 | アジア | フィリピン | PHL/S 312/82 | マニラ首都圏南部地区幹線道路網計画 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 271 | アジア | フィリピン | PHL/S 501/82 | カガヤン・バレー地区地図作成 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 272 | アジア | フィリピン | PHL/A 307/83 | マツノ川開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 273 | アジア | フィリピン | PHL/A 308/83 | かんがい組織維持管理強化計画 (UPRIIS) | F/S | 農業一般 | 具体化進行中 |
| 274 | アジア | フィリピン | PHL/A 309/83 | かんがい組織維持管理強化計画 (AMRIS, 18地区) | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 275 | アジア | フィリピン | PHL/S 313/83 | マニラ首都圏北部地区幹線道路網計画 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 276 | アジア | フィリピン | PHL/S 602/83 | マヨン火山砂防計画 | その他 | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 277 | アジア | フィリピン | PHL/A 101/84 | 水産物流通システム整備計画 | M/P | 水産 | 進行・活用 |
| 278 | アジア | フィリピン | PHL/S 105/84 | インファンタ・リアル都市開発計画 | M/P | 都市計画・土地造成 | 遅延 |
| 279 | アジア | フィリピン | PHL/A 310/84 | グマイン川灌漑開発計画 | F/S | 農業一般 | 遅延・中断 |
| 280 | アジア | フィリピン | PHL/S 314/84 | サンフェルナンド港整備計画 | F/S | 港湾 | 実施中 |
| 281 | アジア | フィリピン | PHL/S 315/84 | 気象通信網整備計画 | F/S | 気象・地震 | 実施済 |
| 282 | アジア | フィリピン | PHL/S 316/84 | 道路防災計画 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 283 | アジア | フィリピン | PHL/S 106/85 | バナイ河流域洪水防衛基本計画 | M/P | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 284 | アジア | フィリピン | PHL/S 107/85 | マニラ首都圏都市交通計画 (フェーズIおよびII) | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 285 | アジア | フィリピン | PHL/S 203B/85 | バタンガス港整備計画 | M/P+F/S | 港湾 | 実施中 |
| 286 | アジア | フィリピン | PHL/A 311/85 | アスエ川流域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 遅延・中断 |
| 287 | アジア | フィリピン | PHL/A 312/85 | ボホール灌漑開発計画 フェーズII | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 288 | アジア | フィリピン | PHL/S 317/85 | サンロケ多目的ダム開発計画 | F/S | 水資源開発 | 実施中 |
| 289 | アジア | フィリピン | PHL/S 318/85 | 道路防災計画ステージII | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 290 | アジア | フィリピン | PHL/S 204B/86 | 地方都市上水道整備計画 | M/P+F/S | 上水道 | 一部実施済 |
| 291 | アジア | フィリピン | PHL/A 102/87 | マガットかんがいシステム維持管理強化計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 292 | アジア | フィリピン | PHL/S 108/87 | カガヤン河流域水資源開発基本計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 293 | アジア | フィリピン | PHL/S 319/87 | 日比友好道路・道路改善計画 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 294 | アジア | フィリピン | PHL/S 320/87 | マニラ南港改修計画 | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 295 | アジア | フィリピン | PHL/A 103/88 | 西サマル農業総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 296 | アジア | フィリピン | PHL/A 313/88 | トリニダッド高地農村総合開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 297 | アジア | フィリピン | PHL/A 314/88 | ポンプ灌漑施設維持管理改善計画 | F/S | 農業土木 | 具体化準備中 |
| 298 | アジア | フィリピン | PHL/S 321/88 | 地方道路網整備計画 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 299 | アジア | フィリピン | PHL/S 502/88 | マニラ都市基本図作成 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 300 | アジア | フィリピン | PHL/A 602/88 | 広域森林情報分析管理計画 | その他 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 301 | アジア | フィリピン | PHL/A 104/89 | 水産物輸送システム総合計画 | M/P | 水産 | 進行・活用 |
| 302 | アジア | フィリピン | PHL/A 105/89 | 農業用小規模ため池整備計画 | M/P | 農業土木 | 進行・活用 |
| 303 | アジア | フィリピン | PHL/A 201B/89 | マリンデュケ農業総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 304 | アジア | フィリピン | PHL/S 205B/89 | バナイ島地下水開発計画 | M/P+F/S | 水資源開発 | 一部実施済 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|-------|---------------|--------------------------|---------|----------|--------|
| 305 | アジア | フィリピン | PHL/S 206B/89 | マニラ洪水対策計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 306 | アジア | フィリピン | PHL/S 322/89 | 幹線道路主要橋梁改修計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 307 | アジア | フィリピン | PHL/A 106/90 | タルラック州南部地域小規模灌漑組織強化計画 | M/P | 農業一般 | 遅延 |
| 308 | アジア | フィリピン | PHL/A 315/90 | ハラハラ農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 309 | アジア | フィリピン | PHL/A 316/90 | 優良種子流通配布計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 310 | アジア | フィリピン | PHL/S 323/90 | 地方道路網整備計画(II) | F/S | 道路 | 具体化進行中 |
| 311 | アジア | フィリピン | PHL/A 107/91 | 小規模灌漑施設整備計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 312 | アジア | フィリピン | PHL/S 109/91 | カラバールソン地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 313 | アジア | フィリピン | PHL/S 110/91 | イログ・ヒラバンガン川流域治水計画 | M/P | 河川・砂防 | 遅延 |
| 314 | アジア | フィリピン | PHL/S 207B/91 | アグノ川流域治水計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施中 |
| 315 | アジア | フィリピン | PHL/S 324/91 | 地方道路防災計画 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 316 | アジア | フィリピン | PHL/S 325/91 | バララ浄水場修復計画 | F/S | 上水道 | 実施済 |
| 317 | アジア | フィリピン | PHL/A 108/92 | 農地情報整備計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 318 | アジア | フィリピン | PHL/S 111/92 | 海上交通管理計画 | M/P | 海運・船舶 | 進行・活用 |
| 319 | アジア | フィリピン | PHL/S 208B/92 | 全国フェリー輸送計画 | M/P+F/S | 港湾 | 実施中 |
| 320 | アジア | フィリピン | PHL/S 209B/92 | ダバオ国際空港整備計画 | M/P+F/S | 航空・空港 | 実施中 |
| 321 | アジア | フィリピン | PHL/S 503/92 | マニラ首都圏地下水開発計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 322 | アジア | フィリピン | PHL/S 106/93 | ルソン島広域道路網計画調査 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 323 | アジア | フィリピン | PHL/S 107/93 | 電気通信網整備計画調査 | M/P | 電気通信 | 進行・活用 |
| 324 | アジア | フィリピン | PHL/A 113/93 | 農業協同組合組織強化計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 325 | アジア | フィリピン | PHL/S 206/93 | マニラ都市圏高速道路整備計画調査 | M/P+F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 326 | アジア | フィリピン | PHL/S 112/94 | 大首都圏港湾総合開発計画調査 | M/P | 港湾 | 進行・活用 |
| 327 | アジア | フィリピン | PHL/S 115/94 | セブ州総合開発計画調査 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 328 | アジア | フィリピン | PHL/A 202/94 | マリキナ水源林造成計画 | M/P+F/S | 林業・森林保全 | 実施中 |
| 329 | アジア | フィリピン | PHL/S 211/94 | 特定地方都市洪水防衛計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 330 | アジア | フィリピン | PHL/A 317/94 | 南部ルソン高地畑地灌漑計画 | F/S | 農業土木 | 遅延・中断 |
| 331 | アジア | フィリピン | PHL/A 318/94 | バラワン南部農地開発計画 | F/S | 農業土木 | 具体化準備中 |
| 332 | アジア | フィリピン | PHL/S 116/95 | 中部ルソン開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 333 | アジア | フィリピン | PHL/S 117/95 | メトロマニラ上下水道総合計画 | M/P | 公益事業一般 | 進行・活用 |
| 334 | アジア | フィリピン | PHL/S 118/95 | 地方水供給・下水・衛生セクター計画 | M/P | 公益事業一般 | 進行・活用 |
| 335 | アジア | フィリピン | PHL/S 326/95 | 日比友好道路修復計画 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 336 | アジア | フィリピン | PHL/S 327/95 | カピテ水供給計画 | F/S | 水資源開発 | 実施中 |
| 337 | アジア | フィリピン | PHL/S 206/96 | 主要地方空港整備計画 | M/P+F/S | 航空・空港 | 具体化進行中 |
| 338 | アジア | フィリピン | PHL/S 207/96 | 北部バラワン持続可能型観光開発計画調査 | M/P+F/S | 観光一般 | 具体化準備中 |
| 339 | アジア | フィリピン | PHL/S 208/96 | ピナツポ火山東部河川流域洪水及び泥流制御計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 340 | アジア | フィリピン | PHL/A 301/96 | レガスビ西部地区灌漑農村開発計画 | F/S | 農業土木 | 実施中 |
| 341 | アジア | フィリピン | PHL/S 402/96 | 日比友好道路改良計画 | D/D | 道路 | 実施中 |
| 342 | アジア | フィリピン | PHL/S 208/97 | ラオアグ川流域砂防及び洪水防衛計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 具体化準備中 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野（小分類） | 現況 |
|-----|-----|--------|---------------|-----------------------|---------|----------|--------|
| 343 | アジア | フィリピン | PHL/A 313/97 | 辺境地貧困農民対策計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 344 | アジア | フィリピン | PHL/S 105/98 | 全国総合水資源開発計画調査 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 345 | アジア | フィリピン | PHL/S 114/98 | ダバオ地域総合開発計画調査（事前調査） | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 346 | アジア | フィリピン | PHL/A 221/98 | ハロール河流域灌漑計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 347 | アジア | フィリピン | PHL/S 207/99 | 次世代航空保安システム開発整備計画調査 | M/P+F/S | 航空・空港 | 具体化準備中 |
| 348 | アジア | フィリピン | PHL/S 208/99 | スービック港湾整備計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 遅延・中断 |
| 349 | アジア | フィリピン | PHL/S 304/99 | 都市間幹線道路の規格向上調査 | F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 350 | アジア | フィリピン | PHL/S 401/99 | 幹線空港施設建設事業連携実施設計調査 | D/D | 航空・空港 | 具体化進行中 |
| 351 | アジア | フィリピン | PHL/A 504/99 | マングローブ林資源評価調査 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 遅延 |
| 352 | アジア | シンガポール | SGP/S 101/78 | 浅瀬浚渫計画 | M/P | 港湾 | 進行・活用 |
| 353 | アジア | シンガポール | SGP/S 301/86 | セントサ衛星地球局補修計画 | F/S | 電気通信 | 中止・消滅 |
| 354 | アジア | シンガポール | SGP/S 302/88 | 都市交通改善計画 | F/S | 都市交通 | 実施中 |
| 355 | アジア | シンガポール | SGP/S 303/90 | カラン・パヤレバ高速道路計画 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 356 | アジア | タイ | THA/S 301/76 | 鉄道橋梁改良計画 | F/S | 鉄道 | 一部実施済 |
| 357 | アジア | タイ | THA/A 301/77 | チャオピヤ川西岸地区かんがい農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 358 | アジア | タイ | THA/S 401/77 | バンコク市内線路網実施設計 | D/D | 電気通信 | 実施済 |
| 359 | アジア | タイ | THA/S 302/78 | バタヤ地区基盤整備計画 | F/S | 観光一般 | 中止・消滅 |
| 360 | アジア | タイ | THA/S 303/78 | 首都圏周辺市街地区水道拡張計画 | F/S | 上水道 | 中止・消滅 |
| 361 | アジア | タイ | THA/S 304/78 | 長距離市外電話網 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 362 | アジア | タイ | THA/S 305/78 | ペチャブン～チャイバダン道路建設計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 363 | アジア | タイ | THA/S 101/79 | 首都圏交通計画 | M/P | 鉄道 | 進行・活用 |
| 364 | アジア | タイ | THA/A 101/79 | メクロン川マスタープラン | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 365 | アジア | タイ | THA/A 302/79 | メクロン川流域カンバンセンかんがい農業開発 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 366 | アジア | タイ | THA/S 306/79 | ノンブア バンラムチボン道路建設計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 367 | アジア | タイ | THA/A 303/80 | メワンかんがい農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 368 | アジア | タイ | THA/S 307/80 | 首都圏トラックターミナル建設計画 | F/S | 陸運 | 中止・消滅 |
| 369 | アジア | タイ | THA/S 402/80 | バンコク市内線路網実施設計 | D/D | 電気通信 | 実施済 |
| 370 | アジア | タイ | THA/A 304/81 | ケンコイ・バンモーボンかんがい計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 371 | アジア | タイ | THA/S 201B/82 | 北部地方道路網整備計画 | M/P+F/S | 道路 | 実施済 |
| 372 | アジア | タイ | THA/A 201B/82 | 農業協同組合組織育成計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 373 | アジア | タイ | THA/S 202B/82 | バンコク市下水道整備計画 | M/P+F/S | 下水道 | 実施済 |
| 374 | アジア | タイ | THA/S 203B/82 | バンコク市都市廃棄物整備計画 | M/P+F/S | 都市衛生 | 実施済 |
| 375 | アジア | タイ | THA/A 305/82 | ペチャブリかんがい農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 376 | アジア | タイ | THA/A 306/82 | メイクワンかんがい農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 377 | アジア | タイ | THA/A 307/82 | バサック河上流中規模灌漑計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 378 | アジア | タイ | THA/S 308/82 | チャオピヤ河架橋計画（ラマ六世橋建設計画） | F/S | 道路 | 実施済 |
| 379 | アジア | タイ | THA/S 309/82 | 東部水資源開発計画 | F/S | 水資源開発 | 実施済 |
| 380 | アジア | タイ | THA/S 403/82 | ラマ6世橋梁修復計画 | D/D | 鉄道 | 実施済 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野（小分類） | 現況 |
|-----|-----|----|---------------|--------------------------|---------|-----------|--------|
| 381 | アジア | タイ | THA/S 404/82 | 東部海岸パイプライン建設実施設計 | D/D | 水資源開発 | 実施済 |
| 382 | アジア | タイ | THA/S 501/82 | ラオス難民生活用水供給計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 383 | アジア | タイ | THA/S 102/83 | 東北部道路網整備建設計画 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 384 | アジア | タイ | THA/S 204B/83 | 東部工業港開発計画 | M/P+F/S | 港湾 | 実施済 |
| 385 | アジア | タイ | THA/A 308/83 | メチャンかんがい農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 386 | アジア | タイ | THA/S 310/83 | 東部水資源開発計画（フェーズII） | F/S | 水資源開発 | 実施中 |
| 387 | アジア | タイ | THA/S 311/83 | ノンコー・ラムチャバン送水パイプライン建設計画 | F/S | 上水道 | 実施済 |
| 388 | アジア | タイ | THA/S 312/83 | バンコック高速道路建設計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 389 | アジア | タイ | THA/S 103/84 | 南タイ北部地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 390 | アジア | タイ | THA/S 205B/84 | ラムチャバン臨海部開発計画 | M/P+F/S | 総合地域開発計画 | 実施済 |
| 391 | アジア | タイ | THA/A 309/84 | 東北タイ南部中規模かんがいパッケージプロジェクト | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 392 | アジア | タイ | THA/S 313/84 | 沿岸海運整備振興計画 | F/S | 海運・船舶 | 中止・消滅 |
| 393 | アジア | タイ | THA/S 314/84 | バンコク首都圏国鉄高架化計画 | F/S | 鉄道 | 中止・消滅 |
| 394 | アジア | タイ | THA/S 601/84 | 道路交通安全計画 | その他 | 運輸交通一般 | 進行・活用 |
| 395 | アジア | タイ | THA/S 206B/85 | バンコク市都市排水対策計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 396 | アジア | タイ | THA/A 310/85 | 穀物貯蔵施設整備拡充計画 (Phase II) | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 397 | アジア | タイ | THA/A 311/85 | サカエクラン川流域灌漑計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 398 | アジア | タイ | THA/S 315/85 | 船舶修理ヤード建設計画 | F/S | 海運・船舶 | 実施済 |
| 399 | アジア | タイ | THA/S 316/85 | 東北タイ地方水道施設緊急整備計画 | F/S | 上水道 | 実施済 |
| 400 | アジア | タイ | THA/S 317/85 | 東北部道路網整備計画（フェーズII） | F/S | 道路 | 実施済 |
| 401 | アジア | タイ | THA/A 312/86 | パンナラ川かんがい排水計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 402 | アジア | タイ | THA/S 318/86 | 港湾浚渫船隊整備計画 | F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 403 | アジア | タイ | THA/S 602/86 | バンコク首都圏庁バンコク市道路改良・交通安全計画 | その他 | 運輸交通一般 | 進行・活用 |
| 404 | アジア | タイ | THA/A 102/87 | 国有林管理計画 | M/P | 林業・森林保全 | 中止・消滅 |
| 405 | アジア | タイ | THA/S 319/87 | 新クルンテップ橋及びトンプリ道路延伸計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 406 | アジア | タイ | THA/S 320/87 | 鉄道ヤード改良計画 | F/S | 鉄道 | 実施済 |
| 407 | アジア | タイ | THA/S 603/87 | 効果的港湾システム調査 | その他 | 港湾 | 進行・活用 |
| 408 | アジア | タイ | THA/S 104/88 | チャオピア川洪水予報システム計画 | M/P | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 409 | アジア | タイ | THA/A 202B/88 | 東部タイ農地保全総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 410 | アジア | タイ | THA/S 207B/88 | 中央部道路網整備計画 | M/P+F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 411 | アジア | タイ | THA/S 208B/88 | 南部地域開発計画 | M/P+F/S | 観光一般 | 実施中 |
| 412 | アジア | タイ | THA/S 321/88 | 地方トラックターミナル整備計画 | F/S | 陸運 | 遅延・中断 |
| 413 | アジア | タイ | THA/S 502/88 | バンコク首都圏地形図作成事業 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 414 | アジア | タイ | THA/S 604/88 | 都市計画策定指針作成 | その他 | 都市計画・土地造成 | 進行・活用 |
| 415 | アジア | タイ | THA/A 103/89 | チャオピア川流域水管理システムおよび監視計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 416 | アジア | タイ | THA/S 105/89 | 国内電話網拡充長期計画 | M/P | 電気通信 | 進行・活用 |
| 417 | アジア | タイ | THA/A 203B/89 | セバイ・セボック流域開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 418 | アジア | タイ | THA/S 209B/89 | バンコク首都圏中・長期道路交通計画 | M/P+F/S | 都市交通 | 一部実施済 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|----|---------------|-------------------------|---------|-----------|--------|
| 419 | アジア | タイ | THA/S 210B/89 | 地方都市水道整備計画 | M/P+F/S | 上水道 | 一部実施済 |
| 420 | アジア | タイ | THA/A 313/89 | チャンタブリ川流域農業水利開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 421 | アジア | タイ | THA/S 322/89 | バンコク市クローン水質改善計画 | F/S | 下水道 | 一部実施済 |
| 422 | アジア | タイ | THA/S 323/89 | ラムチャバン港輸送施設計画 | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 423 | アジア | タイ | THA/S 106/90 | 道路交通運用計画 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 424 | アジア | タイ | THA/S 107/90 | 中央平原北部地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 425 | アジア | タイ | THA/S 108/90 | パタヤ地区総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 426 | アジア | タイ | THA/A 204B/90 | バンパコン川流域農業水利開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 427 | アジア | タイ | THA/S 211B/90 | ブーケット市下水排水改善計画 | M/P+F/S | 下水道 | 実施済 |
| 428 | アジア | タイ | THA/S 212B/90 | バンコク廃棄物処理計画 | M/P+F/S | 都市衛生 | 実施中 |
| 429 | アジア | タイ | THA/A 314/90 | スコタイ農村総合整備計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 430 | アジア | タイ | THA/S 405/90 | バンコク市交通制御システム整備計画 | D/D | 都市交通 | 実施済 |
| 431 | アジア | タイ | THA/S 109/91 | 有料高速道路計画 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 432 | アジア | タイ | THA/A 205B/91 | 東北タイ塩害地域農村総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 遅延・中断 |
| 433 | アジア | タイ | THA/S 213B/91 | 南部道路網整備計画 | M/P+F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 434 | アジア | タイ | THA/A 315/91 | 北タイ南部農村総合開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 435 | アジア | タイ | THA/S 605/91 | 道路交通運用計画(アフターケア) | その他 | 道路 | 進行・活用 |
| 436 | アジア | タイ | THA/A 206B/92 | ラム・ドム・ヤイ流域灌漑計画 | M/P+F/S | 農業土木 | 具体化準備中 |
| 437 | アジア | タイ | THA/S 214B/92 | バンコク首都圏電気通信網開発計画 | M/P+F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 438 | アジア | タイ | THA/S 215B/92 | ホアヒン・チャム観光開発計画 | M/P+F/S | 観光一般 | 一部実施済 |
| 439 | アジア | タイ | THA/A 316/92 | チュンボン地区農業総合開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 440 | アジア | タイ | THA/S 324/92 | 首都圏トラック・ターミナル基本整備計画 | F/S | 陸運 | 実施済 |
| 441 | アジア | タイ | THA/S 108/93 | 東北タイ南部・東部タイ北部地域総合開発計画調査 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 442 | アジア | タイ | THA/S 207/93 | 区画整理事業適用調査 | M/P+F/S | 都市計画・土地造成 | 具体化準備中 |
| 443 | アジア | タイ | THA/S 208/93 | ブーケット国際空港整備計画調査 | M/P+F/S | 航空・空港 | 実施済 |
| 444 | アジア | タイ | THA/S 209/93 | チャオピア川下流域下水道整備計画調査 | M/P+F/S | 下水道 | 一部実施済 |
| 445 | アジア | タイ | THA/A 310/93 | 南部タイ泥炭土壌地域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 446 | アジア | タイ | THA/A 402/93 | バンパコン川防潮水門建設計画 | D/D | 農業一般 | 一部実施済 |
| 447 | アジア | タイ | THA/S 110/94 | バンコク首都圏地盤沈下・地下水管理計画調査 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 448 | アジア | タイ | THA/S 216/94 | バンコク港近代化計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 449 | アジア | タイ | THA/S 325/94 | 都市間有料高速道路建設計画調査 | F/S | 道路 | 具体化進行中 |
| 450 | アジア | タイ | THA/S 606/94 | 高速道路点検・維持システム整備計画調査 | その他 | 道路 | 進行・活用 |
| 451 | アジア | タイ | THA/A 207/95 | 南部農地復旧保全計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 452 | アジア | タイ | THA/S 217/95 | 都市開発と一体化した首都圏鉄道輸送力増強計画 | M/P+F/S | 都市交通 | 一部実施済 |
| 453 | アジア | タイ | THA/S 326/95 | 道路防災対策調査 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 454 | アジア | タイ | THA/A 102/96 | モン・スアイ・ルアン川流域農業水資源開発計画 | M/P | 農業土木 | 進行・活用 |
| 455 | アジア | タイ | THA/S 110/96 | バンコク都市環境改善計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 456 | アジア | タイ | THA/S 109/97 | 西部臨海地域開発マスタープラン調査 | M/P | 開発計画一般 | 進行・活用 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|-------|--------------|-----------------------------------|---------|---------|--------|
| 457 | アジア | タイ | THA/A 314/97 | アンダマン海沿岸地域水産基盤整備計画調査 | F/S | 水産 | 具体化準備中 |
| 458 | アジア | タイ | THA/A 222/98 | 東北タイ北部農地改革地区農業総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化進行中 |
| 459 | アジア | タイ | THA/S 103/99 | 全国地方空港整備計画調査 | M/P | 航空・空港 | 遅延 |
| 460 | アジア | タイ | THA/S 104/99 | バンコク汚泥処理・再生水利用計画調査 | M/P | 都市衛生 | 遅延 |
| 461 | アジア | タイ | THA/S 209/99 | チャオプラヤ川流域総合洪水対策計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 遅延・中断 |
| 462 | アジア | タイ | THA/S 306/99 | コク・イン・ナン導水計画調査(フェーズII) | F/S | 水資源開発 | 遅延・中断 |
| 463 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 101/94 | 北部地域交通システム開発計画調査 | M/P | 運輸交通一般 | 進行・活用 |
| 464 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 201/94 | ハノイ市排水下水整備計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施中 |
| 465 | アジア | ヴェトナム | VNM/A 202/94 | 南バックトゥン地区農村地域排水計画 | M/P+F/S | 農業土木 | 一部実施済 |
| 466 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 301/94 | カイラン港拡張計画調査 | F/S | 港湾 | 実施中 |
| 467 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 202/95 | 南北縦貫鉄道整備計画調査 | M/P+F/S | 鉄道 | 実施中 |
| 468 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 302/95 | 国道18号改修計画 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 469 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 111/96 | 全国沿岸海上輸送整備開発計画調査 | M/P | 海運・船舶 | 進行・活用 |
| 470 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 112/96 | ドンナイ川流域水資源開発計画調査 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 471 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 211/96 | ハノイ市都市交通計画調査 | M/P+F/S | 都市交通 | 具体化進行中 |
| 472 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 309/96 | ハノイ新国際空港整備計画調査 | F/S | 航空・空港 | 実施中 |
| 473 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 103/97 | 市場経済化支援開発政策調査 | M/P | 開発計画一般 | 進行・活用 |
| 474 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 209/97 | ハノイ上水道整備計画 | M/P+F/S | 上水道 | 具体化準備中 |
| 475 | アジア | ヴェトナム | VNM/A 219/97 | ゲアン省ナムダン県モデル農村開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化進行中 |
| 476 | アジア | ヴェトナム | VNM/A 503/97 | 水産資源調査 | 基礎調査 | 水産 | 進行・活用 |
| 477 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 121/98 | ホアラック・ソンマイ地域開発計画調査(フェーズ1) | M/P | 開発計画一般 | 進行・活用 |
| 478 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 208/98 | 中部重点地域港湾開発計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 実施中 |
| 479 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 303/98 | タインチ橋建設調査 | F/S | 道路 | 具体化進行中 |
| 480 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 304/98 | カントー橋建設計画調査 | F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 481 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 105/99 | ハロン湾環境管理計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 482 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 106/99 | 全国電気通信整備計画調査 | M/P | 電気通信 | 進行・活用 |
| 483 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 210/99 | ホーチミン市排水・下水道整備計画調査 | M/P+F/S | 都市衛生 | 具体化進行中 |
| 484 | アジア | ヴェトナム | VNM/S 211/99 | 北部地方地下水開発計画調査 | M/P+F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 485 | アジア | 中国 | CHN/S 601/79 | 港湾建設計画 | その他 | 港湾 | 進行・活用 |
| 486 | アジア | 中国 | CHN/S 602/81 | 鉄道近代化計画 | その他 | 鉄道 | 進行・活用 |
| 487 | アジア | 中国 | CHN/S 301/84 | 秦皇島港丙丁バース建設、連雲港廟嶺二期工事、青島港前湾港区建設工事 | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 488 | アジア | 中国 | CHN/A 301/84 | 三江平原龍頭橋典型区農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化進行中 |
| 489 | アジア | 中国 | CHN/S 302/84 | 鄭州・宝鶏間複線鉄道電化計画、衡陽・広州間鉄道複線化及び電化計画 | F/S | 鉄道 | 実施済 |
| 490 | アジア | 中国 | CHN/A 302/84 | 三江平原農業総合試験場基本計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 491 | アジア | 中国 | CHN/S 303/84 | 天津・上海・広州電気通信網改造計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 492 | アジア | 中国 | CHN/S 304/86 | 大鵬湾港湾整備計画 | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 493 | アジア | 中国 | CHN/S 305/86 | 上海都市快速鉄道整備計画 | F/S | 鉄道 | 実施済 |
| 494 | アジア | 中国 | CHN/S 101/87 | 上海市大気汚染対策 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|----|---------------|----------------------------------|---------|-----------|--------|
| 495 | アジア | 中国 | CHN/S 306/87 | 上海・南京間高速道路建設計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 496 | アジア | 中国 | CHN/S 307/87 | 上海市黄浦江架橋計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 497 | アジア | 中国 | CHN/S 308/87 | 北江飛来峡多目的ダム建設計画 | F/S | 水資源開発 | 遅延・中断 |
| 498 | アジア | 中国 | CHN/S 501/87 | 天津市地下水源開発計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 中止・消滅 |
| 499 | アジア | 中国 | CHN/S 102/88 | 海南島総合開発 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 500 | アジア | 中国 | CHN/S 201B/88 | 大連湾港湾整備計画 | M/P+F/S | 港湾 | 実施中 |
| 501 | アジア | 中国 | CHN/A 201B/88 | 甘粛省間井地区牧畜業開発計画 | M/P+F/S | 畜産 | 具体化準備中 |
| 502 | アジア | 中国 | CHN/A 303/88 | 湖北省北部農業水利開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 503 | アジア | 中国 | CHN/S 309/88 | 観音閣ダム建設計画 | F/S | 水資源開発 | 実施済 |
| 504 | アジア | 中国 | CHN/S 310/88 | 北京首都空港施設地区拡張計画 | F/S | 航空・空港 | 一部実施済 |
| 505 | アジア | 中国 | CHN/A 304/89 | 湖南省洞庭湖地区総合水利及び農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 506 | アジア | 中国 | CHN/S 311/89 | 三港湾整備計画 | F/S | 港湾 | 実施中 |
| 507 | アジア | 中国 | CHN/S 312/89 | 武漢天河空港建設計画 | F/S | 航空・空港 | 実施済 |
| 508 | アジア | 中国 | CHN/S 202B/90 | 西安市生活廃棄物処理計画 | M/P+F/S | 都市衛生 | 一部実施済 |
| 509 | アジア | 中国 | CHN/A 305/90 | 北京市海子ダム農業水利開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 510 | アジア | 中国 | CHN/S 313/90 | 天津市津塘快速鉄道新線建設計画 | F/S | 鉄道 | 具体化準備中 |
| 511 | アジア | 中国 | CHN/S 502/90 | ウルムチ地下水開発計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 512 | アジア | 中国 | CHN/A 306/91 | 広西壮族自治区欽州地区農業海河堤整備及び農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 遅延・中断 |
| 513 | アジア | 中国 | CHN/S 314/91 | 吉林省徳惠県電話網自動化計画 | F/S | 電気通信 | 実施中 |
| 514 | アジア | 中国 | CHN/A 202B/92 | 湘西南支山脈地区農牧畜業総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 515 | アジア | 中国 | CHN/A 203B/92 | 遼河三角洲農業資源総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 516 | アジア | 中国 | CHN/S 315/92 | 漢江中下流区間洪水予警報計画 | F/S | 河川・砂防 | 具体化準備中 |
| 517 | アジア | 中国 | CHN/S 316/92 | 吉林豊満ダム修復強化計画 | F/S | 水資源開発 | 一部実施済 |
| 518 | アジア | 中国 | CHN/S 101/93 | はん陽湖水質保護対策計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 519 | アジア | 中国 | CHN/S 102/93 | 九江市総合開発計画調査 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 520 | アジア | 中国 | CHN/S 202/93 | 上海市浦東新区外高橋地区開発計画調査 | M/P+F/S | 都市計画・土地造成 | 一部実施済 |
| 521 | アジア | 中国 | CHN/S 301/93 | 重慶市快速軌道交通計画調査 | F/S | 鉄道 | 具体化進行中 |
| 522 | アジア | 中国 | CHN/A 309/93 | 吉林省前郭地区第二灌漑区施設整備計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 523 | アジア | 中国 | CHN/S 203/94 | 浙江省幹線道路網計画調査 | M/P+F/S | 道路 | 具体化進行中 |
| 524 | アジア | 中国 | CHN/A 204/94 | 黒龍江省国营農場典型区農業総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 525 | アジア | 中国 | CHN/A 310/94 | 広東省順徳市斎杏輪中地区農村地域排水計画 | F/S | 農業土木 | 一部実施済 |
| 526 | アジア | 中国 | CHN/S 317/94 | 廈門市西通道建設計画調査 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 527 | アジア | 中国 | CHN/S 103/95 | 柳州市大気汚染総合対策計画調査及び広域酸性降下物モニタリング調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 528 | アジア | 中国 | CHN/S 204/95 | 上海浦東国際空港基本計画 | M/P+F/S | 航空・空港 | 一部実施済 |
| 529 | アジア | 中国 | CHN/S 205/95 | 大連市都市総合交通計画 | M/P+F/S | 都市交通 | 一部実施済 |
| 530 | アジア | 中国 | CHN/S 101/97 | 瀋江水環境総合管理計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 531 | アジア | 中国 | CHN/S 202/97 | 岷江成都地区水環境総合管理計画調査 | M/P+F/S | 環境問題 | 具体化進行中 |
| 532 | アジア | 中国 | CHN/S 401/97 | 上海浦東国際空港実施設計調査 | D/D | 航空・空港 | 実施済 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|---------|---------------|------------------------------|---------|----------|--------|
| 533 | アジア | 中国 | CHN/A 601/97 | 遼寧省大凌河白石ダム工事に関する実験計画 | その他 | 農業土木 | 進行・活用 |
| 534 | アジア | 中国 | CHN/S 101/98 | 太湖水環境管理計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 535 | アジア | 中国 | CHN/S 112/98 | 吉林省地域総合開発調査 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 536 | アジア | 中国 | CHN/A 116/98 | 中国陝西省安塞県山間地区農業総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 537 | アジア | 中国 | CHN/S 302/98 | 内モンゴル自治区トクト県地下水開発計画調査 | F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 538 | アジア | 中国 | CHN/S 101/99 | 大連市環境モデル地区整備計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 539 | アジア | 中国 | CHN/S 201/99 | 貴州省猫跳河(紅楓・百花湖水域)流域環境総合対策計画調査 | M/P+F/S | 環境問題 | 遅延・中断 |
| 540 | アジア | 中国 | CHN/A 223/99 | 河北省太行山農業総合開発調査 | M/P+F/S | 農業一般 | 遅延・中断 |
| 541 | アジア | 中国 | CHN/S 302/99 | 長沙市道路整備計画調査 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 542 | アジア | 大韓民国 | KOR/S 301/77 | 地下鉄2号線建設計画 | F/S | 鉄道 | 実施済 |
| 543 | アジア | 大韓民国 | KOR/A 301/78 | 西南海岸干拓農地開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 544 | アジア | 大韓民国 | KOR/S 101/79 | 長期多目的ダム開発計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 545 | アジア | 大韓民国 | KOR/S 201B/85 | ソウル特別市都市固形廃棄物整備計画 | M/P+F/S | 都市衛生 | 実施済 |
| 546 | アジア | 大韓民国 | KOR/S 102/91 | 漢江水系中小河川環境整備計画 | M/P | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 547 | アジア | モンゴル | MNG/S 301/92 | ザミンウード駅貨物積替施設整備計画 | F/S | 鉄道 | 実施済 |
| 548 | アジア | モンゴル | MNG/A 101/95 | 中部地域農牧業農村総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 549 | アジア | モンゴル | MNG/S 201/95 | ウランバートル市水供給計画 | M/P+F/S | 上水道 | 実施済 |
| 550 | アジア | モンゴル | MNG/S 204/96 | ウランバートル市電気通信網整備計画調査 | M/P+F/S | 電気通信 | 実施中 |
| 551 | アジア | モンゴル | MNG/S 502/96 | ドルノド県ウランツァブ地域国土基本図作成調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 552 | アジア | モンゴル | MNG/A 110/97 | 農牧業協同組合改善計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 553 | アジア | モンゴル | MNG/S 207/97 | 鉄道線路基盤改修計画調査 | M/P+F/S | 鉄道 | 具体化準備中 |
| 554 | アジア | モンゴル | MNG/A 502/97 | セレンゲ県森林管理計画調査 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 555 | アジア | モンゴル | MNG/S 102/99 | 市場経済化支援調査 | M/P | 開発計画一般 | 遅延 |
| 556 | アジア | モンゴル | MNG/S 204/99 | ウランバートル市道路整備計画調査 | M/P+F/S | 道路 | 具体化進行中 |
| 557 | アジア | モンゴル | MNG/S 205/99 | 観光開発計画調査 | M/P+F/S | 観光一般 | 具体化準備中 |
| 558 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 401/77 | テレビジョンスタジオ建設計画 | D/D | 放送 | 実施済 |
| 559 | アジア | バングラデシュ | BGD/A 301/79 | N-N地区かんがい計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 560 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 301/84 | メグナ・メグナグムティ橋建設計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 561 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 302/85 | 鉄道車輛工事建設計画 | F/S | 鉄道 | 中止・消滅 |
| 562 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 201B/87 | ダッカ・ナラヤンガンジ港整備計画 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 563 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 303/87 | ダッカ市雨水排水施設整備計画 | F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 564 | アジア | バングラデシュ | BGD/A 302/88 | ラジシャヒ北部灌漑計画 | F/S | 農業一般 | 遅延・中断 |
| 565 | アジア | バングラデシュ | BGD/A 101/89 | モデル農村開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 566 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 304/89 | チッタゴン国際空港開発計画 | F/S | 航空・空港 | 実施済 |
| 567 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 305/89 | チッタゴン造船所整備計画 | F/S | 海運・船舶 | 遅延・中断 |
| 568 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 306/89 | ダッカ市雨水排水施設整備計画(アフターケア) | F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 569 | アジア | バングラデシュ | BGD/A 303/90 | クリグラム北部灌漑排水計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 570 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 307/90 | ダッカ港コンテナ・ターミナル整備計画 | F/S | 港湾 | 具体化準備中 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|---------|---------------|---------------------------|---------|---------|--------|
| 571 | アジア | バングラデシュ | BGD/A 102/91 | モデル農村開発計画 II | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 572 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 202B/92 | ダッカ首都圏洪水防衛・雨水排水計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 具体化進行中 |
| 573 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 203B/92 | 北西地域洪水防衛排水計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 具体化準備中 |
| 574 | アジア | バングラデシュ | BGD/A 304/92 | クリグラム南部灌漑排水計画 | F/S | 農業土木 | 実施中 |
| 575 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 501/94 | 国土測地基準点網整備計画調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 576 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 201/98 | ダッカ北部下水道整備計画調査 | M/P+F/S | 下水道 | 具体化準備中 |
| 577 | アジア | バングラデシュ | BGD/S 301/99 | ルプシャ橋建設計画調査(フェーズ2) | F/S | 道路 | 具体化進行中 |
| 578 | アジア | ブータン | BTN/A 301/88 | ルンチ・モンガル農業総合開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 579 | アジア | ブータン | BTN/S 301/95 | ウォンディフォドラン県地下水開発計画 | F/S | 水資源開発 | 遅延・中断 |
| 580 | アジア | ブータン | BTN/S 301/98 | 橋梁整備計画調査 | F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 581 | アジア | インド | IND/S 301/87 | デリー～カンパール間幹線鉄道改良計画 | F/S | 鉄道 | 実施中 |
| 582 | アジア | インド | IND/S 302/87 | 鉄道車両工場近代化計画 | F/S | 鉄道 | 中止・消滅 |
| 583 | アジア | インド | IND/S 201B/89 | カルカッタ・ハルディア港開発計画 | M/P+F/S | 港湾 | 実施済 |
| 584 | アジア | インド | IND/S 303/89 | ニューデリー駅近代化計画 | F/S | 鉄道 | 一部実施済 |
| 585 | アジア | インド | IND/S 304/90 | ニュー・マンガロール港改良計画 | F/S | 港湾 | 実施中 |
| 586 | アジア | インド | IND/A 301/91 | シャルダ灌漑・排水事業整備計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 587 | アジア | インド | IND/S 305/92 | カルカッタ都市交通施設整備計画 | F/S | 都市交通 | 実施中 |
| 588 | アジア | インド | IND/S 203/97 | ムンバイ(ボンベイ)港開発計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 589 | アジア | インド | IND/A 308/97 | タミルナドゥ州溜め池改修計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 590 | アジア | インド | IND/S 202/98 | 国道バイパス建設計画調査 | M/P+F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 591 | アジア | インド | IND/S 303/99 | 首都圏高速道路整備計画調査 | F/S | 道路 | 遅延・中断 |
| 592 | アジア | モルディブ | MDV/S 201B/92 | マレ島海岸防災計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 593 | アジア | モルディブ | MDV/S 221/99 | マレ市廃棄物処理計画調査 | M/P+F/S | 都市衛生 | 具体化準備中 |
| 594 | アジア | ネパール | NPL/S 301/83 | 地方電気通信網整備計画 | F/S | 電気通信 | 一部実施済 |
| 595 | アジア | ネパール | NPL/S 101/84 | コシ河流域水資源開発基本計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 596 | アジア | ネパール | NPL/S 201B/87 | テレビジョン放送網開発計画 | M/P+F/S | 放送 | 一部実施済 |
| 597 | アジア | ネパール | NPL/S 302/88 | シンズリ道路建設計画 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 598 | アジア | ネパール | NPL/A 101/89 | ルンビニ県農村総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 599 | アジア | ネパール | NPL/S 202B/89 | 国内航空網整備計画 | M/P+F/S | 航空・空港 | 一部実施済 |
| 600 | アジア | ネパール | NPL/S 501/90 | カトマンズ盆地地下水開発計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 601 | アジア | ネパール | NPL/S 203B/92 | カトマンズ都市交通計画 | M/P+F/S | 航空・空港 | 一部実施済 |
| 602 | アジア | ネパール | NPL/S 104/93 | カルナリ川上流及びマハカリ川流域水資源開発計画調査 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 603 | アジア | ネパール | NPL/S 105/93 | 国内水文資料整備計画調査 | M/P | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 604 | アジア | ネパール | NPL/S 302/93 | シンズリ道路建設計画アフターケア調査 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 605 | アジア | ネパール | NPL/A 308/93 | ラジクドゥワ灌漑計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 606 | アジア | ネパール | NPL/S 501/93 | ルンビニ県地形図作成調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 607 | アジア | ネパール | NPL/A 106/94 | テライ平野農業水資源開発計画 | M/P | 農業土木 | 進行・活用 |
| 608 | アジア | ネパール | NPL/A 201/94 | カトマンズ盆地灌漑改善計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 一部実施済 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|--------|---------------|-----------------------------|---------|---------|--------|
| 609 | アジア | ネパール | NPL/S 204/94 | カトマンズ空港整備計画調査 | M/P+F/S | 航空・空港 | 一部実施済 |
| 610 | アジア | ネパール | NPL/S 315/96 | 中南部地域激甚被災地区防災計画調査 | F/S | 河川・砂防 | 実施中 |
| 611 | アジア | ネパール | NPL/A 111/97 | 西部山間部総合流域管理計画調査 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 612 | アジア | ネパール | NPL/A 311/97 | トリスリ灌漑計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 613 | アジア | ネパール | NPL/S 206 /99 | テライ平野河川治水計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 具体化準備中 |
| 614 | アジア | パキスタン | PAK/S 601/75 | バンデルカシム港建設計画アフターケア | その他 | 港湾 | 進行・活用 |
| 615 | アジア | パキスタン | PAK/S 201B/79 | 海運・造船振興計画 | M/P+F/S | 海運・船舶 | 実施済 |
| 616 | アジア | パキスタン | PAK/S 301/80 | グアダール・ミニポート開発計画 | F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 617 | アジア | パキスタン | PAK/S 202B/81 | コンテナ輸送導入計画 | M/P+F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 618 | アジア | パキスタン | PAK/A 301/82 | バットフィーダー水路拡張計画 | F/S | 農業土木 | 実施済 |
| 619 | アジア | パキスタン | PAK/S 101/83 | 全国総合交通計画 | M/P | 運輸交通一般 | 進行・活用 |
| 620 | アジア | パキスタン | PAK/S 302/83 | 国鉄機関車供給計画 | F/S | 鉄道 | 実施済 |
| 621 | アジア | パキスタン | PAK/S 303/84 | カンブールダム・イスラマバード・ラウルピンディ導水計画 | F/S | 上水道 | 実施中 |
| 622 | アジア | パキスタン | PAK/A 101/85 | 農村総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 623 | アジア | パキスタン | PAK/A 102/86 | 米穀収穫後処理法改善計画 | M/P | 農産加工 | 進行・活用 |
| 624 | アジア | パキスタン | PAK/A 302/86 | バルチスタン州地下水かんがい開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 625 | アジア | パキスタン | PAK/S 102/87 | 首都圏水資源開発基本計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 626 | アジア | パキスタン | PAK/S 103/87 | 全国総合交通計画(アフターケア) | M/P | 運輸交通一般 | 進行・活用 |
| 627 | アジア | パキスタン | PAK/A 303/88 | クラング川上流かんがい開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 628 | アジア | パキスタン | PAK/A 201B/89 | スワット地域農村総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 629 | アジア | パキスタン | PAK/S 304/89 | 教育テレビチャンネル設立計画 | F/S | 放送 | 実施済 |
| 630 | アジア | パキスタン | PAK/A 304/90 | マリル川流域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 631 | アジア | パキスタン | PAK/S 203B/91 | ラホール都市圏総合交通システム開発計画 | M/P+F/S | 都市交通 | 一部実施済 |
| 632 | アジア | パキスタン | PAK/A 305/92 | D.G.カーン地区かんがい開発計画 | F/S | 農業土木 | 一部実施済 |
| 633 | アジア | パキスタン | PAK/S 104/94 | 全国総合交通計画調査(第8次5ヶ年計画) | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 634 | アジア | パキスタン | PAK/A 306/94 | チャシュマ右岸揚水灌漑計画 | F/S | 農業土木 | 遅延・中断 |
| 635 | アジア | パキスタン | PAK/A 218/97 | パンジャブ州支線水路改修計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 636 | アジア | パキスタン | PAK/A 312/97 | 地下水涵養ダム計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 637 | アジア | パキスタン | PAK/A 310/98 | タウンサ堰灌漑システム改修計画調査 | F/S | 農業一般 | 遅延・中断 |
| 638 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 301/77 | 電気通信網整備計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 639 | アジア | スリ・ランカ | LKA/A 301/77 | インギニミチャ灌がいダム計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 640 | アジア | スリ・ランカ | LKA/A 302/79 | モラガハカンダ農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 641 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 201B/80 | コロombo港整備計画 | M/P+F/S | 港湾 | 実施済 |
| 642 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 601/80 | コロombo港整備計画アフターケア | その他 | 港湾 | 進行・活用 |
| 643 | アジア | スリ・ランカ | LKA/A 303/81 | マハヴェリ農業開発計画システムC地区 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 644 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 302/82 | 地方上水道整備計画 | F/S | 上水道 | 実施中 |
| 645 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 602/82 | コロombo空港整備計画アフターケア | その他 | 航空・空港 | 進行・活用 |
| 646 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 303/83 | コロombo周辺道路網整備計画 | F/S | 道路 | 遅延・中断 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|----------|---------------|--------------------------|---------|----------|--------|
| 647 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 304/83 | 大コロボ電気通信網整備計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 648 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 101/85 | 全国電気通信網整備計画 | M/P | 電気通信 | 進行・活用 |
| 649 | アジア | スリ・ランカ | LKA/A 304/85 | 農業用貯水池復旧計画 | F/S | 農業土木 | 実施済 |
| 650 | アジア | スリ・ランカ | LKA/A 101/87 | ガンバハ八景農業総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 651 | アジア | スリ・ランカ | LKA/A 102/89 | 南東部沿岸漂砂調査 | M/P | 水産 | 進行・活用 |
| 652 | アジア | スリ・ランカ | LKA/A 201B/89 | モラガハカンダ農業開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 653 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 202B/89 | コロボ港開発計画 | M/P+F/S | 港湾 | 実施済 |
| 654 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 102/91 | ゴール港整備計画 | M/P | 港湾 | 進行・活用 |
| 655 | アジア | スリ・ランカ | LKA/A 305/92 | ワラウエ農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 656 | アジア | スリ・ランカ | LKA/A 103/94 | 内陸部農村復興計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 657 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 306/94 | 大コロボ圏給水拡張計画調査 | F/S | 上水道 | 具体化進行中 |
| 658 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 109/96 | 全国橋梁改修計画調査 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 659 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 209/96 | 全国電気通信網整備計画 | M/P+F/S | 電気通信 | 実施中 |
| 660 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 210/96 | 新コロボ港開発計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 661 | アジア | スリ・ランカ | LKA/A 302/96 | 南部灌漑排水システムリハビリ計画 | F/S | 農業土木 | 実施中 |
| 662 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 206/98 | 大キャンディ圏・ヌワラエリア上下水道整備計画調査 | M/P+F/S | 公益事業一般 | 具体化進行中 |
| 663 | アジア | スリ・ランカ | LKA/S 305/99 | 大コロボ圏外郭環状道路整備計画調査 | F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 664 | アジア | キルギス | KYR/S 101/94 | 銀行決済システム改善開発調査 | M/P | 財政・金融 | 進行・活用 |
| 665 | アジア | キルギス | KYR/S 102/94 | 全国ラジオ・テレビ放送網整備計画 | M/P | 放送 | 進行・活用 |
| 666 | アジア | カザフスタン | KZK/S 221/96 | 航空輸送事業総合開発計画 | M/P+F/S | 航空・空港 | 実施中 |
| 667 | アジア | カザフスタン | KZK/S 222/96 | 西カザフスタン道路網整備計画 | M/P+F/S | 道路 | 具体化進行中 |
| 668 | アジア | カザフスタン | KZK/A 223/97 | クジルオルダ地区灌漑施設水管理改善計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 669 | アジア | カザフスタン | KZK/S 219/99 | アルマティ市廃棄物管理計画調査 | M/P+F/S | 都市衛生 | 具体化準備中 |
| 670 | アジア | カザフスタン | KZK/S 501/99 | 南部地域国家基本地理情報データ緊急整備計画調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 671 | アジア | ウズベキスタン | UZB/S 223/96 | アラル海沿岸6都市給水計画調査 | M/P+F/S | 上水道 | 実施中 |
| 672 | アジア | ウズベキスタン | UZB/S 305/97 | 電気機関車修理工場建設計画調査 | F/S | 鉄道 | 具体化準備中 |
| 673 | アジア | ウズベキスタン | UZB/S 110/98 | 航空輸送改善総合開発計画調査 | M/P | 航空・空港 | 進行・活用 |
| 674 | アジア | ウズベキスタン | UZB/S 117/99 | 水道事業経営・料金政策改善計画調査 | M/P | 財政・金融 | 進行・活用 |
| 675 | 中近東 | アラブ首長国連邦 | ARE/A 401/80 | 水産増養殖センター建設計画 | D/D | 水産 | 実施済 |
| 676 | 中近東 | アラブ首長国連邦 | ARE/S 301/81 | 水資源開発計画 | F/S | 水資源開発 | 遅延・中断 |
| 677 | 中近東 | アラブ首長国連邦 | ARE/S 401/81 | アル・バセイラダム建設計画実施設計 | D/D | 水資源開発 | 遅延・中断 |
| 678 | 中近東 | アラブ首長国連邦 | ARE/A 103/96 | アルダイード地域農業地下水資源開発計画 | M/P | 農業土木 | 遅延 |
| 679 | 中近東 | アルジェリア | DZA/A 301/85 | フェツアラ湖周辺地域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 680 | 中近東 | アルジェリア | DZA/S 201B/92 | 主要港湾整備計画 | M/P+F/S | 運輸交通一般 | 遅延・中断 |
| 681 | 中近東 | エジプト | EGY/S 301/75 | スエズ運河拡張計画 | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 682 | 中近東 | エジプト | EGY/S 302/76 | カイロ大都市圏都市用水開発計画 | F/S | 上水道 | 実施済 |
| 683 | 中近東 | エジプト | EGY/S 101/79 | 南部地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 684 | 中近東 | エジプト | EGY/S 303/79 | エジプト国鉄カイロ～アレキサンドリア線電化 | F/S | 鉄道 | 中止・消滅 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|------|---------------|----------------------------------|---------|----------|--------|
| 685 | 中近東 | エジプト | EGY/S 304/80 | スエズ運河第2期拡張計画 | F/S | 港湾 | 中止・消滅 |
| 686 | 中近東 | エジプト | EGY/S 102/81 | スエズ運河庁に対する技術協力計画 | M/P | 海運・船舶 | 進行・活用 |
| 687 | 中近東 | エジプト | EGY/A 301/81 | 南部ホサイニア・バレイ農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 688 | 中近東 | エジプト | EGY/S 305/81 | アレキサンドリアPCMマイクロウェーブ回線網建設 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 689 | 中近東 | エジプト | EGY/A 302/82 | テンスオブラマダン地区農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 690 | 中近東 | エジプト | EGY/S 306/82 | カイロ アスワン アブシンベル・マイクロウェーブ通 網建設 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 691 | 中近東 | エジプト | EGY/A 303/83 | 食肉冷蔵供給開発計画 | F/S | 畜産加工 | 中止・消滅 |
| 692 | 中近東 | エジプト | EGY/A 304/84 | 北部ホサイニア及びポートサイド南部農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 693 | 中近東 | エジプト | EGY/A 305/84 | 南部ホサイニア・バレイ農業開発計画 Phase II | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 694 | 中近東 | エジプト | EGY/A 306/84 | ファユーム農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 695 | 中近東 | エジプト | EGY/S 307/84 | エル・アリッシュ市下水道整備計画 | F/S | 下水道 | 一部実施済 |
| 696 | 中近東 | エジプト | EGY/S 308/84 | シャルキア上水道整備計画 | F/S | 上水道 | 一部実施済 |
| 697 | 中近東 | エジプト | EGY/S 201B/85 | アレキサンドリア市都市廃棄物処理計画 | M/P+F/S | 都市衛生 | 実施済 |
| 698 | 中近東 | エジプト | EGY/S 309/85 | アレキサンドリア新国際空港建設計画 | F/S | 航空・空港 | 実施済 |
| 699 | 中近東 | エジプト | EGY/S 310/85 | スエズ運河航行安全計画 | F/S | 海運・船舶 | 一部実施済 |
| 700 | 中近東 | エジプト | EGY/S 203B/86 | スエズ湾臨海部開発計画 | M/P+F/S | 総合地域開発計画 | 一部実施済 |
| 701 | 中近東 | エジプト | EGY/S 311/86 | シックスオクトーバシティテレビセンター建設計画 | F/S | 放送 | 一部実施済 |
| 702 | 中近東 | エジプト | EGY/S 202B/88 | シャルキア州下水道整備計画 | M/P+F/S | 下水道 | 実施中 |
| 703 | 中近東 | エジプト | EGY/S 601/88 | スエズ湾臨海部開発計画アフターケア | その他 | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 704 | 中近東 | エジプト | EGY/S 103/89 | カイロ大都市圏都市交通計画 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 705 | 中近東 | エジプト | EGY/A 201B/89 | 北シナイ農村総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 706 | 中近東 | エジプト | EGY/A 307/92 | バハルヨセフ地区灌漑整備計画 | F/S | 農業土木 | 一部実施済 |
| 707 | 中近東 | エジプト | EGY/S 501/92 | シナイ半島地下水開発計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 708 | 中近東 | エジプト | EGY/S 109/93 | 全国自動車輸送システム開発計画 | M/P | 陸運 | 進行・活用 |
| 709 | 中近東 | エジプト | EGY/S 401/93 | スエズ湾臨海部開発計画調査 | D/D | 港湾 | 一部実施済 |
| 710 | 中近東 | エジプト | EGY/A 202/95 | オモウム地区農村地域排水改良計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 711 | 中近東 | エジプト | EGY/S 114/96 | 国鉄経営改善計画調査 | M/P | 鉄道 | 進行・活用 |
| 712 | 中近東 | エジプト | EGY/A 303/96 | 北東シナイ地区総合農業開発計画 | F/S | 農業土木 | 具体化進行中 |
| 713 | 中近東 | エジプト | EGY/S 310/96 | スエズ運河横断構造物計画調査 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 714 | 中近東 | エジプト | EGY/S 404/96 | スエズ運河架橋建設計画調査 | D/D | 道路 | 実施中 |
| 715 | 中近東 | エジプト | EGY/S 212/99 | 大アレキサンドリア港湾整備計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 遅延・中断 |
| 716 | 中近東 | エジプト | EGY/A 224/99 | 中央デルタ農村地域水環境改善計画調査 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 717 | 中近東 | イラン | IRN/A 101/86 | カスピ海沿岸地域農業開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 718 | 中近東 | イラン | IRN/A 301/93 | ハラーズ川流域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 719 | 中近東 | イラン | IRN/S 201/95 | 総合港湾整備計画 | M/P+F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 720 | 中近東 | イラン | IRN/S 104/97 | 大テヘラン圏大気汚染総合対策計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 721 | 中近東 | イラク | IRQ/A 301/79 | カハラ稲作農場計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 722 | 中近東 | イラク | IRQ/S 101/84 | 職業訓練センター設立計画 | M/P | 建築・住宅 | 中止・消滅 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|-----------|---------------|------------------------|---------|----------|--------|
| 723 | 中近東 | イラク | IRQ/S 102/87 | バグダッド都市交通改善計画 | M/P | 都市交通 | 中止・消滅 |
| 724 | 中近東 | ヨルダン | JOR/A 301/76 | ワディアラブダムかんがい計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 725 | 中近東 | ヨルダン | JOR/S 101/79 | 北部地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 726 | 中近東 | ヨルダン | JOR/S 301/82 | イルピット市環状道路計画 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 727 | 中近東 | ヨルダン | JOR/S 102/87 | カラク地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 728 | 中近東 | ヨルダン | JOR/S 501/87 | ムジブ水系水利用計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 729 | 中近東 | ヨルダン | JOR/S 502/89 | エル・ジャファル水系地下水開発計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 730 | 中近東 | ヨルダン | JOR/A 302/90 | カラク地域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 731 | 中近東 | ヨルダン | JOR/S 103/95 | 地下水淡水化計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 732 | 中近東 | ヨルダン | JOR/S 201/95 | アカバ港改善計画 | M/P+F/S | 港湾 | 実施中 |
| 733 | 中近東 | ヨルダン | JOR/S 202/95 | 観光開発計画 | M/P+F/S | 観光一般 | 具体化進行中 |
| 734 | 中近東 | ヨルダン | JOR/S 311/96 | ザルカ地区上水道施設改善計画調査 | F/S | 上水道 | 具体化準備中 |
| 735 | 中近東 | モロッコ | MAR/S 301/84 | ナドル新空港建設計画 | F/S | 航空・空港 | 遅延・中断 |
| 736 | 中近東 | モロッコ | MAR/A 301/86 | ウジュダ州地下水/農村開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 737 | 中近東 | モロッコ | MAR/S 302/87 | カサブランカ新高架交通システム建設計画 | F/S | 鉄道 | 具体化準備中 |
| 738 | 中近東 | モロッコ | MAR/S 201B/89 | レリス盆地ダム建設計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施中 |
| 739 | 中近東 | モロッコ | MAR/S 501/90 | 国土基本図作成 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 740 | 中近東 | モロッコ | MAR/A 101/92 | ウエルガ川流域農業開発計画 | M/P | 農業土木 | 進行・活用 |
| 741 | 中近東 | モロッコ | MAR/A 201/94 | 薪炭林計画調査 | M/P+F/S | 林業・森林保全 | 具体化準備中 |
| 742 | 中近東 | モロッコ | MAR/S 122/96 | ブレ・リフ地方飲料水供給計画調査 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 743 | 中近東 | モロッコ | MAR/S 105/97 | 全国廃棄物管理計画 | M/P | 都市衛生 | 進行・活用 |
| 744 | 中近東 | モロッコ | MAR/A 223/98 | 零細漁村振興計画調査 | M/P+F/S | 水産 | 実施中 |
| 745 | 中近東 | オマーン | OMN/A 301/82 | ワジ・ジジ農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 746 | 中近東 | オマーン | OMN/S 501/85 | バチナコスト地区水文観測計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 747 | 中近東 | オマーン | OMN/A 401/86 | ワジ・ジジ農業開発計画 | D/D | 農業土木 | 実施済 |
| 748 | 中近東 | オマーン | OMN/A 101/89 | ネジド地方農業開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 749 | 中近東 | オマーン | OMN/S 101/90 | 北部地域港湾整備計画 | M/P | 港湾 | 進行・活用 |
| 750 | 中近東 | オマーン | OMN/A 102/90 | 農業開発基本計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 751 | 中近東 | オマーン | OMN/S 301/94 | 道路施設整備計画 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 752 | 中近東 | オマーン | OMN/S 405/96 | 道路施設整備計画調査 | D/D | 道路 | 実施中 |
| 753 | 中近東 | オマーン | OMN/A 112/97 | ネジド地方農業開発計画フェーズII調査 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 754 | 中近東 | パレスチナ | PLE/S 211/97 | ハン・ユース市下水道整備計画調査 | M/P+F/S | 下水道 | 実施中 |
| 755 | 中近東 | カタール | QAT/S 301/86 | ドーハ市地下水排水対策 | F/S | 下水道 | 実施済 |
| 756 | 中近東 | サウディ・アラビア | AU/S 601/83 | 総合病院設立計画基本設計 | その他 | 建築・住宅 | 中止・消滅 |
| 757 | 中近東 | サウディ・アラビア | AU/S 602/83 | 国立がんセンター設立計画基本設計 | その他 | 建築・住宅 | 中止・消滅 |
| 758 | 中近東 | サウディ・アラビア | AU/S 107/99 | 北部紅海沿岸生物環境・生物インベントリー調査 | M/P | 環境問題 | 遅延 |
| 759 | 中近東 | サウディ・アラビア | AU/S 108/99 | アラビア湾環境モニタリング計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 760 | 中近東 | スーダン | SDN/S 301/77 | 道路建設計画 | F/S | 道路 | 実施済 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|------|----------|---------------|--------------------------|---------|---------|--------|
| 761 | 中近東 | スーダン | SDN/A 301/79 | アブ・ガサバ地区農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 762 | 中近東 | スーダン | SDN/S 302/89 | 新白ナイル橋建設計画 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 763 | 中近東 | スーダン | SDN/A 302/91 | フルガ・ヌルエルディンポンプ灌漑計画 | F/S | 農業土木 | 遅延・中断 |
| 764 | 中近東 | シリア | SYR/S 213/96 | 全国電気通信網計画調査 | M/P+F/S | 電気通信 | 実施中 |
| 765 | 中近東 | シリア | SYR/S 214/96 | 港湾開発計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 766 | 中近東 | シリア | SYR/S 224/97 | ダマスカス市給水システム改善拡充計画調査 | M/P+F/S | 上水道 | 一部実施済 |
| 767 | 中近東 | シリア | SYR/S 209/98 | 総合観光開発計画調査 | M/P+F/S | 観光一般 | 実施中 |
| 768 | 中近東 | シリア | SYR/S 213/99 | ダマスカス市都市交通計画調査 | M/P+F/S | 都市交通 | 具体化準備中 |
| 769 | 中近東 | シリア | SYR/S 307/99 | 北西部・中部水資源開発計画調査(フェーズ2) | F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 770 | 中近東 | チュニジア | TUN/S 501/87 | 地図作成事業 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 771 | 中近東 | チュニジア | TUN/S 301/90 | ラデス・グレート橋建設計画 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 772 | 中近東 | チュニジア | TUN/A 101/91 | メジウルダ川流域森林管理計画 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 773 | 中近東 | チュニジア | TUN/S 201/93 | 都市洪水対策計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 774 | 中近東 | チュニジア | TUN/S 502/93 | 中部地域国土基本図作成調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 775 | 中近東 | チュニジア | TUN/A 304/96 | 南部オアシス地域灌漑施設整備計画 | F/S | 農業土木 | 実施中 |
| 776 | 中近東 | トルコ | TUR/S 101/85 | アンカラ市大気汚染対策計画 | M/P | 環境問題 | 中止・消滅 |
| 777 | 中近東 | トルコ | TUR/A 301/89 | アダテベ灌漑開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 778 | 中近東 | トルコ | TUR/S 201B/90 | フィリオス港建設計画 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化進行中 |
| 779 | 中近東 | トルコ | TUR/S 211/93 | 高速道路維持管理・交通管理計画調査 | M/P+F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 780 | 中近東 | トルコ | TUR/A 504/93 | 水産資源調査 | 基礎調査 | 水産 | 進行・活用 |
| 781 | 中近東 | トルコ | TUR/S 301/94 | セイハン川洪水予警報システム計画調査 | F/S | 都市衛生 | 遅延・中断 |
| 782 | 中近東 | トルコ | TUR/A 201/96 | クチュクメンデレス川流域農業開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 783 | 中近東 | トルコ | TUR/S 215/96 | 国道橋梁の維持補修とリハビリ計画調査 | M/P+F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 784 | 中近東 | トルコ | TUR/S 210/97 | マルマラ海港湾開発計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 785 | 中近東 | トルコ | TUR/A 220/97 | 小規模灌漑および農村開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 786 | 中近東 | トルコ | TUR/S 305/98 | 幹線道路維持管理計画調査 | F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 787 | 中近東 | トルコ | TUR/S 214 /99 | アダナ・メルシン地域廃棄物管理計画調査 | M/P+F/S | 都市衛生 | 具体化準備中 |
| 788 | 中近東 | イエメン | YEM/A 101/80 | ハッジャ州農業総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 789 | 中近東 | イエメン | YEM/S 303/80 | 地方水道計画(パート2) | F/S | 上水道 | 実施済 |
| 790 | 中近東 | イエメン | YEM/S 301/81 | ホデイダ港第7バース建設計画 | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 791 | 中近東 | イエメン | YEM/S 302/84 | 地方電気通信網整備計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 792 | 中近東 | イエメン | YEM/S 101/88 | 都市交通計画 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 793 | 中近東 | イエメン | YEM/S 201B/89 | アデン市マアラ地区・タワヒ地区下水道施設改善計画 | M/P+F/S | 下水道 | 遅延・中断 |
| 794 | アフリカ | ブルキナ・ファソ | BFA/A 301/94 | ムウウン川上流域農業総合開発計画 | F/S | 農業土木 | 具体化準備中 |
| 795 | アフリカ | 中央アフリカ | CAF/S 215/99 | バンギ市地下水開発計画調査 | M/P+F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 796 | アフリカ | コンゴ民主共和国 | CGO/S 301/78 | マタディ橋梁建設計画 | F/S | 運輸交通一般 | 実施済 |
| 797 | アフリカ | コンゴ民主共和国 | CGO/S 101/86 | キンシャサ~バナナ間交通体系総合調査 | M/P | 運輸交通一般 | 進行・活用 |
| 798 | アフリカ | コンゴ民主共和国 | CGO/S 302/87 | キセンソ・キンバンセケ鉄道建設計画 | F/S | 鉄道 | 遅延・中断 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|------|----------|--------------|---------------------|---------|----------|--------|
| 799 | アフリカ | コンゴ民主共和国 | CGO/S 303/89 | キンシャサ市内東西幹線道路建設計画 | F/S | 道路 | 遅延・中断 |
| 800 | アフリカ | コートジボアール | CIV/A 301/91 | ブ川流域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 801 | アフリカ | コートジボアール | CIV/A 201/95 | ヌジ川流域農村総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 802 | アフリカ | コートジボアール | CIV/A 225/99 | サンベドロ平原農村開発計画調査 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 803 | アフリカ | コートジボアール | CIV/S 308/99 | アビジャン市西部下水道施設整備計画調査 | F/S | 下水道 | 遅延・中断 |
| 804 | アフリカ | コートジボアール | CIV/A 601/99 | ラビドゥ・グラ地域保全森林植林調査 | その他 | 林業・森林保全 | 遅延 |
| 805 | アフリカ | カメルーン | CMR/A 301/86 | バイゴム農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 806 | アフリカ | カーボ・ヴェルデ | PV/S 109/99 | サンチャゴ島地下水開発計画調査 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 807 | アフリカ | ジブティ | DJI/S 303/93 | ジブティ港オイルパス改修計画調査 | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 808 | アフリカ | エリトリア | ERT/S 211/98 | 地方都市地下水開発計画調査 | M/P+F/S | 水資源開発 | 遅延・中断 |
| 809 | アフリカ | エチオピア | ETH/S 501/85 | 生活用水供給(地下水開発)緊急計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 810 | アフリカ | エチオピア | ETH/S 301/95 | 11地方都市水供給・衛生改善計画 | F/S | 水資源開発 | 一部実施済 |
| 811 | アフリカ | エチオピア | ETH/A 301/95 | ベッチョ平原農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 812 | アフリカ | エチオピア | ETH/A 504/97 | 南西部地域森林保全計画調査 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 813 | アフリカ | エチオピア | ETH/S 210/98 | アディス・アベバ洪水制御計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 具体化準備中 |
| 814 | アフリカ | ガボン | GAB/A 601/79 | 水産資源沿岸調査 | その他 | 水産 | 中止・消滅 |
| 815 | アフリカ | ガーナ | GHA/A 301/76 | アクラ平原アベメ砂糖生産プロジェクト | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 816 | アフリカ | ガーナ | GHA/A 315/97 | 既存灌漑施設改修計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 817 | アフリカ | ガーナ | GHA/A 315/99 | 移行帯地域森林保全管理計画調査 | F/S | 林業・森林保全 | 具体化準備中 |
| 818 | アフリカ | ガーナ | GHA/S 502/99 | 南部地域国土基本図作成調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 819 | アフリカ | ギニア | GIN/A 301/80 | カンカン地区農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 820 | アフリカ | ギニア | GIN/S 301/81 | 船舶増強計画 | F/S | 海運・船舶 | 具体化準備中 |
| 821 | アフリカ | ギニア | GIN/S 501/82 | 地形図作成事業 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 822 | アフリカ | ケニア | KEN/S 301/81 | モンバサ地区給水増強計画 | F/S | 上水道 | 具体化準備中 |
| 823 | アフリカ | ケニア | KEN/A 301/81 | 穀物貯蔵倉庫建設計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 824 | アフリカ | ケニア | KEN/S 501/83 | 東部地区地図作成事業 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 825 | アフリカ | ケニア | KEN/S 101/84 | 全国総合交通計画 | M/P | 運輸交通一般 | 進行・活用 |
| 826 | アフリカ | ケニア | KEN/S 302/84 | キリフィ橋建設計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 827 | アフリカ | ケニア | KEN/S 303/84 | リコニククロッシング建設計画 | F/S | 道路 | 中止・消滅 |
| 828 | アフリカ | ケニア | KEN/S 102/87 | ヴィクトリア湖周辺地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 829 | アフリカ | ケニア | KEN/A 302/87 | ムエア地区灌漑開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 830 | アフリカ | ケニア | KEN/S 304/87 | ナイロビバイパス建設計画 | F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 831 | アフリカ | ケニア | KEN/S 305/90 | マレワダム建設計画 | F/S | 上水道 | 中止・消滅 |
| 832 | アフリカ | ケニア | KEN/S 502/90 | 南部地区国土基本図作成 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 833 | アフリカ | ケニア | KEN/A 303/91 | カノー平野かんがい開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 834 | アフリカ | ケニア | KEN/S 103/92 | 全国水資源開発計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 835 | アフリカ | ケニア | KEN/S 401/92 | ナイロビバイパス建設計画 | D/D | 道路 | 具体化準備中 |
| 836 | アフリカ | ケニア | KEN/S 304/93 | ナクル市下水道施設修復・拡張計画調査 | F/S | 下水道 | 実施済 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|------|--------|---------------|-----------------------------------|---------|---------|--------|
| 837 | アフリカ | ケニア | KEN/S 104/95 | 全国観光開発計画 | M/P | 観光一般 | 進行・活用 |
| 838 | アフリカ | ケニア | KEN/S 105/95 | 道路網整備マスタープラン調査 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 839 | アフリカ | ケニア | KEN/S 212/97 | メルー郡給水計画調査 | M/P+F/S | 上水道 | 具体化準備中 |
| 840 | アフリカ | ケニア | KEN/S 106/98 | 地域保健医療システム強化計画調査 | M/P | 保健・医療 | 進行・活用 |
| 841 | アフリカ | ケニア | KEN/S 212/98 | キスム市上下水道整備計画調査 | M/P+F/S | 公益事業一般 | 具体化準備中 |
| 842 | アフリカ | ケニア | KEN/S 213/98 | ナイロビ市廃棄物管理計画調査 | M/P+F/S | 都市衛生 | 具体化準備中 |
| 843 | アフリカ | ケニア | KEN/A 224/98 | ケニア山麓灌漑園芸開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 844 | アフリカ | ケニア | KEN/S 601/98 | 全国水資源開発計画アフターケア調査 | その他 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 845 | アフリカ | ケニア | KEN/S 110/99 | 西部地区地方道改善計画調査 | M/P | 道路 | 遅延 |
| 846 | アフリカ | リベリア | LBR/S 301/80 | バンガ コラフン メンディコマ 道路建設計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 847 | アフリカ | マダガスカル | MDG/S 301/78 | マイクロ回線建設計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 848 | アフリカ | マダガスカル | MDG/S 501/79 | 国道5号線改良計画 | 基礎調査 | 道路 | 中止・消滅 |
| 849 | アフリカ | マダガスカル | MDG/S 303/91 | 南西部地下水開発計画 | F/S | 上水道 | 実施済 |
| 850 | アフリカ | マダガスカル | MDG/S 201/94 | アンティラナナ港整備計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 851 | アフリカ | マダガスカル | MDG/S 216/96 | オニラヒ・モロンダヴァ地域地下水開発計画調査 (フェーズ2) | M/P+F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 852 | アフリカ | マダガスカル | MDG/S 503 /99 | 首都圏周辺地理情報システムデータベース作成調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 853 | アフリカ | マリ | MLI/A 301/81 | バギンダ地区農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 854 | アフリカ | マリ | MLI/S 501/82 | 地下水開発計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 855 | アフリカ | マリ | MLI/A 302/85 | バギンダ地区農業開発計画実施補完調査 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 856 | アフリカ | マリ | MLI/A 303/90 | カラ上流域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 857 | アフリカ | マリ | MLI/A 501/95 | ナラ地域農業開発計画 | 基礎調査 | 農業一般 | 進行・活用 |
| 858 | アフリカ | モザンビーク | MOZ/S 106/97 | ベイラ港航路維持改良計画調査 | M/P | 港湾 | 進行・活用 |
| 859 | アフリカ | モーリタニア | MRT/A 316/97 | セネガル川流域灌漑農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 860 | アフリカ | モーリタニア | MRT/S 307/98 | キファ市地下水開発計画調査 | F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 861 | アフリカ | モーリシャス | MUS/S 301/78 | 道路建設計画 | F/S | 道路 | 中止・消滅 |
| 862 | アフリカ | モーリシャス | MUS/S 401/80 | 道路建設計画(ポーバスサン~ポートルイス・リンクロ・ ト) | D/D | 道路 | 中止・消滅 |
| 863 | アフリカ | モーリシャス | MUS/S 302/89 | ポートルイス市水供給計画 | F/S | 上水道 | 具体化準備中 |
| 864 | アフリカ | モーリシャス | MUS/S 303/90 | ポートルイス市地すべり対策計画 | F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 865 | アフリカ | モーリシャス | MUS/S 402/91 | ポートルイス市水供給計画 | D/D | 上水道 | 具体化準備中 |
| 866 | アフリカ | マラウイ | MWI/A 301/94 | ブワンジェ・バレー灌漑農業開発計画 | F/S | 農業土木 | 一部実施済 |
| 867 | アフリカ | マラウイ | MWI/A 104/96 | コタコタ地域持続的資源管理計画 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 868 | アフリカ | マラウイ | MWI/S 306/98 | マンゴチ道路橋架替計画調査 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 869 | アフリカ | マラウイ | MWI/S 111/99 | プライマリーヘルスケア強化計画調査 | M/P | 保健・医療 | 進行・活用 |
| 870 | アフリカ | ニジェール | NER/S 601/77 | 輸送力整備増強計画 | その他 | 運輸交通一般 | 進行・活用 |
| 871 | アフリカ | ニジェール | NER/A 301/83 | クラニ・バリア灌漑農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 872 | アフリカ | ニジェール | NER/A 101/89 | ウアラム農村復興計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 873 | アフリカ | ニジェール | NER/A 302/89 | ウナ・クワンザ農業水利整備計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 874 | アフリカ | ニジェール | NER/S 501/95 | 南西部国土基本図作成(地形図) | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|------|---------|---------------|---------------------------|---------|----------|--------|
| 875 | アフリカ | ニジェール | NER/A 119/98 | ティラベリ県砂漠化防止計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 876 | アフリカ | ナイジェリア | NGA/A 301/77 | イモ州およびベンデル州農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 877 | アフリカ | ナイジェリア | NGA/S 101/81 | 新港建設計画 | M/P | 港湾 | 中止・消滅 |
| 878 | アフリカ | ナイジェリア | NGA/S 201B/90 | 北部地下水開発計画 | M/P+F/S | 水資源開発 | 一部実施済 |
| 879 | アフリカ | ナイジェリア | NGA/S 102/94 | 全国水資源総合開発計画調査 | M/P | 河川・砂防 | 遅延 |
| 880 | アフリカ | ルワンダ | RWA/S 101/85 | 東部生活用水開発計画 | M/P | 上水道 | 進行・活用 |
| 881 | アフリカ | ルワンダ | RWA/S 301/91 | 東部生活用水開発計画 (Phase 3) | F/S | 水資源開発 | 遅延・中断 |
| 882 | アフリカ | セネガル | SEN/S 501/78 | ファレム鉄道建設計画に関する写真図作成 | 基礎調査 | 鉄道 | 進行・活用 |
| 883 | アフリカ | セネガル | SEN/S 301/80 | 船舶増強計画 | F/S | 海運・船舶 | 中止・消滅 |
| 884 | アフリカ | セネガル | SEN/A 301/86 | 小規模農村開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 885 | アフリカ | セネガル | SEN/A 501/90 | 農業実証調査 | 基礎調査 | 農業一般 | 進行・活用 |
| 886 | アフリカ | セネガル | SEN/S 502/91 | 西部地域地形図作成 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 887 | アフリカ | セネガル | SEN/S 201/94 | ダカル市周辺地域地下水・排水施設整備計画調査 | M/P+F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 888 | アフリカ | セネガル | SEN/A 221/97 | 北部漁業地区振興計画調査 | M/P+F/S | 水産 | 具体化準備中 |
| 889 | アフリカ | シェラ・レオネ | LE/S 301/80 | 道路建設計画 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 890 | アフリカ | シェラ・レオネ | LE/A 301/83 | ロンベ沼沢地農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 遅延・中断 |
| 891 | アフリカ | スワジランド | SWZ/S 301/80 | 新国際空港建設計画 | F/S | 航空・空港 | 中止・消滅 |
| 892 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 101/76 | ナトロン湖天然ソーダ灰開発計画及び関連輸送施設調査 | M/P | 運輸交通一般 | 中止・消滅 |
| 893 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 102/77 | キリマンジャロ地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 894 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 301/77 | 南部沿岸道路建設計画 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 895 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 302/78 | 貨客船建造計画 | F/S | 海運・船舶 | 中止・消滅 |
| 896 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 103/80 | マハレ自然保護国立公園計画 | M/P | 観光一般 | 進行・活用 |
| 897 | アフリカ | タンザニア | TZA/A 301/80 | ローアモシ農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 898 | アフリカ | タンザニア | TZA/A 302/83 | ムコマジバレイ農業用水開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 899 | アフリカ | タンザニア | TZA/A 601/88 | キリマンジャロ林業開発計画 | その他 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 900 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 303/90 | ダルエスサラーム市道路整備計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 901 | アフリカ | タンザニア | TZA/A 303/90 | ハイロンボ農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 902 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 304/91 | ダルエスサラーム市給水施設整備計画 | F/S | 上水道 | 具体化進行中 |
| 903 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 104/94 | ルブ川水資源開発計画調査 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 904 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 201/94 | ダルエスサラーム市道路開発計画調査 | M/P+F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 905 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 501/94 | ムワンザ・ゲイタ地域国土基本図作成調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 906 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 305/95 | アルーシャ州モンドリ地区水資源開発計画調査 | F/S | 水資源開発 | 一部実施済 |
| 907 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 213/97 | ダルエスサラーム市廃棄物管理計画 | M/P+F/S | 都市衛生 | 具体化準備中 |
| 908 | アフリカ | タンザニア | TZA/A 222/97 | ワミ川中流域灌漑農業開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 909 | アフリカ | タンザニア | TZA/S 308/98 | 地下水開発計画調査 | F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 910 | アフリカ | タンザニア | TZA/A 311/98 | ローアモシ農業農村総合開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 911 | アフリカ | ウガンダ | UGA/S 101/94 | 電気通信網長期計画調査 | M/P | 電気通信 | 進行・活用 |
| 912 | アフリカ | ウガンダ | UGA/A 101/94 | 中部農業総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|------|---------|---------------|----------------------|---------|----------|-------|
| 913 | アフリカ | ウガンダ | UGA/S 312/96 | 地方地下水開発計画調査 | F/S | 水資源開発 | 一部実施済 |
| 914 | アフリカ | ウガンダ | UGA/S 302/97 | カンバラ主要道路改善計画調査 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 915 | アフリカ | ウガンダ | UGA/S 501/97 | ヴィクトリア湖北部地形図作成調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 916 | アフリカ | ザンビア | ZMB/S 301/81 | マイクロウェーブ回線網建設計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 917 | アフリカ | ザンビア | ZMB/S 302/85 | ルサカ国際空港整備計画 | F/S | 航空・空港 | 実施中 |
| 918 | アフリカ | ザンビア | ZMB/S 303/90 | カフエ川道路橋改築計画 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 919 | アフリカ | ザンビア | ZMB/S 101/91 | 主要河川水資源開発計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 920 | アフリカ | ザンビア | ZMB/A 501/92 | 農業実証調査 | 基礎調査 | 農業一般 | 進行・活用 |
| 921 | アフリカ | ザンビア | ZMB/S 110/93 | 全国通信網整備計画調査 | M/P | 電気通信 | 進行・活用 |
| 922 | アフリカ | ザンビア | ZMB/A 101/95 | 南西地域チーク林資源開発 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 923 | アフリカ | ザンビア | ZMB/S 102/95 | 全国水資源開発計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 924 | アフリカ | ザンビア | ZMB/A 201/95 | ザンベジ川流域モンク地域農村開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 925 | アフリカ | ジンバブエ | ZWE/S 601/80 | 国鉄電化計画 | その他 | 鉄道 | 進行・活用 |
| 926 | アフリカ | ジンバブエ | ZWE/S 101/83 | 村落給水計画 | M/P | 上水道 | 進行・活用 |
| 927 | アフリカ | ジンバブエ | ZWE/S 301/83 | インテルサット標準A地球局建設計画 | F/S | 電気通信 | 実施済 |
| 928 | アフリカ | ジンバブエ | ZWE/A 301/87 | マシゴ州中規模かんがい計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 929 | アフリカ | ジンバブエ | ZWE/A 302/90 | ニヤコンバ地方灌漑計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 930 | アフリカ | ジンバブエ | ZWE/S 302/92 | 地方電気通信網整備計画 | F/S | 通信・放送一般 | 一部実施済 |
| 931 | アフリカ | ジンバブエ | ZWE/A 101/95 | ムニャティ川下流域農業開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 932 | アフリカ | ジンバブエ | ZWE/S 217/96 | マニャメ川上流域水質汚濁対策計画調査 | M/P+F/S | 環境問題 | 実施中 |
| 933 | 中南米 | アルゼンティン | ARG/S 301/79 | ブンタ・メダノス深水港建設計画 | F/S | 港湾 | 中止・消滅 |
| 934 | 中南米 | アルゼンティン | ARG/S 101/86 | 経済開発調査 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 935 | 中南米 | アルゼンティン | ARG/S 302/86 | 国鉄車輛検修工場建設計画 | F/S | 鉄道 | 中止・消滅 |
| 936 | 中南米 | アルゼンティン | ARG/S 102/87 | メンドーサ州電気通信・放送網整備拡充計画 | M/P | 通信・放送一般 | 進行・活用 |
| 937 | 中南米 | アルゼンティン | ARG/A 101/88 | ヤシレタダム隣接地域農業総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 938 | 中南米 | アルゼンティン | ARG/S 501/94 | 北東部地形図作成調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 939 | 中南米 | アルゼンティン | ARG/A 102/95 | チャコ地域森林資源調査 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 940 | 中南米 | アルゼンティン | ARG/S 121/96 | 経済開発フェーズII | M/P | 開発計画一般 | 進行・活用 |
| 941 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 301/77 | ビルビル国際空港計画 | F/S | 航空・空港 | 実施済 |
| 942 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 501/78 | チャバレー地区地図作成事業 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 943 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/A 501/79 | チャバレー地区土地利用図作成 | 基礎調査 | 農業一般 | 進行・活用 |
| 944 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 302/82 | 国鉄復旧計画 | F/S | 鉄道 | 実施済 |
| 945 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 303/82 | 電気通信網整備拡充計画 | F/S | 電気通信 | 中止・消滅 |
| 946 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 201B/87 | エル・アルト空港近代化計画 | M/P+F/S | 航空・空港 | 一部実施済 |
| 947 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 304/87 | サンボルハ～トリニダ道路改良 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 948 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 305/87 | ラバス市エル・アルト地区地下水開発計画 | F/S | 上水道 | 実施済 |
| 949 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 401/88 | サンボルハ～トリニダ道路改良 | D/D | 道路 | 一部実施済 |
| 950 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/A 301/90 | サンタアナ農業農村開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|-----|-----|-------|---------------|----------------------|---------|----------|--------|
| 951 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 306/90 | サンタバルバラ・ベジャピスタ道路改良計画 | F/S | 道路 | 具体化進行中 |
| 952 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 101/91 | 鉄道網整備計画 | M/P | 鉄道 | 進行・活用 |
| 953 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/A 101/91 | 森林資源管理計画 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 954 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 212/93 | ラパス市水質汚濁対策計画調査 | M/P+F/S | 環境問題 | 具体化準備中 |
| 955 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/A 102/95 | サンタクルス県農産物流通システム改善計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 956 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 307/95 | オルロ・コチャバンバ間鉄道改善計画 | F/S | 鉄道 | 具体化準備中 |
| 957 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 502/95 | ラ・パスーベニ県地形図作成(地形図) | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 958 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 601/95 | サンボルハ〜トリニダ間道路環境影響調査 | その他 | 道路 | 進行・活用 |
| 959 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 117/96 | サンタクルス北部地域洪水対策計画調査 | M/P | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 960 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 218/96 | 地方地下水開発計画調査 | M/P+F/S | 水資源開発 | 一部実施済 |
| 961 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/A 317/97 | ラパス県アチャカチ地区・農村農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化進行中 |
| 962 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/S 309/99 | サンタクルス北部地域洪水対策計画調査 | F/S | 河川・砂防 | 具体化準備中 |
| 963 | 中南米 | ボリヴィア | BOL/A 316/99 | サンタクルス県農産物流通改善計画調査 | F/S | 農産加工 | 遅延・中断 |
| 964 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 101/75 | 鉄道新線建設計画 | M/P | 鉄道 | 進行・活用 |
| 965 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 301/77 | ブライアモーレ港建設計画 | F/S | 港湾 | 中止・消滅 |
| 966 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 102/79 | 三州開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 967 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 103/80 | 消防訓練センター建設計画 | M/P | 建築・住宅 | 進行・活用 |
| 968 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 104/85 | 大カラジャス地域総合開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 969 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 201B/87 | イタジャイ河流域治水計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 970 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 302/89 | イタジャイ河下流域治水計画 | F/S | 河川・砂防 | 具体化進行中 |
| 971 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 202B/90 | クバトン地域海岸山脈災害防止復旧計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施中 |
| 972 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 105/91 | ベレン市都市交通計画 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 973 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 101/93 | グアナバラ湾水質汚濁防止計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 974 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 306/94 | バルナイバ川水系船舶航路整備計画調査 | F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 975 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 106/95 | パラナ州水資源利用計画 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 976 | 中南米 | ブラジル | BRA/A 120/98 | トカンチンス州農牧総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 977 | 中南米 | ブラジル | BRA/A 502/98 | アマゾン河口水産資源調査 | 基礎調査 | 水産 | 進行・活用 |
| 978 | 中南米 | ブラジル | BRA/S 216/99 | セルジッペ州水資源開発計画調査 | M/P+F/S | 水資源開発 | 具体化準備中 |
| 979 | 中南米 | チリ | CHL/S 101/83 | 国鉄近代化計画 | M/P | 鉄道 | 進行・活用 |
| 980 | 中南米 | チリ | CHL/S 102/86 | バルパライソ港・サンアントニオ港整備計画 | M/P | 港湾 | 進行・活用 |
| 981 | 中南米 | チリ | CHL/A 301/86 | マポーチョ川流域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 982 | 中南米 | チリ | CHL/A 302/88 | トロロ・パンバ地下水農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 983 | 中南米 | チリ | CHL/S 103/92 | 全国橋梁補修整備計画 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 984 | 中南米 | チリ | CHL/A 501/92 | 森林資源管理計画 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 985 | 中南米 | チリ | CHL/S 201/94 | 北部地域水資源開発計画調査 | M/P+F/S | 水資源開発 | 一部実施済 |
| 986 | 中南米 | チリ | CHL/S 301/94 | 新ピオピオ橋建設計画調査 | F/S | 道路 | 実施済 |
| 987 | 中南米 | チリ | CHL/S 104/95 | サンチャゴ首都圏産業廃棄物管理計画 | M/P | 都市衛生 | 進行・活用 |
| 988 | 中南米 | チリ | CHL/S 107/98 | 全国橋梁補修整備計画調査フェーズ2 | M/P | 道路 | 進行・活用 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|------|-----|---------|---------------|----------------------------|---------|-----------|--------|
| 989 | 中南米 | チリ | CHL/A 226/99 | 環境配慮型首都近郊農業開発調査 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 990 | 中南米 | コロンビア | COL/S 101/81 | シモンボリパール公園造成計画 | M/P | 都市計画・土地造成 | 進行・活用 |
| 991 | 中南米 | コロンビア | COL/A 501/81 | 水産資源調査 | 基礎調査 | 水産 | 進行・活用 |
| 992 | 中南米 | コロンビア | COL/S 301/82 | ベナベンツラ - ボゴタ間道路計画 | F/S | 道路 | 中止・消滅 |
| 993 | 中南米 | コロンビア | COL/S 102/84 | バランキージャ総合都市交通計画 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 994 | 中南米 | コロンビア | COL/A 301/84 | パンプロニータ川流域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 995 | 中南米 | コロンビア | COL/A 302/86 | 傾斜地小規模かんがい計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 996 | 中南米 | コロンビア | COL/S 302/87 | バランキージャ市中心地区再開発計画 | F/S | 都市計画・土地造成 | 実施中 |
| 997 | 中南米 | コロンビア | COL/A 101/88 | キンディオ盆地農業総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 998 | 中南米 | コロンビア | COL/A 303/89 | アリアリ川農業総合開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化進行中 |
| 999 | 中南米 | コロンビア | COL/S 103/91 | ボゴタ市大気汚染対策計画 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 1000 | 中南米 | コロンビア | COL/A 304/91 | キンディオ川流域農業総合開発計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 1001 | 中南米 | コロンビア | COL/S 104/92 | カルタヘナ市都市交通計画 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 1002 | 中南米 | コロンビア | COL/A 502/92 | 林業資源 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 遅延 |
| 1003 | 中南米 | コロンビア | COL/S 118/96 | ボゴタ市都市交通計画調査 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 1004 | 中南米 | コロンビア | COL/S 310/99 | ボゴタ市高速道路・バスレーン網建設計画調査 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 1005 | 中南米 | コスタ・リカ | CRI/S 101/77 | 太平洋岸新港背後地域開発計画 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 1006 | 中南米 | コスタ・リカ | CRI/S 301/81 | カルデラ港建設計画 | F/S | 港湾 | 中止・消滅 |
| 1007 | 中南米 | コスタ・リカ | CRI/S 302/86 | カルデラ港維持整備計画 | F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 1008 | 中南米 | コスタ・リカ | CRI/A 201B/88 | リモン地区農業総合開発計画 | M/P+F/S | 農業一般 | 遅延・中断 |
| 1009 | 中南米 | コスタ・リカ | CRI/A 501/88 | 太平洋沿岸水産資源調査 | 基礎調査 | 水産 | 進行・活用 |
| 1010 | 中南米 | コスタ・リカ | CRI/S 501/91 | サンホセ首都圏都市基本図作成 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 1011 | 中南米 | コスタ・リカ | CRI/S 201B/92 | 国際空港整備計画 | M/P+F/S | 航空・空港 | 一部実施済 |
| 1012 | 中南米 | ドミニカ共和国 | DOM/A 301/81 | アグリボ(エルボソ)地域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 1013 | 中南米 | ドミニカ共和国 | DOM/S 301/85 | ラジオ・テレビ放送網拡充計画 | F/S | 放送 | 実施済 |
| 1014 | 中南米 | ドミニカ共和国 | DOM/A 302/86 | アグアカテ・グアジャボ地域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 1015 | 中南米 | ドミニカ共和国 | DOM/S 201B/87 | サンベドロデマコリス港開発計画 | M/P+F/S | 港湾 | 中止・消滅 |
| 1016 | 中南米 | ドミニカ共和国 | DOM/A 303/90 | コンスタンサ地域畑地灌漑計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 1017 | 中南米 | ドミニカ共和国 | DOM/S 501/92 | 西部地下水開発計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 1018 | 中南米 | ドミニカ共和国 | DOM/A 304/95 | リモン・デル・ジュナ地域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 1019 | 中南米 | ドミニカ共和国 | DOM/A 227/99 | ジャケデルスール川流域農業開発計画調査 | M/P+F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 1020 | 中南米 | エクアドル | ECU/A 301/82 | コスタ地区カタラマ川流域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 1021 | 中南米 | エクアドル | ECU/S 201B/86 | グアヤキル市都市交通計画調査 | M/P+F/S | 都市交通 | 中止・消滅 |
| 1022 | 中南米 | エクアドル | ECU/A 501/88 | 北東部林業資源調査 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 1023 | 中南米 | エクアドル | ECU/A 302/91 | マナビ州零細漁港建設計画 | F/S | 水産 | 具体化準備中 |
| 1024 | 中南米 | エクアドル | ECU/S 303/92 | チョネ・ポルトヴィエホ川流域水資源開発計画 | F/S | 水資源開発 | 実施中 |
| 1025 | 中南米 | エクアドル | ECU/A 304/94 | ツムバピロ灌漑計画 | F/S | 農業土木 | 遅延・中断 |
| 1026 | 中南米 | エクアドル | ECU/S 401/94 | チョネ・ポルトヴィエホ川流域導水計画調査(実施設計) | D/D | 水資源開発 | 実施中 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|------|-----|--------|---------------|---------------------------|---------|----------|--------|
| 1027 | 中南米 | エクアドル | ECU/S 202/95 | グアヤキル港マスタープラン策定計画 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 1028 | 中南米 | グレナダ | GRD/S 303/97 | 道路整備計画調査 | F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 1029 | 中南米 | グアテマラ | GTM/S 201B/84 | 治水計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 具体化準備中 |
| 1030 | 中南米 | グアテマラ | GTM/S 501/86 | グアテマラ市地下水開発計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 1031 | 中南米 | グアテマラ | GTM/S 301/88 | サント・トマス港開発計画 | F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 1032 | 中南米 | グアテマラ | GTM/A 301/88 | モンハスカンがい計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 1033 | 中南米 | グアテマラ | GTM/S 302/89 | 国際空港整備計画 | F/S | 航空・空港 | 一部実施済 |
| 1034 | 中南米 | グアテマラ | GTM/S 101/91 | 首都圏交通網整備計画 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 1035 | 中南米 | グアテマラ | GTM/S 202B/91 | 首都圏生活廃棄物処理計画 | M/P+F/S | 都市衛生 | 一部実施済 |
| 1036 | 中南米 | グアテマラ | GTM/A 101/92 | フティアパ県農牧業・農村総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 1037 | 中南米 | グアテマラ | GTM/S 203/95 | 中部高原地下水開発計画 | M/P+F/S | 水資源開発 | 一部実施済 |
| 1038 | 中南米 | グアテマラ | GTM/A 106/96 | バハ・ヴェルバス県森林管理計画 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 1039 | 中南米 | グアテマラ | GTM/S 219/96 | グアテマラ首都圏下水道整備計画調査 | M/P+F/S | 下水道 | 具体化準備中 |
| 1040 | 中南米 | グアテマラ | GTM/S 313/96 | 首都圏交通網整備計画調査 | F/S | 都市交通 | 実施中 |
| 1041 | 中南米 | ホンデュラス | HND/A 301/78 | チョルテカ川流域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 1042 | 中南米 | ホンデュラス | HND/S 301/79 | デグシガルバ新空港建設計画 | F/S | 航空・空港 | 中止・消滅 |
| 1043 | 中南米 | ホンデュラス | HND/A 501/83 | ラ・モスキチア地区林業資源調査 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 1044 | 中南米 | ホンデュラス | HND/A 502/83 | 水産資源調査 | 基礎調査 | 水産 | 進行・活用 |
| 1045 | 中南米 | ホンデュラス | HND/A 302/84 | チョルテカ川流域農業開発計画補完調査 | F/S | 農業一般 | 遅延・中断 |
| 1046 | 中南米 | ホンデュラス | HND/A 303/85 | アグアン川流域農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 1047 | 中南米 | ホンデュラス | HND/S 501/89 | コマヤグア県地下水開発計画 | 基礎調査 | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 1048 | 中南米 | ホンデュラス | HND/A 304/90 | コヨラルダム灌漑復旧計画 | F/S | 農業土木 | 実施済 |
| 1049 | 中南米 | ホンデュラス | HND/S 102/92 | 地方電気通信網整備計画 | M/P | 電気通信 | 中止・消滅 |
| 1050 | 中南米 | ホンデュラス | HND/S 213/93 | チャメレコン川支流治水・砂防計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 1051 | 中南米 | ホンデュラス | HND/S 214/93 | 港湾改善計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 1052 | 中南米 | ホンデュラス | HND/A 305/94 | インティプカ県ヘス・デ・オトリ盆地灌漑農業開発計画 | F/S | 農業土木 | 具体化準備中 |
| 1053 | 中南米 | ホンデュラス | HND/S 119/96 | テグシガルバ市都市交通網整備計画調査 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 1054 | 中南米 | ホンデュラス | HND/S 123/96 | 全国保健医療総合改善計画調査 | M/P | その他 | 進行・活用 |
| 1055 | 中南米 | ホンデュラス | HND/A 501/96 | テウパセンティ地域森林資源管理計画 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 1056 | 中南米 | ホンデュラス | HND/A 113/97 | 北部沿岸小規模漁業振興計画調査 | M/P | 水産 | 進行・活用 |
| 1057 | 中南米 | ジャマイカ | JAM/A 301/85 | ブラックリバーローアマラス農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 1058 | 中南米 | ジャマイカ | JAM/A 302/87 | リオ・コブレ農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 1059 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 601/77 | メキシコ市内通勤鉄道建設計画 | その他 | 鉄道 | 中止・消滅 |
| 1060 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 602/79 | 近郊鉄道計画(アフターケア) | その他 | 鉄道 | 進行・活用 |
| 1061 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 603/81 | 幹線鉄道電化計画 | その他 | 鉄道 | 進行・活用 |
| 1062 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 604/82 | 臨海工業地帯建設にかかる技術協力計画 | その他 | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 1063 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 301/83 | グアナファト州高速鉄道開発計画 | F/S | 鉄道 | 中止・消滅 |
| 1064 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 302/83 | トクスパン工業港開発計画 | F/S | 港湾 | 中止・消滅 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|------|-----|-------|---------------|----------------------|---------|---------|--------|
| 1065 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 303/85 | マンサニージョ港開発計画 | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 1066 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 304/87 | ラサロカルデナス港修繕ドック整備計画 | F/S | 海運・船舶 | 中止・消滅 |
| 1067 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 605/88 | メキシコ市大気汚染対策 | その他 | 環境問題 | 進行・活用 |
| 1068 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 305/90 | 太平洋港湾整備計画 | F/S | 港湾 | 実施済 |
| 1069 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 306/94 | メキシコ連邦区下水処理計画調査 | F/S | 下水道 | 具体化進行中 |
| 1070 | 中南米 | メキシコ | MEX/A 101/95 | ハリスコ州海岸地域農牧業農村総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 1071 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 120/96 | 観光促進投資戦略策定のための調査 | M/P | 観光一般 | 進行・活用 |
| 1072 | 中南米 | メキシコ | MEX/A 225/98 | オアハカ村落林業振興計画調査 | M/P+F/S | 林業・森林保全 | 具体化準備中 |
| 1073 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 112/99 | 沿岸部水質環境モニタリング計画調査 | M/P | 環境問題 | 遅延 |
| 1074 | 中南米 | メキシコ | MEX/A 118/99 | ソコムスコ地域農牧業農村総合開発計画調査 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 1075 | 中南米 | メキシコ | MEX/S 217/99 | メキシコシティ廃棄物対策計画調査 | M/P+F/S | 都市衛生 | 具体化準備中 |
| 1076 | 中南米 | ニカラグア | NIC/S 306/93 | マナグア市下水道整備計画調査 | F/S | 水資源開発 | 一部実施済 |
| 1077 | 中南米 | ニカラグア | NIC/S 201/94 | ニカラグア道路網整備計画調査 | M/P+F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 1078 | 中南米 | ニカラグア | NIC/S 202/95 | マナグア市廃棄物処理計画 | M/P+F/S | 都市衛生 | 実施中 |
| 1079 | 中南米 | ニカラグア | NIC/S 215/97 | 地方主要都市衛生環境整備計画 | M/P+F/S | 公益事業一般 | 具体化準備中 |
| 1080 | 中南米 | ニカラグア | NIC/S 108/98 | 首都交通網整備計画調査 | M/P | 道路 | 進行・活用 |
| 1081 | 中南米 | パナマ | PAN/S 501/81 | カリブ海沿岸地区地図作成事業 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 1082 | 中南米 | パナマ | PAN/A 501/83 | 大西洋岸漁業資源調査 | 基礎調査 | 水産 | 進行・活用 |
| 1083 | 中南米 | パナマ | PAN/S 301/84 | 短波放送施設建設計画 | F/S | 放送 | 中止・消滅 |
| 1084 | 中南米 | パナマ | PAN/S 302/84 | パナマ首都圏都市交通計画 | F/S | 都市交通 | 一部実施済 |
| 1085 | 中南米 | パナマ | PAN/A 502/84 | 林業資源調査 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 1086 | 中南米 | パナマ | PAN/S 303/87 | パナマ市南部回廊建設計画 | F/S | 都市交通 | 実施中 |
| 1087 | 中南米 | パナマ | PAN/S 215/93 | クリストバル港管理運営システム計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 一部実施済 |
| 1088 | 中南米 | パナマ | PAN/S 307/93 | パナマ運河代替案調査 | F/S | 海運・船舶 | 具体化準備中 |
| 1089 | 中南米 | パナマ | PAN/S 308/93 | パナマ・コロン間高速道路計画調査 | F/S | 道路 | 一部実施済 |
| 1090 | 中南米 | パナマ | PAN/S 201/95 | 沿岸域観光開発計画 | M/P+F/S | 観光一般 | 実施中 |
| 1091 | 中南米 | パナマ | PAN/S 216/97 | バルボア港開発計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 実施中 |
| 1092 | 中南米 | ペルー | PER/A 301/77 | 中部漁業総合基地建設計画 | F/S | 水産 | 具体化準備中 |
| 1093 | 中南米 | ペルー | PER/S 201B/83 | カジャオ港整備計画 | M/P+F/S | 港湾 | 実施中 |
| 1094 | 中南米 | ペルー | PER/A 302/84 | チャンカイ・ワラル谷かんがい復旧計画 | F/S | 農業一般 | 一部実施済 |
| 1095 | 中南米 | ペルー | PER/S 202B/86 | リマ国際空港整備計画 | M/P+F/S | 航空・空港 | 一部実施済 |
| 1096 | 中南米 | ペルー | PER/S 501/86 | フニン県サティボ地区地形図作成事業 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 1097 | 中南米 | ペルー | PER/S 101/87 | リマック川防災対策計画 | M/P | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 1098 | 中南米 | ペルー | PER/S 301/89 | リマ市南部下水道整備計画 | F/S | 下水道 | 実施中 |
| 1099 | 中南米 | ペルー | PER/A 201B/90 | 沿岸漁港開発計画 | M/P+F/S | 水産 | 具体化準備中 |
| 1100 | 中南米 | ペルー | PER/S 502/92 | リマ首都圏都市基本図作成 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 1101 | 中南米 | ペルー | PER/S 218/99 | チチカカ湖ブノ湾総合汚染対策計画調査 | M/P+F/S | 環境問題 | 具体化進行中 |
| 1102 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 601/76 | ラ・コルメナ道路アフターケア | その他 | 道路 | 進行・活用 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|------|-------|-------------|---------------|-------------------------------------|---------|---------|--------|
| 1103 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 301/78 | 船舶増強計画 | F/S | 海運・船舶 | 実施済 |
| 1104 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 302/79 | ストロエスネル新空港建設計画/東部国際空港建設計画(1989.8から) | F/S | 航空・空港 | 実施済 |
| 1105 | 中南米 | パラグアイ | PRY/A 301/82 | イボア湖北西部農業開発計画 | F/S | 農業一般 | 中止・消滅 |
| 1106 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 201B/83 | 電気通信拡充計画(電気通信・放送拡充計画のF/S) | M/P+F/S | 通信・放送一般 | 実施済 |
| 1107 | 中南米 | パラグアイ | PRY/A 501/83 | 北東部林業資源調査 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 1108 | 中南米 | パラグアイ | PRY/A 101/84 | ヤシレタダム隣接地域農業総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 1109 | 中南米 | パラグアイ | PRY/A 302/84 | カビバリ地区森林造成計画 | F/S | 林業・森林保全 | 実施済 |
| 1110 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 101/86 | アスンシオン首都圏都市交通整備計画 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 1111 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 202B/86 | アスンシオン市雨水排水施設整備計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 一部実施済 |
| 1112 | 中南米 | パラグアイ | PRY/A 102/87 | イタブア県中部地域主要穀物増産計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 1113 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 303/88 | アスンシオン首都圏都市交通施設整備計画 | F/S | 都市交通 | 一部実施済 |
| 1114 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 102/89 | イバカライ湖流域水質汚濁対策計画 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 1115 | 中南米 | パラグアイ | PRY/A 303/89 | ラ・コルメナ地区農村総合整備計画 | F/S | 農業一般 | 実施済 |
| 1116 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 103/91 | 総合交通計画 | M/P | 運輸交通一般 | 進行・活用 |
| 1117 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 216/93 | 教育テレビ放送網整備計画調査 | M/P+F/S | 放送 | 具体化準備中 |
| 1118 | 中南米 | パラグアイ | PRY/A 103/94 | ローアチャコ地域農牧業総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 1119 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 203/94 | アスンシオン首都圏廃棄物処理総合計画調査 | M/P+F/S | 都市衛生 | 一部実施済 |
| 1120 | 中南米 | パラグアイ | PRY/A 107/96 | 小規模農業強化計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 1121 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 314/96 | 東部中央地域幹線道路整備計画調査 | F/S | 道路 | 実施中 |
| 1122 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 113/99 | アスンシオン首都圏都市交通整備計画アフターケア調査 | M/P | 都市交通 | 進行・活用 |
| 1123 | 中南米 | パラグアイ | PRY/S 311/99 | 国道2号・7号改良計画調査 | F/S | 道路 | 具体化準備中 |
| 1124 | 中南米 | エル・サルヴァドル | SLV/A 105/96 | ヒボア川流域農業総合開発計画 | M/P | 農業一般 | 進行・活用 |
| 1125 | 中南米 | エル・サルヴァドル | SLV/S 214/97 | グランデサンミゲル川流域治水及び水資源開発計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 具体化準備中 |
| 1126 | 中南米 | エル・サルヴァドル | SLV/S 214/98 | ラ・ウニオン県港湾再活性化計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 1127 | 中南米 | トリニダード・トゴ | TRN/S 201B/91 | 水管理計画 | M/P+F/S | 上水道 | 遅延・中断 |
| 1128 | 中南米 | ウルグアイ | URY/A 101/87 | 造林・木材利用計画 | M/P | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 1129 | 中南米 | ウルグアイ | URY/S 301/89 | カラスコ国際空港整備計画 | F/S | 航空・空港 | 中止・消滅 |
| 1130 | 中南米 | ウルグアイ | URY/A 301/90 | 国家造林5ヶ年計画 | F/S | 林業・森林保全 | 実施済 |
| 1131 | 中南米 | ウルグアイ | URY/S 302/92 | モンテビデオ港新ターミナル開発計画 | F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 1132 | 中南米 | ヴェネズエラ・リヴァル | VEN/S 101/80 | 港湾技術訓練センター建設計画 | M/P | 港湾 | 中止・消滅 |
| 1133 | 中南米 | ヴェネズエラ・リヴァル | VEN/S 201B/89 | チャマ川流域防災計画 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 実施済 |
| 1134 | 中南米 | ヴェネズエラ・リヴァル | VEN/S 111/93 | アブレ川河川改修計画調査 | M/P | 河川・砂防 | 進行・活用 |
| 1135 | 中南米 | ヴェネズエラ・リヴァル | VEN/S 217/97 | ツイ川上・中流域環境改善計画調査 | M/P+F/S | 環境問題 | 具体化準備中 |
| 1136 | オセアニア | クック諸島 | COK/S 201B/92 | 海岸保全・改良計画 | M/P+F/S | 開発計画一般 | 具体化準備中 |
| 1137 | オセアニア | クック諸島 | COK/S 202/94 | 海岸保全・改良計画調査(補完調査) | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 1138 | オセアニア | フィジー諸島共和国 | FJI/A 501/78 | 林業開発(TAVEUNI島コナッツ林解析調査) | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 1139 | オセアニア | フィジー諸島共和国 | FJI/A 502/82 | 林業資源調査 | 基礎調査 | 林業・森林保全 | 進行・活用 |
| 1140 | オセアニア | フィジー諸島共和国 | FJI/A 503/87 | 水産資源調査 | 基礎調査 | 水産 | 進行・活用 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|------|-------|---------------|---------------|-----------------------|---------|----------|--------|
| 1141 | オセアニア | フィジー諸島共和国 | FJI/S 201/95 | ヴィティ・レブ島北部地下水開発計画 | M/P+F/S | 水資源開発 | 遅延・中断 |
| 1142 | オセアニア | フィジー諸島共和国 | FJI/S 215/98 | 河川流域管理及び洪水制御計画調査 | M/P+F/S | 河川・砂防 | 具体化準備中 |
| 1143 | オセアニア | フィジー諸島共和国 | FJI/S 503/98 | 北部ラウ諸島海域海図作成調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 1144 | オセアニア | キリバス | KIR/A 501/78 | 水産資源調査 | 基礎調査 | 水産 | 進行・活用 |
| 1145 | オセアニア | キリバス | KIR/S 201/94 | 港湾開発計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 実施中 |
| 1146 | オセアニア | バブア・ニューギニア | PNG/A 301/77 | 漁業基地建設計画 | F/S | 水産 | 中止・消滅 |
| 1147 | オセアニア | バブア・ニューギニア | PNG/S 301/89 | 地方電話網整備計画 | F/S | 電気通信 | 中止・消滅 |
| 1148 | オセアニア | バブア・ニューギニア | PNG/S 401/89 | 横断道路建設計画(ベレイナ・マララウア間) | D/D | 道路 | 実施済 |
| 1149 | オセアニア | バブア・ニューギニア | PNG/S 302/91 | トクア空港整備計画 | F/S | 航空・空港 | 実施済 |
| 1150 | オセアニア | バブア・ニューギニア | PNG/S 217/93 | ポートモレスビー市上水道整備計画調査 | M/P+F/S | 上水道 | 一部実施済 |
| 1151 | オセアニア | バブア・ニューギニア | PNG/S 216/98 | ポートモレスビー市下水道整備計画調査 | M/P+F/S | 下水道 | 具体化準備中 |
| 1152 | オセアニア | ソロモン諸島 | SLB/S 301/79 | 国内電気通信幹線網建設計画 | F/S | 電気通信 | 中止・消滅 |
| 1153 | オセアニア | ソロモン諸島 | SLB/S 302/91 | ヘンダーソン国際空港整備計画 | F/S | 航空・空港 | 一部実施済 |
| 1154 | オセアニア | ソロモン諸島 | SLB/A 201/94 | 全国水産物流通網改善計画 | M/P+F/S | 水産 | 一部実施済 |
| 1155 | オセアニア | サモア | SMA/S 201B/87 | 全国港湾整備総合計画 | M/P+F/S | 港湾 | 実施済 |
| 1156 | オセアニア | サモア | SMA/S 217/98 | アピア港改修計画調査 | M/P+F/S | 港湾 | 具体化準備中 |
| 1157 | ヨーロッパ | アルバニア | ALB/S 304/97 | ティラナ首都圏下水道整備計画調査 | F/S | 下水道 | 具体化準備中 |
| 1158 | ヨーロッパ | ブルガリア | BGR/S 201/94 | ソフィア市廃棄物処理計画調査 | M/P+F/S | 都市衛生 | 実施中 |
| 1159 | ヨーロッパ | ブルガリア | BGR/S 107/97 | 国鉄・経営改善計画調査 | M/P | 鉄道 | 進行・活用 |
| 1160 | ヨーロッパ | ブルガリア | BGR/A 318/97 | 農業改善計画 | F/S | 農業一般 | 具体化準備中 |
| 1161 | ヨーロッパ | ブルガリア | BGR/S 218/98 | マリツァ川流域環境保全対策計画調査 | M/P+F/S | 環境問題 | 具体化進行中 |
| 1162 | ヨーロッパ | ボスニア・ヘルツェゴヴィナ | BHG/S 312/99 | サラエヴォ市下水道整備計画調査 | F/S | 下水道 | 遅延・中断 |
| 1163 | ヨーロッパ | ギリシャ | GRC/S 601/89 | 観光振興計画 | その他 | 観光一般 | 進行・活用 |
| 1164 | ヨーロッパ | ハンガリー | HUN/S 218/93 | ブダペスト市都市廃棄物処理計画調査 | M/P+F/S | 都市衛生 | 遅延・中断 |
| 1165 | ヨーロッパ | ハンガリー | HUN/S 101/94 | シャヨバレー地域大気汚染対策計画 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 1166 | ヨーロッパ | マケドニア | MKD/S 114/99 | 大気汚染モニタリング計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |
| 1167 | ヨーロッパ | マケドニア | MKD/S 115/99 | 全国総合水資源開発・管理計画調査 | M/P | 水資源開発 | 進行・活用 |
| 1168 | ヨーロッパ | ポーランド | POL/S 101/92 | 総合交通計画 | M/P | 運輸交通一般 | 進行・活用 |
| 1169 | ヨーロッパ | ポーランド | POL/S 219/93 | ポズナニ市廃棄物処理計画調査 | M/P+F/S | 都市衛生 | 遅延・中断 |
| 1170 | ヨーロッパ | ポーランド | POL/S 108/97 | 国鉄民営化支援計画調査 | M/P | 鉄道 | 進行・活用 |
| 1171 | ヨーロッパ | ポーランド | POL/S 115/98 | ポーランド・コニン県地域総合開発計画調査 | M/P | 総合地域開発計画 | 進行・活用 |
| 1172 | ヨーロッパ | ルーマニア | ROM/S 201/95 | ブカレスト市廃棄物処理計画 | M/P+F/S | 都市衛生 | 具体化準備中 |
| 1173 | ヨーロッパ | ルーマニア | ROM/A 301/95 | ブランチェア県北東部地域灌漑整備計画 | F/S | 農業一般 | 実施中 |
| 1174 | ヨーロッパ | ルーマニア | ROM/S 111/98 | ブラホバ川流域水環境管理計画調査 | M/P | 環境問題 | 遅延 |
| 1175 | ヨーロッパ | ルーマニア | ROM/S 220/99 | ブカレスト都市圏総合都市交通計画調査 | M/P+F/S | 都市交通 | 遅延・中断 |
| 1176 | ヨーロッパ | ルーマニア | ROM/S 313/99 | ドナウ川下流域下水処理施設計画調査 | F/S | 下水道 | 具体化準備中 |
| 1177 | ヨーロッパ | ルーマニア | ROM/A 317/99 | 南部森林保全計画調査 | F/S | 林業・森林保全 | 具体化準備中 |
| 1178 | ヨーロッパ | スロヴァキア | SVK/S 116/99 | フロン川流域地域環境管理計画調査 | M/P | 環境問題 | 進行・活用 |

案件一覧

| No. | 地域 | 国名 | 案件番号 | 調査名 | 調査種類 | 分野(小分類) | 現況 |
|------|-------|-------|--------------|---------------------------|------|---------|--------|
| 1179 | ヨーロッパ | リトアニア | LTU/S 309/98 | ビルザイ市・スクオダス市下水道施設改善計画調査 | F/S | 下水道 | 具体化準備中 |
| 1180 | 複数国 | 複数国 | PLU/S 101/77 | 電子航行援助システム等設置計画 | M/P | 海運・船舶 | 進行・活用 |
| 1181 | 複数国 | 複数国 | PLU/S 501/78 | タイ・マレーシア・シンガポール海底ケーブル建設計画 | 基礎調査 | 電気通信 | 進行・活用 |
| 1182 | 複数国 | 複数国 | PLU/S 502/78 | マラッカ海峡ワンファザムバンク区域水路調査 | 基礎調査 | 海運・船舶 | 進行・活用 |
| 1183 | 複数国 | 複数国 | PLU/S 301/79 | インドシナ難民センター建設計画 | F/S | 建築・住宅 | 中止・消滅 |
| 1184 | 複数国 | 複数国 | PLU/S 503/82 | マラッカ・シンガポール海峡統一基準点海図作成 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |
| 1185 | 複数国 | 複数国 | PLU/S 504/84 | メダン・コロンボ海底ケーブル建設計画 | 基礎調査 | 電気通信 | 進行・活用 |
| 1186 | 複数国 | 複数国 | PLU/S 306/97 | ザンベジ川チルド橋建設計画調査 | F/S | 道路 | 具体化進行中 |
| 1187 | 複数国 | 複数国 | PLU/S 504/98 | マラッカ・シンガポール海峡再水路調査 | 基礎調査 | 測量・地図 | 進行・活用 |

II. 個別案件要約表 [全 1187 件]

案件要約表 (M/P)

ASE SGP/S 101/78

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|------------------------|--------------|-----------|--------------|---------|
| 1. 国名 | シンガポール | | | | |
| 2. 調査名 | 浅瀬浚渫計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 港湾 | 4. 分類番号 | 202055 | 5. 調査の種類 | M/P |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 運輸省港湾局 | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 浅瀬除去のための技術的検討と工事費積算 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1978年7月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (財)国際臨海開発研究センター (OCDI) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 員数 |
| | | | | | 調査期間 |
| | | | | | 延べ人月 |
| | | | | 国内 | |
| | | | | 現地 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 124,172 (千円) | コンサルタント経費 | 113,950 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | |
|--|--|--------|-----|----|---|
| 1. サイト又はエリア | シンガポール海峡 | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=US\$2.16 | 1) | 24,937 | 内貨分 | 1) | 0 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | | | | |
| 3. 主な提案プロジェクト | <p>シンガポール海峡にある4カ所の浅瀬を除去するための事業計画である。現地における深浅測量、音波調査、ボーリング、潜水観察調査等の結果に基づき次の提案がなされている。</p> <p>工法 グラブ式浚渫船による</p> <p>浚渫土量 4;浅瀬合計 484,000m³ (面積 165,000m²)</p> <p>月間揚土量 7m³グラブの場合 合計約38,500m³</p> <p>13m³グラブの場合 合計約39,900m³</p> | | | | |
| 4. 条件又は開発効果 | <p>【開発効果】</p> <p>本プロジェクトを実施することにより超大型船のシンガポール海峡通過が可能となり、日本及び極東・東南アジア地域へ、より低価格の石油及び原材料等のバルク貨物を供給することが可能となる。</p> | | | | |
| 5. 技術移転 | | | | | |

調査結果の活用の現状

| | | |
|----------------------------|----------------------------------|--------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | 浚渫は、シンガポール海峡での航行分離政策との関連で必要とされた。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 提案事業実現。 |
| 状況 1992年 浚渫工事完工 | | |

案件要約表 (F/S)

ASE SGP/S 301/86

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|-----|--|-------------|-----------|---|-----|
| 1. 国名 | | シンガポール | | | | |
| 2. 調査名 | | セントサ衛星地球局補修計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | | 通信・放送 / 電気通信 | 4. 分類番号 | 204030 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | シンガポール通信公社 Telecommunication Authority of Singapore | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | | インテルサットインド洋向けセントサI地球局の補修計画の策定 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | | 1985年2月 | | | | |
| 9. コンサルタント | | (財) 海外通信・放送コンサルティング協力 (JTEC) | | 10. 調査団 | 10. 調査団 10.1 団員数 4 10.2 調査期間 1986.3 ~ 1986.7 (4ヶ月) 10.3 延べ人月 国内 5.40 現地 2.24 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | | 総額 | 26,641 (千円) | コンサルタント経費 | 18,662 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | |
|------------------------------------|--|---|--------------------|----------|----------|---------|------|
| 1. サイト又はエリア | | シンガポール、セントサ島 | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | | 1) 770 | 内貨分 1) 0 | 外貨分 1) 0 | 2) 2,160 | 2) 0 | 2) 0 |
| | | 3) 0 | 3) 0 | 3) 0 | 4) 0 | 4) 0 | 4) 0 |
| | | 4) 0 | 4) 0 | 4) 0 | | | |
| 3. 主な事業内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・アンテナ機構部：部分補修（5年）、全面補修（10年） ・アンテナ電気駆動制御部：デバイス置換（5年）、取換（10年） ・高電力送信部：追加（10年） <p>上記予算の1)は5年延長、2)は10年延長</p> | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | | 計画事業期間 | 1) 1985.8 ~ 1986.1 | 2) ~ | 3) ~ | 4) ~ | |
| | | EIRR | 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | |
| | | FIRR | 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・本件は、円借款により建設したセントサ地球局に補修工事を加えて、設計寿命を超えて運用することの技術的可能性と経済的妥当性を調査 ・寿命延長を約5年と約10年とする条件を与え、それぞれの可能性と妥当性を検討 <p>IRRIは評価せず。</p> | | | | | |
| 5. 技術移転 | | インテルサット地球局の設計寿命近辺における精密な技術診断書を提供 | | | | | |

・ 案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 既存のアンテナが旧式で補修・拡張不能。 インテルサットのアンテナの技術基準の変更。 | |
| 3. 主な情報源 | Telecommunication Authority of Singapore | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 中止・消滅案件のため。 |

状況

中止理由：
アンテナが、ヨークタワー方式の旧式のため、増設等に対する柔軟性が無い。
調査完了時インテルサットのアンテナ技術基準が変更になった。

案件要約表 (F/S)

ASE SGP/S 302/88

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|---|--|-----------|--------------|--|
| 1. 国名 | シンガポール | | | | |
| 2. 調査名 | 都市交通改善計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 都市交通 | 4. 分類番号 | 202070 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 国家開発省公共事業局 Public Works Department, | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 新交通システム導入に係る計画技術、運営面の可能性の検討 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1987年4月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)アルメック (株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 10. 調査団 11. 調査期間 1987.8 ~ 1988.11 (15ヶ月) 12. 延べ人員 53.23 国内 8.70 現地 44.53 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 路線測量 模型、ビデオ、スライド作成 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 221,263 (千円) | コンサルタント経費 | 195,078 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---------|-----|------|----|---------------|----|------|----|---|----|---|----|---|------------------------------------|---|------|----|------|----|------|----|------|--|------|----|------|----|------|----|------|
| 1. サイト又はエリア | ニュータウン2カ所 (アンモキオ、シンパン)、オーチャード - セントサ島ルート、オーチャード - マリナセンタールート、アンモキオ - マリンパレードルート の5路線 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 700,000 | 内貨分 | 1) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 外貨分 | 1) | 0 | 2) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>シンガポールにおけるフィーダー交通サービス改善に際し、代表的な対象5路線について新交通システムの導入を前提にフィーダー交通システム改善計画を策定し、技術面、経済面、財務面、環境面からプレフィージビリティを検討した。このうち、アンモキオニュータウンのシステムについては、詳細なフィージビリティの検討を行った。プロジェクトの内容は次の通り。</p> <p>路線計画と駅位置の選定 インフラ部 (構造物、駅、ヤード) の計画と概略設計 システムの選定と運行計画</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">計画事業期間</td> <td>1)</td> <td>~</td> <td>2)</td> <td>~</td> <td>3)</td> <td>~</td> <td>4)</td> <td>~</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果</td> <td>有</td> <td>EIRR</td> <td>1)</td> <td>0.00</td> <td>2)</td> <td>0.00</td> <td>3)</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td></td> <td>FIRR</td> <td>1)</td> <td>0.00</td> <td>2)</td> <td>0.00</td> <td>3)</td> <td>0.00</td> </tr> </table> | | | | | | 計画事業期間 | 1) | ~ | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| 計画事業期間 | 1) | ~ | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>[条件] 幹線システムとのスムーズな接続</p> <p>[開発効果] 環境改善効果 (大気汚染、騒音) 交通安全の向上 利用者の時間短縮 駅周辺の都市開発促進</p> <p>技術的、経済的にはフィージブル、財務的には政府が基礎整備を補助すればフィージブル。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新交通システムの適用に関する諸技術の理解が深まった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|---|---|-----------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現況 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> |
| <p>2. 主な理由</p> | <p>シンバンニュータウン開発中(平成10年度在外事務所調査)。</p> | |
| <p>3. 主な情報源</p> | <p>、</p> | |
| <p>4. フォロ-アップ調査終了年度及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>年度</p> |
| <p>状況</p> <p>(1) セントサ路線 セントサ開発公社、PWDが強い関心を示し、セントサ島と本島までの一部区間が国際入札準備中</p> <p>(2) シンバンニュータウン HDB(住宅開発局)が提案を受けてニュータウンとの一体的開発を行うべく計画を具体化中 (平成10年度在外事務所調査) ニュータウンの開発は完了していない。</p> <p>(3) アンモキオ - マリンバレード路線 政府の計画路線として正式に組み込まれた。</p> <p>(4) アンモキオ路線、オーチャード - マリナセンター路線 (平成10年度国内調査) 代替ルートが考慮されている。</p> <p>次段階調査: アンモキオ - マリンバレード路線の一部について評価調査済(自己資金)</p> <p>(平成元年度国内調査) 1) アンモキオ路線は、既存ニュータウンへの導入であり、アンモキオ・ニュータウンに優先的に新交通システムを建設する政治的・社会的同意が得られない。他の既存ニュータウンへの導入計画が同時に必要となる。 2) オーチャード - マリナセンター路線は、既に高度に開発の進んだ地区であり、実施には更に詳細な計画と関係者の調整が必要である。</p> <p>経緯: (平成2年度国内調査) 1990年2月 調査成果をもとにセミナー開催。政府関係者を中心に約300名が参加し、新交通システム導入についての認識が深められた。</p> <p>(平成3年度在外事務所調査) LRT(Light Rail Systems)という発想については、一般的に理解され、都市交通の概念計画(Concept Plan)に組み込まれた。</p> <p>(平成5年度在外事務所調査) 本調査の提案事業について直ちに実施する計画はないが、本調査によりシンガポールの交通網におけるLRTの役割が認識され、LRTは21世紀に向けての長期交通計画に組み込まれている。</p> <p>(平成6年度国内調査) 1989年に開通したMRT(都市鉄道)の利用が定着し、フィーダーサービスの充実が一層望まれる。1993年度に新交通システムのF/Sが開発調査案件として要請されたが採択に至らなかった。</p> <p>(平成7年度国内調査)(平成7年度在外事務所調査) 1995年1月~5月にかけて、Cho chukan 及びBuena Vistaの2地区に対し新交通システム(LRTの建設)のターンキーベースによる国際入札が行われ、現在上位落札者と交渉中。 1995年9月、政府は陸上交通担当のLand Transport Authority(LTA)を設立した。</p> <p>(平成8年度国内調査) Bukit Panjang地区(Choa Chu Kangニュータウンを含む一帯)についてABBダイムラーベンツ(米ウェスティングハウス)グループが落札し現在実施契約ネゴ進行中。Buena Vista地区については、フィージビリティが低いと判断され中止。</p> <p>裨益効果: (平成9年度国内調査) Choa Chu Kangニュータウン住民のアクセス利便性の向上 MRTへの利用者増大 道路交通減少による環境改善</p> <p>周辺環境への影響: (平成9年度国内調査) 都市景観の向上 沿線住民への騒音 道路交通減による大気汚染、騒音、事故の減少</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE SGP/S 303/90

作成 1992年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|------------------------|-------------------------|-----------|--------------|---------|
| 1. 国名 | シンガポール | | | | |
| 2. 調査名 | カラン・バヤレバ高速道路計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 道路 | 4. 分類番号 | 202020 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 国家開発省 (MND)、公共事業局 (PWD) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 3 高速道路路線の経済的、技術的な実現可能性 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1989年10月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)オリエンタルコンサルタンツ | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 員数 |
| | | | | | 調査期間 |
| | | | | | 延べ人月 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 166,663 (千円) | コンサルタント経費 | 152,700 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | |
|---|--|-----------------|-----|------|---------|-------|----|-------|
| 1. サイト又はエリア | シンガポール国中央部および北東部 | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 487,000 | 内貨分 | 1) | 487,000 | 外貨分 | 1) | 0 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |
| | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | PIE (バインアイランド高速道路 延長8.65km) の改良 KLE (カラン高速道路 延長2.8km) の新設 PYE (バヤレバ高速道路 延長9.2km) の新設 | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1990.1 ~ 2009.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 6.00 | 2) | 60.00 | 3) | 79.50 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| 【条件】 PIEについては現状6車線を8車線へ改良 KLEとPYEについては6車線の新設 【開発効果】 総旅行時間の短縮 総走行費用の節約 事故率および環境影響の軽減 PIE (バインアイランド高速道路) の改良及びKLE (カラン高速道路) とPYE (バヤレバ高速道路) の新設は、技術、社会、経済、国民経済のいずれの側面からみても実行可能性が高く、これらのプロジェクトの実施は国家開発に大いに貢献する。 | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | 代替案の評価手法 問題点の明確化と解決策の提案 | | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | PIEの改良、KLEの新設工事については事業化済、PYEの新設工事については政府資金にて実施予定である。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度及びその理由 | 終了年度理由 | 年度 |

状況

シンガポール国では、高レベルのインフラサービス提供を指向しており、そのため高速道路の緊急な整備は不可決と考えられている。

予定工程

PIE PIE / ウーズヒルIC - PIE / CTE IC 1994年完成
PIE / CTE西 - PIE / BKE IC 1995年完成
KLE KLE / ECP IC - KLE / PIE IC 2005年完成
PYE PYE / PIE IC - PYE / TPE IC 2006年完成

プロジェクト費用(単位: 百万\$)

| 項目 | PIE | KLE | PYE |
|----------|------|-----|-----|
| 建設費 | 84.4 | 400 | 800 |
| 用地補償費 | 0 | 160 | 50 |
| 予備費(10%) | 8.4 | 56 | 85 |
| 合計 | 92.8 | 616 | 935 |

(1) PIE

次段階調査:

(平成3年度在外事務所調査)

1990-93年一部区間でD/Dを実施

資金調達:

96.3百万\$ (シンガポール政府資金)

工事:

1992年4月 着工

1994年7月までに完工。総工費79百万\$。交通需要の増大に対処する政策の実現に貢献している。

(2) KLE

資金調達:

332.8百万\$ (シンガポール政府資金) (カラン高速道路)

工事:

(平成10年度在外事務所調査) (平成11年度在外事務所調査)

2001-2005年

2000年半に入札実施予定

(3) PYE

資金調達:

(平成11年度在外事務所調査)

1996年7月承認 12.7億\$ (シンガポール政府資金)

パヤレバ高速道路: 高速道路建設(トンネル、高架橋等)

管理・運営:

L.T.A.(Land Transport Authority)

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 301/76

作成 1988年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--|-----------------------------------|-----------|--------------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 鉄道橋梁改良計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 鉄道 | 4. 分類番号 | 202040 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | タイ国鉄 State Railway of Thailand | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 補修または架換えを必要とする既設鋼橋214橋について設計施工面から調査を行うタイ国鉄改良計画の基本計画策定のための技術的調査 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1975年10月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (社) 海外鉄道技術協力協会 (JARTS) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | 団員数 | 17 |
| | | | | 調査期間 | 1976.1 ~ 1976.11 (10ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 87.27 |
| | | | | 国内 | 66.60 |
| | | | | 現地 | 20.67 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 106,843 (千円) | コンサルタント経費 | 108,230 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|--------|-----|----|-------|-----|----|-------|
| 1. サイト又はエリア | タイ国鉄幹線 南線 1,159km 110橋 北線 751km 22橋 東北線 1,205km 45橋 東線 255km 27橋 | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 16,683 | 内貨分 | 1) | 8,656 | 外貨分 | 1) | 8,027 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |

3. 主な事業内容

タイ国鉄の営業路線内の鋼橋は1976年の終りには、1,397橋(2,853スパン)に達する。これらの中、214スパン(169橋)は1972年イギリスのUKRASの調査で改良が必要であると勧告された。タイ国政府はESCAPを通じて、214スパンの改良計画、すなわち鋼橋の補修、補強又は架換えにかかわる調査の協力を日本政府に要請した。この調査は現地調査の結果にもとづいて、214スパンの鋼橋の耐荷力を判定し、補修及び補強の標準的な設計と方法を示し、架け換える橋の構造とその施工方法の概要を示し、また、橋梁改良工事に関する工事費の積算を行うものである。提案：214連のうち197連を補修、補強17連を新橋に架け換える。

* 計画事業期間は5ヶ年

| | | | | | | | | |
|------------------------|----|-----------------|----|------|----|------|----|------|
| 計画事業期間 | 1) | 1977.1 ~ 1981.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 | | EIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| 条件又は開発効果 | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |

【条件】

列車の運行に対し、危険度の高い橋の改良工事を優先する。
 工事中列車の運行支障は可能な限り少なくする。
 現在の交通量をもとに、改良による便役が多いと推定される線区を優先する。
 工事は5ヶ年間で実施すると仮定する。
 木橋の架換え工事と関連づけて計画する。
 鋼材は輸入によるが、補修、補強のための部材の加工はタイ国内の工場で行う。
 架換えのための新橋は外国で製作し、輸入する。
 積算基準日は1976年4月とし、5ヶ年にわたり一律に年10%の物価上昇を見込んだ。
 初めの1~2年間、技術及び経済両面に関するアドバイザーを若干名受け入れることが有益と考えられる。

【開発効果】

これらの橋梁が報告書の提案による方法によって改良されれば十分な耐荷力を回復し、タイ国鉄道の運行計画も大いに改善される。

5. 技術移転

カウンターパートとの共同調査
 研修員受け入れ：鉄橋補強技術5名

案件の現状

| | | |
|---|---|-----------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現状 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> |
| <p>2. 主な理由</p> | <p>大部分の橋梁完工済(平成9年度在外事務所調査)。</p> | |
| <p>3. 主な情報源</p> | <p>、</p> | |
| <p>4. フォロ-アップ調査終了年度及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>年度</p> |
| <p>状況</p> <p>(1)本線(東線を除く) 次段階調査: タイ国鉄土木技術部 資金調達: タイ国鉄予算(国内銀行からの融資を含む)総工費3.5億バーツ 工事: 1978年度~2006年度 1979年以来、調査結果に基づき、すでに主要幹線上の104橋が改良され、このうち17橋がコンクリート橋に架け換えられている。さらに37橋が1987~91年の予算の中で工事中あるいは施工予定である。現在閉鎖されている支線を除き、残る25橋も1992年以降に工事予定である。 (平成7年度現地調査) 鋼橋214スパンの設計は、JICA Plan以上のDL-16標準荷重(JICA PlanはDL-15)で行い、そのほとんどについて補強・架け替えが完成済み。</p> <p>(平成9年度在外事務所調査) 169橋梁のうち1997年末までに135橋梁完工。 2006年までには残りの34橋梁を以下の通り完工させる予定である。 1999年 3橋梁 2000年 7橋梁 2001年 6橋梁 2002~2006年 18橋梁</p> <p>(2)東線 (平成3年度在外事務所調査) 東北線の鉄道輸送量は現在少ないため、東部線の橋梁補強は未定。 (平成6年度国内調査) Khlung Sip Kao駅まで、新しいIPC橋を建設することにより、路線増強が行われた。その目的は、近い将来開発予定のKhlung Sip Kao - Kaeng Khoi間の新線と適合するよう、軌道水準を向上させるためである。当線区の鋼橋の改良は、TDRIIによる東部線軌道回廊調査の結果に依存することになる。さらに、支線上の一部の鋼橋の強化計画は、予算の制約により変更の必要がある。また、必要な場合には、その工事は、軌道復興計画の中で統合される。</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 301/77

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|-----------------------------------|--|-----------|------------------------|-----|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | チャオピヤ川西岸地区かんがい農業開発計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省農地改革事務所 Agricultural Land Reform Office, Ministry of Agriculture and Cooperative | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | チャオピヤ川下流の保全地区における灌漑農業開発のための計画立案調査 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ | 10. 調査団 | 団員数 | 10 | |
| | | | 調査期間 | 1976.10 ~ 1977.7 (9ヶ月) | |
| | | | 延べ人月 | 0.00 | |
| | | | 国内 現地 | 0.00 0.00 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 86,198 (千円) | コンサルタント経費 | 80,831 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | | |
|--|---|------------------|-----|-------|--------|------|----|--------|----|------|
| 1. サイト又はエリア | タイ中央部アユタヤ県チャオピヤ川西岸地区 (面積12,300ha、人口12,280人) | | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) (US\$1=B 20) | 1) | 36,200 | 内貨分 | 1) | 17,640 | 外貨分 | 1) | 18,560 | | |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | |
| | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | 灌漑面積 : 10,542ha 輸水堤 : 114.5km 用排兼用ポンプ場 : 3カ所 主用水路 / 2・3次水路 : 36km / 432km 主排水路 / 2・3次水路 : 30km / 494km 主道路 / 農道 : 177km / 404km 村落給水 : 4カ所 予算は1985年価格ベース | | | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | 1977.10 ~ 1983.9 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | |
| | 有 | EIRR | 1) | 16.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | [前提条件] 集約的灌漑農業展示のため、約500haのパイロットファーム 十分な水管理のもとで、水稲(HYV)の二期作栽培 農業技術普及および訓練センターの設置 維持管理・農協などの農民組織の樹立 農村環境整備を含む村落開発計画の実施 [開発効果] 土地利用の高度化、作物収量の増加、農家所得の向上、洪水被害の軽減、生活水準の向上。 | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | OJT 研修員受け入れ : 6名 | | | | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 1990年工事完工。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 実施済案件のため。 |

状況

次段階調査：

1979年6月14日 L/A 1.5億円 (チャオピア灌漑農業開発 E/S)
1979年6月～1982年2月 詳細設計 (株式会社三祐コンサルタンツ)

資金調達：

1982年7月16日 L/A 26.5億円 (チャオピア灌漑計画)
建設機械 / 20.2億円、コンサルトサービス / 3.9億円、予備費 / 2.4億円

*融資事業内容

洪水防衛：輪中堤防建設
灌漑排水：主要灌水路、ポンプ場及び導電線建設
圃場整備：未圃場における用排水路及び農道建設
道路：既存道路改修及び道路網・橋建設

工事：

1982年6月 工事開始
1988年7月 円借款期限満了。ALROが工事継続。
1990年 工事完了

案件要約表 (D/D)

ASE THA/S 401/77

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|-----------------------|--|-----------|--------------|-------|-----------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | バンコク市内線路網実施設計 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 通信・放送 / 電気通信 | 4. 分類番号 | 204030 | 5. 調査の種類 | D/D | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | タイ電話公社 Telephone Organization of Thailand (TOT) | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 電話中継線網および局の市内電話網の実施設計 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1977年2月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本情報通信コンサルティング (株) | | | 10. 調査団 | 13 | |
| | | | | | 調査期間 | 1977.5 ~ 1978.2 (9ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 0.00 |
| | | | | | 国内 | 29.73 |
| | | | | 現地 | 70.77 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 260,588 (千円) | コンサルタント経費 | 251,129 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---------|---------|---------|---------|----|----|--|--|--|----------|--------------------|--|--|--|
| 1. サイト又はエリア | バンコク首都圏の5電話局 (スクンビット、ナムオンワン、インタマラ、パカノン、クロンチャン) | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 0 | 内貨分 1) | 0 | 外貨分 1) | 0 | | | | | | | | | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | | | | | | | | | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | | | | | | | | | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">内容</td> <td>規模</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>局間中継線の新設</td> <td>250,000 Pair-km 増設</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> | | | | | 内容 | 規模 | | | | 局間中継線の新設 | 250,000 Pair-km 増設 | | | |
| 内容 | 規模 | | | | | | | | | | | | | | |
| 局間中継線の新設 | 250,000 Pair-km 増設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) ~ | 2) ~ | 3) ~ | 4) ~ | | | | | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | EIRR | 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | | | | | | | | | | |
| | FIRR | 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | | | | | | | | | | |
| <p>背景として本設計は、タイ国第4次経済開発計画に沿って計画された全国の電話網拡充計画の一部 (パッケージI/フェーズ1) の実施設計である。</p> <p>〔開発効果〕 バンコク首都圏の加入希望者の積滞解消。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | 実施設計作業に多数のカウンターパート技術者が参加。 | | | | | | | | | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 首都圏内の電話滞りの解消を図ることが急務であったため。 円借款により事業完工。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォローアップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 実施済案件のため。 |

状況

資金調達：

1978年7月 L/A 14.64億円 (EGAT通信網拡充事業)

* OECF融資事業内容

UHF多重無線装置の取替及びリート延長

電力線搬送装置 (PLC) の新設、増設

VHF通信装置の取替、新設、増設

線路故障点標器 (LFL) の新設

データ伝送装置の増設

(融資対象は、上記事業の機器代金)

事業実施済

* タイ電話公社 (TOT) が推進している「第3次電話網拡充計画 (1977~84)」の柱の一つであるバンコク首都圏電話網拡充計画にそって当調査が実施されることとなった。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 302/78

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|---------------------------------|--------------|-----------|--------------|------|--------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | パタヤ地区基盤整備計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 観光 / 観光一般 | 4. 分類番号 | 602010 | 5. 調査の種類 | F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 観光局 | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 観光基盤整備計画 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1976年11月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)ハシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | 10. 調査団 | 12 | |
| | (株)テトラ | | | | 調査期間 | 1976.12 ~ 1977.12 (12ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 118.13 |
| | | | | | 国内 | 88.73 |
| | | | 現地 | 29.40 | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 335,524 (千円) | コンサルタント経費 | 206,380 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | |
|---|--|-----------------|--------|---------|--------|---------|------|
| 1. サイト又はエリア | パタヤ、コーラン島 | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=20バーツ | 1) | 368,000 | 内貨分 1) | 193,000 | 外貨分 1) | 175,000 | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | |
| | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>内容</p> <p>インフラストラクチャー 上下水 雨小排水 ゴミ処理 道路、電力、通信 港湾</p> | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1977.1 ~ 1996.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 無 | EIRR 1) | 26.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | | FIRR 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| <p>観光事業に対する公共投資がおくれ、民間による観光開発が進められたため、無計画な開発が続けられ適切な観光資源の利用が行われていない。これを計画的に適切、有効に利用し観光事業の発展を図ることを目的とする。</p> | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | 研修員受け入れ：6名 | | | | | | |

・ 案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 別計画に組み込まれた(平成3年度在外事務所調査)。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 中止・消滅案件のため。 |

状況

中止要因:

(平成3年度在外事務所調査)

1979年タイ政府(国家経済社会開発庁)はOECSFローンを申請したが、却下された。地方・都市計画局の新たな開発計画・詳細臨終計に添って、地方担当事務所が設立された。その後JICA調査「バタヤ地区総合開発計画」に組み込まれた。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 303/78

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|----------------------------------|---|-----------|-------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 首都圏周辺市街地区水道拡張計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 公益事業 / 上水道 | 4. 分類番号 | 201020 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 首都圏水道公社 Metropolitan Water Works Authority | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 水道計画 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1977年1月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株) ハシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | 10. 調査団 | 14 |
| | | | | 調査期間 | 1977.5 ~ 1978.7 (14ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 24.30 |
| | | | | 国内 | 7.20 |
| | | | | 現地 | 17.10 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 143,869 (千円) | コンサルタント経費 | 44,780 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|--|---|-----------------|--------|------|--------|------|
| 1. サイト又はエリア | バンコク首都圏 | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 73,121 | 内貨分 1) | 0 | 外貨分 1) | 0 |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 |
| | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>1. 対象区域：バンコク市をとりまく 9 Amphoes 及び関連の住宅、工場地 168km² プロジェクト名 Separate System (タイは Central System)</p> <p>2. 目標年次：2000年 (給水開始予定 1982年)</p> <p>3. 給水人口：715,731人 (2000年)</p> <p>4. 計画給水：249,550m³/日 (日最大)</p> <p>5. 水源：Nong Khaem を除く 8 Amphoes と Bang Chan については井戸、その他はすべて Central System からの分水とする。</p> <p>6. 配水池：Central System から分水する Tha Phra、Pak Bo 及び Sam Rog の 3カ所</p> <p>7. 地下水：深井戸 33本 (口径：200~300mm、深度 200~350m) 井戸の配置は相互に影響しないように分散させる。</p> | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | 1981.1 ~ 2000.1 | 2) | ~ | 3) | ~ |
| | | EIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 |
| | | | 3) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | | | 4) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | | | | | | |
| <p>[条件]</p> <p>最小人口密度：1,500人/km² 給水区内人口：363,900人 (2000年) 給水普及率：75% (2000年) 水需容量：77,800m³/日 (9 Amphoes 2000年)</p> <p>[開発効果]</p> <p>豊富な水資源の供給 合理的システムの確立 上記のシステムは既存の Central System に連結して整備する為、必要な水源調査送水計画策定を行い、実行可能な拡張計画を新たに提案する。</p> | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>研修員受け入れ 浄水場視察</p> | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 本開発調査の提案プロジェクトとは異なる形で実施されることとなったため。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 中止・消滅案件のため。 |

状況

中止・消滅要因：

本開発調査の提案プロジェクトとは異なる形で実施されることとなったため。

(平成7年度現地調査)

首都圏水道公社 (MMWA) は、1980年からバンコク首都圏水道事業を実施している。大半はCentral Systemによるものである。資金は25%は公社、OECFが30~40%、残りは起債によって賄っている。JICAが調査したのはSeparate Systemで、OECFの融資もCentral System対象であり、本調査の提案事業はCentral Systemに吸収された。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 304/78

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|----------------------|--|-----------|-------------|---------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 長距離市外電話網 | | | | |
| 3. 分野分類 | 通信・放送 / 電気通信 | 4. 分類番号 | 204030 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | タイ電話公社 Telephone Organization of Thailand | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 国内長距離市外電話網建設計画のF/S調査 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1978年7月 | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本情報通信コンサルティング (株) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 員数 |
| | | | | | 調査期間 |
| | | | | | 延べ人月 |
| | | | | 国内 | |
| | | | | 現地 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 75,078 (千円) | コンサルタント経費 | 79,180 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|-----------------|-----|------|--------|------|----|---------|--|------|------|------|------|--|-------|-------|-------|
| 1. サイト又はエリア | 全国各地 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=180円 | | 1) | 385,008 | 内貨分 | 1) | 54,618 | 外貨分 | 1) | 330,390 | | | | | | | | | |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | | | | | | | | |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | | | | | | | | |
| | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 設置電話：全国469地域への公衆電話。1989年には18地域増、1994年に187地域増。 2. 伝送システム：UHF (900MHz帯) 地上無線方式。 3. 変調方式：FDMとPCM方式を比較したが、技術的、経済的に見て、大差なし。 4. 機器シエラター：電源装置を含む通信機器局舎で使用。建設工事費の低減と土木、建築工事工期の短縮、工物品質の向上を図る。 5. 保守：保守要員を平均数名増員することで対処するとともに、受け持ち被監視局の障害状況を自動記録する、集中監視方式を導入する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 計画事業期間 | 1) | 1981.1 ~ 1982.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | | | | | | | | |
| | EIRR | 1) | 11.30 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 | | | | | | | | | |
| | FIRR | 1) | 18.22 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 | | | | | | | | | |
| | [条件] | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">回線需要</td> <td>1984</td> <td>1989</td> <td>1994</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,513</td> <td>3,763</td> <td>8,218</td> </tr> </table> <p>最適システムの選択：ルーラル地域の電話サービスの向上を目的とし、2つの地上無線方式と1つの国内衛星方式の3システムの中から最も経済的なシステムを検討し、国内幹線通信網への接続と通信品質の向上を図る。</p> <p>[開発効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内幹線通信網への接続可能 通信品質の向上 全国469地域への無電話地域への公衆電話サービスの開始 | | | | | | | | | 回線需要 | 1984 | 1989 | 1994 | | 2,513 | 3,763 | 8,218 |
| 回線需要 | 1984 | 1989 | 1994 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2,513 | 3,763 | 8,218 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>研修員の受け入れ：TOTから2名の技術者を日本に招きシステムの検討結果について技術指導を実施。 O/T</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 優先度の高さ：本プロジェクトについては国王からの特別な要請もありプロジェクトとして実現した。 1990年9月工事完工。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 実施済案件のため。 |

状況

資金調達：

1984年9月 L/A 30.9億円（地方公共長距離電話網拡張）

*OECF融資事業内容：

北部及び東北部のうち9つのチャグワット（県）に所在するタンボン（農村）約300村での、無線通信設備設置。
OECF融資対象は、ベース局、加入局、中継局、タワー等の建設に必要な送受信機等の設備及び据付費。

工事：

1986年12月 工事契約
1990年9月 工事完了

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 305/78

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|------------------------------------|--|-----------|--------------|-------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | ベチャブン～チャイバダン道路建設計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 道路 | 4. 分類番号 | 202020 | 5. 調査の種類 | F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 運輸通信省道路局 Department of Highways (DOH) | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 道路建設 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1978年2月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本工営(株) (株)片平エンジニアリング・インターナショナル | | | | 10. 1. 員数 | 12 |
| | | | | | 2. 調査期間 | 1978.3 ~ 1979.3 (12ヶ月) |
| | | | | | 3. 延べ人月 | 44.33 |
| | | | | | 4. 国内 現地 | 26.33 18.00 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | ボーリング・土質調査、試験、道路インベントリー調査 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 108,742 (千円) | コンサルタント経費 | 101,688 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------------------|--------|-------|--------|-------|--|------|------|------|------------|------|------|------|---------------|------|------|------|
| 1. サイト又はエリア | ベチャブン市 / 北部ベチャブン県チャイバダン市 / 中央部ロブプリ県 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=Baht20 | 1) | 16,600 | 内貨分 1) | 9,400 | 外貨分 1) | 7,200 | | | | | | | | | | | | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | | | | | | | | | | | | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | | | | | | | | | | | | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>・ 3つの代替案：I 地域コミュニケーション II 農地開発 III 輸送パターン改良</p> <p>1. 最適ルート+II：(タ・マドク) - (ラン・ヨイ) - (シ・テップ) - (ウイチャン・プリ) - (サブ・ボン) - (バク・ポ) - (ノエン・サダオ) - (コク・チャロン) - (ヤン・ラット) - (タム・ナム・バン) - (ナム・ロン) - (ベチャブン)</p> <p>2. 延長 (1) 現道改良 130.1km (85%) (2) 新設 21.2km (15%) 計 151.3km</p> <p>3. 舗装 (1) 一層アスファルト表面処理：94.2km (62%) (2) 砂利舗装 57.12km (38%)</p> <p>4. 幅員 (1) 道路幅員 9.0m (2) 舗装幅員 5.5m</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | 1980.4 ~ 1982.12 | 2) | ~ | 3) | ~ | | | | | | | | | | | | |
| | 有 | EIRR 1) 20.40 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | | | | | | | | | | | | |
| | | FIRR 1) 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | | | | | | | | | | | | |
| <p>[条件] 交通需要予測 貨物交通量：農業生産物の輸送需要に基づく。 旅客交通量：ホームインタビュー調査により得られたトリップ数及び将来人口に基づく。</p> <p>[開発効果] 便益 (百万バーツ)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1983</td> <td style="text-align: center;">1989</td> <td style="text-align: center;">1997</td> </tr> <tr> <td>道路利用者費用の節減</td> <td style="text-align: center;">47.8</td> <td style="text-align: center;">55.3</td> <td style="text-align: center;">62.4</td> </tr> <tr> <td>農業生産の準付加価値の増分</td> <td style="text-align: center;">15.2</td> <td style="text-align: center;">51.0</td> <td style="text-align: center;">46.3</td> </tr> </table> <p>地域コミュニケーションの改善 運搬費節減による農産品価格の上昇(農家収入増) 既存道路網との有効連絡を図ることによる道路網の整備、走行費の減少</p> | | | | | | | | 1983 | 1989 | 1997 | 道路利用者費用の節減 | 47.8 | 55.3 | 62.4 | 農業生産の準付加価値の増分 | 15.2 | 51.0 | 46.3 |
| | 1983 | 1989 | 1997 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 道路利用者費用の節減 | 47.8 | 55.3 | 62.4 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農業生産の準付加価値の増分 | 15.2 | 51.0 | 46.3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>OJT：交通予測、農業便益算定等について手法を伝達 研修員受け入れ：1名 道路網整備状況の視察及び道路、橋梁、トンネル計画について研修 共同で報告書作成：相手国内にてドラフトレポートの作成に当たり、レポート内容の確認を図りながら実施 現地コンサルタントの活用：道路新設路に係わる区間について測量を実施。ボーリング調査、土質調査、試験、道路インベントリー調査を委託。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|--|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 1983年9月完工。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 、 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 実施済案件のため。 |
| <p>状況</p> <p>本件が実施に至った要因は以下のことによる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 効果の大きさ：洪水期における不通区間が減少、農産品運送費低下による庭先価格の上昇。 2) 財政等の好条件：提案以前にすでに部分的に改良が実施されており、勧告案が道路局方針に沿ったものとなった。 3) 優先度の高さ：主流可川東部における道路未整備状態の改良が図られ、勧告後直ちに実施される。 <p>次段階調査： 1980～1981年 D/D実施(DOH)</p> <p>資金調達： 1980年8月 L/A 81.6億円(生産性道路建設事業II)</p> <p>事業内容： タイの北部、東北部、中央部にある未改良の現道27路線、総延長約809kmの2車線簡易舗装道路への改良に係る工事費。総事業費はOECE ローン50%、DOH予算50%。 (平成4年度現地調査) OECE融資のうち、本事業に充当されたのは13.66億円。残りの67.94億円は北部・東北部・中央部の22路線の地方道路改良等に充当された。なお、本事業の総事業費は1億7,142万バーツ。</p> <p>工事： 1981年6月 工事開始 1983年9月 終了 (平成4年度現地調査) 本事業の工事は、1981年6月にYang Lat -Phechabum 間から開始され、1983年9月にSithep - Wichian Buri 間工事終了をもって完工した。総延長は149.2km(提案では151.3km)。</p> | | |

案件要約表 (M/P)

ASE THA/S 101/79

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|---------------------------------|---|-----------|-------------|-------------------------|---|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | 首都圏交通計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 鉄道 | 4. 分類番号 | 202040 | 5. 調査の種類 | M/P | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 高速道路・高速鉄道公社(Expressway and Rapid Transit Authority:ETA) タイ国鉄 (Royal State Railway of Thailand:SRT) | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 交通計画 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1978年7月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)ハシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | 10. 調査団 | 団員数 | 7 |
| | | | 調査期間 | | 1978.10 ~ 1979.8 (10ヶ月) | |
| | | | 延べ人月 | | 46.57 | |
| | | | 国内 | | 35.50 | |
| | | | 現地 | 11.07 | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 90,378 (千円) | コンサルタント経費 | 85,377 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | |
|--|---------|---------|-----|----|---|-----|----|---|
| 1. サイト又はエリア | バンコク首都圏 | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) 1US\$=260円 | 1) | 834,400 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 | 1) | 0 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | | | | | | | |

3. 主な提案プロジェクト

バンコク周辺地区の大量輸送体系のマスタープランを策定する。通勤輸送のためにタイ国鉄既存線を最大限活用することを基本方針とする。

主な事業：

| | |
|-------------|--------------------------------------|
| 郊外線 (新規) | 6路線 (11区間)、総延長102.8km |
| タイ国鉄既存線改良 | 対象路線延長151km (複線化、新駅建設、信号通信系統改良) |
| 車両数 (2000年) | 郊外線 756台または478台 (料金体系により) 国鉄 318台 |

4. 条件又は開発効果

【開発効果】
バンコク中心部および郊外部の交通混雑の緩和が期待できるほか、タイ国鉄既存線の利用の促進による国鉄の経営改善に寄与できる。また、鉄道線の沿線開発によって、バンコクの都市構造の計画的誘導が可能となる。

5. 技術移転

研修員受け入れ

調査結果の活用現状

| | | |
|---|------------------------------|-------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | 国家計画に組み込まれ、一部事業実施中。 | |
| 3. 主な情報源 | | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 一部事業化。 |
| <p>状況</p> <p>(平成3年度在外事務所調査) 第9次国家計画のインフラストラクチャー部門に組み込まれた。</p> <p>(平成5年度在外事務所調査) 本プロジェクトは継続されていない。理由は以下の通り。 ・ 政府が都市交通問題の解決を最優先している。 ・ 郊外にある既存の鉄道を使うことが出来る。 バンコク近郊において新線の計画は今のところなし。</p> <p>(平成7年度現地調査) 本件プロジェクトは、1992年に高速道路・高速鉄道公社(ETA)から首都圏高速輸送公社に移管された。また一部の計画(Ban Su-Don Muang ライン)は、香港資本のホープウェル社に引きつがれることになった。</p> <p>(平成9年度在外事務所調査) 本調査で提案されたバンコク郊外における路線拡大については、324kmの車線建設が進行中である。 その他の実施中プロジェクトは以下の通り。 ・ Bang Sue-Taling Chan 区間の複線化 1994年 着工 1998年 完工予定 ・ Rangsit-Ayuthaya-Ban Phachi 3線目建設 1997年 着工予定 1999年 完工予定(D/DIは1997年7月終了)</p> <p>* 関連開発調査 「都市開発と一体化した首都圏鉄道輸送力増強計画 M/P+F/S (THA/S 217/95)」</p> | | |

案件要約表 (M/P)

ASE THA/A 101/79

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|--|--------------|-----------|--------------|-------------------------|----|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | メクロン川マスタープラン | | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | M/P | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省 | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 米の増産と水利用効率の改善を目標とするメクロン地区の末端整備事業計画の策定。対象地区は約30万haであり、12ブロックのプライオリティーを検討する。 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1977年7月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルツ | | | 10. 調査団 | 10. 団員数 | 20 |
| | | | 調査期間 | | 1977.12 ~ 1980.3 (27ヶ月) | |
| | | | 延べ人月 | | 130.19 | |
| | | | 国内 | | 45.83 | |
| | | | 現地 | 84.36 | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 346,684 (千円) | コンサルタント経費 | 242,550 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|----|---------|-----|----|---------|-----|----|---------|
| 1. サイト又はエリア | メクロン河流域中・下流部 (地区面積 490,000ha) | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | | 1) | 441,300 | 内貨分 | 1) | 264,780 | 外貨分 | 1) | 176,520 |
| | | 2) | 285,300 | | 2) | 171,180 | | 2) | 114,120 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| 3. 主な提案プロジェクト | <p>短期開発計画</p> <p>1) 185,900haの圃場整備計画</p> <p>2) 1.082kmの灌漑用排水路の改修</p> <p>長期開発計画</p> <p>1) 174,000haの圃場整備計画</p> <p>2) 用排水路の改修 (56km)</p> <p>3) 用排水路の新設 (345km)</p> <p>上記予算の1)は短期計画、2)は長期計画(短期を除く)の費用</p> | | | | | | | | |
| 4. 条件又は開発効果 | <p>米の増収は30年間に1.7倍となる(総量2.4百万トン うち、1.0百万トンは輸出可能)。</p> <p>サトウキビは30年間に1.3倍となる(総量1.4百万トン)。</p> <p>EIRR 26.5%</p> | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>調査手法、各分野における開発計画手法の技術移転</p> <p>研修員受け入れ: JICA C/P研修</p> | | | | | | | | |

調査結果の活用の現状

| | | |
|--|----------------------------------|---------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | 国家開発計画に組み入れられ、提案プロジェクトが事業化されている。 | |
| 3. 主な情報源 | 〃 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1999 年度 調査結果の活用が確認された。 |
| <p>状況 (平成9年度在外事務所調査) 提案事業は第4次国家開発計画(1976~1981)に組み入れられた。</p> <p>マスタープランを実施した地域の中から、1979年に「メクロン川流域カンバンセン灌漑農業開発計画」F/S実施。</p> <p>(1)メクロン川圃場整備 (*本計画はメクロン川左岸約200万ライの圃場整備を対象としていた) 1.メクロン川右岸約70万ライの圃場整備(第1期工事) 資金調達: 世銀融資 工事: (平成6年度国内調査) 実施済</p> <p>(2)メクロン川左岸約290万ライ(第2期工事)(*本計画の対象地区) 次段階調査: F/S *「メクロン川流域カンバンセン灌漑農業開発計画」THA/A 302/79参照</p> <p>(3)第3期工事(バン・レーン地区 192,800ライ対象) (平成8年度国内調査) 資金調達: RIDの年度予算から支出 工事: 1995年着工(1999年完了予定) 但し、支水・分水路のみの建設で圃場水路は建設しない予定。</p> <p>残工事の見通し: (平成9年度国内調査) バンレーン地区192,800ライの支、分水路建設は1995~1999年に実施する予定だったが、政府予算の制限で現在約30%を完成したのみとなっている。現在完了時期を2001年に延ばしているが、政府財政困難となっている現状をみると更に遅れると思われる。</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 302/79

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|----------------------------------|--------------|-----------|-------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | メクロン川流域カンバンセンかんがい農業開発 | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省王室灌漑局 | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 圃場整備を基幹とする農業インフラ整備による総合農業開発計画の策定 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルツ | | | 10. 調査団 | 10 |
| | | | | 調査期間 | 1979.1 ~ 1979.10 (9ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 23.87 |
| | | | | 国内 | 19.50 |
| | | | | 現地 | 4.37 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 1/10,000図化 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 94,709 (千円) | コンサルタント経費 | 88,926 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | |
|--|--|-----------------|--------|--------|--------|--------|------|
| 1. サイト又はエリア | 中部タイの西部、メクロン川流域、カンバンセン地区 (面積28,000ha、人口65,500人) | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=¥230 | 1) | 32,705 | 内貨分 1) | 18,710 | 外貨分 1) | 13,995 | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | |
| | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>本地区は、首都バンコクの西方約50kmにあるナコンパトム市の北部にあたり、グレーターメクロン地域の東部に位置する総面積約28,000haの水田・畑作地域である。計画地域28,000haのうち22,800haが耕作可能地であるが、メクロン全体の水源開発の関係より、17,200haの灌漑面積に対し、圃場整備と関連サポーターティングサービスよりなる末端灌漑開発計画を策定する。事業は以下の内容を含む。</p> <p>用水路改修 : 48km 排水路新設改修 : 176km 洪水防御兼道路 : 24.8km 圃場整備 : 17,200ha</p> | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1981.1 ~ 1986.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | EIRR | 1) | 27.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| 5. 技術移転 | 報告書とりまとめ共同作業 | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|---|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 1995年工事が完工し、供用開始。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 実施済案件のため。 |
| 状況 | | |
| <p>本計画地区はメクロン第2期工事に含まれる。(詳細は「メクロン川マスタープラン」参照)</p> | | |
| <p>資金調達： 世銀融資及び自己資金 総工事費約19.44億バーツ</p> | | |
| <p>工事： (平成8年度国内調査) 1990年 着工 1995年 完工(バン・レーン地区 192,800ライを除く) 多くの地区では支水・分水路のみが建設され、圃場水路は建設されていない。</p> | | |
| <p>(平成6年度国内調査) 本計画面積は当初約175,000ライ(28,000ha)の予定だったが、用水路改善等の基幹施設が完成された後、現在では受益面積が変更している。</p> | | |
| <p>(平成7年度国内調査) 原計画の175,000ライはエクステンシブ方式の圃場整備だったが、実際に実施したのは僅か3,500ライであり、残りはDitch&Dike方式で完了している。</p> | | |
| <p>事業規模縮小要因 タイ国政府の農業開発政策に於ける重点開発課題が第5次5ヶ年計画以降、田圃基盤整備事業から小規模蓄灌事業へと変更されたため、本件の優先度が低下した。</p> | | |
| <p>運営・管理： 支水・分水路はRIDが運営・管理しているが圃場水路は受益農民によって運営・管理されている。</p> | | |
| <p>裨益効果： 現在乾期作付け面積が計画面積の約10～15%に達している。</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 306/79

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|------------------------------------|--|-----------|--------------|---|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | ノンブア バンラムチボン道路建設計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 道路 | 4. 分類番号 | 202020 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 運輸通信省道路局 Department of Highways (DOH) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | ノンブア バンラムチボン間のF/S | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1978年7月 | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本工営(株) (株)片平エンジニアリング・インターナショナル | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 10. 調査団 11. 調査期間 1979.6 ~ 1980.2 (8ヶ月) 12. 延べ人員 国内 43.40 現地 18.50 現地 24.90 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 測量、土質調査、交通調査 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 104,520 (千円) | コンサルタント経費 | 103,547 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|---|--|------------------|--------|--------|--------|--------|------|----|------|
| 1. サイト又はエリア | ノンブア / 北部ナコンサワン県 - バンラムチボン / 東部チャイヤブーン県 | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=Baht20 | 1) | 30,600 | 内貨分 1) | 17,300 | 外貨分 1) | 13,300 | | | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | | | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | | | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | | | |
| | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | 検討されたルート: I. Nong Bua-Wang Wat II. Wang Wat-Tha Pong III. Tha Pong Lup ho 1. 目的: 農村部の社会経済発展の促進と同時に、現在バンコクを中心として主に放射状にのみ発展している道路ネットワークを補強する意味で、東西方向 三つの県を結ぶ幹線道路を建設する。 2. 最通ルート: (Nong Bua) - (Nong Ngu Luam) - (Sap Bon) - (Wang Wat) - (Tha Pong) - (Nong Bua Rave) - (Lup Pho) 3. 道路延長: ・改良区間 41.9km ・新設区間 112.8km 計 154.7km 4. 幅員: ・道路幅員 9.0 - 10.0m ・舗装幅員 5.5 - 6.0m 5. 舗装: ・一般瀝青表面処理 105.0km (68%) ・砂利直表層土 49.7km (32%) | | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1981.4 ~ 1983.12 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) | 21.70 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | | FIRR 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| [条件] ルート選定方法: 3つのルート代替案から、(1)建設費、(2)道路利用者費用に影響するルートの距離、(3)農業開発便宜の大きさに影響する新規開拓可能地の大きさの比較により、最 適ルートを選定した。 将来開発可能未耕地: 286,000ライ 旅客交通量: 人口予測とホームインタビュー調査から測定。 貨物交通量: 農産物輸送交通と他の貨物の交通の二つに分けて予測した。 | | | | | | | | | |
| [開発効果] 便益(百万バーツ) 1984 1990 1998 道路利用者費用節約 113.6 130.7 161.6 農業開発便益 1.2 58.8 55.4 農業開発便益の内容 米/キャッサバ/メイズの生産性向上、新開地の開拓速度の加速、庭先価格の上昇、耕法上の改良による収量の増加 | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | OJT: 比較代替ルートの設定における基本的考え方。交通予測、農業便益算定の考え方 研修員受け入れ: 1名 現地コンサルタントの活用: 河川測量、道路測量、土質調査、交通調査において活用 | | | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 1988年8月完工。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 、 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 実施済案件のため。 |

状況

本件が実施に至ったのは以下のことによる。

- 1) 効果の大きさ：3県を東西方向に結び効果が大きい。
- 2) 他プロジェクトとの関連性：Pasak川東岸を南北に走る道路と連絡する道路網が実現する。
- 3) 財政等の好条件：OECF 10次円借款により工事実施。
- 4) 優先度の高さ：当区間は幹線の欠除している地域であり県道としてよりも2級国道としての意義ある道路。
- 5) 推進体制の強さ：道路局が他機関融資に頼ってでも実現を目指している。

次段階調査：

1984年12月 詳細設計終了

資金調達：

1983年9月 L/A 57.7億円（生産性道路建設事業(III)）

*事業内容

- タイ国北部ノンブア - 東北部ラッポ間165kmの県道建設
- タイ国北部路線（総延長293.9km）の改修
- コンサルタント・サービス
- OECF融資対象は、上記事業に要する外貨資金

（平成4年度現地調査）

OECF 融資のうち、本事業に充当されたのは25.17億円。残りの32.41億円は、北部地方道路網整備計画に、0.12億円は施工監理コンサルタント料に充当された。なお、本事業の総事業費は3億4,870万バーツ（OECFローン 52%、DOH予算48%）である。

総延長は162.2km（提案では154.7km）であった。

工事：

1986年2月 建設工事開始
1988年8月 完工

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 303/80

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|----------------------------------|--------------|-----------|--------------|-----------------------|----|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | メワンかんがい農業開発計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省王室灌漑局 | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 圃場整備を基幹とする農業インフラ整備による総合農業開発計画の策定 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1979年2月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ | | | 10. 調査団 | 団員数 | 10 |
| | | | 調査期間 | | 1979.7 ~ 1980.3 (8ヶ月) | |
| | | | 延べ人月 | | 47.04 | |
| | | | 国内 現地 | | 21.97 25.07 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 115,644 (千円) | コンサルタント経費 | 107,095 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|---|---|---------------|----------|---------|---------|--------|
| 1. サイト又はエリア | タイ国北部ランバン県ランバン市周辺 (対象面積22,700ha) | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=¥200=B20.0 | 1) | 34,880 | 内貨分 1) | 19,506 | 外貨分 1) | 15,374 |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 |
| | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>灌漑面積 : 22,700ha 幹線用水 : 100.12km 支線用水 : 79.65km 幹線排水路 : 240.77km 圃場整備 : 15,400ha</p> <p>上記予算は1979年価格ベース</p> | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) 1980.10 ~ 1987.9 | 2) ~ | 3) ~ | 4) ~ | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) 27.10 | 2) 25.30 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | |
| | | FIRR 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | |
| <p>[前提条件] 水稲収量が比較的高いことから、キューロダムの水を有効利用し、乾期作の振興をはかる。そのための条件として圃場整備を実施する。</p> <p>[開発効果] 開発済水源の有効利用で二期作による飛躍的な便益の増加が期待される。</p> | | | | | | |
| 5. 技術移転 | 灌漑局スタッフの現地・日本での訓練・技術移転を行った。 | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 農業開発政策の転換による田圃基盤整備事業の優先度の低下。 | |
| 3. 主な情報源 | 、、、、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 中止・消滅案件のため。 |

状況

中止・消滅要因：

農業開発政策の転換による田圃基盤整備事業の優先度の低下

経緯：

本調査当時、タイ政府は、農産物の自給及び輸出の拡大を図る政策の一環として、田圃整備法を制定し、末端施設整備により二期作を可能にする農地基盤整備を推進していたが、政策の転換が行われた。

(平成8年度国内調査)

圃場整備については、過去のプロジェクトの実施により充分技術移転が行われているので、今後プロジェクト実施があっても自力で推進できるものと思われる。

*関連プロジェクト

キューコーダム建設

本計画事業の水源の一つとされている。

(平成7年度国内調査)

1995年10月、ローカルコンサルタントによりF/S開始予定(23百万バーツ)。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 307/80

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|---------------------------------|------------------------------|-----------|-------------|---------|-------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | 首都圏トラックターミナル建設計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 陸運 | 4. 分類番号 | 202030 | 5. 調査の種類 | F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | Department of Land Transport | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 交通計画 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1979年1月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)ハシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | | 10. 調査団 | |
| | (株)日通総合研究所 | | | | | |
| | 社員数 | 9 | | | | |
| | 調査期間 | 1979.8 ~ 1980.3 (7ヶ月) | | | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | | | | 延べ人月 | 32.60 |
| | | | | | 国内 | 22.90 |
| | | | | | 現地 | 9.70 |
| 12. 経費実績 | 総額 | 83,169 (千円) | コンサルタント経費 | 79,340 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|--|--|---------------|---------|---------|---------|---|
| 1. サイト又はエリア | バンコク道路圏 | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=20バーツ | 1) | 42,033 | 内貨分 1) | 0 | 外貨分 1) | 0 |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 |
| | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>内容 規模</p> <p>トラックターミナル 12,000t / 日 荷物処理</p> <p>車庫・駐車場 (貸切トラック)</p> <p>公共駐車場</p> <p>維持管理施設</p> <p>倉庫地区</p> | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) ~ | 2) ~ | 3) ~ | 4) ~ | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 無 | EIRR 1) 10.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | |
| | | FIRR 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | |
| <p>【前提条件】</p> <p>目標年次を2000年とする。</p> <p>対象道路網は、都市内高速道路、中環状道路、外環状道路とする。</p> <p>【開発効果】</p> <p>定期運行による荷主への利益増大。</p> <p>ドライバーに対する良好な福利施設等の提供による事故の減少。</p> <p>点検保守の改善による運行時間の増大。</p> <p>トラック関連就業人口の増加が期待される。</p> | | | | | | |
| 5. 技術移転 | 需要予測、交通調査、経済分析に関する技術指導を行った。 | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 別計画において実施される。 | |
| 3. 主な情報源 | | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 中止・消滅案件のため。 |

状況

中止要因:

本案件は「首都圏トラック・ターミナル基本整備計画(1992)」で見直しが行われ、本案件としては、中止・消滅となった。

中止に至るまでの状況:

次段階調査:

D/D (地元コンサルタント)

変更点:

(平成3年度在外事務所調査)

4ターミナルの計画が3ターミナルに変更。

経緯:

政府の実施承認後、民間ベースによる実現を図ってきており、4カ所中2カ所につき契約に至っている。しかし、トラック業者に対しターミナルの使用を義務づける法制化がまだ行なわれていない。

急激な都市化の拡大により、ターミナル予定地が使用目的を変更されるなど用地などの運営方法に問題があり、具体化していない。

一方、地方都市のトラック・ターミナル整備に関するF/Sが実施され、バンコク・地方都市のトラック運輸に関する準備はととのった。

案件要約表 (D/D)

ASE THA/S 402/80

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|-------------------|--|-----------|--------------|---|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | バンコック市内線路網実施設計 | | | | |
| 3. 分野分類 | 通信・放送 / 電気通信 | 4. 分類番号 | 204030 | 5. 調査の種類 | D/D |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | タイ電話公社 Telephone Organization of Thailand (TOT) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | バンコック市内8電話局の実施設計 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1978年7月 | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本情報通信コンサルティング(株) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | 10. 調査団 | 12 |
| | | | | 調査期間 | 1978.8 ~ 1979.6 (10ヶ月) 1979.10 ~ 1980.8 (10ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 107.79 |
| | | | | 国内 | 49.63 |
| | | | | 現地 | 59.16 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 278,789 (千円) | コンサルタント経費 | 277,097 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | | |
|--|---|----|------|----|------|-----|------|----|------|---|
| 1. サイト又はエリア | バンコク首都圏 | | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 0 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 | 1) | 0 | | 0 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 0 |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 0 |
| | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・対象5局の市内電話網の実施設計 ブロンチット局、チェンワタナ局、バクレット局、ラミントラ局、オヌットー1局 ・対象局3局の市内電話網の実施設計(追加調査) クrontoi局、ラプラナ局、エカチャイ局 | | | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | ~ | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | EIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 | |
| | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 | |
| <p>背景として本設計は、タイ国第4次経済開発計画に沿って計画された全国の電話網拡充計画の一部(パッケージ/フェーズ2)のうちの5電話局、及びパッケージ/フェーズ1の3電話局の市内線路網の実施設計である(対象8局の実況調査と需要予測データのとりまとめ)。</p> <p>[開発効果] バンコク首都圏の加入希望者の積滞解消である。</p> | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | カウンタートと共同して実施設計作業を実施。 | | | | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 首都圏内の電話混雑の解消を図ることが急務であったため。 事業完了済。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 実施済案件のため。 |

状況

資金調達：

1978年7月 L/A 14.64億円 (EGAT 通信網拡充事業)

*事業内容

- UHF多重無線装置の取替及びリート延長
 - 電力線搬送装置 (PLC) の新設、増設
 - VHF通信装置の取替、新設、増設
 - 線路故障点標器 (LFL) の新設
 - データ伝送装置の増設
- 融資対象は、上記事業の機器代金

事業完了済

*タイ電話公社 (TOT) が推進している「第3次電話網拡充計画 (1977~84)」の柱の一つであるバンコク首都圏電話網拡充計画にそって当調査が実施されることとなった。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 304/81

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|---------------------|--------------|-----------|-------------|-----------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | ケンコイ・バンモーポンプかんがい計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省王室灌漑局 | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 1.4万haの灌漑開発計画を樹立する。 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1981年2月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ | | | 10. 調査団 | 10 |
| | | | | 調査期間 | 1981.6 ~ 1982.1 (7ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 37.55 |
| | | | | 国内 | 17.80 |
| | | | | 現地 | 19.75 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 96,370 (千円) | コンサルタント経費 | 90,677 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | |
|--|---|-----------------|--------|--------|--------|--------|------|
| 1. サイト又はエリア | サラブリー県バサック川右岸14,000ha | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 40,700 | 内貨分 1) | 24,500 | 外貨分 1) | 16,200 | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | |
| | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>事業の目的は受益地域全体に対し、安定的に灌漑用水を供給し併せて出来るだけ多くの乾期水稻を導入し地域の農業振興を図ることである。利用可能な水資源の範囲内で雨期作水稻を中心に14,000ha、乾期作水稻を2,800ha作付けする計画である。</p> <p>主要施設の概要は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主ポンプ：1,000mm × 560kw, Q=17,035m³/s, H=16.5m ・灌漑水路：幹線、支線の合計148km ・排水路：22km ・展示圃場：260ha | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1983.1 ~ 1988.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) | 16.90 | 2) | 14.30 | 3) | 0.00 |
| | | FIRR 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| <p>〔条件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受益地の水資源はバサック川に貯水ダムを建設する迄は河川流量の変動が大きいため極めて限られたものとなる。 ・灌漑農業を導入し定着させるために受益農民に対する訓練、教育は重要かつ不可欠である。 ・利用可能な水資源の早期発見 ・施設建設のための詳細設計はOECFのE/Sローンで完了している。 <p>〔開発効果〕</p> <p>灌漑設備の完備により雨期100%、乾期20%の作付けを行い農業収益を増大させる。 デモンストレーション・ファームにより末端整備・水管理・栽培技術の指導を行う。</p> | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | 灌漑局スタッフに対し現地及び日本での技術移転を行った。 | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 | 具体化準備中 |
| | 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 1985年にOECF L/A締結。1999年に着工（平成10年度国内調査）。 | |
| 3. 主な情報源 | | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 年度 |

状況

次段階調査：

1982年7月16日 L/A 9.4億円（灌漑開発事業 E/S）

*事業内容

サラブリー県バサック川下流域にポンプ場、用排水路等を建設し、灌漑用水の安全供給と排水条件の改良を行う。

1984年7月～1985年6月 D/D

コンサルタント/三祐コンサルタント、中央開発のJV

上記E/Sの一部「ケンコイ・バンモポン灌漑事業」（1.9億円）として実施。しかしながら水利権調整（チャイナット・バサック水路受益者との調整）が未決のため中断した。

資金調達：

1995年9月12日 L/A 30.38億円（バサック灌漑事業）

| | 外貨（円） | 内貨（バーツ） | 合計（円） |
|-----------|-------|---------|-------|
| 土木工事 | 2,086 | 281 | 3,102 |
| 機材調達 | 90 | 13 | 139 |
| その他 | - | 299 | 1,083 |
| 予備費 | 401 | 54 | 594 |
| コンサルタント費用 | 461 | 43 | 618 |
| 合計 | 3,038 | 690 | 5,536 |

なお、上記コンサルタント費用には、新規開発地区/パタナ・ニコム（Patana Nikom）（約35,500ライ）、パタナニコム・ケンコイ（Patana Nikom - Kaeng Koi）（約20,000ライ）のD/D、在来計画地区ケンコイ・バンモ（Kaeng Koi - Ban Mo）のD/D見直し及び施工監督が含まれている。コンサルタントサービス期間は約4年。

工事：

（平成10年度国内調査）

1998年7月～1999年4月 工事契約書及びD/D見直し業務

1999年11月～2002年12月 工事

*事業内容：ポンプ施設（D=900mm×5units）

パイプライン（鋼管D=1,700mm 延長=7.20km）

開水路及び付帯構造物

経緯：

（平成6年度国内調査）

本計画の前提となるバサック本流のダム建設が1994年に着工されたので本計画実施の主な障壁が無くなった。

（平成9年度国内調査）

本件実施に関するコンサルタント調査は既に終了したが、政府の財政緊縮によって承認手続きが遅れている。今年（1997年）12月には調印し、来年早々にサービス開始の運びとなる見込み。コンサル・サービス契約金額は外貨分428,392,839円 内貨分36,679,695バーツである。

（平成9年度在外事務所調査）

農業協同組合省の承認待ち。

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/S 201B/82

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|------------------------------------|--|-----------|--------------|---|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 北部地方道路網整備計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 道路 | 4. 分類番号 | 202020 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 運輸通信省道路局 Department of Highways (DOH) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 北部地方の道路網整備に係るM/Pの作成と、優先14ルートのF/S | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1979年12月 | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本工営(株) (株)片平エンジニアリング・インターナショナル | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 10. 調査団 11. 調査期間 1980.6 ~ 1982.3 (21ヶ月) 12. 延べ人員 国内 16.03 現地 124.30 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 農業資料収集、交通量調査、 道路インベントリー調査 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 385,805 (千円) | コンサルタント経費 | 381,842 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|--|--|----|--------|-----|----|--------|-----|----|--------|
| 1. サイト又はエリア | 北部地方県全17県 (面積170,000km ² を対象) | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=Baht23 | M/P | 1) | 36,500 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 | 1) | 0 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 58,913 | 内貨分 | 1) | 44,822 | 外貨分 | 1) | 14,091 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 | |

3. 主な提案プロジェクト/事業内容

<M/P>
 地域ポテンシャルをルート選定の重要ファクターとした結果、44リンク(1200km)の改良・新規ルートが浮び上り、これを分類して短・中期候補31リンク(860km)につきブレF/Sレベルの評価を加え、F/S対象として16リンク(410km)を選定した。

<F/S>DOHの要請により一部入れ替えをして実施した14リンク(417.2km)の内容は以下の通り。
 フィージブルな11リンク(F4規格) 計378.1km:
 1)Khanu Worakasa Buri - Kao Liao - Rt.117 46.0km; 2)B. Wang Chik - Rt.117(B.Pa Daeng)13.0km; 3)B. Wang Tham - B. Tha Mkhamb 8.3km 4)B. Kiu Phrao - B. Kaen Tai 55.0km 5)Rt. 115(B. Thung Maha Chai) - B. Nong Takhian 53.5km; 6)B. Thung Ngju - B. Chomphu 47.8km; 7)A. Wang Chin - Thoen 54.0km; 8)B. Nong Khanak - B. Wang Pong 21.0km; 9)B. Rong Sua Ten - B. Huai Khom 13.2km; 10)A. Phrom Phiram - Rt.11(B. Nong Makhang) 14.4km; 11) Rt.12 (Muang Kao, Sukhothai) - Si Satchanarai 51.9km
 フィージブルな1リンク(F5規格): 12)A. Wat Bot - B. Nakham 15.7km.
 フィージブルでない12リンク 計23.4km: 13)Rt.1068 - Pho Pra, Thap Chang 6.8km; 14)Rt.106(B.Mae,A.Thung Thoei) - Hua Chang 16.6km
 事業内容: 道路新設 104.3km、改良 312.9km (幅員9~10m、舗装5.5~6.0m)

| | | | | | | | | |
|------------------------------------|----|------|---------|---------|---------|---------|------|------|
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | ~ | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| | 有 | EIRR | 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | | FIRR | 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | 0.00 | 0.00 |

上位5路線のEIRRは、1) 28.5%、2) 22.5%、3) 20.6%、4) 20.3%、5) 20.2%。 最下位EIRRは、14.0%。
 [条件] <F/S>
 面積17万km²の北部地方は、地形的制約から可耕地が少なく、かつ未開発である。基礎施設を整備し、農業部門の発展を図る。地域間の連絡を促進し、バランスのとれた地域開発の枠組形成を達成し、ネットワークを強化するために、最高道路網整備計画を策定して短・中期優先度の高いルートを選定する。

[開発効果] <M/P、F/S>
 耕地不足と低所得からくる地域停滞の解消を図るべく基礎施設と社会サービスの完備を地方レベルに行きわたらせる。
 北部は道路密度において他地域より低く、道路整備を促進する。
 農産物単収増大と農業生産形態の多角化を図る。
 走行車両費の節約
 道路維持費の節約

5. 技術移転

OJT: 調査手法の移転と、共同での各種報告書作成。 研修員受け入れ: 1名。 現地コンサルタントの活用: 農業資料収集、交通量調査、道路インベントリー調査等を委託。 機材供与及び指導: 交通解析と交通システム分析のための専門家2人をDOHに派遣(6ヵ月)。 パーソナルコンピューター機材供与(JICA)。

案件の現状

| | | | | |
|----------------------------|--|--------------------------|-------------------|----------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 | 2. M/Pの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 |
| 3. 主な理由 | 1991年12月 完工。 | | | |
| 4. 主な情報源 | 、、、、 | | | |
| 5. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 実施済案件のため。 | | |

状況

本件が実施されたのは以下の要因による。

1. 効果の大きさ
タイ国策4,5次5カ年計画の主要政策である地域間の経済格差是正に果たす役割大。
2. 他プロジェクトとの関連性
他の優先的な道路整備プロジェクトとの整合性がはかられている。県道クラスと生産道路に重点を置いており、特に北部で優先度が高い。
3. 財政的好条件
新設よりも現有道路の維持管理に多くの投資をしているタイの財政政策に合致。
4. 優先度の高さ
県道クラスと生産道路に重点を置いており北部においての優先度が高い。

次段階調査：
1983年～1986年 D/D (道路局)

資金調達：
1983年9月 L/A 57.7億円 (生産性道路建設事業II)

*事業内容
タイ国北部ノンブア - 東北部ラッポ間165kmの県道建設
タイ国北部路線 (総延長293.9km) の改修
コンサルタント

上記OECF融資のうち、本事業に充当されたのは32.41億円。残りの25.17億円はノンブア - バンラムチボン道路建設計画に、0.12億円は施工監理コンサルタント経費に充当された。本件工事に対するOECF融資は4億9,133万バーツ (内貨・外貨比率48 : 52)、世界銀行融資は4,000万バーツ (L/A : IBRD2894-TH、1988.2.11締結、内貨・外貨比率50:50)。DOH予算は8,920万バーツ。

工事：
1986年1月 建設工事開始
1991年12月 工事完了

資金源別実施リンク及び実延長は、OECF : 1)52.2km, 2)14.8km, 3)7.9km, 4)55.1km, 5)46.4km, 6)47.6km, 7)52.8km, 12)15.1km ; 世界銀行 : 8)24.0km ; DOH : 9)13.2km, 11)48.5km, 13)6.7km, 14)17.0km ; 地方開発局 (Ministry of Interior) 10)未実施。(番号は「主な事業内容」のリンク番号に対応) 総実施済みリンク延長は401.3km。

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/A 201B/82

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|--------------------------|--|-----------|--------------|---------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | 農業協同組合組織育成計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S | |
| 6. 相手国の担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省協同組合振興局 (Cooperatives Promotion Dept., MOAC) | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 農業協同組合員の生産増進および社会経済条件の改善 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1980年4月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (財) アジア農業協同組合振興機関 | | | | 10. 調査団 | |
| | | | | | 団員数 | 6 |
| | | | | | 調査期間 | 1980.5 ~ 1982.2 (21ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 37.21 |
| | | | | 国内 | 27.36 | |
| | | | | 現地 | 9.85 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 127,935 (千円) | コンサルタント経費 | 107,192 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|---|---|----|--------|-----|----|-------|-----|----|--------|
| 1. サイト又はエリア | <M/P> タイの北部、中部、東北部、南部から各2カ所の計8農協地区 <F/S> タイの北部、中部、東北部、南部のモデル農協候補4組合の地区 | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=23バーツ | M/P | 1) | 0 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 | 1) | 0 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 45,508 | 内貨分 | 1) | 6,478 | 外貨分 | 1) | 39,030 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 | |

3. 主な提案プロジェクト/事業内容

<M/P> 各地域のケーススタディーをもとにした、タイ国農協の組織・事業・経営の実態と問題点及び改善のための基本構想を提言。
 タイ国における農協機能強化のための基本構想
 4つの戦略的目的を明示し、組合員組織基盤強化、営農指導事業実施による地域農業振興、公正なルールに従った販売・購買事業の拡充、総合的な農業金融システムの実現などの諸方策と、これらを総合的・一体的に推進する「トータル・システム」アプローチを提言。
 モデル農協の設定
 (さしあたりモデル農協を設定し、個別の条件を活かした指導を進めることを提案。)
 <F/S> 4農協地区の詳細調査をもとに、それぞれ農協振興計画案を作成、これを支援する共同利用施設等の計画を提案しプロジェクト内容の可能性を明らかにした。

農協育成プロジェクト
 先行モデル農協(調査4農協): 振興計画(3カ年計画)の実践/普及モデル農協(周辺各4農協、計16農協): 振興計画の作成
 コンサルタント・ユニットの設置と巡回指導、中央・地方の農協研修センターによる研修強化、農協及び県連合会の施設整備、総合資金対策

| | | | | | | | | |
|------------------------------------|----|------|---------|---------|---------|---------|----|---|
| 計画事業期間 | 1) | ~ | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | | |
| | | FIRR | 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | | |

<M/P>
 モデル農協の設定については、タイ国における農業の地域性、各地域の農協における組織・事業・経営をめぐる基礎条件の相違などをふまえて選定する必要があることを提言。
 まずモデル農協において、総合的、一体的な組織・事業活動を作り出すための農協振興計画を樹立し、その計画を実践に移す指導を行い、さらにこのモデル農協における成果を周辺農協に普及することによって農協振興に関する開発効果を高めることが期待された。

<F/S>
 <条件> CPDにおける推進体制の確立と農協主体の進め方 営農指導と販売活動の強化 政府による資金的バックアップ
 ACFT(タイ全農)、CLT(タイ協組連盟)との提携
 <効果> 経済的な面では、農協の経営改善が期待される。
 社会的な面では、農民の雇用拡大、所得向上、所得格差の是正、民生安定が期待される。

5. 技術移転
 F/S現地調査(1981年7~9月の2ヵ月間)実施中、カウンターパートに調査手法を技術移転。報告書とりまとめ途中の同年11~12月の10日間、タイ側チーム(2名)を受入れ、討議・共同作業を実施した。

案件の現状

(M/P+F/S)

| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 | 2. M/Pの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--------------------------|-------------------|----------------------|--|--|------|-----|----|-----|------------|-------|-----|-------|-------------|-------|-----|-------|----------|-----------|-------|-----|-------|--------|-------|-----|-------|--|--------|-----|--------|
| 3. 主な理由 | 無償供与、プロ技実施。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 主な情報源 | 、 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. フォローアップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 実施済案件のため。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>運営体制と経済性について見通しが立たなかった施設整備（円借款）を除き、技協と無償については、タイ側が期待した通りに実施され（但し、中央訓練センターは未決定）期待を上回る成果をあげている。</p> <p>地域農業振興と農家所得向上を基礎とした本件については、タイ国内はもちろん、他の途上諸国からも強い関心が寄せられ、この開発調査の意義が、その後ますます評価されている。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p><M/P> 1981年2月 M/P最終報告書提出後、タイ側は報告書の基本構想を全面的に受け入れ、1981年4月モデル農協（全国で100組合）育成計画につき日本政府へ協力を要請。この要請を受け、日本側は1981年7月F/S調査のためS/Wミッションを派遣した。S/W締結後、1981年7月下旬から9月までF/S調査団を派遣した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p><F/S> 1982年3月 F/Sの最終報告書提出</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>*専門家派遣 タイ側では1982年3月 コンサルタント・ユニット設置のために個別専門家派遣を要請。 1982年12月～1983年12月 個別専門家（2名）派遣 1983年6月～1984年5月 個別専門家（2名）派遣 東北タイ、ナコンラチャシマ県内5農協で巡回指導を行う。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>*プロ技「農業協同組合振興（1984.7.6～1991.7.5）」 1983年6月 タイ政府より要請 1984年7月 ナコンラチャシマ県内5農協の地区で、継続的に5人の専門家が派遣された。 1989年7月～1991年7月 フォローアップ</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>*一般無償資金協力 1983年6月 タイ政府より要請 1984年9月 B/D 1985年3月7日 E/N 5.98億円（地域農業協同組合訓練センター建設計画）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>（平成5年度在外事務所調査） 東北タイ農協訓練センター建設により、当該地域内の農協関係者に対する研修が盛んに実施されている。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>JICA</th> <th>RTG</th> <th>小計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">投資額</td> <td>1987年1月～6月</td> <td>4,489</td> <td>175</td> <td>4,664</td> </tr> <tr> <td>1987年5月～11月</td> <td>3,711</td> <td>---</td> <td>3,711</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">（千 Baht）</td> <td>1987、88年度</td> <td>4,000</td> <td>233</td> <td>4,233</td> </tr> <tr> <td>1989年度</td> <td>4,000</td> <td>200</td> <td>4,200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16,200</td> <td>608</td> <td>16,809</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | JICA | RTG | 小計 | 投資額 | 1987年1月～6月 | 4,489 | 175 | 4,664 | 1987年5月～11月 | 3,711 | --- | 3,711 | （千 Baht） | 1987、88年度 | 4,000 | 233 | 4,233 | 1989年度 | 4,000 | 200 | 4,200 | | 16,200 | 608 | 16,809 |
| | | JICA | RTG | 小計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 投資額 | 1987年1月～6月 | 4,489 | 175 | 4,664 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1987年5月～11月 | 3,711 | --- | 3,711 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （千 Baht） | 1987、88年度 | 4,000 | 233 | 4,233 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1989年度 | 4,000 | 200 | 4,200 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 16,200 | 608 | 16,809 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>モデルプロジェクトに対するタイ側の評価は高い。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/S 202B/82

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|----------------------------------|---|-----------|--------------|---------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | バンコック市下水道整備計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 公益事業 / 下水道 | 4. 分類番号 | 201030 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | バンコック首都圏排水下水局 Department of Drainage and Sewerage, Bangkok Metropolitan Administration (BMA) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 汚染・洪水問題対策のための計画策定 第1期事業計画のF/S | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1979年3月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)日水コ | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 10. 調査団 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 測量 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 397,120 (千円) | コンサルタント経費 | 377,556 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|---|---|----|---------|-----|----|--------|-----|----|--------|
| 1. サイト又はエリア | <M/P>バンコック市とチャオピア河対岸のトンブリ地区 <F/S>バンコック | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B27.3 | M/P | 1) | 116,160 | 内貨分 | 1) | 69,100 | 外貨分 | 1) | 47,060 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 32,300 | 内貨分 | 1) | 23,200 | 外貨分 | 1) | 9,100 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |

3. 主な提案プロジェクト/事業内容

<M/P>
バンコック市は雨季には洪水排水問題、乾季には市内河川の汚濁が大きな問題であり、過去いくつかの調査が実施されてきた。より実質的な案を得るため既存報告の見直しとM/Pを改めて実施したものである。事業範囲は下水道計画だけである。
計画区域はCDMプランと同様37,000haとして、10処理区に分けた。下水の排水方式は分流式を基準とした。中心地域では埋設管を利用した暫定合流方式を採用、処理場の用地はタバコ公社空地利用とし、処理方式はモディファイドエアレーション方式とした。

<F/S>
1982年にはバンコック建都200年記念を祝うため市内運河の水質汚濁問題を解消したいことから下水道事業がとりあげられた。プロジェクトは廃棄物処理計画と対生じたもので、マスタープランの中から投資効率の大きい地区が選ばれてF/Sが実施された。
内容(汚水施設) 規模(整備区域面積970ha)
管渠(遮集管、合流管) 遮集管 3,000~2,400mm、L=7,100m
合流管 8,500~2,000mm、L=1,300m
中継ポンプ場 3カ所 Q=13~24m³/分
処理場(モディファイドエアレーション法) Q=135,000m³/日、流入BOD=160mg/l、流出BOD=60mg/l
沈砂池、エアレーションタンク、最終沈殿池、塩素混和池、消化タンク等

| | | | | | | | | |
|------------------------------------|----|-----------------|----|------|----|------|----|------|
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | 1984.1 ~ 1988.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| | 有 | EIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |

<M/P>
1979年度には、「バンコック市下水道および都市廃棄物整備計画調査」としてM/Pのための基礎データ収集を中心とした調査を実施した。

<F/S>
【開発効果】
事業の経済効果は計量化できないが、市内運河の一部の汚濁防止が期待できること、内陸部での浸水の軽減(一部地域)などが期待できる。

5. 技術移転

研修員受け入れ: 2名の個別研修
現地コンサルタントの活用: 測量を主として委託
機材供与及び指導: 水質分析
報告書作成に係る共同作業

案件の現状

| | | | | |
|--|--|--------------------------|-------------------|----------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 | 2. M/Pの現状 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 |
| 3. 主な理由 | 5プロジェクトの事業実現。 | | | |
| 4. 主な情報源 | | | | |
| 5. フォローアップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 年度 | | |
| <p>状況</p> <p>事業実施理由： 首都圏開発計画の一環としてプライオリティが高い。 洪水排水問題と深く関連するので下水道計画が採り上げられた。</p> <p>1990年よりDDSがF/S再検討。以下の5プロジェクトを進行中</p> <p>(1) Sipraya <処理場> BMA予算 約2.84億バーツ 1993年完工 1994年から稼働開始 処理方式：活性汚泥法 (Contact Stabilization Activated Sludge Process) 処理能力30,000m³/日</p> <p><収集システム> 1994～1996年 建設中</p> <p>(2) Rattanakosin 中央政府予算 約8.83億バーツ 95年完工予定 処理方式：Two Stage Activated Sludge Process 処理能力40,000m³/日</p> <p>(3) Din Daeng Bangkok Waste Water Treatment Project Phase I 中央政府予算75%、BMA25% 計63.82億バーツ 96年12月完工予定 処理方式：Taper Conventional Activated Sludge Process 処理能力350,000m³/日</p> <p>(4) Yannawa 中央政府予算60%、BMA40% 計45.52億バーツ 1995年着工 (設計と建設で3年計画) 処理方式：Sequencing Batch Reactor Activated Sludge 処理能力200,000m³/日</p> <p>(5) Nongkham-Phasicharoen-Ratburana 中央政府予算60%、BMA40% 計70.94億バーツ 2000年までに終了予定 (業者未決定) 処理能力157,000m³/日 (Nongkham-Phasicharoen)、65,000m³/日 (Ratburana)</p> <p>(その他着工までの詳細)</p> <p><M/P> 下水道計画報告書としては既存報告書と比べてより実的なものとして評価を得ているが、タイ側は洪水浸水問題の方が緊急度が高いとの認識であった。排水問題はタイ政府が世銀等にアプローチしていたため、従来は日本から技術協力はなされていなかった。この調査後、F/S実施と専門家派遣が行われ、さらにバンコック市周辺地区の浸水対策プロジェクト (JICA「バンコック市都市排水対策計画」M/P+F/S 1983～86) の実施へと発展している。</p> <p>関連プロジェクト： 次段階調査： (平成9年度在外事務所調査) 1996年9月～1998年3月 F/S (BMA) *調査内容 家庭・工業廃水、下水管理費見積、タイ内外の下水処理規則・法、下水処理サービス料 コンサルタント / Asian Institute of Technology 調査費用 / 280万バーツ</p> <p>1997年7月～1998年5月 F/S (BMA) *調査内容 農業利用、土地適用代替法 コンサルタント / Progress Technology 他1社 調査費用 / 1,300万バーツ</p> | | | | |

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/S 203B/82

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|-----------------------------|--|-----------|--------------|---------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | バンコク市都市廃棄物整備計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 公益事業 / 都市衛生 | 4. 分類番号 | 201040 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | バンコク市清掃局 Public Cleansing Department, Bangkok Metropolitan Administration | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | ゴミ処理システムの改善整備基本計画の策定と、そのF/S | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1979年3月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (財)東京都環境整備公社 | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 員数 |
| | | | | | 調査期間 |
| | | | | | 延べ人月 |
| | | | | 国内 | |
| | | | | 現地 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 地質調査 ごみ性状分析 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 491,070 (千円) | コンサルタント経費 | 447,098 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|--|-------|----|---------|-----|----|---------|-----|----|---------|
| 1. サイト又はエリア | バンコク市 | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B26.25 | M/P | 1) | 17,248 | 内貨分 | 1) | 8,667 | 外貨分 | 1) | 8,581 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 578,712 | 内貨分 | 1) | 352,590 | 外貨分 | 1) | 226,122 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |

3. 主な提案プロジェクト/事業内容

<M/P>
バンコク市のごみ処理システムを改善整備するために2000年目標の基本計画を策定、同時に67項目の短期改善案を勧告した。基本計画の主な事業は、コンポストプラント 5、焼却炉 2、最終処分場 3
収集車 1,190台、道路清掃車 88台、運河清掃用ボート 5
ボート 110台、ダンプトラック 25台、ブルドーザー 18台
短期改善案では1) 排出・収集方法、2) 輸送体制、3) コンポストプラント、4) 最終処分システム、5) 管理体制、6) 洪水対策の各分野別に改善すべき点をあげ、3段階の優先度をつけて提案している。
上記M/P予算は、短期改善案分

<F/S> 内容 規模
ごみ埋立地造成 3カ所 1,500t/日
ごみ焼却工場 2カ所 1,500t/日×2
高速堆肥化(コンポスト)工場 2カ所 800t/日

| | | | | | | | | |
|------------------------------------|----|-----------------|----|------|----|------|----|------|
| 計画事業期間 | 1) | 1985.1 ~ 2000.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |

<M/P,F/S>
[前提条件]
プロジェクトの目標年次を西暦2000年に設定し、排出されるごみの全量を処理する。現地の経済力に合わせた処理方法の実現をはかる。

[開発効果]
廃棄物の処理、処分を近代化することにより、公衆衛生の維持向上、市民の生活環境の向上に飛躍的に寄与する効果をもたらす。
1979年度は「バンコク市下水道及び都市廃棄物整備計画調査」としてM/Pのための基礎データ収集を中心とした調査を実施した。

5. 技術移転
OJT 研修員受け入れ: 6名に対して、清掃事業全般に亘る研修を行い、清掃事業の近代化に関する認識を深めた。現地コンサルタントの活用: 清掃事業団地の適地調査、現地地図の作成、ごみの性状分析、地質調査 機材供与及び指導: ごみ性状の調査分析器材、分析手法、コンピューターオペレーション

案件の現状

| | | | | |
|---|---|---|---------------------------|-------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現況 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> | <p>2. M/Pの現況 (区分)</p> | <p>進行・活用 遅延 中止・消滅</p> |
| <p>3. 主な理由</p> | <p>コンポストプラント完工（平成7年度現地調査）。 残プロジェクトは、JICA開発調査「バンコク廃棄物処理計画（S212B/90）」に引き継がれた。</p> | | | |
| <p>4. 主な情報源</p> | | | | |
| <p>5. フォローアップ調査終了年度 及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>1999 年度 1990年実施JICA開発調査でフォローのため。</p> | | |
| <p>状況 本調査の提案事業が実施された要因は以下のことによる。 継続的要因、他プロジェクトとの関連性：廃棄物は継続的に排出されるものであり、経済の発展に伴い近代化が要求される。 優先度の高さ：バンコク市5ヵ年計画の主要事業の1つである。 推進体制の強さ：タイ国内務省及びバンコク市当局の強力な推進母体である。</p> <p>専門家派遣： 1989年まで 川崎市の専門家が派遣された JICA専門家派遣中</p> <p>(1)コンポストプラント (平成7年度現地調査) オンヌックに新しいプラントを建設中（1,000t/日）（1995年完工予定） ラムイントラ、ノンケンに建設済 3ヶ所合計で2,000t/日の容量がある。（60%は中央政府予算、残りはBMA予算）</p> <p>(2)焼却炉建設 焼却炉用埋め立て地の入手ができず実施されなかった。バンコク廃棄物処理計画（1990）に引き継がれた。 (平成9年度在外事務所調査) On-Nut 医療廃棄物焼却炉建設のF/Sは未実施である。</p> <p>(3)その他 (平成3年度在外事務所調査) 小型トラック導入、ボートによる収集、収集係員への制服支給等、本件M/Pの短期計画は大部分が実施済。 (平成7年度現地調査) 1984年に東京都が10台の中古トラックを供与し、BMA予算でのトラック購入も行われた。</p> <p>残プロジェクト： (平成9年度在外事務所調査) 廃棄物削減、民間による収集、移送地点設置（実施予定） 沿岸もしくはは湿地における埋め立て場建設は経済的理由から未実施。</p> <p>「バンコク廃棄物処理計画（1990）」 1989～91年 M/P+F/S 実施 実施理由 - 都市廃棄物の量が調査の予測を大幅に上回ったこと、焼却施設の建設コストがバンコク市清掃局（BMA）の資金能力を上回り、BMAは借入政策をとっていなかったこと、土地価格の急激な上昇のため、土地収用が不調であったことが挙げられる。</p> | | | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 305/82

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--------------------|--------------|-----------|--------------|---|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | ベチャブリかんがい農業開発計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省王室灌漑局 | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 水路改修及び圃場整備の妥当性調査 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ | | | 10. 調査団 | 11 調査期間 1980.11 ~ 1982.3 (16ヶ月) ~ 延べ人員 50.73 国内 18.36 現地 32.37 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | リーチングテスト 試験圃場建設 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 201,291 (千円) | コンサルタント経費 | 167,094 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------|-------|----|---------|---|----------------------------|--------|------|
| 1. サイト又はエリア | ベチャブリ川流域 (面積 52,600ha、人口 192,000人) | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=¥230=B23 | 1) | 233,865 | 内貨分 | 1) | 163,396 | 外貨分 | 1) | 70,469 | |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 | |
| 3. 主な事業内容 | <p>ベチャブリ灌漑地区45,000ha及び周辺7,100haの新規開発地を対象とした水路改修、末端施設整備を中心とする灌漑農業の開発。 本調査は、1950年に建設されたベチャ頭首工と配水システム及び1966年に完了したカンクラチャン貯水ダム、それに防砂堤を最大限に活用する為に、用水システム、排水システムの整備、改修を図り、地区内の単位生産性の向上を図る。 事業概要は次の通り。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 用水改修事業 ・水路の新設 120km ・ライニング施工 167km ・水路改修 128km </td> <td style="width: 50%;"> 末端施設整備事業 ・圃場整備 52,600ha </td> </tr> </table> | | | | | 用水改修事業 ・水路の新設 120km ・ライニング施工 167km ・水路改修 128km | 末端施設整備事業 ・圃場整備 52,600ha | | |
| 用水改修事業 ・水路の新設 120km ・ライニング施工 167km ・水路改修 128km | 末端施設整備事業 ・圃場整備 52,600ha | | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1987.1 ~ 1998.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) | 26.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | | FIRR 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | <p>年間98千トンの初の増産 ・48,700haの水田への改良品種の導入 ・乾期稲栽培の拡大 ・総生産量とIRRは次の様に算定される。</p> <p>総事業費 ¥22,200百万 (但し1US\$ = 230Yen) 増加生産額 B584百万 総生産量 水稲 24万トン、緑豆 0.7万トン、野菜 4.8万トン、果樹 1.6万トン IRRは26%となる。</p> | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | 技術者に対するトレーニング | | | | | | | | |

・ 案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | タイ政府の農業開発政策の転換により本件の優先度が低下。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 中止・消滅案件のため。 |

状況

中止・消滅要因：

タイ政府の農業開発政策の転換により本件の優先度が低下

(平成6年度国内調査)

本計画は末端施設整備を主体としているが、タイ政府は水資源開発に重点を置いており、実施に向けての進展はない。
現在タイ国政府は、農家圃場整備、基盤整備事業を政府主導型から民間主導型へと移行を進めており、本件に限らず、農家の圃場整備事業は銀行からの融資を受けて、農民組織が主体となって実施されている。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 306/82

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|------------------------------|--------------------|-----------|--------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | メイクワンかんがい農業開発計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省王室灌漑局 (RID) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1980年12月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ 太陽コンサルタンツ(株) | | | 10. 調査団 | 14 |
| | | | | 調査期間 | 1981.2 ~ 1982.2 (12ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 57.09 |
| | | | | 国内 現地 | 21.57 35.32 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 193,441 (千円) | コンサルタント経費 | 165,175 (千円) | |

調査結果の概要

| 1. サイト又はエリア | チェンマイ県及びランブーン県 (灌漑面積 20,000ha) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----------------|---------|---------|---------|------|----------|-----------|---------|---------|----------|-------|------|------|-----|---------|-------|------|------|-----|----------|-------|------|------|-----|
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 204,400 | 内貨分 | 1) | 126,600 | 外貨分 | 1) | 77,800 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2) | 223,600 | | 2) | 138,700 | | 2) | 84,900 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>1. 土木工事規模</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>天端標高 (m)</th> <th>盛土量 (MCM)</th> <th>ダム高 (m)</th> <th>ダム長 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 左岸ダム</td> <td>395.0</td> <td>2.26</td> <td>52.0</td> <td>650</td> </tr> <tr> <td>(2) 主ダム</td> <td>395.0</td> <td>5.58</td> <td>77.0</td> <td>645</td> </tr> <tr> <td>(3) 右岸ダム</td> <td>395.0</td> <td>1.44</td> <td>41.0</td> <td>655</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 幹線水路: 87.4km 3. 支線水路: 146.6km 4. 水力発電 (1) 設備容量: 3.7MW (2) 年間発電電力量: 16.3GWH 5. 新しい作物体系 米・米・米・落花生・米・大豆・米・スイートコーン・米・たばこ・米・にんにく・米・野菜・大豆・たばこ・大豆・落花生及びひよこ豆</p> | | | | | | 天端標高 (m) | 盛土量 (MCM) | ダム高 (m) | ダム長 (m) | (1) 左岸ダム | 395.0 | 2.26 | 52.0 | 650 | (2) 主ダム | 395.0 | 5.58 | 77.0 | 645 | (3) 右岸ダム | 395.0 | 1.44 | 41.0 | 655 |
| | 天端標高 (m) | 盛土量 (MCM) | ダム高 (m) | ダム長 (m) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 左岸ダム | 395.0 | 2.26 | 52.0 | 650 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 主ダム | 395.0 | 5.58 | 77.0 | 645 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 右岸ダム | 395.0 | 1.44 | 41.0 | 655 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1976.1 ~ 1988.9 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 17.70 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>[条件] 経済費用: 2,521.4百万バーツ (1980年価格) 維持管理費: 17.4百万バーツ/年 (1991年以降)</p> <p>[開発効果] 農業生産の増大 雇用機会の増大 (農業人口14,300) 洪水防衛: 年間洪水被害385軽減 農家収入の増大: 年13,700バーツ/農家 の純益を貯蓄できる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | 研修員受け入れ: 1名 現地調査期間中、灌漑局で数次にわたるセミナーを開催 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 1993年工事完工。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 実施済案件のため。 |

状況

次段階調査

1982年7月16日 L/A 9.4億円(灌漑開発事業 E/S)
 詳細設計実施(上記の一部1.9億円)
 事業内容: F/S等既存調査の見直し及び必要な追加調査の勧告、 詳細設計の実施、 入札書類の作成、
 事業費積算、事業評価の実施等
 コンサルタント: 三祐コンサルタント

第1期工事

1984年9月18日 L/A 23.0億円(メクワン灌漑農業開発事業)
 事業内容: メクワン左岸ダム建設
 施工実施: 王室灌漑局直営
 施工管理: 三祐コンサルタント

第2期工事

1985年10月4日 L/A 91.97億円(メクワン灌漑農業開発事業(2))
 事業内容: メクワン主及び右岸ダム建設
 施工実施: China State Const (中国民間業者)
 施工管理: 日本工営、 A&R Consultants

第3期工事

1987年9月21日 L/A 28.05億円(メクワン灌漑農業開発事業(3))
 事業内容: 左岸幹線用水路(68.6km)、左岸支線用水路(99.0km)及び管理運営施設32カ所の建設
 施工実施: Lodigiani S.P.A. (イタリア民間業者)
 施工管理: 三祐コンサルタント、 Team Consulting Eng

1993年 全工事完工

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 307/82

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|---------------------|---|-----------|--------------|------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | パサック河上流中規模灌漑計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省王室灌漑局 Royal Irrigation Department, Ministry of Agriculture and Cooperatives (RID) | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | パサック河上流の中規模灌漑計画のF/S | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1981年4月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本工営(株) 中央開発(株) | | | 10. 調査団 | 団員数 | 34 |
| | | | | | 調査期間 | 1981.8 ~ 1983.3 (19ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 72.48 |
| | | | | | 国内 | 21.06 |
| | | | 現地 | 51.42 | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 188,810 (千円) | コンサルタント経費 | 175,942 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|---|--|---------|--------|---------|--------|--------|
| 1. サイト又はエリア | ベチャブン県パサック河上流域 (バンコク北方330km) | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B23.0 | 1) | 195,000 | 内貨分 1) | 107,000 | 外貨分 1) | 88,000 |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 |
| | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>地区: ファイ・サダン・ヤイ ファイ・コンケン ファイ・ヤイ ケー・ロン・チヤア・ラフ</p> <p>灌漑面積: 5,400ha 5,100ha 1,800ha 1,200ha</p> <p>ダムタイプ: アースフィル アースフィル アースフィル アースフィル</p> <p>堤高: 38m 57m 38m 35.3m</p> <p>堤長: 467m 950m 816m 1,259m</p> <p>用水路: - 105.2km 26.6km 21.2km</p> <p>排水路: - 72.3km 36.7km 20.0km</p> <p>計画事業期間は10カ年</p> | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | ~ | 2) | ~ | 3) | ~ |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 13.90 | 2) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 |
| <p>[条件]</p> <p>農業便益は、計画事業実施と未実施の場合の作物からの純収入の差として評価。ダムからの放流水及びロム・サック市への都市用水も便益として計上。</p> <p>[開発効果]</p> <p>農作物の収量増、地域住民の生活向上、上水道・生活用水の補給、等。</p> | | | | | | |
| 5. 技術移転 | 調査期間中のタイ国政府技術者に対するOJT | | | | | |

案件の現状

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|---------|---------|-----|---------------------------------------|-------|-------|-----|--|--------|-------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | <table border="0"> <tr> <td>実施済・進行中</td> <td>具体化準備中</td> </tr> <tr> <td>実施済</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一部実施済</td> <td>遅延・中断</td> </tr> <tr> <td>実施中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>具体化進行中</td> <td>中止・消滅</td> </tr> </table> | 実施済・進行中 | 具体化準備中 | 実施済 | | 一部実施済 | 遅延・中断 | 実施中 | | 具体化進行中 | 中止・消滅 |
| 実施済・進行中 | 具体化準備中 | | | | | | | | | | |
| 実施済 | | | | | | | | | | | |
| 一部実施済 | 遅延・中断 | | | | | | | | | | |
| 実施中 | | | | | | | | | | | |
| 具体化進行中 | 中止・消滅 | | | | | | | | | | |
| 2. 主な理由 | ファイ・コンケンダムとクーロン・チャリアン・ラブダム完工済。 | | | | | | | | | | |
| 3. 主な情報源 | 、 | | | | | | | | | | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度及びその理由 | <table border="1"> <tr> <td>終了年度</td> <td>1999 年度</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td>実施済案件のため。ファイ・ヤイ及びファイ・サダン・ヤイの完工未確認のため。</td> </tr> </table> | 終了年度 | 1999 年度 | 理由 | 実施済案件のため。ファイ・ヤイ及びファイ・サダン・ヤイの完工未確認のため。 | | | | | | |
| 終了年度 | 1999 年度 | | | | | | | | | | |
| 理由 | 実施済案件のため。ファイ・ヤイ及びファイ・サダン・ヤイの完工未確認のため。 | | | | | | | | | | |
| <p>状況</p> <p>次段階調査： 1986～92年 下記(1),(2)のF/Sレビュー、D/D (RID) 調査費用/政府資金 1.8億バーツ コンサルタント/タイ業者</p> <p>(1)ファイ・コンケン 資金調達： 政府資金 6.53億バーツ 工事： <ダム> 1990年 着工 1994年 完工 <配水システム> 1998年 着工予定</p> <p>(2)クーロン・チャリアン・ラブ 資金調達： 政府資金 1.45億バーツ 工事： 1993年 着工 1997年 完工 建設業者/ローカル</p> <p>(3)ファイ・サダン・ヤイ及びファイ・ヤイ (平成8年度在外事務所調査) 今後5年間(1997～2001年)に実施されることになっており、ファイ・ヤイ地区については1997年に自己資金でD/D実施予定である。 (平成9年度在外事務所調査) ファイ・ヤイでは1998年に、ファイ・サダン・ヤイでは2000年に着工される予定である。</p> <p>工事終了後の運営・監理状況： タイ政府によって運営されている。</p> | | | | | | | | | | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 308/82

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|---------------------------------|---|-----------|--------------|---|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | チャオピア河架橋計画(ラマ六世橋建設計画) | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 道路 | 4. 分類番号 | 202020 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 内務省公共事業局 Department of Public Works(PWD), Ministry of Interior | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | バンコック市内の交通混雑緩和、特に中環状道路の一部としての完成 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1981年3月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)千代田コンサルタント 日本海外コンサルタンツ(株) | | | 10. 調査団 | 12 1981.6 ~ 1982.3 (9ヶ月) ~ 延べ人月 38.05 国内 3.55 現地 34.50 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 測量・地質調査 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 124,023 (千円) | コンサルタント経費 | 116,682 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | |
|--|--|------------------|--------|--------|--------|--------|------|
| 1. サイト又はエリア | バンコック市北部地域 | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=23バーツ | 1) | 34,000 | 内貨分 1) | 19,100 | 外貨分 1) | 14,900 | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | |
| 3. 主な事業内容 | <p>(1) 道路橋新設 主橋 全長290m、幅員 29.1m (6車線+歩道両側) スパン割り 85m + 120m + 85m = 290m 3スパン(フレシネカンチレバー工法) アプローチ橋 幅員 23.3m (6車線) 橋長合計 650m</p> <p>(2) 鉄道橋新設 幅員 12.5m (複線) 橋長 71.9m (3径間連続PC桁)</p> <p>(3) 道路新設 幅員 9.4m ~ 5.7m 延長 3,900m</p> <p>(4) その他護岸工、排水溝、ポンプステーション、電気、上水道、電話施設(延長5,700m)、公園、駐車場、横断歩道橋、信号等を含む。</p> | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1983.10 ~ 1986.3 | 2) | ~ | 3) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) | 20.30 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | | FIRR 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| <p>[前提条件] 将来交通量は1985、1990、2000年の3時点で予測 標準走行速度50km/時 旅客交通量、貨物交通量は主要開通地点に於けるOD調査より予測</p> <p>[開発効果] バンコク都市圏及びその周辺部に於ける自動車交通渋滞の緩和 中央環状道路容量の飛躍的増加に伴う沿線地区(住宅、工業地)の開発</p> | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>OJT: 道路計画及び橋梁計画のノウハウ及びパーソナルコンピューター講座を設定 研修員受け入れ 共同で報告書作成 現地コンサルタントの活用: 交通量調査、地形測量、地質調査</p> | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 1992年9月工事完工。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 、 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 実施済案件のため。 |

状況

効果の大きさ：混雑緩和、車輻輳到達時間の短縮による地域経済のより一層の向上。
 優先度の高さ：Middle Ring Roadの連結によってバンコック首都圏のバランスのとれた開発が期待される。
 推進体制の強さ：内務省公共事業局 (PWD)はチャオピア河で5橋の工事実績を持つ。
 担当コンサルタントによるFinancial Consulting等のバックアップ。

(平成4年度現地調査)
 本案件は、第5次及び第6次の国家経済社会開発計画に盛りこまれた。

次段階調査：
 1983年9月 第10次OECF融資 L/A 1.70億円 (ラム6世新橋建設事業E/S)
 1986年8月 新ラム6世橋及び取付道路のD/D終了

資金調達：
 1987年9月 第13次OECF融資 L/A 55.99億円 (新ラム6世橋建設事業)
 *事業内容：
 全長290m (センタースパン120m、サイドスパン各85m)のPCコンクリート橋
 アプローチ橋
 鉄道橋
 ランドスケープ
 その他道路工事
 施工監理
 このうち借財対象は、外貨資金全額及び内貨資金の一部

工事：
 1988年12月 工事入札予備審査終了
 1989年6月 工事入札
 1989年11月 工事契約
 1990年1月 工事着工命令発令
 1992年9月 完工

* JICA D/D調査「ラム6世橋梁修復計画 (THA/S 403/82)」参照

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 309/82

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--|--|-----------|--------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 東部水資源開発計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 社会基盤 / 水資源開発 | 4. 分類番号 | 203025 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の担当機関 | 調査時 | 灌漑排水局 Royal Irrigation and Drainage | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | タイ政府による2000年までの水資源開発計画に基づき、そのステージを構成するラヨンプライ、チョンブリ県のバンブンにおけるプロジェクトのF/S | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1980年12月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)建設技術研究所 (株)三祐コンサルタンツ 野村総合研究所(株) | | | 10. 調査団 | 11 |
| | | | | 調査期間 | 1981.2 ~ 1982.3 (13ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 61.79 |
| | | | | 国内 現地 | 26.54 35.25 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 測量 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 165,176 (千円) | コンサルタント経費 | 149,826 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | |
|--|---|------------------|--------|---------|--------|---------|------|
| 1. サイト又はエリア | 東部海岸 (ラヨンプライ、チョンブリ県) | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=¥230=B23 | 1) | 241,570 | 内貨分 1) | 103,870 | 外貨分 1) | 137,700 | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | |
| | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>1. ノンブラライ・サブプロジェクト 貯水池およびダム：集積面積 426km²、総貯水容量 200,700km³；ダム型式 カットオフトレンチ付アースフィルタイプ、堤頂高 EL.49.0m、ダム高 31.0m、堤頂長 4,000m 導水施設 マブタブッドへの導水：パイプライン設計流量 3.63m³、総延長 27.6km マブタブッド・サタヒップへの導水：パイプライン設計流量 毎秒1.09m³、総延長 21.9km ランチャパンへの導水：パイプライン設計流量 毎秒1.01m³、総延長 53.0km 灌漑および排水システム 灌漑面積 3,650ha、灌漑水路延長：幹線水路 46.2km、支線水路 20km、排水システム：排水面積 地区内 21.3km²・地区外 14.9km²、幹線排水路延長 6.5km</p> <p>2. バンブン・サブプロジェクト 貯水池およびダム：集積面積 53km²、総貯水容量 21,900km³；ダム型式 カットオフトレンチ付アースフィルタイプ、堤頂高 EL.86.3m、ダム高 21.5m、堤頂長 2,800m</p> | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1983.1 ~ 1986.11 | 2) | ~ | 3) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) | 10.50 | 2) | 8.20 | 3) | 0.00 |
| | | FIRR 1) | 4.90 | 2) | 1.80 | 3) | 0.00 |
| <p>〔前提条件〕 東部海岸地区における工業開発計画が概算計画どおり推進されること</p> <p>〔開発効果〕 直接便益 都市・工業用水の確保 灌漑による米・グランドナッツ生産 洪水調節 間接便益 工業発展の促進 (ガス分離・石油化学プラント、ソーダ灰プラント、化学肥料プラント、還元鉄プラント、工業団地、深海港等) 生活水準の向上 洪水調節による土地価格の上昇</p> <p>上記IRR(は1) ノンブラライ・サブプロジェクト、2) バンブン・サブプロジェクト 各セクターのEIRRは、1. ノンブラライ・サブプロジェクト：都市・工業用水 10.4%、灌漑用水 12.1%、洪水調節 3.5%； 2. バンブン・サブプロジェクト：都市・工業用水 8.3%、洪水調節 2.9%</p> | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>研修員受け入れ：4人×約3ヶ月 水供給システムの実地見学 工事管理業務についての技術移転</p> | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|-------------------------------|---|-----------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現状 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> |
| <p>2. 主な理由</p> | <p>優先度の高さ：東部海岸工業化計画がタイ政府のプライオリティ No.1であったこと。 推進体制の強さ：RIDが首相から直接当プロジェクトの推進に任命されたこと。 ノンブラライダム及び導水施設事業実施済。</p> | |
| <p>3. 主な情報源</p> | <p>、</p> | |
| <p>4. フォロ-アップ調査終了年度及びその理由</p> | <p>終了年度理由</p> | <p>1999 年度 実施済案件のため。</p> |

状況

(1) ノンブラライダム

次段階調査：

1982年7月 L/A 3.2億円 (E/S) (日本工営)

*事業内容

灌漑開発事業 (E/S) の一部。ラヨン川上流にダムを建設して東部陸海地域に工業、生活用水を供給するドクライ貯水池の既存灌漑用水供給の肩代わり洪水調節等を行う。

資金調達：

1988年9月 L/A 43.57億円 (ノンブラライ建設事業)

*事業内容

タイ東部ライオン県ノンブラライに有効貯水量1億5千トンのダム及び関連施設の建設
(借款対象は資機材、土木工事及び施工監理)

工事：

1990～1993年 (平成8年度在外事務所調査)

工事管理 / 三祐コンサルタント

工事業者 / Guohua International Contracting (平成8年度在外事務所調査)

管理・運営：

R I D

(2) 導水施設

次段階調査：

1982年9月 D/D終了

コンサルタント / 建設技術研究所

資金調達：

1982年7月 L/A 65.7億円 (東部陸海地域送水管計画)

*事業内容

ドクライ貯水池・マブタブット間送水管建設 (長さ26.5km、直径1,350mm)

マブタブット・サタヒップ間送水管建設 (長さ22km、直径1,000mm)

(借款対象- の工事費、施工監理費、D/DのE/S費用)

1988年11月 L/A 14.59億円 (マブタブット - サタヒップ送水管建設事業)

*事業内容

タイ東部ライオン県マブタブット、チョンブリ県サタヒップ間に延長22.9km、口径700～900mmの送水管及び関連施設の建設。

(借款対象は資機材、土木工事及び施工監理)

工事：

1983年4月～1984年9月 ドクラーマブタブット間パイプライン施工

1991年～1992年 マブタブット-サタヒップ間パイプライン施工

工事業者 / A.S. Associated Engineering Co. Ltd. (平成8年度在外事務所調査)

*JICA D/D調査「東部海岸パイプライン建設実施設計 (THA/S404/82)」参照。

管理・運営：

Eastern Water Resource Development and Management Co. Ltd. (平成8年度在外事務所調査)

状況：

(平成9年度国内調査)

追加情報なし

案件要約表 (D/D)

ASE THA/S 403/82

作成 1988年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--|-----------------------------------|-----------|-------------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | ラム6世橋梁修復計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 鉄道 | 4. 分類番号 | 202040 | 5. 調査の種類 | D/D |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | タイ国鉄 State Railway of Thailand | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 倒壊の危険性のあるラム6世橋の修復に係る入札図書作成のための詳細設計及びコスト積算等 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1981年3月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (社) 海外鉄道技術協力協会 (JARTS) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | 10. 調査団 | 18 |
| | | | | 調査期間 | 1982.1 ~ 1982.12 (11ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 46.54 |
| | | | | 国内 | 35.50 |
| | | | | 現地 | 11.04 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 現地土質等調査、潜水夫関係、振動関係、測量関係、橋脚堀削調査、河床調査(船) | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 87,560 (千円) | コンサルタント経費 | 81,093 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | |
|---|--|----------|--------|-------|--------|----|------|
| 1. サイト又はエリア | バンコク北部ラム6世橋及びその周辺地域 | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B26 | 1) | 1,353 | 内貨分 1) | 1,353 | 外貨分 1) | 0 | |
| | 2) | 142 | 2) | 0 | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | |
| | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>1. 現況確認調査 1) 測量 2) 河床洗掘状況調査 3) 変状確認調査 4) 土質調査 5) 振動測定 2. 変状原因の解析 3. 補修方針の検討 4. 基本設計 5. 施工法の検討 6. 戦略コストの算定 7. 詳細設計 8. 施工計算書の作成 9. コスト積算 10. 特記仕様書の作成</p> <p>上記予算の1)はCD橋脚修復費、2)は咨リセット費 計画事業期間は13ヵ月</p> | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1983.1 ~ | 2) | ~ | 3) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | EIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| 短期的視野からの対策としては、現在実施している大型車の規制、列車速度制限を継続する。長期的には、橋脚の補修・沓の再セット等を実施する。 | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>OJT：現地で橋梁建設の映画上映、セミナー開催及び列車運転時の線路振動測定法の現地指導等 研修員受け入れ：2名 橋梁建設の実態の視察、討議 現地コンサルタントの活用：橋梁周辺の地質検査、水面下の橋脚状況調査(ダイバー) 機材供与及び指導：線路振動計の供与</p> | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 工事完工。 | |
| 3. 主な情報源 | | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 案件実施済。 |

状況

(1) 短期計画
資金調達：
自己資金
工事費 31百万バーツ
実施プロジェクト：
橋脚の補修・沓の再セットが実施され列車速度の制限は解除された。

(2) 長期計画
1) ラマ6世橋複線化
資金調達：
タイ国鉄予算 工事費 4,700万バーツ (平成7年度現地調査)

工事：
1994年5月 開始
1995年7月 完了
2) バンコク側アプローチ区間
資金調達：
工事費 4,520万7,500バーツ

工事：
平行する在来線と同様の合成橋を使用するように設計されている。
3) Thonburi側アプローチ区間
完工

*詳細はJICA F/S「チャオピア河架橋計画(ラマ六世橋建設計画)THA/S 308/82」参照

案件要約表 (D/D)

ASE THA/S 404/82

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|-----|--------------------------------------|--------------|-----------|--|
| 1. 国名 | | タイ | | | |
| 2. 調査名 | | 東部海岸パイプライン建設実施設計 | | | |
| 3. 分野分類 | | 社会基盤 / 水資源開発 | | 4. 分類番号 | 203025 |
| 5. 調査の種類 | | D/D | | | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 王立灌漑局 Royal Irrigation Department | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | | ドッククライ貯水池からマブタブット迄のパイプライン建設のための実施設計 | | | |
| 8. S/W締結年月 | | 1980年10月 | | | |
| 9. コンサルタント | | (株)建設技術研究所 (株)三祐コンサルタンツ (株)日水コ | | 10. 調査団 | 団員数 22 調査期間 1981.11 ~ 1982.8 (9ヶ月) ~ 延べ人月 87.00 国内 39.00 現地 48.00 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | 測量 地質調査 | | | |
| 12. 経費実績 | | 総額 | 223,594 (千円) | コンサルタント経費 | 206,221 (千円) |

調査結果の概要

| | | | | | | | |
|--|--|--|-----------------|---------|---------|---------|--------|
| 1. サイト又はエリア | | タイ国東部ドッククライ - マブタブット間 | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=230円=23B | | 1) | 39,214 | 内貨分 1) | 13,026 | 外貨分 1) | 26,188 |
| | | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 |
| | | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 |
| 3. 主な事業内容 | | ・取水施設(ドッククライ)ポンプ 6基 ・パイプライン 26.5km ・ヘッドタンク 1基 ・受水施設(マブタブット) 受水池、他 | | | | | |
| 計画事業期間 | | 1) | 1983.3 ~ 1984.8 | 2) | ~ | 3) | ~ |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | | 有 | EIRR 1) 11.20 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | 0.00 |
| | | | FIRR 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | 0.00 |
| 【条件】 | | 予備設計に基づいて積算された建設費からあらゆる税金、保険料、補助金及び補償金を差し引き社会経済的機会費用を考慮。 | | | | | |
| 【開発効果】 | | 東部海岸地域の都市、工業用水、灌漑用水が供給され地域開発が期待される。 | | | | | |
| 5. 技術移転 | | 研修員受け入れ：1982年6月、王室灌漑局より土木設計、建築設計、法律、積算の各部門チーフ4人が日本へ派遣され、国内における作業を共同して行った。また、現地ではOJT形式で技術移転がなされた。 | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 工事完工。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 案件実施済。 |

状況

本件が実施されたのは以下の要因による。
優先度の高さ：タイ政府の優先度として東部海岸工業化計画が一番高かったこと。
推進体制の強さ：RIDが首相から直接このプロジェクトの推進に任命されたこと。

資金調達：
1982年7月 L/A 65.7億円（東部沿岸海水域送水管計画）
*事業内容：
ドッククライ貯水池・マブタブット間送水管建設（長さ26.5km、直径1,350mm）
マブタブット・サタヒップ間送水管建設（長さ22km、直径1,000mm）
借款対象は、の工事費、施工管理費、の詳細概算にかかるE/S費用

工事：
1984年11月 完工

* 「タイ東部海岸水資源開発計画 F/S (THA/S 309/82)」より派生。

案件要約表 (基礎調査)

ASE THA/S 501/82

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|---------------|-----------------------------|-----------|-------------|---------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | ラオス難民生活用水供給計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 社会基盤 / 水資源開発 | 4. 分類番号 | 203025 | 5. 調査の種類 | 基礎調査 | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 内務省 Ministry of Interior | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 地下水資源の探査 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1982年1月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本技術開発(株) | | | | 10. 調査団 | |
| | | | | | 員数 | 8 |
| | | | | | 調査期間 | 1982.2 ~ 1982.11 (9ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 36.66 |
| | | | | 国内 | 2.96 | |
| | | | | 現地 | 33.70 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 資機材購入 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 100,465 (千円) | コンサルタント経費 | 98,916 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|----------------------------------|---|---|-----|----|---|-----|
| 1. サイト又はエリア | タイ国東北部のラオス難民キャンプ2カ所(ナコンパノム、バクチョム) | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 0 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | |
| | | | | | | |
| 3. 主な提案プロジェクト | <p>第1次調査 ナコムパノム・キャンプ地下水調査 (テストボーリング4カ所、水質等関連調査等に基づき、新規に2本の井戸を提言)</p> <p>第2次調査 バクチョム・キャンプ地下水調査 (テスト・ボーリング4カ所、水質等関連調査に基づき、新規に2本の深井戸を提言)</p> | | | | | |
| 4. 条件又は開発効果 | <p>【開発効果】 ラオス難民(ナコムパノム・キャンプ計画収容人員20,000人、バクチョム・キャンプ同50,000人)のための生活用水が確保される。</p> | | | | | |
| 5. 技術移転 | なし | | | | | |

調査結果の活用の現状

(基礎調査)

| | | |
|---|------------------------------|----------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | 本調査提言の活用。 | |
| 3. 主な情報源 | | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 提案プロジェクト実施済のため。 |
| <p>状況</p> <p>(平成8年度国内調査) ラオス難民緊急対策のため、ボーリング調査に並行して井戸建設が実施された。</p> <p>資金調達： 1983年5月3日 E/N 4.95億円</p> <p>工事： 両キャンプに各々6本の深井戸を建設 ナコムパノム 1982年2月~4月 パクチョム 1982年5月~10月</p> <p>裨益効果： ナコムパノム 20,000人、パクチョム 50,000人のための生活用水が確保された。</p> | | |

案件要約表 (M/P)

ASE THA/S 102/83

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|------------------------------------|--|-----------|--------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 東北部道路網整備建設計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 道路 | 4. 分類番号 | 202020 | 5. 調査の種類 | M/P |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 運輸通信省道路局 Department of Highways, Ministry of Communications | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 東北部の道路整備に係るM/Pの作成 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1981年11月 | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本工営(株) (株)片平エンジニアリング・インターナショナル | | | 10. 調査団 | 11 |
| | | | | 調査期間 | 1982.3 ~ 1983.3 (12ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 79.20 |
| | | | | 国内 現地 | 14.60 64.60 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 227,413 (千円) | コンサルタント経費 | 216,437 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | |
|---|--|--------|-----|----|--------|-----|----|---|
| 1. サイト又はエリア | 東北部16県、面積169,000m ² | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B23 | 1) | 55,200 | 内貨分 | 1) | 55,200 | 外貨分 | 1) | 0 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | | | | | | | |
| 3. 主な提案プロジェクト | <p>東北部地方道路網整備のために優先プロジェクトとして下記が提案された。</p> <p>新設・改良：18路線 666.9km 修 復：25路面 468.0km</p> | | | | | | | |
| 4. 条件又は開発効果 | <p>【開発効果】</p> <p>地域格差の是正 農業生産促進 貧困地域を主体とした地域開発</p> <p>一方、社会的インパクトの大きさを 社会・政治的孤立度の軽減 保健サービスの向上 教育サービスの向上 所得格差の是正 という項目について計量化を行ない、評価の中に加えた。</p> | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>OJT：優先路線の選定手法、社会インパクトの計量化といった新分野の技術について 研修員受け入れ：2名 ドラフト・ファイナル・レポートのとりまとめにおいて協議 共同作業：現地踏査、M/P作成、報告書作成など重要事項について、十分協議・移転を行った。</p> | | | | | | | |

調査結果の活用の現状

(M/P)

| | | |
|---|------------------------------|---------------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | 次段階調査の実施、調査結果の活用。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 調査結果の活用、提案プロジェクトの実施。 |
| <p>状況</p> <p>次段階調査： 優先プロジェクトのうち15路線の新設・改良（502.1km）及び8路線の修復（90km）についてF/S（東北部道路網整備計画（フェーズII）（1985））が実施された。 （平成9年度在外事務所調査） 1984-1994年 F/S、B/D、D/D実施 コンサルタント/DOH</p> <p>活用状況： （平成9年度在外事務所調査） 調査結果は第5次（1982-1986）、6次（1987-1991）、7次（1992-1996）国家開発計画に組み入れられた。</p> <p>* 詳細は東北部道路網整備計画（フェーズII）（1985）参照。</p> | | |

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/S 204B/83

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--|---|-----------|--------------|---------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 東部工業港開発計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 港湾 | 4. 分類番号 | 202055 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | タイ工業団地振興公社及びタイ港湾管理公社 Industrial Estate Authority of Thailand, Port Authority of Thailand | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 2000年を目標としたマブタブット湾の工業湾としてのM/Pの策定と、短期計画のF/S | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1982年5月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (財)国際臨海開発研究センター (OCDI) 国際航業 (株) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 団員数 |
| | | | | | 調査期間 |
| | | | | | 延べ人月 |
| | | | | 国内 | |
| | | | | 現地 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 396,212 (千円) | コンサルタント経費 | 411,680 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|---|-----------|----|-----------|-----|----|---------|-----|----|-----------|
| 1. サイト又はエリア | 東部ラヨン県臨海部 | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=239.2=B23 | M/P | 1) | 627,360 | 内貨分 | 1) | 570,800 | 外貨分 | 1) | 56,560 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 1,808,940 | 内貨分 | 1) | 668,491 | 外貨分 | 1) | 1,140,449 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |

3. 主な提案プロジェクト/事業内容

<M/P> 2000年を目標に装置工業中心の工業基地、港湾、住宅都市をセットで開発する。

1. 工業開発計画
ガス分離プラント、ソーダ灰コンプレックス、肥料コンプレックス、鉄鋼プラント、支援産業、後方関連産業
2. 港湾開発計画
貨物量23百万トン 45/バース (総延長5,750m)、防波堤
3. 都市開発計画
ニュータウン人口 71,500人、面積 575ha、世帯数 17,340
4. 基盤施設整備計画
道路、鉄道、チェンサオ-サタヒップ建設、側線、路線の延長 25km、年間貨物輸送量 370万トン、上下水、排水、固型廃棄物処理、電力通信 (電気需要量 1,354MW 電話回線 10,000 加入電信・電報ファックス等 23)

<F/S> 1987年目標の短期計画

1. 工業開発計画: 石油化学コンプレックス、肥料コンプレックス、ソーダコンプレックス、各種支援産業、工業団地面積 410ha、埠頭壁 820m
2. 公共港湾地域: 埠頭壁 850m、埠頭 280m、防波堤 3,000m、バースの延長 1,750m、年間貨物量 400万トン
3. 都市開発: 面積 131ha 人口 18,300 世帯数 4,360
4. 基盤施設: 道路、上下水、排水、鉄道 (延長 24km、年間貨物輸送量 200万トン)、電力 (総需要量 133.5MW)、電話回線 3000、必要端末数 23

| | | | | | | | | |
|------------------------------------|----|------------------|----|-------|----|------|----|------|
| 計画事業期間 | 1) | 1984.1 ~ 1987.12 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 15.70 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 19.80 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |

<M/P>

- [開発効果] タイ国ががたてより推進している、東部臨海地帯開発計画に関する重工業の核となるものである。
天然ガス資源を使用する産業の成立
バンコク首都圏の拡大を制限
当地方に於ける都市及び工業の発展への貢献
国民経済の浮揚と雇用促進に寄与

<F/S>

- 港湾貨物量推計の前提: 1986年のGDPは4,350億バーツ、2000年のGDPは11,200億バーツ。
工業開発の前提: 1981-86年のGNPの年伸び率6.6%、製造業年伸び率7.6%、輸出志向産業年伸び率15%
[条件]
計画している工業の生産活動により発生する付加価値を当該プロジェクトの便益とする。実施と未実施の差による便益の算出。
[開発効果]
地域開発の促進 (特にマブタブット地域) 内航海運および港湾関連産業の開発 外貨バランスの改善

5. 技術移転

現地においてカウンターパートに対し、港湾計画及び工業開発計画の手法を指導した。

案件の現状

| | | | | |
|----------------------------|--|-------------------------------|-------------------|----------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 | 2. M/Pの現状 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 |
| 3. 主な理由 | F/S提案プロジェクト実施済のため。 | | | |
| 4. 主な情報源 | 、、、 | | | |
| 5. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 F/S提案プロジェクト実施済のため。 | | |

状況

次段階調査：

1983年9月 10次OECEP融資 L/A 17.20億円(東部臨海開発 E/S)*1
 1985年10月 マブタブット工業港 D/D 終了
 1986年1月 マブタブット工業団地 D/D 終了

資金調達：

1984年9月 L/A 56.11億円(マブタブット工業港建設)*2
 1985年10月 L/A 160.45億円(マブタブット工業港)*3
 32.07億円(工業団地)*4
 1988年9月 L/A 30.02億円(サタヒップ・マブタブット鉄道)*5
 1988年11月 L/A 14.59億円(マブタブット-サタヒップ送水管)*6
 1991年9月 L/A 33.95億円(マブタブット工業港II)*7

*事業内容

- *1 - マブタブット地域及びレム・チャバン地域における湾岸、工業団地、鉄道、送水管等のインフラストラクチャーの整備(借対対象は、マブタブット工業港、工業団地、レム・チャバン港及びサタヒップ-ラヨン間の鉄道整備のE/Sに要する外貨資金)
- *2、*3 - マブタブット工業港の建設(借対対象は、浚渫埋立工事及び施工監理)
- *4 - マブタブット工業団地及び都市区域のインフラストラクチャー(道路・上下水道・送電等)建設(借対対象は、建設工事及び施工監理に要する外貨資金)
- *5 - マブタブット港とチャチャンサオ、サタヒップ本線上のカオシーチャン駅を結ぶ単線24km、操車場、通信、信号機、照明整備、管理用建物、排水設備の建設(借対対象は外貨資金)
- *6 - マブタブット、サタヒップ間に延長22.9km、口径700~900mmの送水管及び貯留施設の建設。(借対対象は、資機材、土木工事及び施工監理)
- *7 - 船舶、港湾機器の調達

工事：

(平成3年度在外事務所調査)

1987年12月 マブタブット工業団地工事開始
 1989年 マブタブット工業港工事開始(1992年完成)
 1990年 マブタブット工業団地第1期工事完成
 1991年 マブタブット工業団地第2期工事開始(1992年完成)

(平成7年度現地調査)

1995年に、レムチャバン港において年間4百万トンの貨物取扱が可能となる。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 308/83

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|---|--------------------|-----------|--------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | メチャンかんがい農業開発計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省王室灌漑局 (RID) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | メチャン川の貯水ダム建設、及び灌漑用水の不安定なメチャン地域の灌漑計画のF/S | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1982年11月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ 太陽コンサルタンツ(株) | 10. 調査団 | 13 | 調査期間 | 1983.1 ~ 1984.1 (12ヶ月) |
| | | | 延べ人月 | 69.11 | |
| | | | 国内 | 34.81 | |
| | | | 現地 | 34.30 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 土壌分析 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 186,106 (千円) | コンサルタント経費 | 141,808 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | |
|------------------------------------|---|-----------------|--------|--------|--------|--------|------|
| 1. サイト又はエリア | タイ北部チャメン川流域 | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 44,000 | 内貨分 1) | 22,000 | 外貨分 1) | 22,000 | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | |
| 3. 主な事業内容 | <p>地区は天水農業が営まれ、その農業生産性は低い。これに対して隣接するメ・ワン地区は灌漑農業の導入により著しく農業生産性が向上し、両地区間に所得格差が生じている。この為、メ・ワン川の支流メ・チャン川を水源として、地区に灌漑施設を設け、地区農村の生活水準の改善をはかるものである。</p> <p>受益面積： 8,095ha (右岸地区 6,006ha、左岸地区 2,089ha) 基幹施設： 貯水ダム 1カ所 (総貯水量 40MCM、堤体積 680千m³、フィルダム) 分水ダム 1カ所 (総貯水量 7MCM、堤体積 72千m³、複合ダム) 幹線用水路 51.3km (コンクリートライニング) 支線用水路 93.3km (一部土水路) その他： 排水路 7.0km、圃場整備 1式</p> <p>また、灌漑用水路を利用した小水力発電 (164kw) を第2期工事として計画している。</p> | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1984.4 ~ 1992.4 | 2) | ~ | 3) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | EIRR | 1) | 13.60 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| [開発条件] | <ul style="list-style-type: none"> ・全体事業費 : 44.25百万ドル (1983年現在) ・ダムによる水没面積 : 1,300ha ・移転補償 : 農家 125戸、農地 224ha ・年間作物作付率 : 130% | | | | | | |
| [開発効果] | <ul style="list-style-type: none"> ・灌漑農業により農業生産性の向上、農家所得の増加 (2,784/年 7,501/年) ・事業地域、周辺における年間を通じての就労機会の増加 ・農村の生活環境により地域農民の生活水準の向上 | | | | | | |
| 5. 技術移転 | OJT | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|---|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | タイ政府の農業開発政策の転換により本件の優先度が低下。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 中止・消滅案件のため。 |
| 状況 中止・消滅要因： タイ政府の農業開発政策の転換により本件の優先度が低下。 主要水源である貯水池上流に、火力発電用水のための貯水池が1985年以降に建設されたため、本計画の主要水源がなくなった。 | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 310/83

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|-----------------------------------|--|-----------|--------------|-----------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 東部水資源開発計画 (フェーズII) | | | | |
| 3. 分野分類 | 社会基盤 / 水資源開発 | 4. 分類番号 | 203025 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 灌漑排水局 (Royal Irrigation and Drainage) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | クロンルアン、クロンヤイおよびクロンタップマーの3ダムのF/S実施 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1982年2月 | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本工営 (株) | | 10. 調査団 | 12 | |
| | 日本建設コンサルタント (株) | | | 調査期間 | 1982.7 ~ 1983.3 (8ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 0.00 |
| | | | | 国内 | 0.00 |
| | | 現地 | 0.00 | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 地形測量、ボーリング調査、材料調査・試験 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 42,741 (千円) | コンサルタント経費 | 173,923 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|---|--|---------------|----------|----------|---------|---------|
| 1. サイト又はエリア | 東部海岸 (ラヨン県、チョンブリ県) | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B23 | 1) | 198,260 | 内貨分 1) | 115,652 | 外貨分 1) | 82,608 |
| | 2) | 329,565 | 2) | 194,783 | 2) | 134,782 |
| | 3) | 69,130 | 3) | 51,739 | 3) | 17,391 |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 |
| | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | 1) クロンルアン a) 多目的ダム (高42.5m) b) ダム - チョンブリ間導水施設 c) 灌漑排水施設 (6,600ha) 2) クロンヤイ a) 多目的ダム (高50.8m) b) ノンプラライダムとノンコーダムを結ぶ導水施設 c) 灌漑排水施設 (7,700ha) 3) クロンタップマー a) 多目的ダム (高28.9m) b) 灌漑排水施設 | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) 1984.1 ~ 1996.1 | 2) ~ | 3) ~ | 4) ~ | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) 16.10 | 2) 15.00 | 3) 12.10 | 4) 0.00 | |
| | | FIRR 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | |
| 【開発効果】 本プロジェクトの実施による便益は、以下の通り、1) 生活用水・工業用水供給、2) 農業開発、3) 洪水調節から得られる (単位100万バーツ) | | | | | | |
| | 水需要 | 農業開発 | 洪水調節 | 計 | | |
| 1) | 423.3 | 180.7 | 49.8 | 653.8 | | |
| 2) | 793.6 | 198.2 | 57.2 | 1,049.0 | | |
| 3) | - | 81.7 | 19.5 | 101.0 | | |
| 5. 技術移転 | なし | | | | | |

・ 案件の現状

| | | |
|--|---|-----------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現状 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> |
| <p>2. 主な理由</p> | <p>送水管建設中(平成9年度在外事務所調査)。</p> | |
| <p>3. 主な情報源</p> | <p>、</p> | |
| <p>4. フォロ-アップ調査終了年度及びその理由</p> | <p>終了年度理由</p> | <p>年度</p> |
| <p>状況</p> <p>(1)クロンヤイ 次段階調査： 1990年2月 L/A 2.04億円(ノンブライ- ノンコ送水管建設事業E/S) *事業内容 第14次円借款にて建設中のノンブライ貯水池から、既存のノンコ貯水池への送水管の建設のE/S。(借款対象は外貨資金) 資金調達： 1993年1月 L/A 63.62億円(ノンブライ- ノンコ送水管建設事業) *事業内容 ノンブライ貯水池からノンコ貯水池間の送水管の建設</p> <p>工事： (平成3年度在外事務所調査) ノンブライダム完成後着工の予定 (平成9年度在外事務所調査) 送水管建設はRIDではなく公共事業省により実施されている。</p> <p>(2)クロンルアン及びクロンタップマー (平成3年度在外事務所調査) 住民移転問題を抱えている。</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 311/83

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|--------------------------------|--------------------------------------|-----------|-------------|----------|-----------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | ノンコー・ラムチャバン送水パイプライン建設計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 公益事業 / 上水道 | 4. 分類番号 | 201020 | 5. 調査の種類 | F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 内務省公共事業部 Public Works Department, | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | ノンコー・ラムチャバン送水パイプライン建設計画の作成とF/S | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1983年7月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本工営(株) 日本建設コンサルタント(株) | | | 10. 調査団 | 団員数 | 7 |
| | | | | | 調査期間 | 1983.8 ~ 1984.3 (7ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 31.00 |
| | | | | | 国内 現地 | 13.33 17.67 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 75,218 (千円) | コンサルタント経費 | 78,467 (千円) | | |

調査結果の概要

| 1. サイト又はエリア | チョンブリ県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----------------|--------------|---------------|--------|-------|---------|------|---------|--|--|--------------|---------------|--------------|---------------|--------|--|--|--|--|-------|-------|-----|-------|-----|--------|-------|------|-------|------|------|------|------|------|------|---------------------|--|--|--|--|-------|-------|---|---|---|-----|---|---|---|---|------------------|--|--|--|--|---------|---|-------|---|-------|---|---|-------|---|-------|--------|--|--|--|--|---|---|-----|---|-----|-------------|---|--------------|---|--------------|
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1= Baht23=230円 | 1) | 16,300 | 内貨分 1) | 7,100 | 外貨分 1) | 9,200 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2) | 13,100 | 2) | 5,300 | 2) | 7,800 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">Stage 1</th> <th colspan="2">Stage 2</th> </tr> <tr> <th></th> <th>ノコ - Turnout</th> <th>Turnout - 着水井</th> <th>ノコ - Turnout</th> <th>Turnout - 着水井</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 導水管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 径(mm)</td> <td>1,000</td> <td>900</td> <td>1,000</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td> 長さ(km)</td> <td>10.95</td> <td>3.49</td> <td>10.95</td> <td>3.49</td> </tr> <tr> <td> 目標年次</td> <td>1988</td> <td>1988</td> <td>1994</td> <td>1994</td> </tr> <tr> <td>2. ターンアウト (Turnout)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 送水パイプ</td> <td>250mm</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td> 仕切弁</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>3. 導水管 (パイプビーム型)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> Net pan</td> <td>-</td> <td>27.5m</td> <td>-</td> <td>27.5m</td> </tr> <tr> <td> 径</td> <td>-</td> <td>900mm</td> <td>-</td> <td>900mm</td> </tr> <tr> <td>4. 着水井</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 型</td> <td>-</td> <td>長方形</td> <td>-</td> <td>長方形</td> </tr> <tr> <td> 径(W×H×L)(m)</td> <td>-</td> <td>6.3×4.4×16.4</td> <td>-</td> <td>6.3×4.4×16.4</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | Stage 1 | | Stage 2 | | | ノコ - Turnout | Turnout - 着水井 | ノコ - Turnout | Turnout - 着水井 | 1. 導水管 | | | | | 径(mm) | 1,000 | 900 | 1,000 | 900 | 長さ(km) | 10.95 | 3.49 | 10.95 | 3.49 | 目標年次 | 1988 | 1988 | 1994 | 1994 | 2. ターンアウト (Turnout) | | | | | 送水パイプ | 250mm | - | - | - | 仕切弁 | 2 | - | - | - | 3. 導水管 (パイプビーム型) | | | | | Net pan | - | 27.5m | - | 27.5m | 径 | - | 900mm | - | 900mm | 4. 着水井 | | | | | 型 | - | 長方形 | - | 長方形 | 径(W×H×L)(m) | - | 6.3×4.4×16.4 | - | 6.3×4.4×16.4 |
| | Stage 1 | | Stage 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ノコ - Turnout | Turnout - 着水井 | ノコ - Turnout | Turnout - 着水井 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 導水管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 径(mm) | 1,000 | 900 | 1,000 | 900 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長さ(km) | 10.95 | 3.49 | 10.95 | 3.49 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標年次 | 1988 | 1988 | 1994 | 1994 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. ターンアウト (Turnout) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 送水パイプ | 250mm | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕切弁 | 2 | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 導水管 (パイプビーム型) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Net pan | - | 27.5m | - | 27.5m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 径 | - | 900mm | - | 900mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 着水井 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 型 | - | 長方形 | - | 長方形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 径(W×H×L)(m) | - | 6.3×4.4×16.4 | - | 6.3×4.4×16.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | 1987.1 ~ 1988.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 有 | EIRR | 1) | 11.60 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | FIRR | 1) | 9.60 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【前提条件】 水需要を1995年、2001年両年の目標年次で予測。既存貯水池のみでは水供給不足となるため他流域よりの供給を含める。 プロジェクトライフは40年間とする。</p> <p>【開発効果】 工業、都市開発 雇用機会の増大 生活水準の向上 貿易収支の改善 バンコック首都圏の混雑緩和</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>OJT：現地調査中測量員の教育訓練。 研修員受け入れ：水道事業に於けるF/Sの原則と方法論。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | ステージI及びステージIIの事業化実現 | |
| 3. 主な情報源 | 、、、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1999 年度 実施済案件のため。 |

状況

事業化に至った要因は以下のことによる。

1. 効果の大きさ：東部臨海開発計画のLaem Chabang地区の工業開発は本計画の水供給による。
2. 他プロジェクトとの密接な関連性：既存貯水池の供給能力不足による他流域よりの転流計画及びLaem Chabang地区開発計画。
3. 優先度の高さ
4. 推進体制の強さ：NESDB（国家経済社会開発庁）の協力をもち強力。

ステージ

次段階調査：

- 1985年8月～1986年5月 D/D
- コンサルタント/TEAM、三祐
- 1984年9月 L/A 1.44億円 (E/S)

資金調達：

- 1985年10月 L/A 13.63億円 (ノンコー・ラムチャバン送水管建設事業)

*事業内容：

- 原水送水管の建設 (15km)
- アオ・ウドム分枝施設建設
- 水管理場建設
- 原水着水井建設

工事：

- 1986年7月 着工
- 1989年1月 完工
- 建設業者/Italian-Thai Co., Led.

運営・監理状況：

- East Water Company (PWA100%出資の民間会社) が実施している。

裨益効果：

- ラムチャバン工業団地、港湾の開発に寄与。

ステージ

資金調達：

- 政府予算 (年間予算2億バーツ) (平成7年度現地調査)

工事：

- 1998年6月完工予定 進捗率97% (平成9年度在外事務所調査)

経緯：

(平成7年度現地調査)

1990年に、パタヤの水不足を解消するため、タイ政府予算でラムチャバンからパタヤまでのパイプラインが敷設された。本事業は、1993年から東部水資源開発会社に移管され運営されている。同社は、地方水道会社所有の公企業であるが、将来株式が民間に売却される予定である。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 312/83

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|---------------------------------|---|-----------|--------------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | バンコック高速道路建設計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 道路 | 4. 分類番号 | 202020 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 高速道路・高速鉄道公社 Expressway and Rapid Transit Authority (ETA) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 道路計画 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1982年3月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)ハシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | 10. 調査団 | 16 |
| | | | | 調査期間 | 1982.5 ~ 1983.11 (18ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 60.17 |
| | | | | 国内 | 8.66 |
| | | | | 現地 | 51.51 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 測量、地質調査、交通調査 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 260,239 (千円) | コンサルタント経費 | 250,242 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|---|---|---------------|---------|---------|---------|---|
| 1. サイト又はエリア | バンコック首都圏 | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 0 | 内貨分 1) | 0 | 外貨分 1) | 0 |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 |
| | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>内容 規模</p> <p>有料高速道路 27.9km (殆ど高架)</p> <p>南北線・Chaeng Wattana からBang Khlo インターチェンジまで 有料高架道路 19.2km 東西線・Phaya Thai インターチェンジからSir Nakarin Roadまで " 8.7km</p> <p>建設 (全長31.8km)</p> <p>提案プロジェクト予算は、262億バーツ (全額内貨)。</p> | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) 1987.1 ~ 1995.1 | 2) ~ | 3) ~ | 4) ~ | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) 17.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | |
| | | FIRR 1) 12.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | |
| <p>[前提条件]</p> <p>将来交通量は本調査で実施したホームインタビューによるOD調査に基づき、1990、2000、2010の各年に対し予測した。</p> <p>[開発効果]</p> <p>都心部の交通混雑の緩和が期待される。</p> | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>研修員受け入れ：2名 電算他</p> <p>現地コンサルタントの活用：測量、地質調査、交通量実査等</p> | | | | | |

案件の現状

| <p>1. プロジェクトの現状 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|--|---------------|---------------|-------|--------------------------------------|--|-------|---------|---------|-------|------------------|----------|---------|-----------------------|-----------------------------------|
| <p>2. 主な理由</p> | <p>効果の大きさ：時間短縮を認めている。 優先度の高さ：ステージ1の交通量が計画値を上回り、これにより料金収入も増えているのでステージ2もプライオリティが高い。 推進体制の強さ：ETAが内務省の組織であるために力が強い。 セクターA～C完工済、セクターD及びセクターB 2000年に完工、供用開始予定。(平成9年度在外事務所調査)。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>3. 主な情報源</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>4. フォロアップ調査終了年度及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>1999 年度 提案事業実現。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>状況 次段階調査： (平成9年度在外事務所調査) 1986年1月～1987年 D/D, EIA コンサルタント/National Engineering Co. Inc. を代表とする5社の共同企業体(含PCI) 調査費用/2,380万バーツ</p> <p>JICA F/Sとの相違点： ETAは1988年9月Bangkok Expressway ConsortiumとBOTで契約することを決定。同年12月Bangkok Expressway Company Limitedと「バンコック第二高速道路事業」の契約調印。より効果的な交通量緩和のため、高速道路ルートが変更され、39km規模となった。 本開発調査(バンコック高速道路建設計画)と現バンコック第二高速道路事業との比較：</p> <table border="1" data-bbox="113 694 1527 873"> <thead> <tr> <th></th> <th>バンコック高速道路建設計画</th> <th>バンコック第二高速道路事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 延長</td> <td>南北線 19.2km 東西線 8.7km 合計 27.9km</td> <td>南北線 24.80km 東西線 11.45km 集配線 2.80km 合計 39.05km</td> </tr> <tr> <td>2. 工費</td> <td>262億バーツ</td> <td>295億バーツ</td> </tr> <tr> <td>3. 工期</td> <td>1986～95年(階段施工方式)</td> <td>1989～95年</td> </tr> <tr> <td>4. 資金計画</td> <td>政府の出資金及び国内、国外のローンで賄う。</td> <td>民活方式を導入し、30年間で資金を回収し、ETAに施設を引き渡す。</td> </tr> </tbody> </table> <p>資金調達： (平成9年度在外事務所調査) 政府予算、1988年12月承認 用地取得コスト/313億バーツ 民間資金 建設費/約280億バーツ</p> <p>工事： (平成9年度在外事務所調査) セクターA - Ratchadapisek道路 - Phaya Thai交差点 - ラマ6世道路 12.4km セクターB - Phaya Thai交差点 - Bang Khlo 9.4km 収集・配送用道路 2km セクターC - Ratchadapisek道路 - Cheang Wattana道路 8km セクターD - ラマ6世道路 - Srinakarin道路 8km</p> <p>進捗状況： セクターA - 1993年9月完工 セクターB - 1996年10月完工 セクターC - 1993年9月完工 セクターDとセクターBの収集・配送用道路が残っており、2000年10月に完工、供用予定。</p> <p>経緯： (平成8年度国内調査) プロジェクトの大部分は施工主に移管され、ほぼ同時に運営されている。現在バンコック最大の問題は交通渋滞であり、本プロジェクトの実施は一部交通緩和に寄与している。</p> | | | | バンコック高速道路建設計画 | バンコック第二高速道路事業 | 1. 延長 | 南北線 19.2km 東西線 8.7km 合計 27.9km | 南北線 24.80km 東西線 11.45km 集配線 2.80km 合計 39.05km | 2. 工費 | 262億バーツ | 295億バーツ | 3. 工期 | 1986～95年(階段施工方式) | 1989～95年 | 4. 資金計画 | 政府の出資金及び国内、国外のローンで賄う。 | 民活方式を導入し、30年間で資金を回収し、ETAに施設を引き渡す。 |
| | バンコック高速道路建設計画 | バンコック第二高速道路事業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 延長 | 南北線 19.2km 東西線 8.7km 合計 27.9km | 南北線 24.80km 東西線 11.45km 集配線 2.80km 合計 39.05km | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 工費 | 262億バーツ | 295億バーツ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 工期 | 1986～95年(階段施工方式) | 1989～95年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 資金計画 | 政府の出資金及び国内、国外のローンで賄う。 | 民活方式を導入し、30年間で資金を回収し、ETAに施設を引き渡す。 | | | | | | | | | | | | | | | |

案件要約表 (M/P)

ASE THA/S 103/84

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|---|---|-----------|--------------|--|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 南タイ北部地域総合開発計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 開発計画 / 総合地域開発計画 | 4. 分類番号 | 101020 | 5. 調査の種類 | M/P |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 国家経済社会開発庁 National Economic and Social Development Board (NESDB) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 2000年までの当該地域開発のM/P作成 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1982年11月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (財)国際開発センター (IDCJ) (株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 団員数 26 調査期間 1983.3 ~ 1985.3 (24ヶ月) ~ 延べ人月 157.10 国内 20.70 現地 136.40 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 431,986 (千円) | コンサルタント経費 | 416,274 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | |
|----------------------------------|-------------------|---|-----|----|---|-----|----|---|
| 1. サイト又はエリア | 南タイ北部地域 (人口110万人) | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 0 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 | 1) | 0 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | | | | | | | |

3. 主な提案プロジェクト

- 優先プロジェクト:
- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. スラタニ工業団地 | 6. ブーケット都市開発 |
| 2. ブーケット臨空工業団地 | 7. スラタニ都市開発 |
| 3. 東西リンク | 8. 中央低地開発 (オイルパーム、ゴム) |
| 4. カノム深海港 | 9. タビーバンドアン河管理 (発電、灌漑) |
| 5. クラビ石油精製所およびパイプライ | 10. ブーケット用水供給 |

4. 条件又は開発効果

【開発効果】
 バンコック首都圏への経済活動集中の是正と均衡のとれた地方分散化
 農業開発 (未利用・低利用の土地の耕作化と農産物輸出の増大)
 工業開発 (一次産品加工の高度化など)
 観光開発 (ビーチ・リゾートなど)
 エネルギー開発 (水力発電、褐炭ないし石炭火力発電、中東へのアクセスの点から石油精製など)
 スラタニおよびブケの2大中核都市の発展

5. 技術移転

研修員受け入れ: 2名
OJT

調査結果の活用現状

| | |
|----------------------------|---|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 本プロジェクトは、第6次国家計画(第5章:「その他新経済地域開発の準備」)と第8次国家経済社会開発計画に組み込まれている。 |
| 3. 主な情報源 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 1999 年度 理由 調査結果の活用が確認された。 |

状況

本報告書の提出後、ADB が左記の10大優先プロジェクトのレビュー調査を実施し、その妥当性を確認。

- スラタニ工業団地
(平成8年度在外事務所調査)
工業団地局が既にF/S及びEIAを実施済である。内閣はプロジェクトの生活インフラの開発費用625百万バーツの拠出を含めフェーズ1実施を許可している。
実施時期: 1997年~2000年
ブーケット臨海工業団地
東西リンク
JICAの技術協力により、1991年までに南部道路網整備計画(M/P+F/S)調査が実施された(対象は東西リンク)。
(平成8年度在外事務所調査)
現在1996年6月14日の閣議決定に従って、幅100m、総延長195kmの高速道路建設の為にD/D実施中である。
実施時期: 1997年~2000年
工事費: 9,000百万バーツ
カノム深海港
(平成8年度在外事務所調査)
深海港について環境面、施工面及び市場面等の詳細なF/Sを1年間の予定で1997年初頭から実施する事になっている。
1999年~2001年 工事予定
工事費: 5,659百万バーツ
- 次段階調査:
(平成9年度在外事務所調査)
1997年7月~1998年3月 F/S (EIA含む)
- *調査内容
港位置、交通量予測 等
実施機関/NESDB
コンサルタント/Moffatt & Nichol Int. Inc, AEC, Wilbur Smith Associates
調査費用/100万USドル
- JICA提案との相違点:
西海岸はKabiからPhangngaに、東海岸はKhanomからSichonにサイトが変更された。
クラビ石油精製所及びパイプライン
(平成6年度国内調査)
代替として、対岸のカノムに精製所を建設予定。パイプラインは石油製品(当初案)ではなく原油の搬送を予定
ブーケット都市開発
JICAの技術協力により、1989年までに南部地域開発計画(M/P)調査が実施された。重点対象は、本調査で提案されたブーケット島観光開発及び関連都市開発。C/PIはタイ政府観光庁。
スラタニ都市開発
(平成6年度国内調査)
スラタニは地域中心都市開発プログラムの対象都市に指定される。都市インフラ投資進行中。
中央低地開発
ユリ・リーバを始めとする民間資本が推進。
タビ・ブンドアン河管理
ケンクルンダム(発電、灌漑)の建設について、タイ国電力庁が実施準備中であるが、水没対策の問題が未解決
ブーケット用水供給
(平成8年度在外事務所調査)
RIDがF/Sを実施中である。水資源調査のフェーズ1が1997年1月に終了予定である。
- 経緯:
1989年にタイ国首相を長とするSouthern Seaboard Development Committeeが設置された。
- (平成5年度現地調査)
現在の南タイ開発の基本政策に、東西リンクと石油精製・パイプラインがLand Bridge構想として引き継がれている。
(平成9年度在外事務所調査)
南部海岸港・工業団地開発のF/Sが実施される。
- 資金調達:
政府予算 1,250万バーツ
1997年6月2日 米国(USTDA)無償資金 50万USドル

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/S 205B/84

作成 1988年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|---|---|-----------|--------------|---------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | ラムチャバン臨海部開発計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 開発計画 / 総合地域開発計画 | 4. 分類番号 | 101020 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | タイ国工業団地庁 Industrial Estate Authority of Thailand | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | ラムチャバン地域のM/P (目標年次2000年)の作成及び短期計画 (目標年次1987年)のF/S | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1983年9月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本工営 (株) | | | | 10. 調査団 | |
| | | | | | 団員数 | 0 |
| | | | | | 調査期間 | 1984.1 ~ 1985.3 (14ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 65.31 |
| | | | | 国内 | 36.60 | |
| | | | | 現地 | 28.71 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 255,313 (千円) | コンサルタント経費 | 181,733 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|---|-------------------------|----|-----------|-----|----|---------|-----|----|---------|
| 1. サイト又はエリア | ラムチャバン (バンコクより南東約120km) | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=23円 - ヲ | M/P | 1) | 1,051,000 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 | 1) | 0 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 397,000 | 内貨分 | 1) | 214,000 | 外貨分 | 1) | 183,000 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 | |

3. 主な提案プロジェクト/事業内容

<M/P> ラムチャバン地域に構想されている港湾、工業団地、住宅、用水等関連施設に関する長期マスタープラン作成
 工業開発
 港湾開発: 16/バース、内質埠頭 1,100m、埠頭用地 258ha、防波堤延長 3,070m
 都市開発: 人口 120,000人、住宅団地計画面積 930ha
 交通計画
 公共基盤施設: 上下水道、排水、ごみ処理、給電 (変電所 2) 通信施設 (電話需要 13,764台、テレックス 64台) 造成 (盛土量 300万m³)

<F/S> 短期計画の内容
 工業開発: 工業団地 219ha
 港湾開発: 6/バース、内質埠頭 280m、埠頭用地 116ha、防波堤延長 2,400m
 都市開発: 住宅団地計画人口 24,000人、面積 130ha
 交通計画
 公共基盤施設: 上下水道、排水、ごみ処理、電力 (88.5MW)、電話回線 3,000、テレックス端子数 32、造成 (盛土量 260万m³)

| | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|--------|------|-----------------|-------|----|------|----|------|----|------|
| | 計画事業期間 | 1) | 1985.1 ~ 1989.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 19.20 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 8.40 | 2) | 4.80 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |

<M/P>
 [開発効果]
 雇用創出
 外貨収入の増加
 バンコック首都圏の過大化の抑制と東部臨海地域経済の発展

<F/S>
 [前提条件] EIRR: Standard Conversion Factor 0.92をコストに適用、経済価格に修正。BenefitにはValue addedのうち工業団地の生み出す分を使用。FIRR-投資に対するFIRR及び担当機関出資分に対するFIRRを算定 (担当関係に対するFIRRは、工業団地8.0%、住宅団地11%)。
 [開発効果]
 雇用創出 外貨収入の増加 地域経済の発展 交通体系の改善 内航海運および港湾関連産業の発展 地域資源の活用 生産技術および経営技術の蓄積
 上記EIRRとFIRR1)は、工業団地、FIRR2)は住宅団地のものである。

5. 技術移転

案件の現状

| | | | | |
|----------------------|-------------------------------|--------------------|-------------------|-----------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 | 具体化準備中 | 2. M/Pの現況 (区分) | 進行・活用 |
| | 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 遅延・中断 中止・消滅 | | 遅延 中止・消滅 |

| | | | | |
|---------|----------|--|--|--|
| 3. 主な理由 | 1991年完工。 | | | |
|---------|----------|--|--|--|

| | | | | |
|------------------------|------------|------------|-----------|--|
| 4. 主な情報源 | 、 、 、 | | | |
| 5. フォロ-アップ調査終了年度及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 | 実施済案件のため。 | |

状況
 <M/P> 国家計画において、本プロジェクトの優先順位が高かった。
 <F/S> 効果の大きさ：雇用増大、輸出による外資増大、技術移転 優先度の高さ：第5次5カ年計画の重要プロジェクト 継続的要因 他のプロジェクトとの密接な関連性 推進体制の強さ 我が国民間ベースでのバックアップ

資金調達：
 1984年9月 L/A 41.72億円（レムチャバン商業湾建設事業）*1
 1985年10月 L/A 29.22億円（レムチャバン工業団地建設事業）*2
 1986年11月 L/A 122.83億円（レムチャバン商業湾建設事業II）*3
 1987年9月 L/A 30.03億円（レムチャバン工業団地建設事業II）*4
 1988年9月 L/A 10.13億円（シラチャ・レムチャバン鉄道建設事業）*5
 1990年2月 L/A 64.36億円（レムチャバン商業湾建設事業III）*6

*事業内容：
 *2、*4 - 土木造成、道路、橋梁、上下排水施設の建設
 下水処理場、工場上屋の建設
 借対対象は、の全額、の外資分及び内資分の一部、及び施工監理
 *1、*3 - レムチャバン商業湾の建設
 借対対象は、浚渫、埋立及び施工監理
 *6 - コンテナクレーン 6機 船舶 11隻 航行補助施設
 借対対象は外貨資金
 *5 - レムチャバン港とチャチャンサオ・サタヒップ本線上のシラチャ駅を結ぶ単線9.3km、操車場、信号、信号機、照明設備、管理用建物、排水設備の建設
 借対対象は外貨資金

工事：
 施工期間 1988年～1991年

(平成5年度現地調査)
 <M/P>
 都市開発の第1フェーズとして16ha（2,284戸）の住宅完成。
 現在の居住人口は、11,420人。第2フェーズとして8haを準備中。
 上記住宅開発に対応する上下水道が完成。
 <F/S>
 計画通り完成。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 309/84

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--|--------------------|-----------|--------------|------------------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 東北タイ南部中規模かんがいパッケージプロジェクト | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省王室灌漑局 (RID) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 中規模ダム建設による灌漑用水及び飲料水の獲得による農業・農村開発計画 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1982年12月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ 内外エンジニアリング(株) 国際航業(株) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 団員数 14 |
| | | | | | 調査期間 1983.2 ~ 1984.7 (17ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 82.10 国内 38.31 現地 43.79 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 240,466 (千円) | コンサルタント経費 | 223,112 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--------------|----------|---------|---------|--------|----------|---------|-------|------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|------|------|-----|-----|---|---|-------|-------|------|------|----|------|---|-----|
| 1. サイト又はエリア | タイ国東北部ナコンラチャシマ、プリラム県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B23 | 1) | 58,874 | 内貨分 1) | 28,131 | 外貨分 1) | 30,743 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">地区</td> <td>ラムプライマット</td> <td>ノンラムブック</td> <td>ファイフル</td> </tr> <tr> <td>灌漑面積</td> <td>9,100ha</td> <td>300ha</td> <td>700ha</td> </tr> <tr> <td>ダム 高さ</td> <td>44.6m</td> <td>12.0m</td> <td>20.0m</td> </tr> <tr> <td>貯水量</td> <td>90MCM</td> <td>4MCM</td> <td>6MCM</td> </tr> <tr> <td>頭首工</td> <td>1カ所</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>水路 灌漑</td> <td>215km</td> <td>13km</td> <td>29km</td> </tr> <tr> <td>排水</td> <td>45km</td> <td>-</td> <td>1km</td> </tr> </table> | | | | | 地区 | ラムプライマット | ノンラムブック | ファイフル | 灌漑面積 | 9,100ha | 300ha | 700ha | ダム 高さ | 44.6m | 12.0m | 20.0m | 貯水量 | 90MCM | 4MCM | 6MCM | 頭首工 | 1カ所 | - | - | 水路 灌漑 | 215km | 13km | 29km | 排水 | 45km | - | 1km |
| 地区 | ラムプライマット | ノンラムブック | ファイフル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 灌漑面積 | 9,100ha | 300ha | 700ha | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ダム 高さ | 44.6m | 12.0m | 20.0m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 貯水量 | 90MCM | 4MCM | 6MCM | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 頭首工 | 1カ所 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水路 灌漑 | 215km | 13km | 29km | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 排水 | 45km | - | 1km | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) ~ | 2) ~ | 3) ~ | 4) ~ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) 8.70 | 2) 11.20 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | FIRR 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>[灌漑農業開発計画] 雨期水稲100%、乾期畑作10%とし、末端施設サイズを20~30haとして、畑作は村落協力方式を提案。</p> <p>[村落水利用施設開発計画] 畑作夜間調整池を設置し、周辺浅井戸による農民飲料水、雑用水を確保するとともに養魚を可能とさせる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>調査方法及び各分野における開発計画手法をカウンターパートに技術移転 研修員受け入れ：C/P研修</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|---|---|-----------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現況 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> |
| <p>2. 主な理由</p> | <p>全提案事業が完工。</p> | |
| <p>3. 主な情報源</p> | <p>、</p> | |
| <p>4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>1997 年度 実施済案件のため。</p> |
| <p>状況</p> <p>(1)ラムプライマット 1.ダム建設 次段階調査： D/D 自己資金 資金調達： 自己資金 3.25億パーツ 工事： 1987年～91年 完工 調査地区内及び周辺地区にある小規模ダム群も1990年より政府予算によって逐次実施。</p> <p>2.灌漑水路 資金調達： 1期工事（1992-93年） 90 2期工事（1994,95年） 各60 （1996年） 39.77 設計その他 40.23 計290（単位：百万パーツ） 工事： 1992年～1996年 完工 原計画では水路工事は2期に分けられて実施する予定だったが、実際は1期にまとめて実施し、63kmの水路と付帯構造物が完成。 運営・管理： RIDが担当。 周辺環境への影響： （平成9年度国内調査） ダム建設により洪水被害の軽減と安定水源が確保され、生活水準の向上が達成された。</p> <p>(2)ノンラムブック（Huai Bugと名称変更） 次段階調査： D/D 予算（政府予算） 工事： （平成9年度在外事務所調査） 規模を縮小して実施済。</p> <p>(3)ファイフル 次段階調査： D/D 予算（政府予算） 工事： （平成9年度在外事務所調査） 規模を縮小して実施済。</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 313/84

作成 1988年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|-------------------------|--|-----------|-------------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 沿岸海運整備振興計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 海運・船舶 | 4. 分類番号 | 202050 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 運輸通信省海運振興委員会 Office of the Mercantile Marine Promotion Commission, Min. of Transport & Communications | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | タイ沿岸海運及び地方港湾の総合開発計画の策定 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1983年2月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (財) 海事国際協力センター(MICC) | | 10. 調査団 | 団員数 | 11 |
| | (財) 国際臨海開発研究センター (OCDI) | | | 調査期間 | 1983.7 ~ 1984.10 (15ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 39.50 |
| | | | | 国内 現地 | 37.50 2.00 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 219,016 (千円) | コンサルタント経費 | 88,824 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|---|--|------------------|--------|-----|--------|----|------|----|------|
| 1. サイト又はエリア | 国内沿岸全域 | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=251.1円 | 1) | 528 | 内貨分 1) | 516 | 外貨分 1) | 12 | | | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | | | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | | | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | | | |
| | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>1) 物流の現況及び内航海運に適する主要品目の選定 2) 内航海運現況 3) 各地方港の貨物量及び港湾施設の現況 4) モード別荷動きの現況及び他の輸送モードから内航海運への転換の可能性の調査 5) タイ内航海運及び地方港の開発及び整備振興計画の策定 6) 内航海運及び港湾に関する運営体制、コスト、経済体制及び経済・財務分析</p> | | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1983.7 ~ 1984.10 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 無 | EIRR 1) | 19.70 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | | FIRR 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| 5. 技術移転 | <p>配船形態として、バンコック - ソンクラ間の折返し配船にて、700トン型一般貨物船7隻によるサービスが最適である。 内航海運政策として、1) 内航海運法の制定、2) 外航と内航との明確な区別、3) 船舶登録制の確立、4) 建造許可制度の導入、5) 営業報告書の提出。 内航沿岸海運振興策として、1) Investment Promotion Actによる優遇策、2) 税法上の優遇措置、3) 船積書類の簡素化・関税法上の改善、4) 低利・長期の融資により船舶建造が可能となるような金融制度の確立。</p> <p>上記EIRRIは、19.7~20.6%</p> | | | | | | | | |
| 2か年にわたる現地調査期間中、適宜各カウンターパートに内航海運経営、港湾オペレーションを中心に現地指導を実施 研修員受け入れ：海事関係の短期研修を実施。 | | | | | | | | | |

・ 案件の現状

| | | |
|--|---|-----------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現状 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> |
| <p>2. 主な理由</p> | <p>1) 優先性の変動：円借款締結の事前で中断している。 2) 需要：輸送サービスの採算性向上に問題。 3) 政府が民間円借款の保証をする制度がない。IFCTは案件の実現性に疑念あり。</p> | |
| <p>3. 主な情報源</p> | <p>、</p> | |
| <p>4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>1996 年度 中止・消滅案件のため。</p> |
| <p>状況 中止要因： 景気の後退（1985-88年）。 IFCTが本プロジェクトを推進していない。 陸運に比し水運に競争力がない。 船会社の経営見直しに法制上の改善を必要とする。</p> <p>中止に至るまでの状況： （平成3年度在外事務所調査）</p> <p>海運振興委員会（OMPC）はタイ産業・金融公社（IFCT）にOECFローン申請を依頼したが、中断。再開するには、案件の再調査が必要で、運輸通信省はJICAに要請済み。</p> <p>その他： 1985年及び1986年の両年度にそれぞれ2カ月間専門家を派遣し、タイ国内航海運法の制定、内航海運振興策等について、運輸・通信省をはじめ関係官庁の担当責任者を対象に現地指導を行なった。</p> <p>（平成7年度現地調査） 現在、内航沿岸の定期船サービスはないが、バンコク～レムチャバン～チュンボン港を結ぶ定期船サービス（RO/RO船）の新設を期待している（チュンボン港建設費10百万バーツ）。</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 314/84

作成 1988年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-----------|--------------|-------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | バンコク首都圏国鉄高架化計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 鉄道 | 4. 分類番号 | 202040 | 5. 調査の種類 | F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | タイ国鉄 State Railway of Thailand | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 国鉄の列車運転の効率化と安全性の確保及び都市交通問題（踏切渋滞）解消 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1983年6月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | （社）海外鉄道技術協力協会（JARTS） | | | 10. 調査団 | 13 | |
| | | | | | 調査期間 | 1983.8 ~ 1984.7 (11ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 53.27 |
| | | | | | 国内 | 36.19 |
| | | | | 現地 | 17.08 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 地質調査 交通量調査 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 144,855 (千円) | コンサルタント経費 | 136,251 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | |
|---|---|-----------------|-----|-------|---------|------|----|--------|
| 1. サイト又はエリア | バンコク首都圏全域（下記区間沿線を中心に） | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B23 | 1) | 148,000 | 内貨分 | 1) | 100,000 | 外貨分 | 1) | 48,000 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |
| 3. 主な事業内容 | <p>内容 規模</p> <p>土木工事 125百万USドル</p> <p>用地取得 2,000百万USドル</p> <p>電気設備 30.9百万USドル</p> <p>車 輛 68.6百万USドル</p> <p>対象区間 ・バンコク駅 - ハンスー駅 ・ヨアトヲ・チトラダジャンクション - マカサン駅 13km ・マカサン駅 - メナム駅</p> | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | 1984.1 ~ 1997.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| | | EIRR | 1) | 16.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| <p>〔前提条件〕</p> <p>実施 / 未実施分析を行った。 プロジェクトライフは30年。 1Baht=10円とした。 転換交通量はバスからのもののみを想定。</p> <p>〔開発効果〕</p> <p>鉄道の高架化により踏切部の渋滞緩和 鉄道の定時性・スピードアップに伴うバスから鉄道への旅客転移による道路混雑の緩和 高架化により地域分断の解消と都市施設整備の促進</p> <p>上記EIRRは、16~20%</p> | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>OJT : O/D表の作成等技術指導</p> <p>研修員受け入れ : 4名 JICA研修</p> <p>共同の報告書作成 : プロGRESSレポートの一部</p> <p>現地コンサルタント活用 : 地質調査、交通量調査</p> | | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|---|--|-----------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現状 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> |
| <p>2. 主な理由</p> | <p>本開発調査の提案プロジェクトとは全く異なる形で実施されることになったため(平成7年度在外事務所調査)。</p> | |
| <p>3. 主な情報源</p> | <p>、</p> | |
| <p>4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>1996 年度 中止・消滅案件のため。</p> |
| <p>状況</p> <p>中止・消滅要因： 本開発調査の提案プロジェクトとは全く異なる形で実施されることになったため。</p> <p>中止に至るまでの状況： 円借款申請せず。 タイ国鉄及び運輸通信省は、BOTにより軌道高架化の実施を決定した。国鉄は、1988年12月に民間に対して工事請負の募集を募ったが応答はなかった。1989年10月に国鉄用地の利用をより容易にして再度募集を行ない、1990年11月に国鉄は香港のHOPEWELL社と800億バーツ(約4,000億円)の契約を締結した。1991年12月にHOPEWELL社は、このプロジェクトの継続を決定する。従ってYommaraj - Donmaung間18.8kmの第1フェーズの軌道高架化がコミュニティ列車用設備及び高速道路と共に1995年に完成することが期待できる。</p> <p>(平成3年度在外事務所調査) プロジェクト規模が拡大され、南北線・東西線総延長60.1km、予算規模600億バーツ、予定工期1993 - 96年となった。HOPEWELL(タイ)社のプロポーザルによる。</p> <p>(平成6年度国内調査) HOPEWELLプロジェクトのYommaratから北及び東に向うL形のルートは着工しており、場所の打杭の施行が実施されている。現在約2年半の遅れである。西及びメクロン方面に向うチャオプラヤ川を渡るルートについては未着工である。</p> <p>(平成7年度現地調査) ホープウェルプロジェクトは、本開発調査と規模、コンセプト等全く異なるものであり、本開発調査は事実上消滅と考えられる。 国鉄とHopewell社との契約の骨子は、建設期間8年間、コンセッション期間30年間(建設期間は、コンセッションに含まない)。総コストは800億バーツを予定。国鉄の土地は、中心線から両側に40メートルずつであり、土地取得の必要はない。建設は1992年に始まっている。工事は遅延する傾向が強い。</p> | | |

案件要約表 (その他)

ASE THA/S 601/84

作成 1988年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|---|---|-----------|--------------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 道路交通安全計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 運輸交通一般 | 4. 分類番号 | 202010 | 5. 調査の種類 | その他 |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 運輸通信省道路局 Department of Highway, Ministry of Transport | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 道路交通安全計画立案の基礎資料作成及び交通安全技術の移転 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1983年2月 | | | | |
| 9. コンサルタント | セントラルコンサルタント(株) (社)国際建設技術協会 (株)長大 (株)オリエンタルコンサルタンツ | | | 10. 調査団 | 11 |
| | | | | 調査期間 | 1983.5 ~ 1984.12 (19ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 54.50 |
| | | | | 国内 現地 | 10.50 44.00 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 328,570 (千円) | コンサルタント経費 | 142,810 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | |
|----------------------------------|--|---|-----|-----|----|
| 1. サイト又はエリア | 国内全域 | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 0 | 内貨分 | 1) | 0 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | | | 外貨分 | 1) |
| | | | | 2) | 0 |
| | | | | 3) | 0 |
| 3. 主な提案プロジェクト | <p>本プロジェクトは当国道路交通安全を促進する目的で、以下を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> データ収集・分析 危険区域の判別 安全施設の設置指針 安全施設計画 安全施設整備中長期計画の作成方法の調査 | | | | |
| 4. 条件又は開発効果 | <p>上記の本調査の内容から、プロジェクトの直接効果よりも同国技術者への技術移転効果の方が期待される。</p> | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>研修員受け入れ：2名 交通安全全般 機材供与及び指導：マイクロコンピュータ2台を供与し、調査団の作成したソフトウェアについて利用マニュアルを作成し、技術指導を行った。</p> | | | | |

調査結果の活用の現状

(その他)

| | | |
|--|-------------------------------|---------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | 国家開発計画策定等に活用されている(平成7年度国内調査)。 | |
| 3. 主な情報源 | | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 成果の活用が確認されたため。 |
| <p>状況</p> <p>タイ側カウンターパートは、調査団作成ソフトウェアを利用し、具体的にタイ国道路局の交通安全関連予算を増やし、交通安全施設の整備を行っている。</p> <p>(平成3年度在外事務所調査) 調査結果が第6次国家経済社会開発計画のため、世界銀行融資申請に活用され、承認された。</p> <p>(平成5年度在外事務所調査) DOHIは1987年以降、交通安全マスタープランの実施のために、本調査の提言を活用している。また、交通安全プログラムに関する対策ガイドラインも効果的に活用されている。</p> <p>(平成7年度現地調査) 提案されたプロジェクトは第7次5ヵ年計画中に実施されている。とくにコンピュータの活用によるデータの収集、解析に進歩があった。</p> <p>(平成9年度国内調査) 特にバンコクでは高速道路の延伸、軌道系輸送手段の建設が進行中であり、これらの完成後の新たな交通体系のもとでのプロジェクトの見直しは必要である。</p> | | |

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/S 206B/85

作成 1988年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|----------------------------------|--|------------------------|--------------|---------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | バンコク市都市排水対策計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 社会基盤 / 河川・砂防 | 4. 分類番号 | 203020 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | バンコク首都圏排水下水道局 Bangkok Metropolitan Adm., Dept. of Drainage and Sewerage | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 排水計画の策定 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1982年11月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株) ハシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | | 10. 調査団 |
| | (株) 東京設計事務所 | | | | |
| | | 調査期間 | 1983.5 ~ 1986.2 (33ヶ月) | | |
| | | 延べ人員 | 115.00 | | |
| | | 国内 | 60.50 | | |
| | | 現地 | 54.50 | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 測量 地質調査 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 488,677 (千円) | コンサルタント経費 | 331,729 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|---|--|----|---------|-----|----|---------|-----|----|--------|
| 1. サイト又はエリア | <M/P>バンコク市東部除外地区260km ² <F/S>バンコク市東部除外地区100km ² | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B27 | M/P | 1) | 233,333 | 内貨分 | 1) | 140,740 | 外貨分 | 1) | 92,593 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 98,333 | 内貨分 | 1) | 51,630 | 外貨分 | 1) | 46,703 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------------|-----------------|----|---|----|---|----|---|--|--------|----|-----------------|-------|----|-----|------|---------------------------|-------|------|-----|-----|----------|----|---------|--|
| 3. 主な提案プロジェクト/事業内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <M/P> 対策区域 260km ² をボルダー堤防で囲み、外からの洪水を防ぐと共に、排水施設を建設して内側の雨水を排除する。そのための対策は次の通り。 (構造的対策) 堤防 (62km)、ゲート (55カ所)、ポンプ場 (10カ所)、水路改修 (133km)、排水管 (110km) (非構造的対策) 土地利用規制、遊水池の確保、洪水予警報システムの確立 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <F/S> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">内容</td> <td style="width: 90%;">規模</td> </tr> <tr> <td>堤防</td> <td>5.1km</td> </tr> <tr> <td>水門</td> <td>4カ所</td> </tr> <tr> <td>ポンプ場</td> <td>5カ所 (36m³/s)</td> </tr> <tr> <td>排水路改修</td> <td>93km</td> </tr> <tr> <td>排水渠</td> <td>4km</td> </tr> <tr> <td>洪水管理センター</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>洪水氾濫原管理</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 内容 | 規模 | 堤防 | 5.1km | 水門 | 4カ所 | ポンプ場 | 5カ所 (36m ³ /s) | 排水路改修 | 93km | 排水渠 | 4km | 洪水管理センター | 1式 | 洪水氾濫原管理 | |
| 内容 | 規模 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 堤防 | 5.1km | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水門 | 4カ所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ポンプ場 | 5カ所 (36m ³ /s) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 排水路改修 | 93km | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 排水渠 | 4km | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 洪水管理センター | 1式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 洪水氾濫原管理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">計画事業期間</td> <td>1)</td> <td>1987.4 ~ 1992.3</td> <td>2)</td> <td>~</td> <td>3)</td> <td>~</td> <td>4)</td> <td>~</td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 計画事業期間 | 1) | 1987.4 ~ 1992.3 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1987.4 ~ 1992.3 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|---|------|----|-------|----|------|----|------|----|------|
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 20.20 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| [開発効果] | | | | | | | | | |
| <M/P> 外からの洪水は完全に防御するとともに、5年に1度程度の降雨は完全に排水が可能となる。この結果、建物、財産、交通、電気・通信の被害が軽減されると共に、土地利用の高度化が進む。 | | | | | | | | | |
| <F/S> 1983年の市内大洪水の教訓をもとに排水施設を整備建設。従来、復旧するのに2~3ヵ月かかっていたものが、3日~1週間程度に大幅に短縮されつつある。 年平均洪水被害軽減額は、1985年時点で9.6百万ドルであり、2000年では23.8百万ドルと見積られる。 プロジェクトの経済効率率は、 EIRR: 20.2% B/C: 1.24 NPV: 16.0百万ドル | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 5. 技術移転 | | | | | | | | | |
| 洪水管理技術、排水施設管理、運営等に関する技術指導 研修員受け入れ: 排水施設見学 | | | | | | | | | |

・案件の現状

| | | | | |
|---|---|-----------------------------------|---------------------------|-------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現況 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> | <p>2. M/Pの現況 (区分)</p> | <p>進行・活用 遅延 中止・消滅</p> |
| <p>3. 主な理由</p> | <p>ポンプ場等改良工事完工。</p> | | | |
| <p>4. 主な情報源</p> | <p>、</p> | | | |
| <p>5. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>年度</p> | | |
| <p>状況</p> <p>(1) 機材供与 本調査終了後、ポンプ59基を無償供与。</p> <p>(2) バンコク市洪水管理センター 次段階調査： 1988年6月 B/D 資金調達： 1989年1月 E/N 9.24億円（バンコク市洪水管理センター機材整備） 工事： 1991年3月 完工</p> <p>(3) ポンプ場、水門、排水路改良 （平成8年度在外事務所調査） 次段階調査： 1987年～1990年 D/D（DDS予算） 資金調達： 1988年～1991年 500百万バーツ（DDS予算） 工事： 1988年～1991年 完工 運営・管理： DDSが行っている。</p> <p>(4) 排水システム改修 （平成9年度在外事務所調査） 次段階調査： 1995～1996年 F/S, D/D コンサルタント/NEDECO, SPAN, WDCのジョイント コスト/8,000万バーツ *調査内容（JICA調査のアップデートも含む） クローン改修、ポンプ場改修、貯水池の運営、2次排水システム改良 資金調達： 1997年度BMA予算 13億バーツ（第1期） 総予算は330億バーツ 工事： 1997～1999年 コンサルタント・建設業者/ローカル</p> <p>(6) その他プロジェクト （平成8年度在外事務所調査） 資金不足のため行われていないが予算の増額により対処し、2005年に次段階調査を実施したいとしている。</p> | | | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 310/85

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|-----------------------------|--|-----------|--------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 穀物貯蔵施設整備拡充計画 (Phase II) | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 商業省公共倉庫機構 Public Warehouse Organization | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1983年12月 | | | | |
| 9. コンサルタント | 海外貨物検査 (株) (株) 三祐コンサルタンツ | | | 10. 調査団 | 11 |
| | | | | 調査期間 | 1984.2 ~ 1985.6 (16ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 40.66 |
| | | | | 国内 | 19.74 |
| | | | | 現地 | 20.92 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 122,939 (千円) | コンサルタント経費 | 114,782 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--------|-----|-------|--------|-------|----|--------|----|------|
| 1. サイト又はエリア | 全国 | | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) (US\$1=¥ 202.83=21.6) | 1) | 42,129 | 内貨分 | 1) | 21,167 | 外貨分 | 1) | 20,962 | | |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | |
| | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>倉庫施設 : 16カ所 (計215,000t 貯蔵可能)</p> <p>輸出入米穀の調整、船積設備 : 2カ所 (河川港及び海港)</p> <p>穀物貯蔵設備 : 6カ所</p> <p>貯蔵技術改善訓練センター</p> <p>予算は1984年12月価格ベース</p> | | | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | ~ | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 12.00 | 2) | 13.10 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| <p>[条件]</p> <p>人材の確保 適切な管理と運営 他機関との協力による研究開発</p> <p>[開発効果]</p> <p>PWOが行う公共的事業の拡大。 政府の米価政策を支援し、生産者初価格、消費者米価の長期的安定をもたらす。 米穀市場貯蔵施設拡充による物流の調整と合理化。 輸出入の品質向上、船積能力拡大による既存市場の保持と新市場の開拓。 貯蔵中に発生する損失の減少。 農協、農業協同組合銀行 (BAAC) など公共機関への倉庫スペース貸与による活動支援。 倉庫の季節別利用状況に応じ、空スペース貸与及び付属設備活用による他の農産物流通に対する利便性供与。</p> <p>* 上記 EIRR 1)は、河川港コンポーネント、2)は、海港コンポーネント</p> | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | | | | | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|--|---|-----------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現状 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> |
| <p>2. 主な理由</p> | <p>政策変更。 タイ政府は、米の流通を基本的には民間に委ねる政策をとっている。</p> | |
| <p>3. 主な情報源</p> | <p>、</p> | |
| <p>4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>1996 年度 中止・消滅案件のため。</p> |
| <p>状況</p> <p>中止要因： (平成5年度在外事務所調査) 米の輸出に他の政府機関も関わるようになってきたため、米の輸出におけるPWOの役割が低下した。</p> <p>中止に至るまでの状況： 1986年、タイ国政府は米穀流通に関する政策を大幅に変更し、従来の指定価格による政府の買入を廃止した。このためPWOの事業規模が急激に縮小した。一方、東南部のレムチャバン港にDeep Sea Portをナショナル・プロジェクトとして建設し、その後背地に農産物集荷・加工・輸出の総合施設をつくる計画が進行中である。この中に、倉庫機能を備えた米の船積設備をつくる計画も一時検討されたが、現在その具体化には至っていない。米の輸出は従来からバンコックのRiver Portで行っており、民間による近代設備の建設が現在も行われている。 タイ政府は、米の流通を基本的には民間に委ねる政策をとっており、関係施設整備についても民間投資に期待している現状である。 いずれにしろ、1989年の570万トンの米の輸出が示すようにその重要度は高く、米穀流通の合理化と市場流通機能の近代化は、官民の両レベルで強く望まれている。</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 311/85

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--------------------------|---|-----------|------------------------|-----|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | サカエ克蘭川流域灌漑計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省王室灌漑局 Royal Irrigation Department, Ministry of Agriculture and Cooperatives | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | サカエ克蘭川流域の灌漑計画プレ・F/S及びF/S | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1984年7月 | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本工営(株) | 10. 調査団 | 役員数 | 16 | |
| | (株)協和コンサルタンツ | | 調査期間 | 1984.9 ~ 1986.3 (18ヶ月) | |
| | 日本技研(株) | | 延べ人月 | 90.27 | |
| | | | 国内 | 35.22 | |
| | 現地 | 55.05 | | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 258,044 (千円) | コンサルタント経費 | 246,885 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|---|---|---------|----------|---------|---------|--------|
| 1. サイト又はエリア | サカエ克蘭川流域 (中央チャオブラヤ平野の北西部、総面積6,300km ²) | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B27 | 1) | 107,226 | 内貨分 1) | 35,144 | 外貨分 1) | 72,082 |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 |
| 3. 主な事業内容 | <p>プレF/Sでメウオン灌漑計画地区を選定。 灌漑面積 : 46,700ha アッパー・メウオンダム：ロックフィルタイプ 堤高57m、堤長794m 灌漑施設 用水堰：2カ所 用水路：幹線76.7km、支線285.2km 排水路：204.2km</p> <p>計画事業期間は7年間</p> | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) ~ | 2) ~ | 3) ~ | 4) ~ | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) | 13.00 2) | 0.00 3) | 0.00 4) | 0.00 |
| | | FIRR 1) | 0.00 2) | 0.00 3) | 0.00 4) | 0.00 |
| <p>【条件】 灌漑便益は、灌漑水の安定供給による作物増産から生ずるもので、計画を実施した場合と実施しない場合の年間の純作物生産額の差として計上。</p> <p>【開発効果】 作物収量の増加、稲作の生産性向上、地域内住民の生活水準向上、等</p> | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>調査期間を通じカウンターパートに対する技術移転 OUT：灌漑、排水技術(日本研修)</p> | | | | | |

案件の現状

| | | |
|---|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 事業化に向けた進捗中(平成9年度在外FU調査)。 | |
| 3. 主な情報源 | | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 年度 |
| <p>状況</p> <p>環境評価調査： 1993年12月 終了</p> <p>(平成5年度現地調査) 本計画のアップパーメウオンダムは有効貯水量が230MCMで、事業規模から大型プロジェクトに分類され、環境評価調査が事業化の前提となっているため王室灌漑局はチェンマイ大学に依頼して環境評価調査を実施。</p> <p>(平成6年度国内調査) 開発調査後、ダムサイトが国立公園地域に指定されたため環境評価調査を実施。</p> <p>資金調達： (平成5年度現地調査) 第20次OEFCFローン要請を検討</p> <p>経緯： (平成6年度国内調査) 環境調査は1993年12月に完了したが、既に10年近い年月が経過したため、近くOEFCFによる SAPROF調査が実施されることになっている。</p> <p>(平成8年度国内調査) SAPROF調査は1995年度に三祐コンサルタンツにより実施された。</p> <p>(平成8年度在外事務所調査) OEFCFローンを要請した。</p> <p>(平成9年度在外FU調査)(平成10年度国内調査) NGOがダム建設に反対している。居住地は土地改革の実施されているMae Wongダム下流に広がっている。1996年に民間/政府合同委員会がNakhon Sawast地区住民と集会を組織し、住民にダム建設への理解を求めた。 RIDはEIAの結果とともに、事業の実施を再度政府に要請した。国家環境委員会の承認をもってプロジェクトは実施に移すことが可能となる。</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 315/85

作成 1988年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|---|------------------------------|-----------|--------------|------------------------|---|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | 船舶修理ヤード建設計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 海運・船舶 | 4. 分類番号 | 202050 | 5. 調査の種類 | F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 投資委員会 Board of Investment | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | タイ国船舶修理産業発展のため修理ドックヤード建設についてフィージビリティの確認 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1982年10月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (財) 海外造船協力センター (OSCC) | | | 10. 調査団 | 団員数 | 9 |
| | | | 調査期間 | | 1984.7 ~ 1985.5 (10ヶ月) | |
| | | | 延べ人月 | | 51.00 | |
| | | | 国内 現地 | | 28.00 23.00 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 地質調査、海上ボーリング | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 146,841 (千円) | コンサルタント経費 | 158,523 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | |
|--|--|-----------------|--------|--------|--------|--------|------|
| 1. サイト又はエリア | レムチャバン地区 | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=169.40円 | 1) | 40,000 | 内貨分 1) | 15,000 | 外貨分 1) | 25,000 | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | |
| | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>内容 規模 ドライドック 175m×28m×11.1m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地 300m×300m=90,000m²の埋立造成による新修理造船所建設 ・係船岸壁 150m <p>その他船舶修理に必要な施設 設計計画：工事準備着手 1986年1月 工事開始 1987年9月(平成9~) 操業開始 1990年1月 建設完了 1990年3月</p> | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1986.1 ~ 1990.3 | 2) | ~ | 3) | ~ | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) | 11.40 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | | FIRR 1) | 5.80 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| <p>[IRRの前提条件] 同国貿易貨物の約10%を輸送している同国船の輸送伸び率を、同国GDP総貿易量、船型等を考慮し仕事量、造船所の規模を算出した。</p> <p>[開発効果] これまで同国の船舶修理産業が国内需要を十分に賅っていないことから、本プロジェクトが国内海運整備に果たす役割は大きい。同国の主要造船所は全てチャオプラヤ河沿岸にあり、またバンコック市内にあることから、施設の拡大が不可能となっている。現状では5,000トンまでしか対応出来ないことから、本プロジェクトによりドックヤードが建設されると20,000トン型船舶の修理が可能となる。</p> | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>研修員受け入れ：1名 造船所の視察 現地コンサルタントの活用：地質調査、海上ボーリング</p> | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 本調査結果参照の上、代替案にて実施済。ドライドック建設については今後のタイ経済に左右される。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォローアップ調査終了年度及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 実施済案件のため。 |

状況

Hong Kongの船会社 International Maritime Caries Ltd.、タイ国船会社 United Thai Shipping Corporation Ltd. および本邦造船会社村造船所がJVの形でレムチャバン地区にて同国 Port Authority of Thailandより敷地を借り入れて修繕設備を建設・運営するべく計画実施中。
当該修繕設備の計画については、JICAのF/Sが参考となっている模様。

次段階調査:

1991年4月

事業内容・新造船最大15,000DWT用船台の建設及び陸上構造物用ヤードの設置。修繕用としては浮ドック2基による修理の実施を検討、又、将来のエリア拡張を考慮する。(但し、現計画とも相違している)

(平成5年度在外事務所調査)

投資に対する十分な収益が認められなかったため、上記の企業はプロジェクトをキャンセルした。
大型船舶は現在シンガポールで修繕を行っている。

(1)フローティング・ドック

(平成7年度現地調査)

資金調達:

民間資金 15億バーツ

工事:

1991~1994年

このドックは、年間80船の修理を行う能力があるが、94年は、40~50船(約60万DWT)の修理を行っており、最大の修理船は25,000DWTであった。

投資委員会の優遇措置として建設後8年間(通常5年)のTax Holidayが与えられている。

UNITHAI社は、タイ最大の造船所で、最大40,000ton(=100,000DWT)の建造能力がある。船舶修理が専門。年間工事能力としては、修理70船、新造船20船分をもっている。

同社は、2番目のフローティングドックの建設を検討している。

(2)ドライ・ドック

(平成7年度現地調査)

UNITHAI社はドライ・ドックを建設中。

(平成9年度在外事務所調査)

ドライ・ドックの建設は今後の市場動向と経済状況に左右される。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 316/85

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|-------------------|--|-----------|--------------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 東北タイ地方水道施設緊急整備計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 公益事業 / 上水道 | 4. 分類番号 | 201020 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 内務省公共事業局 (PWD) Department of Public Works, Ministry of Interior | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 給水対象地域への安定した上水の供給 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1984年7月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ | | | 10. 調査団 | 5 |
| | | | | 調査期間 | 1984.10 ~ 1986.2 (16ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 48.60 |
| | | | | 国内 | 22.50 |
| | | | | 現地 | 26.10 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 137,042 (千円) | コンサルタント経費 | 126,639 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|---|--------------|-------|--------|-------|--------|-------|
| 1. サイト又はエリア | 東北タイ一円の10カ町村 | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1 B27.0 | 1) | 6,463 | 内貨分 1) | 3,080 | 外貨分 1) | 3,383 |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 |
| | | | | | | |

3. 主な事業内容

事業の目的は受益地域に衛生的な飲料水を安定的に供給し地域住民の生活水準の向上を図る。事業の実施を通じて、「都市地域」と「農村地域」との中間的な特色を持つ事業地域の社会経済活動がより活性化することが期待される。事業の概要は以下の通りである。

| 地区名 | 給水人口 | 最大生産量 (m3/日) | 主要施設 |
|----------------|--------|-----------------|-------------------------|
| Kham Sake Sang | 6,000 | 900 | 急速濾過浄水場 1 カ所、パイプ 10.5km |
| Nong Bua Lai | 4,500 | 675 | " " 6.9km |
| Huai Thalaeng | 13,300 | 1,995 | " " 12.3km |
| Nong Ki | 16,900 | 2,535 | " " 25.6km |
| Huai Rat | 4,900 | 735 | " " 9.0km |
| Khun Han | 5,000 | 750 | " " 6.7km |
| Kusuman | 6,200 | 930 | 曝気式浄水場 1 カ所 " 9.2km |
| Phon Charoen | 10,600 | 1,580 | 急速濾過浄水場 1 カ所 " 12.1km |
| Nong Song Hong | 8,600 | 735 | " " 13.5km |

| | | | | |
|------------------------------------|---------------------|--------------|---------|---------|
| 計画事業期間 | 1) 1986.10 ~ 1989.5 | 2) ~ | 3) ~ | 4) ~ |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 |
| | | FIRR 1) 6.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 |

【前提条件】

F/Sのサンプルは10地区を選び実施。

【開発効果】

本調査の対象地区は、郡庁所在地の町の上水道施設の建設計画であることから、本プロジェクトの実施によりその地区のみならず周辺地域へのこの種事業の実施、便益の波及効果が大きい。

上記FIRRは、6 ~ 8 %

5. 技術移転

研修員受け入れ：2名

案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 提案事業の実現。 | |
| 3. 主な情報源 | | |
| 4. フォローアップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1999 年度 実施済案件のため。 |

状況

次段階調査：

1992年 ADBが無償でJICA調査の見直しを含む、全国で合計100の衛生区の水道事業調査を実施。58はPWD の所管に属し、42は地方水道公社（PWA）に属す。

担当機関：

（平成6年度国内調査）

1994年11月に、F/S 担当機関であったPWD から地方行政管理局（DOLA）内のOffice of Urban Development に移管された。

（平成7年度国内調査）

1995年8月現在、DOLA の組織変更により同管理局下の3部署 Bureau of Local Affairs、Structure and System Development Division、Local Finance Division が担当している。

（平成8年度国内調査）

管轄官庁が変わり、フォローアップが困難。

(1)PWA担当

次段階調査：

（平成9年度在外事務所調査）

1994年 D/D

資金調達：

（平成9年度国内調査）

自国資金

工事：

（平成9年度国内調査）

全10地区のうち、2地区は工事完了、3地区は現在工事中、残り5地区については、予算の確保ができれば順次実施する方針である。

(2)PWD担当

次段階調査：

（平成9年度在外事務所調査）

1994～1997年 D/D（国内58衛生区における調査）

コンサルタント/ローカル

調査費用 / 32,000,000/バーツ

資金調達：

（平成9年度在外事務所調査）

1994年 政府予算承認 1,261,443,000/バーツ（D/D予算含む）

工事：

（平成9年度在外事務所調査）

1994～1998年

コンサルタント・建設業者/ローカル

58地区のうち42地区について完了。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 317/85

作成 1988年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|------------------------------------|---|-----------|--------------|---|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 東北部道路網整備計画 (フェーズII) | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 道路 | 4. 分類番号 | 202020 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 運輸通信省道路局 Ministry of Communication, Department of Highways | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 新設・改良および修繕路線のF/S | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1984年3月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)片平エンジニアリング・インターナショナル 日本工営(株) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | | 10. 調査団 11. 調査期間 1984.6 ~ 1985.7 (13ヶ月) 12. 延べ人員 国内 57.56 現地 5.00 現地 52.56 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 交通量調査、測量、地質調査、たわみ測定 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 208,231 (千円) | コンサルタント経費 | 183,479 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | |
|---|--|------------------|-----|-------|----|-------|----|-------|
| 1. サイト又はエリア | 東北部地域 | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B20 | 1) | 42,155 | 内貨分 | 1) | 0 | | | |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | | |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | | |
| | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>新設・改良 (計502.1km)</p> <p>1) A. Khong - J.R.2180 46.8km; 2) A. Chonnabot - B. Dong Han 24.0km; 3) A. Nam Phong - B. Nong Tum 28.0km; 4) B. Lao(J.R.210) - B. Tha Yom 40.7km; 5) B. Huai Koeng - A. Kumphawapi 14.2km; 6) A. Nong Han - A. Kumphawapi 34.3km; 7) A. Sawangdaengin - A. Song Dao 19.1km; 8) A. Selaphum - B. Kham Phon Sung 46.3km; 9) B. Na Suang - B. Na Yia 13.6km; 10) Mahachana Chai - A. Kho Wang 24.5km; 11) B. Som Poi Noi - B. Muang Mak 28.4km; 12) B. Nong Khao - A. Chom Pra 31.1km; 13) A. Parakhon Chai - A. Krasang 47.1km; 14) B. Nong Pha Ong - A. Nong Ki 52.6km; 15) A. Sikhiu(J.R.2) - A. Chok Chai 51.4km.</p> <p>修繕8路線 (計90km)</p> <p>16) A. Sikhiu - A. Dan Khun Thot 19km; 17) A. Prathai - A. Khok Chik 10km; 18) A. Kalasin - B. Lum Chai 10km; 19) Pakthong Chai - J.R.2 13km; 20) Nam Khong - Sithai 8km; 21) Chok Chai - Khonburi 10km; 22) B. Wat - A. Khong 10km; 23) Nakhon Ratchasima - A. Chok Chai 10km</p> <p>提案プロジェクト予算は、18億3,922万バーツ(内貨分5億1,398万バーツ、外貨分13億2,524万バーツ)。</p> | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | 1985.1 ~ 1987.12 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| [開発効果] | 有 | EIRR | 1) | 22.20 | 2) | 19.70 | 3) | 19.20 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| <p>直接効果</p> <p>道路利用者費用の節減 農産物付加価値の増大 維持修繕費の節減</p> <p>社会インパクト</p> <p>行政機関へのアクセスの改善 教育水準の改善 医療サービスの改善 所得格差の是正</p> <p>上記EIRRは、順に路線2)、15)、14) (上位5路線は、この他に、13) 17.1%、8) 15.7%である)</p> | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>OJT: カウンターパートに調査手法のセミナー実施</p> <p>研修員受け入れ: JICA研修に参加したカウンターパートにF/S手法を指導</p> <p>現地コンサルタントの活用: 交通量調査、測量、地質調査、たわみ測定等で活用</p> <p>機材供与及び指導: 燃料消費車により舗装の路面状況と燃費の関係を調査しその手法を指導</p> | | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|----------------------------|-------------------------------|-------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 | 具体化準備中 |
| | 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 全区間工事完了(平成9年度在外事務所調査)。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 、 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 実施済のため |

状況

(平成9年度国内調査)
プロジェクトは第8次道路整備計画(1997~2001)に準拠し、タイ国国家予算、ローンにより実施されている。
1998年度当初予算より約20%の節減のため、現在はローン依存度が高い。

次段階調査：
D/D

(1) OECF

資金調達：

1988年11月 L/A 40.85億円 (ハイウェイセクタープロジェクト)
(融資のうち、10.08億円が東北部の7路線(235.1km)の新設・改良に充当 他の新設・改良事業および修復事業は、世銀
融資と国内資金で実施される)
*事業内容 東北タイ - 6 路線計204km、中部タイ - 3 路線計164kmのアスファルト舗装、老朽化橋梁の架け替え、道路拡張・改修
1993年5月 L/A 21.84億円(ハイウェイセクタープロジェクト(2))
*事業内容 東北部、中部タイの県道1 路線地方道2 路線

(2) IBRDプロジェクト

(平成9年度国内調査)

資金調達：

1988年2月11日 L/A 4億648万バーツ
*事業内容 北部、主要幹線、2車線拡幅及びバイパス

実施状況：

RT. No.1 : チェンマイ、バイパス(完了)、ランバン - チェンマイ間(一部工事中)
RT. No.318 : ドイ・サケット - チェンライ間(一部工事中)、その他各線部分工事中

進捗状況：

(平成9年度国内調査)

各路線共数区分割し、単年度完工とする。
1996年度分は完工、1997年分については約90%近く終了。但し、タイ北部に於ける高速道路網F/Sの提案全プロジェクトに対しては、IM-13 18km アユタヤ、IM-23 27km アユタヤRT.No.3267
とその他含めて30%程度と思われる。

(平成9年度在外事務所調査)

全区間完工

<区間>

<資金源/総経費MILB> <完工年月>

| | | |
|--------------------------------------|------------------|---------|
| 1) A. Khong - J.R. | DOH / 30.9 | 1987 |
| 2) A. Chonnabot - B. Dong Han | IBRD.DOH / 50.1 | 1994 |
| 3) A. Nam Phong - B.Nong Tum | OECF.DOH / 90.9 | 1995.5 |
| 4) B. Lao(J.R.210) - B. Tha Yom | OECF.DOH / 122.9 | 1996.3 |
| 5) B.Huai Koeng - A. Kumphawapi | OECF.DOH / 40.6 | 1995.9 |
| 6) A. Nong Han - A. Kumphawapi | OECF.DOH / 119.8 | 1993.9 |
| 7) A. Sawangdaendin - A. Song Dao | DOH / 19.2 | 1988 |
| 8) A. Selaphum - B. Kham Phonsung | OECF.DOH / 184.7 | 1993.12 |
| 9) B. Na Suang - B. Na Yia | DOH / 15.0 | 1991 |
| 10) Mahachana Chai - A. Kho Wang | | |
| Mahachana Chai - Yangchum Noi | OECF / 98.9 | 1993.12 |
| 11) B. Som Poi Noi - B. Muang Mak | DOH / 54.5 | 1984 |
| 12) B. Nong Khao - A. Chom Pra | DOH / 21.8 | 1989 |
| 13) A. Parakhon Chai - A. Krasang | OECF.DOH / 142.7 | 1994.9 |
| 14) B. Nong Pha Ong - A. Nong Ki | | |
| A.Lam Plai Mat - A. Nong Ki | DOH / 30.7 | 1991 |
| 15) A. Sikhiu(J.R.2) - A. Chok Chai | IBRD.DOH / 242.5 | 1993.8 |
| 修繕8路線 (計90km) | | |
| 16) A. Sikhiu - A. Dan Khun Thot | IBRD / 187.2 | 1993.8 |
| 17) A. Prathai - A.Khok Chik | DOH / 52.2 | 1991.2 |
| 18) A. Kalasin - B. Lamshe | IBRD / 75.5 | 1991.4 |
| 19) Pakthong Chai - J.R.2 | DOH / 60.9 | 1993.2 |
| 20) Nam Khong - Sithai | DOH / 134.4 | 1993.4 |
| 21) Chok Chai - Khorburi | DOH / 40.0 | 1991.3 |
| 22) B. Wat - A. Khong | DOH / 52.3 | 1995.2 |
| 23) Nakhon Ratchasima - A. Chok Chai | DOH / 60.9 | 1990.9 |

運営・管理状況：

(平成9年度国内調査)

本庁(DOH)より当年度実施、維持管理路線・区間、延長等の指示に依り、地方建設局が管理・運営を行っており、スムーズに進んでいる。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 312/86

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|-----------------------------|--|-----------|--------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | バンナラ川かんがい排水計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省王室灌漑局 Royal Irrigation Dept. (RID) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | バンナラ流域9,100haを対象とした農業開発計画策定 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1984年7月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ 日本技術開発(株) | | | 10. 調査団 | 12 |
| | | | | 調査期間 | 1985.5 ~ 1987.1 (20ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 106.23 |
| | | | | 国内 現地 | 42.55 63.68 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 294,253 (千円) | コンサルタント経費 | 271,828 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|---|------------|-------|-------|------------|------|----|------------|------|-----|-----|---|--|--|--|--|------|-----|-----|-----|--|--|--|--|---------|----|----|----|--|--|--|--|--------|-----|-----|-----|--|--|--|--|------|----|----|-----|--|--|--|--|--------|----|----|-----|--|--|--|--|-------|-----|-----|-----|--|--|--|--|---|-----|-----|-------|--|--|--|--|
| 1. サイト又はエリア | タイ国最南部ナラチク県バンナラ川流域 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 25,240,000 | 内貨分 | 1) | 10,320,000 | 外貨分 | 1) | 14,920,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>・バンナラ川のナラティク、タブバイの両サイドに防潮水門の設置 ・計画貯水池も利用してのポンプ利用灌漑（ポンプ場9カ所） ・バンナラ川流入の排水河川改修 ・酸生水対策として6カ所のチェック・ゲート</p> <p>施設規模概要 防潮水門 上流水門 ゲート巾 120m、取付水路 750m、締切堤 220m 下流水門 ゲート巾 24m、取付水路 450m、締切堤 75m 酸生水対策施設 6カ所（チェック・ゲート）、灌漑 9,100ha、排水改修 11,490ha</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">総事業費</td> <td style="text-align: center;">F/C</td> <td style="text-align: center;">L/C</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>防潮水門</td> <td style="text-align: center;">278</td> <td style="text-align: center;">118</td> <td style="text-align: center;">396</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>酸生水対策施設</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">58</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>灌漑排水施設</td> <td style="text-align: center;">146</td> <td style="text-align: center;">125</td> <td style="text-align: center;">271</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>技術経費</td> <td style="text-align: center;">56</td> <td style="text-align: center;">84</td> <td style="text-align: center;">140</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>物理的予備費</td> <td style="text-align: center;">56</td> <td style="text-align: center;">52</td> <td style="text-align: center;">108</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>価格予備費</td> <td style="text-align: center;">178</td> <td style="text-align: center;">111</td> <td style="text-align: center;">289</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">746</td> <td style="text-align: center;">516</td> <td style="text-align: center;">1,262</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> | | | | | | | | 総事業費 | F/C | L/C | 計 | | | | | 防潮水門 | 278 | 118 | 396 | | | | | 酸生水対策施設 | 32 | 26 | 58 | | | | | 灌漑排水施設 | 146 | 125 | 271 | | | | | 技術経費 | 56 | 84 | 140 | | | | | 物理的予備費 | 56 | 52 | 108 | | | | | 価格予備費 | 178 | 111 | 289 | | | | | 計 | 746 | 516 | 1,262 | | | | |
| 総事業費 | F/C | L/C | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防潮水門 | 278 | 118 | 396 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 酸生水対策施設 | 32 | 26 | 58 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 灌漑排水施設 | 146 | 125 | 271 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 技術経費 | 56 | 84 | 140 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 物理的予備費 | 56 | 52 | 108 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 価格予備費 | 178 | 111 | 289 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 746 | 516 | 1,262 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | ~ | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 有 | EIRR | 1) | 10.20 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>調査方法、各分野における開発計画手法の技術移転 研修員受け入れ：JICAカウンターパート研修</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 防潮水門、 ポンプ機場設置完了。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-up 調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1999 年度 実施済みのため。 |

状況

(1) ムンナラ川灌漑排水計画 (防潮水門の建設)

次段階調査:

1988年 2月17日 E/N 0.94億円
1988年 2月～6月 D/D

資金調達:

1988年 9月30日 E/N 8.88億円
1989年 7月21日 E/N 26.04億円
1990年 6月 6日 E/N 3.75億円

工事:

1988年 10月 着工
1990年 11月 完工
建設業者 / 大林組

運営・管理:

RIDが担当

裨益効果:

当プロジェクト実施により淡水化が進み乾期の灌漑が可能となった。

(2) ポンプ機場の設置

JICAF/Sからの変更点:

10カ所のポンプ場は11カ所に変更

資金調達:

政府予算

工事:

Ku Chan Station : 工事費26.6百万バーツ 1996年完工
Mbru Bo Station : 工事費55.7百万バーツ 1997年9月までに完工
Pm Korp Daen : 1997年9月に契約調印され、施工開始
その他 : 土地収用問題のため実施未定
* 標高2.0m以下の地区は現在農民所有の164カ所のポータブルポンプ機場で約18,100ライが灌漑されている。

経緯:

(平成9年度国内調査)

残工事の見直しは用地立ち入り困難と資金制約(緊縮予算)との要因から実施は困難であると思われる。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 318/86

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|---------------------------------------|--------------------------------|-----------|--------------|--|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 港湾浚渫船隊整備計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 港湾 | 4. 分類番号 | 202055 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 運輸通信省港湾局 Harbour Department | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 2000年を目標とした長期浚渫計画及び設備の改修・維持を含む開発計画の策定 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1985年2月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (財) 国際臨海開発研究センター (OCDI) | | | | 10. 調査団 団員数 8 調査期間 1985.5 ~ 1986.6 (13ヶ月) ~ 延べ人月 49.47 国内 18.17 現地 31.30 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 135,492 (千円) | コンサルタント経費 | 119,922 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------|--------|-------|--------|-------|----|------|----|------|
| 1. サイト又はエリア | タイ国沿岸航路 43カ所 | | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B27 | 1) | 9,666 | 内貨分 1) | 2,730 | 外貨分 1) | 6,936 | | | | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | | | | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | | | | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>43の調査対象航路の維持浚渫土量の推定値と現有船隊の能力差を以下の案で対応する。 トレーニング・ホッパー浚渫船を2隻建造 Bandonに浚渫船等の整備・修理施設を設置 Chao Phraya第2航路のキャピタル浚渫を請負契約で施工</p> <p>埠頭前面の泊地浚渫に関しては、揚船船のような小型船に一時的に水中サンド・ポンプを取り付けた浚渫方法を採用する。</p> | | | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1988.4 ~ 1991.3 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 12.20 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| <p>【条件】 上の提案プロジェクト実施と未実施の場合で比較。 費用と便益は1985年価格で表示(1バーツ=9.01円)。</p> <p>【開発効果】 浚渫能力の向上、浚渫船の有効な維持・修理の可能性、地域社会の開発の可能性が挙げられる。現在、航路埋没のため、潮待ちを余儀なくされている漁船の航行が十分になる。HD直営の整備修理施設の設置により、浚渫船修理費が節約される。</p> | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | 研修員受け入れ：日本の主要湾、港湾技術研究所、造船所等で実務研修を実施 | | | | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|--|---|-----------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現況 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> |
| <p>2. 主な理由</p> | <p>浚渫船が建造されたものの資金的制約から残プロジェクトは実施されていない(平成9年度在外事務所調査)。</p> | |
| <p>3. 主な情報源</p> | <p>、</p> | |
| <p>4. フォロ-アップ調査終了年度及びその理由</p> | <p>終了年度理由</p> | <p>年度</p> |
| <p>状況</p> <p>(1)浚渫船建造 (平成7年度現地調査) 本年、浚渫船の延べ払い輸入に関する国際入札を実施。日本の造船所等約40社が事前審査で残り、現在、建造船の技術及び延べ払い条件(機関・金利・延べ払い料)の各面から入札者の評価を行っている。 (*延べ払い輸入=造船所が自己資金で浚渫船を建造し、タイ港湾局が延べ払いで購入するスキーム)</p> <p>資金調達: (平成9年度在外事務所調査) 民間資金 4,940万USドル *事業内容:浚渫船建造</p> <p>工事: 1995~1997年 建設業者/Ellicott Machine Co. Int(米国)</p> <p>経緯: (平成5年度在外事務所調査) OECFをはじめとする各ドナーに要請を行ったが採択に至っていない。 (平成9年度在外事務所調査) 通貨危機により他の提案プロジェクトの実施は延期された。</p> | | |

案件要約表 (その他)

ASE THA/S 602/86

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--|----------------|-----------|------------------------|-----|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | バンコク首都圏庁バンコク市道路改良・交通安全計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 運輸交通一般 | 4. 分類番号 | 202010 | 5. 調査の種類 | その他 |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | バンコク首都圏庁 (BMA) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 都市内道路交通計画および交通安全対策の立案 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1985年3月 | | | | |
| 9. コンサルタント | セントラルコンサルタント (株) (社) 国際建設技術協会 (株) 長大 | 10. 調査団 | 団員数 | 29 | |
| | | | 調査期間 | 1985.6 ~ 1987.3 (21ヶ月) | |
| | | | 延べ人月 | 0.00 | |
| | | | 国内 | 7.01 | |
| | | | 現地 | 143.93 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 交通調査、インベントリー調査、舗装調査 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 418,307 (千円) | コンサルタント経費 | 4,182 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | |
|----------------------------------|--|---|-----|----|---|
| 1. サイト又はエリア | バンコク首都圏 | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 0 | 内貨分 | 1) | 0 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| 3. 主な提案プロジェクト | <p>基礎資料の提供に加えて、ケース・スタディとして一部道路改良計画案を提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交差点の連続立体交差化 ・歩道設置 ・標識設置 ・交差点改良 ・信号設置 ・横断歩道橋設置 ・路面の修繕 ・中央分離帯設置 ・路面表示の改良 等 ・バス停改良 ・安全島設置 | | | | |
| 4. 条件又は開発効果 | <p>道路交通に関する交通安全対策、道路改良計画、舗装補修計画等の立案に寄与。 現況道路を活かしつつ、比較的小規模な改良により、効果が期待できる。交通安全対策の手法をガイドラインとして整理するとともに実際の道路に対する改良案を提示した。 また、相手国担当機関を指導して工事を並行施工することでプロジェクト自体の効果は倍化した。</p> | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>OJT：舗装の評価方法 研修員受け入れ：道路行政、道路改良の諸対策等 現地コンサルタント活用：交通調査、インベントリー調査、舗装調査</p> | | | | |

調査結果の活用現状

(その他)

| | | |
|--|------------------------------|------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | 無償資金協力により提案プロジェクトの実現。 | |
| 3. 主な情報源 | | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 成果の活用 |
| <p>状況</p> <p>(1) ラマ4世道路高架橋建設 次段階調査： 1990年1月 E/N 0.98億円 資金調達： 1991年8月 E/N 25.06億円</p> <p>(2) その他道路高架橋 小規模工事は相手国独自予算で実施。 (平成5年度在外事務所調査) BMAは10の道路高架橋を本M/Pをもとにして建設。</p> <p>(3) その他 (平成7年度現地調査) 本案件の主要な提案事業である道路技術指針の活用は、またBMAの統一指針とはなっておらず、十分に活用されていない。今後BMA内の承認を得た後にタイ語訳のガイドラインを作成する予定。 道路舗装計画などのまとまった財源を必要とする提案事業については、ほとんど実施されていない。</p> | | |

案件要約表 (M/P)

ASE THA/A 102/87

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|--|--|-----------|--------------|----------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | 国有林管理計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 林業 / 林業・森林保全 | 4. 分類番号 | 303010 | 5. 調査の種類 | M/P | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業・協同組合省王室林野局 Royal Forestry Department | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 減少しつつある国有林について森林の本来の機能を発揮させるための管理計画の策定 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1985年7月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (社)日本林業技術協会 国際航業(株) | | | | 10. 団員数 | 19 |
| | | | | | 調査期間 | 1985.10 ~ 1988.3 (29ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 160.00 |
| | | | | | 国内 現地 | 90.00 70.00 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 土壌調査 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 452,596 (千円) | コンサルタント経費 | 434,600 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|----------------------------------|--|---|-----|----|---|-----|
| 1. サイト又はエリア | 中部地域西部のカンチャナブリ県、他4県の地域 (20,000km ²) | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 0 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | |
| | | | | | | |
| 3. 主な提案プロジェクト | <p>調査対象地域(約2百万ha)のうちモデルエリア(約2万ha)について土地分級を行い、その結果に基づいて国有林管理計画を策定した。同計画のコンポーネントは、次の通りである。</p> <p>森林土地利用計画 土地分級の結果と調査結果を総合的に評価し、モデルエリアを林業地域(6,065ha)、アグロフォレストリー地域(911ha)、保全地域(14,671ha)の3つの森林土地利用区分により区分した。</p> <p>林業地帯計画 同対象地域について、持続的な林業生産を前提とした施業体系を、人工林(伐期令は長期造林樹種(チーク)の場合50年、早世樹種の場合5年)、天然林(択伐回帰年40年、択伐率20%)、竹林について策定した。また、これらの施業実施に必要な苗畑(総生産量7万本、アグロフォレストリー計画も含む)、林道(総延長25km)、防火対策について計画した。</p> <p>アグロフォレストリー計画 同対象地域について、モデルエリア内の64世帯の地域生活と森林保全が調和するようなForest Village計画、共用林道計画、アグロシルビカルチャー計画を策定した。</p> <p>保全地帯計画 国立公園地域と水土保全上重要な地域について保全方針を策定した。</p> <p>*費用は算出せず。</p> | | | | | |
| 4. 条件又は開発効果 | <p>[前提条件] 為替レート: 1 bahts = 5.5円 (1987年) 計画実施にあたっては、道路整備と不十分である材木の成長等の試験研究を充実させることが必要である。また農民の集中定住化を図るために、入植者の取り扱いについて関係者との意見調整が必要である</p> <p>[開発効果] 国有林管理のための3つの各計画の実施によって、木材供給源としての森林整備、国立公園の整備、ダムの水土保全のための森林整備、国有林内に点在する農民のための森林村落計画によって農民の定住化と森林減少防止に大きな効果をもたらす。</p> <p>森林資源の持続的利用により森林面積の急減を緩和する 森林保全及び水土保全上適性な土地資源の利用 森林保全と地域社会活動の調和 道路整備等による地域住民定住化の促進</p> | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>研修員受け入れ: 3名 森林調査、土壌調査、熱帯農牧調査等のカウンターパートとの共同作業 地形図図化についての実地指導 情報及び資料のとりまとめと分析等 航空写真判読・林相図作成の共同作業</p> | | | | | |

調査結果の活用の現状

| | | |
|---|--|------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | 王室林野局単独のプロジェクトではなく、林業、農業、灌漑との共同プロジェクトが優先している。 政策変更（平成5年度在外事務所調査）。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォローアップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1996 年度 中止・消滅案件のため。 |
| <p>状況</p> <p>中止要因： （平成5年度在外事務所調査） 1）国有林土地利用政策の変更 2）国立公園内での他の土地利用規定がないため、アグロフォレストリー計画をモデル地区で開始できない。 3）政府はRFDIに森林保護と自然保護の役割を期待している。木材産業は民営化が検討されている。 RFDIは現在このプロジェクトを全く顧みていない。</p> <p>中止に至るまでの状況： 王室林野局は、日本が作成した国有林管理計画を基に、王室林野局が現在実施している個別計画との調整を担当局部で行っている。 計画が多岐にわたるために、日本によるフォローアップまたは実証調査が必要である。</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 319/87

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|----------------------------|-------------------------------------|-----------|--------------|----------------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | 新クルンテップ橋及びトンブリ道路延伸計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 道路 | 4. 分類番号 | 202020 | 5. 調査の種類 | F/S | |
| 6. 相手国の担当機関 | 調査時 | 内務省公共事業局 Public Works Department | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 橋梁建設 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1985年11月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本工営(株) セントラルコンサルタント(株) | | | 10. 調査団 | 10. 1 員数 | 10 |
| | | | | | 10. 2 調査期間 | 1986.2 ~ 1987.6 (16ヶ月) |
| | | | | | 10. 3 延べ人月 | 39.73 |
| | | | | | 10. 4 国内 10. 5 現地 | 1.73 38.00 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 142,329 (千円) | コンサルタント経費 | 129,651 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | |
|---|---|-------------------|-----|-------|-------|------|----|------|
| 1. サイト又はエリア | クルンテップ橋: チャオバヤ河クルンテップ橋下流側 トンブリ道路: トンブリ地区MMR - ORR | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=¥153 | 1) | 1,885 | 内貨分 | 1) | 1,217 | 外貨分 | 1) | 668 |
| | 2) | 2,469 | | 2) | 1,844 | | 2) | 625 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |
| | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>(1) 新クルンテップ橋 主橋梁(河川部): 3径間連続PC箱桁橋、橋長476m (125m + 226m + 125m)、航路平均推移より34m 取付け部: トンブリ側 / バンコク側 アプローチ高架橋 770m / 599m アプローチ盛土 131m / 120m ランプ高架橋 400m / 480m</p> <p>(2) トンブリ道路 第1段階施工: 目標開通年1991年、中環状道路とベッカカセン国道のL字型バイパス建設道路建設延長3.3km、約1.0km盛土・コンクリート舗装と約2.3kmの高架橋幅員は約1.9kmの6車線区間と約1.4kmの4車線区間 第2段階施工: 目標開通年1995年、ベッカカセン国道に対し、外郭環状線まで平行道路を建設道路建設延長6.5km、低盛土上にコンクリート舗装、幅員4車線</p> | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | 1988.10 ~ 1995.10 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| EIRR | 1) | 20.00 | 2) | 41.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| <p>[条件]</p> <p>建設期間: 36ヵ月(1991年開通) 建設費はバンコクの日系建設業者へのコスト・インタビューを基礎に積算: 新クルンテップ橋1885百万バーツ(約113億円、うち外貨分約35%) トンブリ道路延伸2,469百万バーツ(約148億円、うち外貨分約26%)</p> <p>[開発効果]</p> <p>クルンテップ橋及びトンブリ道路地域全体の交通混雑の解消、道路交通容量拡大と河川航路クリアランスの両立 道路沿線地域の住宅地或化の促進 以上によるバンコク首都圏開発のトンブリ地区を中心とするチャオバヤ河西側への波及効果の促進</p> | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>研修員受け入れ: 2名 現地コンサルタント活用</p> | | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 工事進捗中(1999年10月完工予定)。 | |
| 3. 主な情報源 | 、、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1999 年度 実施済のため。 |

状況

事業実施に至った要因は以下による。

- 旧クルンテップ橋の寿命がきた。
- 内務省公共事業局が強かにバック・アップしている。

(1)クルンテップ橋

第6次及び第7次国家経済社会開発計画に織り込まれ、プライオリティは高い。既に1987年8月に新クルンテップ橋建設について内閣の承認がなされている。

次段階調査:

- D/D
- コンサルタント/NORCON(ノルウェー)とタイコンサルタントのJ/V
- 調査費用/(2)とあわせて1.3億バーツ、PWDの自己資金

資金調達:

- 政府予算/19.5億バーツ
- 1993年1月 L/A 75.46億円 (新クルンテップ橋建設事業)
- *事業内容: 古い橋の修復、新橋建設
- 総事業費/150.91億円

工事:

1995年末~1999年10月 予定 進捗率20%(1997年末)

(2)トンブリ道路

次段階調査:

- D/D Local Tender 第1段階(3.5km)を実施

資金調達:

- 政府予算43.7億バーツ

工事:

1996年10月~1999年10月 予定 進捗率12%(1997年末)

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 320/87

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--|-------------------------------------|-----------|--------------|---------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 鉄道ヤード改良計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 鉄道 | 4. 分類番号 | 202040 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | タイ国有鉄道 State Railway of Thailand | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 10ヤードについて2006年を目標年次とする改良基本計画の作成 緊急度の高い数ヤードについて1996年を目標年次とするF/Sの実施 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1985年8月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (社) 海外鉄道技術協力協会 (JARTS) | | | | 10. 調査団 |
| | (株) パシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | | |
| | 電気技術開発 (株) | | | | |
| | | | | | |
| | 10. 団員数 | 13 | | | |
| | 調査期間 | 1985.12 ~ 1987.6 (18ヶ月) | | | |
| | 延べ人月 | 98.86 | | | |
| | 国内 | 61.11 | | | |
| | 現地 | 37.75 | | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 測量 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 270,880 (千円) | コンサルタント経費 | 258,834 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | | |
|--|--|------------------|-----|-------|-------|------|----|-------|----|------|
| 1. サイト又はエリア | Bangkok, Mae Nam, Bang Sue, Ban Phachi, Phitsanulok, Nakhon Ratchasima, Chumphon, Sarat Thani, Thung Song and Hat Yai Station | | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B26.455 | 1) | 13,357 | 内貨分 | 1) | 7,557 | 外貨分 | 1) | 5,800 | | |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | |
| | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>ヤード設備の改良 (旅客設備、貨物設備、線路設備、電気設備、信号設備、通信施設)</p> <p>Bangkok 到着線容量を増加させるため、到着線2線を増設する 着発線容量を増加させるため、出発線2線を着発線に改良する 出発線容量を増加させるため、到着線1線を増設する 客車留置能力増強のため、客車ヤードの有効長延伸を行う DRC留置能力増強のため、DRC留置の有効長延伸を行う 列車の安全確保のため、信号機の建植位置を変更し、運動装置を改良する</p> <p>Mae Nam Bangkok港線 4km付近に貨車仕訳線2線を新設する 本駅とBangkok港線との間に短絡線を新設する 空車留置能力を増加させるため、仕訳線1線増設及び有効長延伸を行う</p> <p>Band Sue 貨物専用直行輸送に対応するため、貨物駅に着発線2線を新設する 線路設備の改良に伴い、信号機の建植等、信号設備の改良を行う</p> <p>Hat Yai 貨物列車の着発と、貨車入換作業の競合除去のため、配線変更を行う 貨物仕訳能力増強のため、仕訳線3線の増強を行う 始終着列車の増発に対応できるように、客車留置線2線を増設する 線路設備の改良に伴い、信号機の建植等、信号設備の改良を行う</p> | | | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1987.1 ~ 1991.12 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 18.29 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 19.72 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| <p>[IRR算出の条件]</p> <p>将来の輸送量を1991年、1996年、2006年の3時点で予測 調査対象ヤードのうち優先順位の高い4ヤードを1991年までに改良</p> <p>[開発効果]</p> <p>旅客輸送上は、隘路ヤードの改良により輸送量が増加。貨物輸送上は、機能の陳腐化したヤードの改良により効果的な輸送体制を確立し、輸送コストの低減に寄与する。</p> | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>OJT: ヤード計画の手法についてセミナー開催 研修員受け入れ: カウンターパート4名に対し日本の国鉄の施設調査、鉄道再活性化策等の研修を実施 機内作業改善方策の指導と指導書の作成</p> | | | | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 提案プロジェクト一部実施済、残プロジェクトは消滅(平成7年度在外事務所調査)。 | |
| 3. 主な情報源 | | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 実施済案件のため。 |

状況

現在2つのカテゴリーに分けて施工中。

第1カテゴリー……主要ヤードの運営効率の改善、将来輸送量増大に対応するもの

- ・バンコックヤード……出発線の新設(1線)、到着線の新設(2線)、着線の着発線化(2線)及び有効長の延伸。
 予算37百万バーツ、1990年末完成予定。
- ・バンチャード……予算25百万バーツ、1990年中頃着手。
- ・その他……順次着手予定。

第2カテゴリー……プラットフォームの改良等規模の小さいもの。

- ・毎年5~10のヤードで実施する計画。
 詳細設計が1987年12月に完了した。4大ヤード(即ちBangkok, Mae Nam, Ban Sue, Hat Yaiヤード)が最優先で取扱われるように提言されている。現在Bangkok及びBan Pachiヤードだけで工事が行なわれている。
 Ban Pachiヤードの改良は1992年までに完了の見込である。Bangkokヤード改良工事の一部は完了している。
 即ち新しい出発線及び2本の到着線の建設、北線及び東線の列車競合を解消するためのYommaraj ~ Bangkok間の第2下り線建設等が完了している。その他の工事は、Bangkokヤードが現在交渉中のHOPEWELLプロジェクトの特別地域内に存在するため、ペンディングの状態である。

(平成3年度在外事務所調査)

タイ国有鉄道投資計画に組み込まれ、1993年工事完了の予定。

(平成5年度在外事務所調査)

第6次国家開発計画(1987~91)の期間中にヤードの改良が行われた。

総投資は1.2億バーツ。

(平成6年度国内調査)

Bangkok及びBanpachiヤード(北線と東北線の分岐点に在り、4ヤードに次ぐ優先度をもつ)の工事はほぼ完成。Mae Nam、Band Sue、Hat Yaiについては輸送動向の変化等から一部緊急のものを除き計画は遅延している。Mae NamについてはLaem Chabang港の開港に伴う発着貨物の転移、石油パイプライン(Mae Nam - Ayutthaya)の新設等、Ban SueについてはHOPEWELL計画との関連等によって計画の見直しが必要となってきた。またHat Yaiについては、輸送需要が停滞ぎみにあり、今後の輸送動向を見定めつつ整備が進められることとなる。

(平成7年度国内調査)

追加情報なし。

(平成7年度現地調査)

バンコク中央駅に比較的近い3つのヤードは、ホープウェルプロジェクトの用地内となり、またハジャイヤードは輸送量の増大がないため、改良を見合わせている。従って、本開発調査は事実上消滅と考えられる。

案件要約表 (その他)

ASE THA/S 603/87

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|------------------------|---|-----------|--------------|------------------------|----|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | 効果的港湾システム調査 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 港湾 | 4. 分類番号 | 202055 | 5. 調査の種類 | その他 | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | タイ国運輸通信省 Ministry of Transport and Communication | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 港湾運営の枠組策定 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1986年2月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (財)国際臨海開発研究センター (OCDI) | | | 10. 調査団 | 団員数 | 12 |
| | | | 調査期間 | | 1986.8 ~ 1988.3 (19ヶ月) | |
| | | | 延べ人月 | | 99.90 | |
| | | | 国内 現地 | | 48.44 51.36 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 法体系調査 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 269,234 (千円) | コンサルタント経費 | 265,693 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|----------------------------------|--|---|-----|----|---|-----|
| 1. サイト又はエリア | バンコック湾、ラムチャバン湾、マブタブット湾、サタヒップ湾、ブーケット湾、ソククラ湾 | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 0 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | 2) |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | 3) |

3. 主な提案プロジェクト

港湾の管理・運営等について以下の提言を行った。

- 1) 港湾の管理・運営の基本原則の提案
- 2) 港湾行政体系の基本的枠組みの提案
- 3) 国際港の管理運営システムの具体的提案
- 4) 港湾に関する法制度の見直しについての提案
- 5) 荷役方法の改善の提言

4. 条件又は開発効果

【開発効果】
 効率的な港湾サービスの提供はタイ国の経済活動にとって不可欠であり同時に港湾の開発は産業立地の促進のための主要なインフラとしてまた地方の経済発展の核として意義が大きい。
 効果的な運営による運送費の削減
 ラムチャバン港のターミナルにおけるコンテナ荷役及び内陸輸送の効率を高めることによりラムチャバン港に貨物誘致をはかることができ、バンコク港の混雑緩和、東部臨海部の地域開発促進に効果がある。

5. 技術移転

研修員受け入れ：港湾管理運営

調査結果の活用の現状

(その他)

| | | |
|--|-------------------------------|---------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | 調査結果は港湾行政管理のガイドラインとして用いられている。 | |
| 3. 主な情報源 | | |
| 4. フォローアップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 成果の活用が確認されたため。 |
| <p>状況</p> <p>初めて行われた港湾関係の管理運営に関する調査であるが、そこに示された評価と提言は港湾行政管理のガイドラインとして用いられている。調査報告書の勧告を受けて運輸通信省内に港湾審議会 (National Port Administration Commission) が設立された。1988年12月から活動を開始している。</p> <p>(1) ラムチャバン港 PAT内に独自の管理主体を設立した。 3つのコンテナターミナルと1つの農産品/バルクターミナル：民間にリースし運営中。 多目的ターミナル：民間企業により、コンテナターミナルに変えて運営すべく、現在入札中。 残りの1つのバルクターミナル：私企業にリース予定。 タピオカ埠頭：他用途への転換を検討中。</p> <p>(2) マプタブット湾 1992年に開湾され、IEATが港湾管理主体となり個別に民間企業にリースされている。</p> <p>(3) ソンクラ、ブーケット湾 港湾管理運営が民間に委ねられている。</p> | | |

案件要約表 (M/P)

ASE THA/S 104/88

作成 1986年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|-------------------------|--|-----------|--------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | チャオピア川洪水予報システム計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 社会基盤 / 河川・砂防 | 4. 分類番号 | 203020 | 5. 調査の種類 | M/P |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省立灌漑局 Royal Irrigation Department (RID) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | チャオピア川流域における洪水予報システムの策定 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1986年7月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)建設技術研究所 日本工営(株) | | | 10. 調査団 | 11 |
| | | | | 調査期間 | 1987.2 ~ 1988.6 (16ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 73.32 |
| | | | | 国内 | 38.47 |
| | | | | 現地 | 34.85 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 測量 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 216,224 (千円) | コンサルタント経費 | 183,794 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | |
|--|---|--------|-----|-----|----|
| 1. サイト又はエリア | チャオピア川流域 (面積162,000km ²) | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=¥130 | 1) | 55,948 | 内貨分 | 1) | 0 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | | | 外貨分 | 1) |
| | | | | 2) | 0 |
| | | | | 3) | 0 |
| 3. 主な提案プロジェクト | <p>第1ステップ: 現況施設を基本とし、必要に応じてこれに補足的な機器を加えた洪水予報システム システムの構成は 雨量観測所34カ所、水位観測所31カ所、HF無線局54局、VHF無線局7局、情報処理システム1式から成る。</p> <p>第2ステップ: 十分な洪水予測精度を備えた最新設備による洪水予報システム システムの構成は 雨量観測所65カ所、水位観測所26カ所、雨量/水位観測所19カ所、レーダー観測所2カ所、VHF無線局110局、VHF中継局15局、UHF無線局2局、集中局5局、TOT端末局6局、洪水予報センター1カ所、情報処理システム1式から成る。</p> | | | | |
| 4. 条件又は開発効果 | <p>【開発効果】</p> <p>洪水予報システムより、チャオピア川の広大な流域にわたって洪水情報が集められ、高精度の洪水予報が可能となる。 洪水予報システムの通信網は洪水予報以外の通信業務にも貢献しうる。 この結果、チャオピア川沿いにある主要都市(ナコンサワン、チャイナート、アユタヤ、バンコック等)の洪水対策、避難活動がより有効に行われ、洪水被害の軽減が期待出来る。またこのシステムで整理される水文情報は今後チャオピア川の治水計画を立案するうえで貴重な基礎資料となる。</p> | | | | |
| 5. 技術移転 | カウンターパートに対し、水文計算に関する集中講義を実施 | | | | |

調査結果の活用現状

| | | |
|---|------------------------------------|---|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | 機材供与が行われた他、洪水緩和のための総合計画調査が実施されている。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォローアップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 1998年終了案件 チャオプラヤ川流域洪水対策計画 M/P+F/S調査でフォローのため。 |
| <p>状況</p> <p>(1) 洪水管理センター 次段階調査： 1988年6月 B/D (コンサルタント：パシフィックコンサルタント)</p> <p>資金調達： 1989年1月 E/N 9.24億円 (バンコク市洪水管理センター機械整備計画) 事業内容：洪水被害発生を軽減を図る目的で設立が予定されている洪水管理センターへの設備・機器の供与。</p> <p>(2) 洪水対策総合計画調査 次段階調査： (平成9年度国内調査) 1996年11月～1998年12月 (JICA M/P+F/S 調査チャオプラヤ川流域洪水対策計画 5.4億円)</p> <p>経緯： 王立灌漑局は、プロジェクト全体の実施を強く希望している。 (平成5年度在外事務所調査) 本プロジェクトはRIDに洪水予測方法を提供しなかったため、RIDは既存の予測方法で正確な結果を導き出している。 (平成8年度在外事務所調査) RIDは緊急案件として1996年にチャオピア川の洪水緩和のための総合計画調査をJICAに要請した。</p> | | |

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/A 202B/88

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--------------------------------|---|-----------|------------------------|---------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 東部タイ農地保全総合開発計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省 Ministry of Agriculture and Cooperatives | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 長期総合農村開発計画の策定と優先地区のF/S | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1987年2月 | | | | |
| 9. コンサルタント | 太陽コンサルタンツ (株) (株) 三祐コンサルタンツ | | 10. 調査団 | 12 | |
| | | | 調査期間 | 1987.9 ~ 1988.9 (12ヶ月) | |
| | | | 延べ人月 | 68.45 | |
| | | | 国内 現地 | 22.98 45.47 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 地形測量 土壌分析 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 218,945 (千円) | コンサルタント経費 | 202,533 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | |
|----------------------------------|--|--------------|------|--------------|------|--------------|
| 1. サイト又はエリア | <M/P> タイの東部海岸地域の4県(チャチョンサオ、チョンブリ、ライヨン、チャンタブリ) 総面積15,247km ² <F/S> タイの東部海岸地域の4県のうち、緊急対策を要する16地区 | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | M/P | 1) 2,776,293 | 内貨分 | 1) 1,696,090 | 外貨分 | 1) 1,080,203 |
| | | 2) 0 | | 2) 0 | | 2) 0 |
| | | 3) 0 | | 3) 0 | | 3) 0 |
| | F/S | 1) 6,649 | 内貨分 | 1) 4,063 | 外貨分 | 1) 2,587 |
| | 2) 0 | | 2) 0 | | 2) 0 | |
| | 3) 0 | | 3) 0 | | 3) 0 | |
| | 4) 0 | | 4) 0 | | 4) 0 | |

3. 主な提案プロジェクト/事業内容

<M/P, F/S> タイ全土では、乱開発による土壌侵食が深刻であり、全国土面積の34%に及んでいる。東部タイ4県においても土壌侵食が生じており、47%の716,000haが被害を受けている。東部タイの4県について農地保全総合開発計画を策定、その後16カ所のパイロット地区を選定し、F/Sを実施。

| 県名 | 調査地区 | プロジェクト地区 | 計画地区 (km ²) |
|--------------|--------|----------|-------------------------|
| Chachoengsao | 5,351 | 5,351 | 2,200 |
| Chonburi | 4,363 | 4,363 | 3,041 |
| Rayong | 3,552 | 3,552 | 2,634 |
| Chanthaburi | 6,338 | 1,981 | 965 |
| 計 | 19,604 | 15,247 | 8,840 |

土壌保全対策
 農業的対策 耕作方法、栽培作物等
 土木工学的対策 テラス工法、テラス排水路 (terrace channel)
 灌漑施設 水の有効貯水と有効利用
 支援対策 インフラの整備、農村工業の導入、農民教育、協同組織

予算は1988年9月価格ベース

| | | | | |
|------------------------------------|--------------------|---------------|---------|---------|
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) 1991.1 ~ 1995.1 | 2) ~ | 3) ~ | 4) ~ |
| | 有 | EIRR 1) 10.40 | 2) 0.00 | 3) 0.00 |
| | | FIRR 1) 0.00 | 2) 0.00 | 3) 0.00 |

[前提条件]

国土保全事業の経済便益は低いが、国家事業として実施する。

事業地区において、土地保全を必要としている畑地を分類する。

土壌保全のための分類

| 分類 | 1. Top-Urgent | 2. Urgent | 3. Necessary | 4. Normal | 5. Not necessary |
|---------------------|---------------|-----------|--------------|-----------|------------------|
| 土壌流失量 (ton/ha/年) | 50以上 | 50~30 | 30~20 | 20~5 | 5以下 |

パイロット地区は、主にUrgent地区から選定される。

[開発効果]

雇用機会の創出 農民の生活水準の改善と経済の活性化 国防効果 外貨の節減と獲得 農民の協同の向上 生態系の保護 小気候の変化の防止 水資源の保全及び災害の防止

* 4地区をモデルとして経済分析をした結果EIRRは8.5%~11.6%となる。但し、建設機械の調達コストが無い場合のEIRRは13.1%となる。

5. 技術移転

研修員受け入れ: 3名
 OJT
 DLD本部におけるセミナー開催

案件の現状

| | | | | |
|--|---|-----------------------------------|---------------------------|-------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現況 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> | <p>2. M/Pの現況 (区分)</p> | <p>進行・活用 遅延 中止・消滅</p> |
| <p>3. 主な理由</p> | <p>パイロット地区の工事完了、プロ技による技術移転(平成10年度国内調査)。</p> | | | |
| <p>4. 主な情報源</p> | <p>、</p> | | | |
| <p>5. フォローアップ調査終了年度 及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>1998 年度 プロジェクト実施済のため。</p> | | |
| <p>状況 <M/P> MPIは、農地開発プロジェクトを形成するために活用されている。 DLDのプロジェクト遂行能力を強化するために、DLD本部に「技術導入センター」の設立、各リージョンに「土及び水保全センター」を設立する計画を確立した。</p> <p><F/S> F/Sにて策定された16地区のパイロット・プロジェクトについて、タイ国はプライオリティー順に実施している。 (1)農業機械の調達(工事実施に必要な施工機械及び管農) 次段階調査: B/D(日本政府資金) 資金調達・機材調達: 1991年5月 E/N 3.2億円(東部タイ土壌・水保全センター機材整備計画)</p> <p>(2)パイロット地区の建設 次段階調査: 1992~94年 D/D 資金調達: (平成5年度在外事務所調査) RTG予算により約1億3,610万パーツ調達の予定。(16カ所の費用は9,916万パーツと見積られている。) 工事: 1993~1998年 施工期間 (平成8年度在外事務所調査)13ヶ所についてはすでに完工。 (平成9年度国内調査)残り3地区については自己資金にて段階的に建設中。 (平成9年度在外事務所調査)残り3地区については1998年度中に完工予定。 *パイロット地区では次の目的のためにデータが収集される 1.土及び水保全のための技術基準策定の準備 2.土及び水保全作業の管理 3.耕作及び土壌管理についてのマニュアル策定 4.土及び水保全の為のトレーニング 尚、パイロット地区は土地開発地域事務所 によって、運営・管理される予定である。 (平成10年度国内調査) 工事完了</p> <p>(3)東部タイ農地水保全センター プロ技協:1993年6月~1998年6月 「東部タイ農地保全計画」 (平成10年度国内調査) プロ技により(1)農地・水保全に関する技術基準の作成、(2)農地・水保全工事の管理、(3)農地・水保全に関する栽培・土壌管理マニュアルの作成、(4)農地・水保全に関する研修 等の技術移転が行われた。</p> | | | | |

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/S 207B/88

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|---------------------------------------|--------------|-----------|--------------|---------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | 中央部道路網整備計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 道路 | 4. 分類番号 | 202020 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 運輸通信省道路局 | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 道路整備 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1987年2月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)片平エンジニアリング・インターナショナル 日本工営(株) | | | | 10. 調査団 | |
| | | | | | 団員数 | 10 |
| | | | | | 調査期間 | 1987.8 ~ 1989.3 (19ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 85.70 |
| | | | | 国内 | 15.70 | |
| | | | | 現地 | 70.10 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 車種別交通量調査、OD 調査、インベントリー調査、平面測量、ボーリング調査 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 345,010 (千円) | コンサルタント経費 | 328,737 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|---|--|----|---------|-----|----|---------|-----|----|---------|
| 1. サイト又はエリア | タイ国中央部地方 (26県) 約104,000km ² (バンコク首都圏含む、全国の20%) :人口1,700万人 | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=B25 | M/P | 1) | 79,202 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 | 1) | 0 |
| | | 2) | 49,151 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 398,960 | 内貨分 | 1) | 202,640 | 外貨分 | 1) | 196,320 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |

| | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 3. 主な提案プロジェクト/事業内容 | | | | | | | | | |
| <p><M/P></p> <p>(1) 幹線道路網 (MLプロジェクト) 8リンク、288.8km プロジェクトNo. ML-1~ML-8 ・より多くの区間で車線追加、新道建設が必要。 ・将来は都市間高速道路を根幹とする道路網形成が不可欠。</p> <p>(2) 補助道路網 (IMプロジェクト) 23リンク、718.2km プロジェクトNo. IM-1~IM-23 ・将来は85路線、2,017kmの改良、県道・地方道整備が必要。</p> <p>(3) 修繕プロジェクト (RHプロジェクト) 8リンク、206.8km</p> <p>(4) 交差点の改良 48カ所 プロジェクトNo. RH-1~RH-8</p> <p>上記プロジェクト予算1)は、MLプロジェクト、2)はIMプロジェクトのものである。</p> <p><F/S></p> <p>(1) 幹線道路網 (MLプロジェクト) 7 プロジェクト 総延長 320.3km</p> <p>(2) 補助道路網 (IMプロジェクト) 11 プロジェクト 総延長 297.2km</p> <p>(3) 修繕プロジェクト (RHプロジェクト) 3 プロジェクト 96.7km</p> <p>(4) 交差点の改良</p> | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|------------------------------------|----|-----------------|----|-------|----|-------|----|-------|
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | 1991.1 ~ 1993.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| | 有 | EIRR | 1) | 19.70 | 2) | 15.10 | 3) | 74.20 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |

[条件]

<F/S>
幹線道路については混雑の解消と国家開発プロジェクト(東部臨海開発計画)のサポートを、地方道については地域の開発と社会経済的ニーズを満たすことに主眼を置いて路線を選定、道路局と協議しその中の優先度の高い路線についてF/Sを実施した。
経済便益は、車両走行便益と時間便益から成る。計画を実施した場合と実施しない場合における走行費用の差分を車両走行便益とし、時間価値の差分を時間便益と計算した。

[開発効果]

<M/P, F/S>
・既存道路の効率的利用が可能になる ・増加する交通量の処理
・生産地と市場との連絡強化 ・交通事故の減少、交通渋滞の緩和
・民生活による道路建設の促進 ・地域の開発等
EIRRは1) 高速道路建設19.7%~39.6%、2) 道路改良15.1%~32.5%、3) 修繕74.2%~150.1%である。 選定した全ての路線がフィジブルであった。

5. 技術移転

<M/P>統計収集、解析、方法論の手法
<F/S>調査の工程の中で、M/P設定、F/Sに関する考え方、調査手法などの技術移転を行った。

案件の現状

| | | | | |
|--|---|-----------------------------------|---------------------------|-------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現況 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> | <p>2. M/Pの現況 (区分)</p> | <p>進行・活用 遅延 中止・消滅</p> |
| <p>3. 主な理由</p> | <p>本調査によって選定された路線がタイ国の政策とも一致し、早期の実施につながった。 MLプロジェクト、MLプロジェクト、RHプロジェクト、交差点改良の関する建設工事の大部分が完了。</p> | | | |
| <p>4. 主な情報源</p> | <p>、 、 、</p> | | | |
| <p>5. フォローアップ調査終了年度及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>年度</p> | | |
| <p>状況 F/Sは21路線について行ったが、その中15路線がOEFCローンによって実施されることが決定。 次段階調査： 1989～1995年 B/D、D/D (世銀、ADB、DOH) 進捗状況： (平成7年度現地調査) MLプロジェクトとIMプロジェクトの大部分は東部臨海開発計画との関連で国家プロジェクトとして進められ、すでに建設工事ほとんど完了している。 (平成9年度在外事務所調査) (1) MLプロジェクト (区間、資金源/総工費mil.B、完工年月) ML-1 Chonburi Bypass OECF.DOH/215.7 1993.5 ML-2 Pattaya - Satta Hip DOH/375.4 1995 ML-3 A.Satta Hip - C.Rayong DOH/800.9 1995 ML-4 A.Klang - C.Chantaburi DOH/798.0 1996 ML-5 Chonburi - Pattaya OECF.DOH/1685.7 1994.6 ML-6 Pak Tho - Ratchaburi ADB.DOH/169.9 1995.5 ML-7 Minburi - Chachengsao DOH/1831.9 1994.1 ML-9 Bangkok - Chonburi OECF.DOH 1998.12 <ML-1/ML-5> 資金調達： 1988年11月 L/A 41.17億円 (チョンブリ・パタヤ道路建設事業) 1991年 9月 L/A 56.70億円 (チョンブリ・パタヤ道路建設事業(2)) *事業内容/チョンブリバイパス14mの拡幅(2車線から4車線へ)、チョンブリバイパス - パタヤ (国道36号線)間50km道路建設 (レムチャバン工業団地・商業港へのアクセス道路8kmを含む) インターチェンジ5カ所の建設 工事： 1990年 8月 着工 1996年12月 完工 建設業者 / Kampangphetviwat社 Thaiwat Engineering社 Thaiipatana社 <ML-9> 資金調達： 1990年12月 L/A 154.97億円 (バンコク・チョンブリ道路建設事業(I)) 1993年 9月 L/A 136.31億円 (バンコク・チョンブリ道路建設事業(II)) *事業内容/バンコク市 (シーナカリン道路) からチョンブリ市 (チョンブリ・パタヤ道路) に至る全長83km (34号線へのアクセス道路約4kmを含む) の都市間高速道路 (インターチェンジ8カ所を含む) の建設 全21工区のうち13工区 工事： 1994年 着工 1998年5月 完工予定 建設業者 / ローカル: イタリアン・タイ他11社、外資系: 日本道路、デウ建設、フォ-カンナン東急J.V. 運営・管理状況: (平成9年度国内調査) 都市有料道路に格上げ、1998年、暫定的にツール・プラザを建設する(2年間程度利用)。交通管理(緊急時、救急体制及び通信施設等)上、問題有るものと考えられ、タイ全土のツール・システムに関するマスター・プラン作成を緊急に実施すべきと、DOHに提案している。 裨益効果: (平成9年度国内調査) 開通後、バンコク - チョンブリ - パタヤもしくはレム・チャバン港の通行時間約1時間 - 1時間半の時間短縮、且つ交通量の増加が予想されている。 <アウトリーキング・ロード (東部) > 1998年11月 完成予定 (2) IMプロジェクト IM-3 B.Nong Ei Pang - B.Sam Chuk DOH/130.0 1995 IM-5 A.Lan Sak - B.Khao Chon Kan DOH/150.0 1995 IM-6 B.Thap Krit Klang - B.Phanon Rok DOH/76.7 1994.7 IM-7 K.A.Khok Charoen - B.Mai Samakki DOH/96.4 1994.9 IM-8 B.Lam Som Pung - Rt.2256 ADB.DOH/38.1 1994.10 IM-10 B.Rong Sung - Lopburi DOH/101.8 1994.8 IM-11 B.Channa Soot - A. Po Thong DOH/241.2 1992.12 IM-12 A.Po Thong - A.Sena DOH/400.5 1994 IM-13 A.Bang Pa In - Ayuttaya OECF.DOH/185.7 1991.1 IM-14 A.Thanyaburi - A.Wang Noi OECF.DOH/284.8 1998.8 IM-16 A.Lamlukka - B.Khlong Siphok OECF.DOH/305.1 1993.12 IM-18 Nakhon Nayok - A.Basang DOH/58.8 1995 IM-20 B.Pluang - Khao Lak Chang DOH/108.0 1995 IM-21 B.Nong Chang - J.R.3138 DOH/96.5 1994 IM-22 J.R.304 - A.Bangnampriao DOH/472.7 1995 IM-23 J.R.32 - J.R.3022 OECF.DOH/159.0 1993.3 サムート・プラカーン - バング・ヒリー (Rt.34)バンケーバンバンコン有料道路に連結) 資金調達: 1997年9月 L/A ADB *事業内容/上下分離構造、片側3車線、計6車線、軟弱地盤処理工 (3) RHプロジェクト RH-1 B.Hang Nam - Chainat DOH/136.6 1993 RH-2 Nakhon Sawan - A.Chum Saeng DOH/162.8 1994.6 RH-4 Khao Hatyao - Khlong Phai DOH/61.6 1994.1 RH-5 Ban Bung - A.Klaeng OECF.DOH 1998.8 RH-7 Bang Ping - Phraek Sa DOH/236.9 1994.9 (4) 交差点改良 (平成10年度国内調査) 追加横断歩道橋3橋を含め全て実施済 (5) 残プロジェクト(パタヤ - マタブット間有料高速道路) について (平成10年度国内調査) 阻害要因: パタヤ - インターチェンジ周辺の用地問題、国家予算の不足、マタブット工業団地への投資減退 次段階調査: 1996年6月 - 1997年6月 D/D ADB セクターローンで実施 資金調達: OECF25次ローンを申請予定 工事: 2000年後半頃より着工予定 今後の見通し: 実施は確実と思われるが、時期がずれる可能性がある。</p> | | | | |

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/S 208B/88

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|---------------------------------|---|-----------|--------------|---------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | 南部地域開発計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 観光 / 観光一般 | 4. 分類番号 | 602010 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S | |
| 6. 相手国の担当機関 | 調査時 | タイ国観光庁 Tourism Authority of Thailand | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 2001年までの観光開発計画と優先プロジェクトのF/S | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1987年7月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)ハシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | | 10. 調査団 | |
| | | | | | 団員数 | 16 |
| | | | | | 調査期間 | 1987.11 ~ 1989.3 (16ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 58.79 |
| | | | | 国内 | 21.04 | |
| | | | | 現地 | 37.75 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 市場調査 ランドサット調査 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 218,524 (千円) | コンサルタント経費 | 198,915 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|----------------------------------|---------------------------|----|-----------|-----|----|---------|-----|----|-----------|
| 1. サイト又はエリア | ブケット、バンガ、クラヒ県 (グレーターブケット) | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | M/P | 1) | 1,753,000 | 内貨分 | 1) | 526,000 | 外貨分 | 1) | 1,227,000 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 0 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 | 1) | 0 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 3. 主な提案プロジェクト/事業内容 | | | | | | | | | |
| <p><M/P></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源開発 (ブケット市歴史区保存、ピレッチ・ツーリズム、アングマン歴史文化研究センター、国立公園整備、訓練センター) ・観光基盤施設改良 (空港、上水道、道路、周遊航路改良、都市、観光技能者訓練校) ・ニューリゾート・コンプレックス (タイムアン、コックロイビーチ・リゾート、ブケット・マリン・センター) <p><F/S></p> <p>1) ニューリゾート・コンプレックス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムアン国際ビーチ・リゾート基地 (合計5,000室のホテル客室等) ・コックロイのパブリックビーチ整備 (合計1,000室のホテル客室等) <p>2) ブケット・マリン・センター (用地 100ha)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨット・ハーバー (200バースのヨット、ボート停泊施設) ・200室のマリン・ホテル ・マリン・センター (レストラン、スーパーマーケット等) | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------------|--------|------|-----------------|----------|---------|---------|---|----|---|
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 計画事業期間 | 1) | 1989.1 ~ 2001.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| | 有 | EIRR | 1) 34.60 | 2) 0.00 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | | | |
| | | FIRR | 1) 12.90 | 2) 13.40 | 3) 0.00 | 4) 0.00 | | | |

本調査の結果、全ての投資をパッケージとして経済的観点から評価すると、EIRRは34.6%となり、提案されたプロジェクト総体としての経済的採算性は高い。本調査の観光開発プロジェクトは経済と社会に大きく貢献することが可能である。

1) 1987年の一人当たりGNPと比べ、1991年では26.8%、1996年には55.4%、そして2001年は86.6%に増加することが期待出来る。 2) 雇用は1987年水準と比較して、1991年には2倍、1996年には2.7倍に、2000年には3.3倍となるが見込める。 3) 純獲得外資は、1987年水準を上回り、1991年には2.7倍、1996年には3.7倍に、2001年には5.5倍になる。

[条件]
上記事業に対して実施に関する組織体制の強化が必要である。中央と地方の行政的役割分担 (特に環境行政、インフラ整備に関して) 地方行政間の調整体制、及び特に現在プロモーション機能主体の観光庁 (TAT) が計画、調整、事業実施をも含めた総合的なプロジェクト実施能力を持ちえる様な行政機構上の体制作りが早期に実現される事、並びに計画調整、実施体制に係わるブケット、バンガ、クラヒの3県の広域調整委員会の設置が必要となる。

| | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 5. 技術移転 | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 国際観光開発適地選定 観光開発ポテンシャル分析・評価手法 市場開発、プロモーション手法 関連機関とのインテグレーションによるプログラム化 | | | | | | | | | |

案件の現状

| | | | | |
|------------------------|--|--------------------------|-------------------|----------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 | 2. M/Pの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 |
| 3. 主な理由 | OECE融資により事業実施中(平成9年度在外調査)。 | | | |
| 4. 主な情報源 | | | | |
| 5. フォロ-アップ調査終了年度及びその理由 | 終了年度 理由 | 年度 | | |

状況

(平成8年度在外事務所調査)
 資金調達:
 1993年9月 L/A 42.68億円(地域開発事業)
 *事業内容:
 北部、南部、東北部の4地方中核都市に観光のためのインフラ整備の実施。また、アンダマン歴史・文化研究センターのD/D及び建設

(1)アンダマン歴史・文化研究センター(117,600,000/パーツ)
 次段階調査:
 1996年9月~1997年6月 D/D
 コンサルタント/Team Consulting Engineers Co., Ltd.
 調査費用/9,207,500/パーツ
 工事:
 (平成9年度在外事務所調査)
 1998年4月~1999年7月

(2)Por Bay Tourist Pier、Chalong Bay Tourist Pier(観光インフラの改善)
 (予定事業費/Por Bay -- 35,916,700/パーツ、Chalong Bay -- 47,698,400/パーツ)
 次段階調査:
 (平成9年度在外事務所調査)
 1997年3月~1998年1月 D/D、EIA
 コンサルタント/Team Consulting Engineers Co., Ltd.、PCI
 調査費用/1500万/パーツ
 資金調達:
 (平成9年度在外事務所調査)
 1993年9月 L/A 2億/パーツ
 *事業内容
 Chalong Bay Tourist Pier (JICA提案より規模縮小)
 工事:
 (平成9年度在外事務所調査)
 1998年5月~1999年8月

経緯:
 (平成9年度在外事務所調査)
 プロジェクト規模が大きいため、経済状況の悪化、地価が高いことから実施が遅れた。Por Bayについては、陸地が狭小であることに加え、地価が高いことから、実施されない見込み。

その他:
 1) タイ語翻訳による本調査報告書の要約版作成。
 2) 観光資源開発事業(公共投資)である以下の案件についてはTATが中心となり、農林省王立森林局(RFD)、教育省純粋芸術局(FAD)との間で事業実施に対する具体的方策を検討。
 ・アンダマン歴史、文化研究センター(クラビ県)
 ・観光技能者訓練学校(ブケット県)
 ・国立公園トレーニングセンター(ブケット県)
 (平成5年度在外事務所調査)
 M/P提出後にTATは関連する諸機関を集めてセミナーを開催した。
 関連各県(Province)、TAT、FAD等からなる委員会が組織され、プロジェクトの検討を進めている。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 321/88

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|----------------------------------|---|-----------|--------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | 地方トラックターミナル整備計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 陸運 | 4. 分類番号 | 202030 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 運輸通信省陸運局 Department of Land Transport (DLT), Ministry of Communications. | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 将来貨物量の推計 ターミナルのスケールの推計 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1986年10月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株) パシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | | 10. 調査団 |
| | | | | 団員数 | 10 |
| | | | | 調査期間 | 1987.1 ~ 1988.7 (18ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 48.30 |
| | | | | 国内 | 17.50 |
| | | | | 現地 | 30.80 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 貨物流動調査、断面交通量調査、物流調査 | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 165,680 (千円) | コンサルタント経費 | 141,404 (千円) | |

調査結果の概要

| 1. サイト又はエリア | バンコック、チェンマイ、ナコンサワン、コンケン、ナコンラチャシマ、ハジャイ/ソククラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|---|----------------------|----------------------|-------|--------|-------|--------------------|----------------------|----|---------------|-------|-------|----------------------|--------------|-------|-------|----------------------|-------------------|-------|-------|----------------------|--------------|-------|---------------------|---------------|-----|-----|--------------|-----|-------|-------------------|-----|-------|
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 8,780 | 内貨分 1) | 4,704 | 外貨分 1) | 4,076 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>3トラックターミナルの建設</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ステージ1 (1991~92)</th> <th>ステージ2 (1999~2000)</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. チェンマイターミナル</td> <td>27/バス</td> <td>18/バス</td> <td>24,555m²</td> </tr> <tr> <td>2. コンケンターミナル</td> <td>30/バス</td> <td>20/バス</td> <td>27,246m²</td> </tr> <tr> <td>3. ハジャイ・ソククラターミナル</td> <td>50/バス</td> <td>45/バス</td> <td>49,104m²</td> </tr> </tbody> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>取扱い貨物量 (推計値)</th> <th>1996年</th> <th>2006年 (単位1,000トン/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. チェンマイターミナル</td> <td>436</td> <td>667</td> </tr> <tr> <td>2. コンケンターミナル</td> <td>661</td> <td>1,107</td> </tr> <tr> <td>3. ハジャイ・ソククラターミナル</td> <td>840</td> <td>1,598</td> </tr> </tbody> </table> <p>運営は政府・民間の合弁会社 (有限会社) が担当し、各ターミナルに新会社一つをあてる。</p> | | | | | | ステージ1 (1991~92) | ステージ2 (1999~2000) | 面積 | 1. チェンマイターミナル | 27/バス | 18/バス | 24,555m ² | 2. コンケンターミナル | 30/バス | 20/バス | 27,246m ² | 3. ハジャイ・ソククラターミナル | 50/バス | 45/バス | 49,104m ² | 取扱い貨物量 (推計値) | 1996年 | 2006年 (単位1,000トン/年) | 1. チェンマイターミナル | 436 | 667 | 2. コンケンターミナル | 661 | 1,107 | 3. ハジャイ・ソククラターミナル | 840 | 1,598 |
| | ステージ1 (1991~92) | ステージ2 (1999~2000) | 面積 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. チェンマイターミナル | 27/バス | 18/バス | 24,555m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. コンケンターミナル | 30/バス | 20/バス | 27,246m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. ハジャイ・ソククラターミナル | 50/バス | 45/バス | 49,104m ² | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取扱い貨物量 (推計値) | 1996年 | 2006年 (単位1,000トン/年) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. チェンマイターミナル | 436 | 667 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. コンケンターミナル | 661 | 1,107 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. ハジャイ・ソククラターミナル | 840 | 1,598 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | 1991.1 ~ 2000.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | EIRR | 1) | 40.36 | 2) | 16.89 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 3) | 39.63 | 3) | 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 4) | 0.00 | 4) | 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | <p>交通調査、インタビュー調査実行に関し、調査団とカウンターパートが共に作業を進めた。半月に一度、調査団よりカウンターパートへ分析内容のレクチャー。 研修員受け入れ: 2名 日本のトラックターミナルの実状の見学会、スタディ技法</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

・案件の現状

| | | |
|---|---|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 関連プロジェクト(首都圏トラックターミナル建設)の遅延。 調査終了後10年以上が経過し、JICAにより見直し調査が実施されている(平成9年度FU調査)。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 1999 年度 中止・消滅案件のため。 |
| <p>状況</p> <p>遅延・中断要因： 地方および首都圏トラックターミナルは機能上ベアを形成し、特に地方トラックターミナルは首都圏トラックターミナルの存在を前提にしており、単一では有用性を発揮しない。そのため首都圏トラックターミナル建設の遅延が当プロジェクトの遅延につながっている。</p> <p>経緯： 1992年10月 首都圏トラックターミナル計画の見直し調査完了</p> <p>現在タイ政府は、首都圏における交通緩和政策の一環として首都圏トラックターミナル建設を位置づけ、首都圏トラックターミナル建設委員会(事務局：陸運局)を設立して最優先で実現を図っている。バンコックのトラックターミナルの建設準備が完了次第、地方トラックターミナル計画の実施を見込んでいる。</p> <p>バンコックでのトラックターミナル整備手法が成功した場合には、タイ政府は地方トラックターミナル建設でもこれを採用したい意向であり、1992年調査の提案に見られる新施策、たとえば国有地の提供(土地取得問題)、政府出資(資金調達問題)、さらには政府による経営参加(運営組織問題)等の適用可能性を軸に将来の提案内容は見直しが必要となろう。</p> <p>JICA専門家が、1988年11月より陸運局に派遣されており、1993年3月現在、後任者がトラックターミナル実現に尽力している。</p> <p>(平成7年度現地調査) これまで地方トラックターミナルは、首都圏トラックターミナルの存在を前提をすることとしたために実施が遅れてきた。首都圏トラックターミナルが具体化に向けて動いているため、地方トラックターミナルも第8次5ヶ年計画の中に組み入れられ、実現に向けて動きだしたところである。</p> <p>(平成8年度国内調査) 首都圏トラックターミナルについては建設の運びとなったが、地方トラックターミナルについては全く目途はついていない。</p> <p>(平成9年度在外FU調査) 現在、用地取得中。Nakhon Ratchasima県(Korat)においては、用地取得済。JICA提案では他地域に優先がおかれていたが、DLTは土地取得の完了したNakhon Ratchasimaを第一優先とした。プロジェクト着工は1998年後半に予定されている首都圏ターミナルの完工後で、予算の制約上、段階的に実施される予定である。</p> <p>地価の高騰等対象地域の状況が変化しており、現在JICA提案の見直しが行われている。</p> | | |

案件要約表 (基礎調査)

ASE THA/S 502/88

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--|---|-----------|--------------|--|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | バンコク首都圏地形図作成事業 | | | | |
| 3. 分野分類 | 社会基盤 / 測量・地図 | 4. 分類番号 | 203050 | 5. 調査の種類 | 基礎調査 |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | バンコク首都圏庁 Bangkok Metropolitan Administration (BMA) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | バンコク首都圏地域の1:10,000地形図2,000km ² 及び1:4,000地形図300km ² の作成 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1986年3月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (社)国際建設技術協会 国際航業(株) | | | 10. 調査団 | 10. 1 員数 65 10. 2 調査期間 1986.9 ~ 1989.3 (30ヶ月) 10. 3 延べ人月 213.30 国内 52.20 現地 161.10 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 1,008,744 (千円) | コンサルタント経費 | 983,807 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | |
|----------------------------------|--|---|-----|----|---|
| 1. サイト又はエリア | バンコク首都圏 | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 0 | 内貨分 | 1) | 0 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| 3. 主な提案プロジェクト | 空中写真撮影 バンコク首都圏周辺 4,000km ² 1:10,000地形図作成 バンコク首都圏 2,000km ² 1:4,000地形図作成 バンコク市街地 300km ² | | | | |
| 4. 条件又は開発効果 | 【開発効果】 空中写真および地形図の整備により、バンコク首都圏の交通対策、洪水対策、住宅計画、下水道計画や都市計画等の調査に、基礎資料として活用することが期待される。 空中写真は陸軍地図局が管理し、本地形図はバンコク首都圏庁の管理のもとに地形図が販売されている。ただし、使用許可はタイ政府機関が公共目的で使用する場合に限られる。これらの地形図の利用は多機関にわたり、次の機関が各々の目的に応じて活用している。 バンコク首都圏庁 内務省地方都市計画局 内務省水道局 内務省公共事業局 内務省道路局 首都圏高速道路公団 住宅開発公団 その他 | | | | |
| 5. 技術移転 | 空中三角測量、図化、編集、製図作業の各工程の技術移転 基準点測量、デジタルマッピング、コンピューターマッピングの新技术の移転 セミナーの開催 | | | | |

調査結果の活用の現状

(基礎調査)

| | | | |
|----------------------------|---|------------|---------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | | |
| 2. 主な理由 | 国家開発計画に活用されている。 | | |
| 3. 主な情報源 | 〃 | | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="427 427 528 474">終了年度 理由</td> <td data-bbox="528 427 1528 474"> 1996 年度 成果の活用が確認されたため。 </td> </tr> </table> | 終了年度 理由 | 1996 年度 成果の活用が確認されたため。 |
| 終了年度 理由 | 1996 年度 成果の活用が確認されたため。 | | |

状況

タイ国内の事情によりバンコク首都圏の測量作業の承認および空中写真撮影の許可の手続きが新たに必要となったため、第1年次作業の着手が遅れた。しかし、その後は順調に調査が進み第2年次作業は予定通りに進められた。地形図作成の最終工程である印刷は、第3年次の後半にタイ国内（Royal Thai Survey Department）で行なわれ、当初計画した期間内に全ての工程を終了した。

- これらの地形図が利用されている主な計画は、
- ・バンコク市内の主要幹線道路計画、立体交差計画
 - ・スラム対策計画
 - ・住宅整備計画
 - ・区画整理計画
 - ・都市交通対策
 - ・洪水予防計画
 - ・下水道整備計画
 - ・廃棄物処理計画
- 等である。

(平成8年度国内調査)
 タイ側の担当機関はBMAであるが、実務的には王立測量局が行っており、最終成果品もここで保管されている。

(平成8年度在外事務所調査)
 地形図が高く評価されており、その活用範囲は広い。一方、地形図の経年変化が著しく、修正を行ないたいと考えているが、バンコク首都圏庁に予算がなく、修正、再印刷ができない状況にある。地図の更新及びデジタル化が必要であり、更なる技術援助が求められている。

案件要約表 (その他)

ASE THA/S 604/88

作成 1990年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | | |
|-------------------|------------------|-------------------|-----------|--------------|---------|------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | | |
| 2. 調査名 | 都市計画策定指針作成 | | | | | | |
| 3. 分野分類 | 社会基盤 / 都市計画・土地造成 | 4. 分類番号 | 203030 | 5. 調査の種類 | その他 | | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 内務省地方都市計画局 (DTCP) | | | | | |
| | 現在 | | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 都市計画技術の技術移転 | | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1987年8月 | | | | | | |
| 9. コンサルタント | 八千代エンジニアリング (株) | | | | 10. 調査団 | | |
| | | | | | | 団員数 | 11 |
| | | | | | | 調査期間 | 1987.11 ~ 1989.2 (15ヶ月) |
| | | | | | | 延べ人月 | 63.37 |
| | | | | 国内 | 4.33 | | |
| | | | | 現地 | 59.04 | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | | | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 245,389 (千円) | コンサルタント経費 | 210,450 (千円) | | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | |
|----------------------------------|-------|-------|-----|----|---|-----|----|-------|
| 1. サイト又はエリア | 全国の都市 | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 8,550 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 | 1) | 8,550 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | | | | | | | |

3. 主な提案プロジェクト

DTCPの機構改革、技術研修、データ管理システムの確立からなる組織強化策と計画策定の質的向上、都市開発事業の企画、実施、調査研究からなる業務改善策を推進するために、「都市計画改善促進センター」の設立を提案した。当センターはDTCPの付属機関とし、他の計画・研究機関 (NESDB、内務省地方行政局、チュラロンコン大学、AIT等) と連携される。

主要事業は、技術トレーニング事業及びデータベース管理事業・技術開発事業であり、施設としては、セミナー・ハウスと寄宿舎である。

4. 条件又は開発効果

【開発効果】

- ・DTCPの体制整備と技術改善事業の実績
- ・都市計画技術改善による国家経済社会開発への貢献

調査団が作成した「都市計画技術マニュアル」の活用によりタイ国内務省都市地方計画局 (DTCP) が技術研修、データ管理及び技術開発において改善事業を行うことによって、都市計画改善促進センターに成長し、タイ国全体の都市計画の向上を図り、国家経済社会に大きく貢献する。

5. 技術移転

マニュアルの作成、ケース・スタディの実施、セミナーの開催

調査結果の活用現状

| | | |
|--|---|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | 調査結果が国家計画等策定に活用されているほか、トレーニング事業も進行中である。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度及びその理由 | 終了年度 理由 | 1997 年度 成果品活用、提案事業実施。 |
| <p>状況</p> <p>成果品活用： (平成9年度国内調査) 本調査は都市計画策定の参考資料として利用されている。 (平成9年度在外事務所調査) 本調査結果は第8次国家経済社会開発計画(1997~2001)に反映されている。</p> <p>(1) トレーニングセンター(15階建) 資金調達：タイ政府予算(建設コスト8,000万バーツ) *日本の建設省からの設備・施設の提供を受けた。 *センター活動のための組織、人選等が行われた。</p> <p>(平成9年度国内調査) プロ技を実施中。</p> <p>(2) その他 (平成5年度在外事務所調査) マニュアルにある計画技術が各事業部で活用されている。 土地区画整理事業に対する技術協力(開発調査)がタイ政府より要請された。 土地区画整理事業、土地、建築物利用規制などのプロジェクトが進行中 (平成5年度在外事務所調査) DTCPにJICA専門家が派遣されている。</p> <p>(平成9年度在外事務所調査) ラマ9世区画整理パイロットプロジェクトは1993年から実施されている。</p> | | |

案件要約表 (M/P)

ASE THA/A 103/89

作成 1991年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|-----------------------------------|--|-----------|--------------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | チャオピア川流域水管理システムおよび監視計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | M/P |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省立灌漑局 (Royal Irrigation Department: RID) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 農業開発に重点をおいた水資源の有効かつ適切な管理のためのM/P策定 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1986年5月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ 太陽コンサルタンツ(株) | | | 10. 調査団 | 14 |
| | | | | 調査期間 | 1987.1 ~ 1989.3 (26ヶ月) |
| | | | | 延べ人月 | 157.82 |
| | | | | 国内 | 49.59 |
| | | | | 現地 | 108.23 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 575,639 (千円) | コンサルタント経費 | 474,636 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | |
|--|----------|--------|-----|----|--------|
| 1. サイト又はエリア | チャオピア川流域 | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=¥148 | 1) | 26,554 | 内貨分 | 1) | 0 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | | 外貨分 | 1) | 26,554 |
| | | | | 2) | 0 |
| | | | | 3) | 0 |

3. 主な提案プロジェクト

- 1) 水管理モデル事業：5年間で786百万バーツ
- 2) 通信システム改良事業：3年間で485百万バーツ
- 3) 監視システム改良事業：3年間で1,182百万バーツ
- 4) データ管理システム改良事業：3年間で199百万バーツ
- 5) 灌漑排水システム改良事業：20年間で18,000百万バーツ
- 6) 流域総合開発基本計画調査 (金額は特定せず)
 - Bang Pakong River Basin Development Plan Upper Pasak River Basin Development Plan
 - Groundwater Development Plan in Vicinity to Phichit and Sukhothai Kwai Noi River Basin Development Plan Yom River Basin Development Plan Kok-Ing - Yom-Nan Diversion Plan
 - Salween River Basin Development Plan Sakaekrang River Basin Development Plan Wang Thong River Basin Development Plan Maeklong - Chao Phraya Dversion Plan Lower Ping River Basin Development Plan(Tak-Kamphaeng Phet Area Development Plan Other Related Development Plans
- 7) 作物多様化促進センター (金額は特定せず)

4. 条件又は開発効果

【前提条件】

上記提案プロジェクトのうち、1)~5)はそれぞれレベル1~レベル4まで区分されており、各プロジェクトの目標設定に対して、事業費が算定できるように配慮されている。なお、記入金額は全体額を示す。

【計画策定】

基本方針として、1)の水管理モデル事業により経験を積み重ねながら、次のレベルを選び取れるように計画されている。予算上の制約並びに技術指導者の能力に応じていかなる対応策も採用できるようにとの配慮による。

【開発効果】

- 水管理モデル事業の効果
- 改良水管理システムの実施方法や手順を具体的に示す。
- 関係者への展示、普及活動が容易となる。
- 水配分の効率的運用手法の取得。
- 基準の作成・技術開発要員の養成・訓練を行う。

5. 技術移転

水管理システムの基準作成、技術開発要員の養成、訓練
研修員受け入れ

調査結果の活用現状

| | | |
|---|-------------------------------|----|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 | |
| 2. 主な理由 | プロ技実施中。資金調達実現済（平成11年度在外事務所調査） | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 年度 |
| <p>状況</p> <p>水管理モデル事業の実施は技術協力で実施する事となったため、その結果を見てから全体事業の実施をするかどうか方針が決められる。</p> <p>(1)水管理モデル事業 資金調達： (平成11年度在外事務所調査) JICA & タイ政府 604百万バーツ 実施期間：1999年～2004年 *JICA提案との相違点：JICA提案プロジェクト予算（786百万バーツ）</p> <p>工事： (平成12年度国内調査) ローカル予算不足のため、工事着手には至っていない。</p> <p>(2)テレメーターおよびデータ通信システム整備 資金調達： (平成11年度在外事務所調査) 自国資金 220百万バーツ *事業内容：Chao Phraya流域を対象としたD/D、同地域のテレメーター・通信システム整備 実施期間：2000年～2002年</p> <p>工事： (平成12年度国内調査) D/Dは実施されたが、ローカル予算不足のため、工事着手には至っていない。</p> <p>プロジェクト技術協力 1990年4月～1997年3月 「灌漑技術センター計画フェーズ」</p> <p>*計画の一環として、モデル事業で提案した地区にテレメーター監視システムが導入された。</p> <p>経緯： (平成8年度国内調査) テレ・モニタリング監視計画の実施によって、チャオプラヤ川、ナコン・サワン川等の河川の不定流観測を行い、洪水流況を監視する事が出来る。 本調査計画の後、灌漑技術センターが提案事項の検証を行い、水管理システム改良の一環として、上流域の流出解析・用水路内の不定流解析及び作物用水量の灌漑試験が行われた。提案の他の部分については、年次予算で行われる該当プロジェクトに組み入れることになると思われる。</p> <p>(平成8年度在外事務所調査) 灌漑システムについての第三国研修「持続的灌漑システム管理」をRIDで1996～2000年の5年間実施することとなった。またRIDはプロ技「持続的農業開発のための近代灌漑・排水システム管理」の実施を要請している。</p> <p>(平成9年度国内調査) チャオピア川流域の各システムの改良、改修工事に本M/Pのコンセプトが活用されている。広大な地域であり、個別工事の状況については把握することは不可能である。</p> | | |

案件要約表 (M/P)

ASE THA/S 105/89

作成 1991年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|--|----------------------|-----------|--------------|----------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | 国内電話網拡充長期計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 通信・放送 / 電気通信 | 4. 分類番号 | 204030 | 5. 調査の種類 | M/P | |
| 6. 相手国の担当機関 | 調査時 | タイ電話公社 (TOT) (経営計画室) | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 1993年度から2007年度までの15年間にわたる全国電気通信長期拡充計画の策定 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1988年6月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | NTTインターナショナル (株) | | | 10. 調査団 | 団員数 | 11 |
| | | | | | 調査期間 | 1988.9 ~ 1989.12 (15ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 75.61 |
| | | | | | 国内 現地 | 34.72 40.89 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 225,573 (千円) | コンサルタント経費 | 212,870 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | |
|--|-------|-----------|-----|----|-----------|-----|----|-----------|
| 1. サイト又はエリア | タイ国全土 | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=¥145 | 1) | 6,406,758 | 内貨分 | 1) | 3,525,379 | 外貨分 | 1) | 2,881,379 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | | | | | | | |

3. 主な提案プロジェクト

第1期5カ年間で加入電話の需給均衡を達成するため、同期間に179万2,000の加入電話の増設を行う。第2期および第3期5カ年計画期間中に、それぞれ119万2,000、136万1,000の加入電話の増設を行い、15年間で合計434万5,000の加入電話の増設を計画する。このための設備拡充計画の概要は以下の通り。

交換設備
第1期に189万7,000端子、第2期に124万8,000端子、第3期に134万6,000端子、合計449万1,000端子の増設。また39万8,000端子分の既設アナログ交換機からデジタル交換機への取替。

伝送設備
長距離伝送路は第1期にすべてのPC間の伝送路のデジタル化を行い、大規模SC局とバンコク間の2ルート化を実施し、第2期にすべてのSCまでの2ルート化、第3期にすべてのTC, SC, PC間伝送路の2ルート化を実施する。このため、第1期で50システム、第2期で68システム、第3期で87システム、合計205システムの増設を計画。この他、首都圏に光中継伝送路として合計189システム、支線伝送路に合計511システムの光中継および無線中継を増設。さらに衛生通信用の地球局を合計26局設置する。

市内線設備
第1期で377万対、第2期で200万3,000対、第3期で231万5,000対、合計808万8,000対のケーブルを増設する。さらに不良施設の取り替えるため総額41億パーツの線路設備更改計画を提案している。

4. 条件又は開発効果

[条件]
所要投資資金の調達
タイ電話公社(TOT)の経営改善
将来の大量電話架設の円滑な実施のため、TOT内の建設工事実施体制、保守運用体制、要員配置、人材育成、資材・資金調達、資金運用、会計管理、社内情報システム、網管理体制等の各分野における改善。

[開発効果]
電話加入申込の積滞解消、多彩かつ便利な電気通信サービスの経済的な提供。
電気通信サービスの改善・発達による産業構造の改善と金融部門の効率化促進、情報化社会の実現。
顧客志向のダイナミックで革新的な電気通信事業の展開。

5. 技術移転

第2回国内作業期間中(1989年7~8月)、日本国内にてカウンターパート研修を41日間JICAベースの2名及びTOTベースの4名計6名に対して実施し、M/P策定の技術的手法を移転した。またNTTの主要施設見学を行った。

調査結果の活用現状

| | |
|---|------------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 提案に基づき順次プロジェクトが実施されている。 |
| 3. 主な情報源 | 、 |
| 4. フォローアップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 1997 年度 理由 事業化済。 |
| <p>状況</p> <p>*関連開発調査 「バンコク首都圏電気通信網開発計画調査 M/P+F/S (THA/S 214B/92)」 1990年4月 本件調査による勧告に基づき、タイ政府が調査実施要請。 1991年7月-1992年10月 実施</p> <p>第7次5カ年拡充計画(1992~96)BOTプロジェクト タイ政府は、TOTの第7次5カ年計画の資金調達と大量電話架設の円滑な実施のために、BOT方式の採用を決定し、バンコク首都圏と地方部の2地域に分割し、首都圏200万回線をテレコム・アジア社に、地方部100万回線をタイ・テレホン&テレコミュニケーションズ社にそれぞれ民間委託を行った。 本調査では、TOTの経営改善が必要であり、将来的には民営化を目指すことも必要であると提言した。タイ政府はTOTの民営化への移行の1段階として、BOT方式を採用したといわれている。</p> <p>本調査報告書は、BOT実施事業者選定のためのTOR等にその多くが引用されるなど、データベースとしても役立っている。</p> <p>(平成9年度在外事務所調査) 以下のプロジェクトがTOTにより実施もしくは計画されている。 (1) 地方遠距離公衆電話プロジェクト(1992~1996年) 資金調達: ADB, TOT債 1. ステージI(公衆電話を35,000村と1,000重要ポイントに設置) TDMAシステム 3,509局設置済、3,417局供用開始 衛星システム 500局(1,000回線)供用開始 2. ステージII(25,000回線追加設置) 4,003村に設置、1,241局供用開始 1,884村中1,584村で設置済、1,176局供用開始</p> <p>(2) 電話サービス拡充プロジェクト(1995~1998年) 資金調達: TOT, Jarkee 1. 電話網拡大(1995~1998年) 1-1 .CCS.No.7交換機(首都圏--8ユニット、地方--18ユニット) 9交換機/11ユニット設置済、8交換機/10ユニット供用中 1-2. SDH網光ファイバー/マイクロ波伝送設備 (首都圏--29交換機、地方--光ファイバー 14ルート/マイクロ波 6ルート) 調整中</p> <p>2. アナログ デジタル交換プロジェクト 2-1. 交換機(468,374アナログ回線を撤去し496,640デジタル回線を設置) 92交換機、287,744回線供用中 2-2. 地方 光ファイバー24ルート設置、伝送設備改良 実施中 2-3. 既存ケーブルを新MDFに接続 実施中</p> <p>3. 改修プロジェクト(1995~1997年)(老朽化したケーブル、ワイヤー、キャビン等を改修もしくは交換) 127交換機設置済(進捗率 52.26%)</p> <p>(3) 電話網拡大短期プロジェクト(1996~1998年) TOT電話線拡大(首都圏--20万回線、地方--60万回線) 実施中</p> <p>(4) 村落レベル遠距離公衆電話プロジェクト(3線/各村落の設置、43,000村落、2,000重要スポットを網羅) 資金調達: OECF, TOT TDMAシステム 1,845村 設置済 衛星システム 7,471村 設置済 NMT 470 MHz 1,000回線改修中 新ケーブル 4,790村に設置予定 TDMA, CDMA, WLLシステム 15,311村に設置予定(調達中)</p> <p>(5) 携帯電話プロジェクト フェーズ1: 首都圏に1交換機(10万回線)と182ラジオ局設置 フェーズ2: 地方都市に1交換機(4.4万回線)と136ラジオ局設置 フェーズ3: 全県、全国主要高速道路沿いをカバーするため35.6万回線、279ラジオ局設置 MOTCの承認待ち</p> <p>(6) 100万回線拡大プロジェクト(1998~2002年) 首都圏20万回線、地方80万回線の基本サービス拡大 内閣とTelecom Actで討議中</p> <p>(7) WLL 内閣とTelecom Actで討議中</p> <p>経緯: (平成8年度国内調査) 提案プロジェクトの実施については、BOTプロジェクト事業の中で判断がなされていくものと思われる。 (平成8年度在外事務所調査) TOTは、本M/Pや地域開発計画の提案プロジェクトについて状況、緊急性、予算を考慮しながら実施している。 (平成9年度国内調査) 本調査で提案されたTOTの経営改善と将来的な民営化に関して、タイ政府は通信自由化M/Pを97年11月に承認した。 その内容は、TOT、CATと民営化し、2006年には自由化を完了するというものである。</p> | |

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/A 203B/89

作成 1991年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|-------------------------------|-------------------|-----------|--------------|---------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | セバイ・セボック流域開発計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省立灌漑局 (RID) | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 流域農業開発計画の策定と優先地区のF/S | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1988年4月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ 内外エンジニアリング(株) | | | | 10. 調査団 | |
| | | | | | 団員数 | 9 |
| | | | | | 調査期間 | 1988.9 ~ 1989.11 (14ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 62.63 |
| | | | | 国内 | 25.63 | |
| | | | | 現地 | 37.00 | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 204,752 (千円) | コンサルタント経費 | 196,966 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|--|--|----|---------|-----|----|--------|-----|----|--------|
| 1. サイト又はエリア | 東北タイ、Ubon Ratchathani 及びYasotha 県、セバイ、セボック、タン・ルン流域8,780 ha | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=¥130 | M/P | 1) | 157,154 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 | 1) | 0 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 65,308 | 内貨分 | 1) | 34,231 | 外貨分 | 1) | 31,077 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |

3. 主な提案プロジェクト/事業内容

<M/P> 農業基盤整備計画の主要な提案事業は以下の通りである。

| 1) 短期開発 (1990-1996) | 事業数 | 事業費 (億円) | 灌漑面積 (ha) |
|---------------------|-----|----------|-----------|
| 中規模貯水事業 | 14 | 83.6 | 18,750 |
| バク・ムン開運ポンプ事業 | 7 | 18.8 | 5,400 |
| 中規模改修事業 | 5 | 3.9 | 5,090 |
| 計 | 26 | 106.3 | 29,240 |
| 2) 中期開発 (1996-2006) | 事業数 | 事業費 (億円) | 灌漑面積 (ha) |
| 中規模貯水事業 | 12 | 56.4 | 7,260 |
| 小規模貯水事業 | 87 | 15.6 | 4,350 |
| 小規模河川分水事業 | 40 | 10.4 | 2,600 |
| ポンプ分水事業 | 41 | 15.6 | 4,030 |
| 計 | 180 | 98.0 | 18,240 |

<F/S>

中規模貯水事業から5優先事業を選定してF/Sを実施(5事業合計面積7,670ha、事業費84.9億円)。

事業名/流域名/灌漑面積(ha)/事業費(億円)

1. ラムセイ/セバイ/1,100/11.3、2. ファイ、ケン・カム/セボック/2,600/24.1、3. ファイ、カム・バク・ワン/セボック/960/12.2、4. ファイ、ナア・カアイ/セボック/2,100/21.2、5. ファイ、ソープ/タン・ルン/920/16.1

| 計画事業期間 | 1) | 1990.1 ~ 1996.1 | 2) | 1996.1 ~ 2006.1 | 3) | ~ | 4) | ~ | |
|------------------------------------|------|-----------------|------|-----------------|------|----|------|----|------|
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | EIRR | 1) | 8.60 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |

<M/P>

[前提条件]

建設工事と同時に改良農業技術の普及、農業用資機材のスムーズな供給、適正な水管理など農業開発支援サービス拡充が必要。
灌漑効果をフルに発現するために、幹線水路の建設と合わせて圃場施設の整備を実施。 雨期稲の安定に加えて乾期貯水作物を水稻面積の20%導入。

[開発効果]

42,390haの灌漑地が増大、灌漑面積率は現況の6%から18%に改善。 灌漑農業実施により水稻収量は、現況1.7~1.9t/haから3.1~4.0t/haに増加。

<F/S>

[開発効果]

増加生産量(年): 水稻 18,942t、畑作物 7,361t、貯水池、村落池の漁獲 585t

標準農家(3.2ha)の所得(パーツ): 事業実施前 事業実施後

農外所得 8,871 8,871

農家所得 19,942 57,956

農地への灌漑供給に加えて村落への飲雑用水の供給、村落池の建設を行い、農村生活環境の改善が図られる。

5. 技術移転

計画調査の過程と、開発計画の討論及び報告書の作成を通して、技術移転が行われた。

案件の現状

| | | | | |
|---|--|--------------------------|-------------------|----------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 | 2. M/Pの現状 (区分) | 進行・活用 遅延 中止・消滅 |
| 3. 主な理由 | 小規模灌漑計画の事業化（平成9年度在外事務所調査）（平成12年度国内調査）。 | | | |
| 4. 主な情報源 | 、 | | | |
| 5. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 年度 | | |
| <p>状況</p> <p>第7次5ヵ年計画期間（1991～96）に実施される計画であったが、設計や環境問題で遅延した。 現在、王室灌漑局では実施予定の案件が多く、また本件は比較的新しい案件であるため第8次5ヵ年計画の1997年以降に実施検討の予定となっている。</p> <p>（平成8年度在外事務所調査） プロジェクトのプライオリティの低さやRIDの人材（エンジニア）不足が第7次5ヵ年計画期間に実施されなかった要因であると思われる。</p> <p>経緯： （平成8年度国内調査） プロジェクトの名称がときどき変更されるため、現在セバイ流域に5事業、セボック流域に2事業が完了又は進行中で、或いは本計画地区に該当するものもあるかと思われるが、確認出来なかった。</p> <p>（平成9年度国内調査） 今後の事業化に向けた動向としてはRIDでは予定がないが、DECPが河口部でレギュレーター建設によるポンプ灌漑（コン・チ・ムン事業）を進めている。</p> <p>（平成9年度在外FU調査） プロジェクトはRIDの5ヵ年計画に含まれている。本計画で提案された小規模灌漑計画はRID予算により事業化されている。JICA調査により収益率が低いと判断された中規模5事業は遅延している。その理由は、地域灌漑事務所の報告書によると、プロジェクトに反対する住民が多数いるためとのことである。</p> <p>（平成11年度在外事務所調査） 土地の確保ができなため、中規模貯水事業の実施は遅れている。社会経済状況の変化に伴い、現在の状況に即した調査のアップデートを2000年度に実施することを検討している。</p> <p>（平成12年度国内調査） 小規模灌漑事業については、設計・工事・管理の全てをRIDが実施している。</p> | | | | |

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/S 209B/89

作成 1991年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|--|---------------|-----------|--------------|----------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | バンコク首都圏中・長期道路交通計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 都市交通 | 4. 分類番号 | 202070 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | バンコク首都圏庁(BMA) | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 中長期道路計画のM/P 交通制御システムのF/S 共同溝システムのケーススタディ | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1988年4月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | 八千代エンジニアリング(株) (株)アルメック | | | | 10. 員数 | 18 |
| | | | | | 調査期間 | 1988.11 ~ 1990.3 (16ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 127.24 |
| | | | | | 国内 現地 | 55.37 71.87 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 共同溝調査、交通現況調査 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 460,395 (千円) | コンサルタント経費 | 424,258 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|----|-----------|-----|----|-----------|-----|----|-----------|
| 1. サイト又はエリア | <M/P> 中長期道路交通計画：バンコク外環状道路内地域 <F/S> ATC計画：内環状道路内側と周辺地域(235交差点) CUD計画：内環状道路内地域 | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | M/P | 1) | 5,007,320 | 内貨分 | 1) | 2,164,880 | 外貨分 | 1) | 2,842,440 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 43,840 | 内貨分 | 1) | 15,767 | 外貨分 | 1) | 28,073 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|-----------------|----|---|----|---|----|---|--|--------|----|-----------------|----|---|----|---|----|---|--|
| 3. 主な提案プロジェクト/事業内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <M/P> 中長期道路計画 幹線道路 (1) 高速道路(12プロジェクト) ・ トンブリ-パンス-ラムカムヘン高速道路 ・ ペットカセム高速道路 ・ ノンタムリ-バンカピ高速道路他 (2) 一般道路(44プロジェクト) バス専用道路(13プロジェクト) <F/S> (交通制御システム Area Traffic Control: ATC)ATCシステム改良及び増設計画 1) ステージI 143交差点 2) ステージII 92交差点 (共同溝 Common Utility Duct: CUD)ケーススタディ 1) 幹線共同溝 1,200m 2) 供給管共同溝 700m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">計画事業期間</td> <td>1)</td> <td>1990.1 ~ 1993.1</td> <td>2)</td> <td>~</td> <td>3)</td> <td>~</td> <td>4)</td> <td>~</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 計画事業期間 | 1) | 1990.1 ~ 1993.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | |
| 計画事業期間 | 1) | 1990.1 ~ 1993.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------------|------|----|------|----|------|----|------|----|------|
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | EIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |

<M/P>
 将来においてあるサービスレベルまでの私的及び公共交通需要量に対応する為に、本調査は2006年までに実施すべき道路プロジェクトのパッケージとして184kmの高速道路、121kmのバス専用道路、599kmの幹線道路と市街地内56km集散道路を検討した。なおこれらは91kmのLRTシステムと45kmのSRT北線の高架化を前提とする。

<F/S>
 (ATC)
 対象地域の交通現況や交通量調査の分析に基づき、ATCシステムに特に関係する現況問題を抽出し評価を行った。ATCシステムの効果を評価するために、総走行費用と総旅行時間を予測し便益分析を行った。

(注) B/C Ratio 1.16

| | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 5. 技術移転 | | | | | | | | | |
| 研修員受け入れ：3名 現地セミナー：1990年1月 300名出席 | | | | | | | | | |

案件の現状

| | | | | |
|---|---|-----------------------------------|---------------------------|-------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現状 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> | <p>2. M/Pの現状 (区分)</p> | <p>進行・活用 遅延 中止・消滅</p> |
| <p>3. 主な理由</p> | <p>ATCステージ1完了(1995年10月)。</p> | | | |
| <p>4. 主な情報源</p> | <p>、、</p> | | | |
| <p>5. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>年度</p> | | |
| <p>状況 <M/P> 高速道路、一般道路、バス専用道路のプロジェクトのうち、1990年5月にBMAの要請に従い、国際建設技術協会によるバス専用道路の案件形成促進に必要な検討課題の抽出や実現のための周辺環境調査を目的とする予備調査団が派遣された。この調査報告書に基づきBMAは、1991年JICA案件として要請する意向を示している。</p> <p><F/S> (1)ATC 1.ステージ 次段階調査： 1990年3月～11月 D/D及び入札図書作成（JICA開発調査「バンコク市交通制御システム整備計画調査（S405/90）」による） 資金調達： オーストラリア（平成9年度国内調査） 工事： 1995年10月 設置完了（143交差点から146交差点に拡大された） 2.ステージ 次段階調査： 1996年6月 D/D開始（92交差点から226交差点に拡大） 資金調達： オーストラリア（平成9年度国内調査）</p> <p>(2)CUD 資金調達： オーストラリア（平成9年度国内調査）</p> <p>(3)自動車専用道路 道路臨計画の中で提案されたSan Saep運河を利用した自動車専用道路の建設が、BOT方式で実施されることになり、民間業者と交渉中。</p> <p>(4)バス専用道路 実現されていないが、バスレーンの導入が進んでいる。</p> <p>(5)共同溝 (平成6年度国内調査) 調査結果は広く活用されている。 (平成7年度現地調査) 日本のコンサルタントが予備調査実施中。</p> <p>状況： (平成5年度在外事務所調査) 1991年6月～94年3月 JICA専門家派遣 「BMA第4次開発計画」策定のために本M/Pが活用された。本M/Pのうち、多くのプロジェクトが実施に移されている。 (平成12年度国内調査) 陸上運輸委員会でマスタープランの見直しがなされている。</p> | | | | |

案件要約表 (M/P+F/S)

ASE THA/S 210B/89

作成 1991年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|--|--|-----------|--------------|----------|------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | 地方都市水道整備計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 公益事業 / 上水道 | 4. 分類番号 | 201020 | 5. 調査の種類 | M/P+F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | タイ国地方水道公社 (Provincial Waterworks Authority: PWA) | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | 地方7都市に対する水道整備事業開発計画策定 ブーケット、バンタンニ・プラチャティバット、スンガイゴロクを対象とした水道整備事業のF/S | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1988年3月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | 日本上下水道設計 (株) | | | | 10. 調査団 | 9 |
| | | | | | 調査期間 | 1988.7 ~ 1990.3 (20ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 58.23 |
| | | | | | 国内 現地 | 26.04 32.19 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 測量調査、地質調査 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 300,710 (千円) | コンサルタント経費 | 164,359 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|----------------------------------|---|----|---------|-----|----|---------|-----|----|---------|
| 1. サイト又はエリア | バンタンニ・プラチャティバット、ブーケット、スンガイゴロク、バンガ、タクアバ、ツンソン | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | M/P | 1) | 0 | 内貨分 | 1) | 0 | 外貨分 | 1) | 0 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | F/S | 1) | 233,228 | 内貨分 | 1) | 117,079 | 外貨分 | 1) | 116,149 |
| | | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |

3. 主な提案プロジェクト/事業内容

<M/P>

- (1) バンタンニ・プラチャティバット: 取水・浄水施設、配水池、送配水管網
- (2) ブーケット: 取水用ダム、浄水システム (観光地の水需要急増に対応)
- (3) スンガイゴロク: 新ポンプ場、浄水場、送水管
- (4) バンガ: バンガ川取水施設、沈殿池、送配水管
- (5) タクアバ: 導入管、配水池拡張、浄水場
- (6) ツンソン: 取水施設、浄水場、送配水管

<F/S>

- (1) バンタンニ・プラチャティバット
フェーズ : 取水施設 (取水水路・ポンプ施設3基)、浄水施設 (141,500m³/日)、配水池 (8池 47,250m³)、送水管 (39,200m)、配水管 (168km)
- フェーズ : 取水施設 (ポンプ施設1基)、浄水施設 (141,500m³/日)、配水池 (16,050m³)、配水管 (9,450m)
- (2) ブーケット
フェーズ : クロン・バン・ヤイ地区ポンプ場建設、海辺リゾート地区給水システム整備 (緊急整備事業)
- フェーズ : クロン・カタシステム、バン・ニエオダムシステム、第7地区システム
- (3) スンガイゴロク
浄水場新設 (9,400 m³/日)。取水施設・送配水施設に関しては本計画を基にPWAが事業に着手する。

| | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|----|-----------------|----|-------|----|-------|----|-------|----|------|
| 計画事業期間 | 1) | 1990.1 ~ 1996.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ | | |
| 4. フィジビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR | 1) | 9.50 | 2) | 7.44 | 3) | 11.63 | 4) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 17.00 | 2) | 12.67 | 3) | 0.31 | 4) | 0.00 |

バンタンニ・プラチャティバットは拡大を続ける首都バンコックの衛星都市として産業化が進展しており、人口の増加に伴い、将来大きな水需要が見込まれる。また、ブーケットは東南アジア有数の観光地として、スンガイゴロクはマレーシアとの国境沿いの交易地として、その発展が期待されており、水道整備は重要な社会問題となっている。残る3都市もそれぞれの地域の中核都市として発展が期待されている。本事業の実施は、これらの地域及び都市に対し、給水人口の増加をもたらすだけでなく、住民の健康状態の改善、土地価格の上昇等、地域経済に多くの開発効果をもたらす。

5. 技術移転

調査の実施を通じ、水道計画の立案、需要予測、施設設計及び維持管理方法等の技術移転

案件の現状

| | | | | |
|----------------------------|---|--------------------|-------------------|-----------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 | 具体化準備中 | 2. M/Pの現況 (区分) | 進行・活用 |
| | 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 遅延・中断 中止・消滅 | | 遅延 中止・消滅 |
| 3. 主な理由 | プロジェクト自体の実施効果が非常に高い。 パツタニとスンガイゴロクでは完工済（平成11年度在外事務所調査）。 | | | |
| 4. 主な情報源 | | | | |
| 5. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 年度 | | |

状況

(1)パツタニ・プラチャティバット

次段階調査:

1993年12月～1994年5月 再F/S (ADB無償協力) プロジェクトの民営化を目的とする。

(平成5年度在外事務所調査)

D/D PWAの自己資金で実施予定。

*パツタニ・ランシットとプロジェクト名が変更され、民営化決定後、業者も決定したが、契約手続の問題で内務省が拒否している(1995年9月時点)。本件は民間機構が取水、導水浄水を行い、PWAが浄水を買って配水する形態の民営化となった。

資金調達:

(平成9年度在外事務所調査)

BOT

工事:

契約者/Pathum Thani Water Co., Ltd

*内容: 取水施設、処理場施設、貯水施設、ポンプ施設、配水施設

(平成9年度在外事務所調査)

1995年8月～1998年3月 完工予定

(平成11年度在外事務所調査)

1998年10月 完工

技術協力:

(平成9年度在外事務所調査)

1997年9月から4カ月間、世銀が配水システムの民営化に関して技術協力を実施。

(2)ブーケット

次段階調査:

1993年12月～1994年5月 再F/S (ADB無償協力) プロジェクトの民営化を目的とする。

(平成7年度現地調査)

*1995年6月に民営化決定。しかし、具体的な民営化の形態は未決定。

資金調達:

(平成9年度在外事務所調査)

BOT (現在 投資者選定中)

(平成11年度在外事務所調査)

投資希望者がいないため、1998年にBOT方式による実施を取り止めた。高まる水需要の増大に対応するため、タイ国地方水道公社 (PWA) は1999年11月にRequire Construction Ltd.とBOO契約(10ヶ年)を結んだ。事業化されれば、Patong、Kata、Karani地区の住民に対して10,000m³/日の水が供給されるようになる。

工事:

(平成11年度在外事務所調査)

～2000年10月 実施中

(3)スンガイゴロク

次段階調査:

1994年～95年 D/D (PWA予算)

資金調達:

政府予算承認 (1995年度補助金1億341万バーツ)

工事:

(平成11年度在外事務所調査)

1996年7月～1998年12月 完工

契約者/M. Consolidated Co., Ltd.

*内容: 取水施設、処理施設(400m³/hr.)、水タンク(4000m³)、ポンプ施設、送水管、配水管(20.5km)

(4)ツンソン

次段階調査:

1996年 D/D予定(費用: 政府75%、PWA25%) (コンサルタント/ローカルコンサルタント)

資金調達:

政府予算75% (1996年度補助金9,882万バーツが原則承認)、残り25% PWA予算の予定。

1998年度 政府補助金 1億135万バーツ

(平成9年度在外事務所調査)

入札準備中

工事:

契約者/Charoensangmanee Partner, Ltd.

*内容: 取水施設、処理施設(300m³/hr.)、水タンク(2,500m³)、ポンプ施設、送水管(19km)、配水管(18.5km)

(平成11年度在外事務所調査)

1998年9月～2000年3月 85%完了。残りはポンプシステムの導入のみ。

案件要約表 (F/S)

ASE THA/A 313/89

作成 1991年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|---------------------------------|-------------------------------|-----------|--------------|---|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | チャントブリ川流域農業水利開発計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 農業 / 農業一般 | 4. 分類番号 | 301010 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 農業協同組合省 (MOAC) 王立灌漑局 (RID) | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | 流域内の水資源開発と果樹灌漑計画に対するF/S | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1987年3月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)三祐コンサルタンツ | | | | 10. 調査団 10. 1 団員数 10 10. 2 調査期間 1988.3 ~ 1989.7 (16ヶ月) 10. 3 延べ人月 0.00 10. 4 国内 29.33 10. 5 現地 37.81 |
| | (株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | | |
| | NHKアイテック | | | | |
| | | | | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | なし | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 204,311 (千円) | コンサルタント経費 | 193,112 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | |
|--|--|---------|-----|-------|--------|------|----|--------|
| 1. サイト又はエリア | チャントブリ川流域 (東部海岸) 14,900ha | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 122,000 | 内貨分 | 1) | 42,000 | 外貨分 | 1) | 80,000 |
| | 2) | 0 | | 2) | 0 | | 2) | 0 |
| | 3) | 0 | | 3) | 0 | | 3) | 0 |
| | 4) | 0 | | 4) | 0 | | 4) | 0 |
| | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>本計画は不定期的な旱魃及び乾季期の水不足により果樹の生産量に大きな変動を与えることから貯水ダムを2カ所建設し、約14,900haの果樹園へ灌漑を行う。主要な灌漑施設は貯水ダム、頭首工送水パイプライン及び揚水機場である。</p> <p>ダム ダム名 ダム型式 総貯水量 堰高 堤体積 クロン・タ・リウ ロックフィルダム 35.85MCM 87.5m 4,700千m3 クロン・サン・サイ 均一型アースダム 10.55 16.2 571</p> <p>頭首工：計画取水量3.5m3/s 主要送水パイプライン：総延長L=111.6km、直径350~1,600mm 揚水機場：3カ所、直径150、200&250mm</p> | | | | | | | |
| 4. フィージビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 1) | ~ | 2) | ~ | 3) | ~ | 4) | ~ |
| | 有 | EIRR | 1) | 14.60 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | | | | | | | | |
| <p>本地区は年間2,500mmに達する豊富な降雨量のもとで熟果樹の生産地として比較的整備された流通組織のもとで農業が営まれているが農業インフラの立ち遅れて乾期の水不足を来たしている。本プロジェクトの実施により流域で最大の輸出農産物である果樹の生産促進品質向上がなされる。</p> <p>[前提条件] 受益者負担金は総事業費の約20%</p> <p>[開発効果] ・約3,500haの新規果樹園が増加し、約97,000トンの生産増が期待できる。 ・現況の約20%のゴム園、水田及び30~40%のキャッサバ畑が果樹園に転換される。 ・典型農家の現金収入は現況の47%から110%増しとなる。</p> <p>事業の経済的内部収益率は14.6%であり、資本の回収率13%と比較して1.6%高い。</p> | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | OJT | | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|--|---|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現状 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 灌漑農業開発事業の中での優先度が高く、特に地元の実施要請が強い。クロンサンサイダムが1997年に完工。 | |
| 3. 主な情報源 | 、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度及びその理由 | 終了年度理由 | 年度 |
| <p>状況</p> <p>(1)クロンサンサイ 次段階調査： 1994年 D/D着工 資金調達： 自己資金 2.73億バーツ 工事： 1994年着工 1997年完工 建設業者/タイ国業者 運営・管理： RIDによる 裨益効果： (平成11年度在外事務所調査) 貯水ダムの農業用水は1999年から農家に供給され、農業用水に対する需要は明らかに高い。</p> <p>(2)クロンタリウ 次段階調査： (平成8年度国内調査) 本件各地区の一部に土地利用制限区分の地区があり計画の見直しが必要かと思われる。 (平成9年度国内調査) D/D及び環境影響調査をRIDが実施中(95%完了) (平成9年度在外事務所調査)(平成11年度在外事務所調査) 現在F/Sの見直しが行われている。 (平成12年度国内調査) D/Dは完了したが、林野局の動物保護区になるため、工事着工はまだである。</p> <p>経緯： (平成3年度在外事務所調査) 第7次国家計画(1992~96)に組み込まれている。 (平成9年度国内調査) 残工事の見直しは経済混乱による予算カットの為、実施は未定である。</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 322/89

作成 1991年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | | |
|-------------------|---------------------------------|--------------|-----------|--------------|--------|-------------------------|
| 1. 国名 | タイ | | | | | |
| 2. 調査名 | バンコク市クローン水質改善計画 | | | | | |
| 3. 分野分類 | 公益事業 / 下水道 | 4. 分類番号 | 201030 | 5. 調査の種類 | F/S | |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | バンコク市排水下水道 | | | | |
| | 現在 | | | | | |
| 7. 調査の目的 | バンコク市内のクローンの暫定的な水質改善 | | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1987年9月 | | | | | |
| 9. コンサルタント | (株)ハシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | 10. 調査団 | 10. 員数 | 10 |
| | (株)東京設計事務所 | | | | 調査期間 | 1987.12 ~ 1990.2 (26ヶ月) |
| | | | | | 延べ人月 | 56.47 |
| | | | | | 国内 | 20.01 |
| | | | 現地 | 36.46 | | |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | クローンの縦横断面測量、曝気式ラグーン施設建設 | | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 242,997 (千円) | コンサルタント経費 | 206,294 (千円) | | |

調査結果の概要

| | | | | | | | |
|--|---|-----------------|--------|-------|--------|-------|------|
| 1. サイト又はエリア | バンコク市 (対象地域約380km ² 、対象地域内人口約3.7百万人(1986年)) | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) | 1) | 8,920 | 内貨分 1) | 6,120 | 外貨分 1) | 2,800 | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | |
| | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | <p>既存の雨水排水ポンプ場を改良して、チャオピア川から浄化用水を常時導入可能な施設とする。 雨水調整池にエアレーターを設置して曝気式ラグーンを建設しクローンの水を処理する。</p> | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1990.1 ~ 2000.1 | 2) | ~ | 3) | ~ | |
| 4. ファイジビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | EIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| | FIRR | 1) | 0.00 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 |
| <p>【条件】 本プロジェクトは恒久的な水質改善対策である下水道が整備されるまでの暫定的なプロジェクトであり、現況施設を極力利用する事により低廉で速やかに事業効果が発揮されること。</p> <p>【開発効果】 本プロジェクトが実施された場合、既市街化区域内のクローンの水質は目標水質である15mg/IBOD以下に改善される。</p> | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | クローンの多地点における24時間同時流観と水質分析 電算を利用したクローンの水質シミュレーションスタディ | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|---|---|-----------------------------------|
| <p>1. プロジェクトの現況 (区分)</p> | <p>実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中</p> | <p>具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅</p> |
| <p>2. 主な理由</p> | <p>ポンプステーションのリハビリ、主要なクローンの浚渫工事等実施済</p> | |
| <p>3. 主な情報源</p> | <p>、</p> | |
| <p>4. フォロアップ調査終了年度 及びその理由</p> | <p>終了年度 理由</p> | <p>年度</p> |
| <p>状況</p> <p>(1)ポンプステーションのリハビリ、主要なクローンの浚渫、クローン沿いの護岸工事、クローンへのエアレーターの設置等（対象面積380km²） 実施機関のバンコク市排水下水道局に2名のJICA専門家が派遣され、実施に向けた努力がなされた。 次段階調査： 1993～94年 D/D（BMA 予算） 資金調達： 自己資金 3.18億バーツ 工事： 1994～1997年</p> <p>(2)マサカンポンドとラマIXポンドラグーン建設 次段階調査： 1992年～1993年 D/D 調査費用 / 1,500万バーツ（政府予算） 資金調達： 1992年 政府予算 3.18億バーツ 工事： （平成8年度在外事務所調査） 1997年中に完工予定 *ポンドのエアレーターはJICAも贈与。</p> <p>運営・管理： DDS担当</p> <p>裨益効果： （平成11年度在外事務所調査） 最も大きな裨益効果はバンコク市内のクローン水質が改善されたことである。とくに水に付いた色や乾期に強い臭気が取り除かれ、衛生的な水が利用できるようになった。これにより、生活用水の利用が高まった。</p> <p>残プロジェクト： （平成9年度在外事務所調査） オペレーションシステムと水質モニタリング</p> | | |

案件要約表 (F/S)

ASE THA/S 323/89

作成 1991年3月
改訂 2000年3月

調査の概要

| | | | | | |
|-------------------|--|--|-----------|--------------|---|
| 1. 国名 | タイ | | | | |
| 2. 調査名 | ラムチャバン港輸送施設計画 | | | | |
| 3. 分野分類 | 運輸交通 / 港湾 | 4. 分類番号 | 202055 | 5. 調査の種類 | F/S |
| 6. 相手国の 担当機関 | 調査時 | 東部臨海開発委員会事務局 (OESB) を核とし、NESDB、MOTC、PAT、SRT、BSAA | | | |
| | 現在 | | | | |
| 7. 調査の目的 | インランド・コンテナデポの施設計画に焦点をあてたバンコクとラムチャバン港間の効率的な輸送システム及び効率的な管理運営システムについて勧告を行う。 | | | | |
| 8. S/W締結年月 | 1987年12月 | | | | |
| 9. コンサルタント | (財) 国際臨海開発研究センター (OCDI) (株) パシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) | | | 10. 調査団 | 12 1988.3 ~ 1989.7 (16ヶ月) ~ 延べ人月 71.80 国内 31.90 現地 39.90 |
| 11. 付帯調査 現地再委託 | 起終点調査 (O/D調査) | | | | |
| 12. 経費実績 | 総額 | 196,866 (千円) | コンサルタント経費 | 188,539 (千円) | |

調査結果の概要

| | | | | | | | | | |
|---|---|-----------------|--------|-----------------|--------|--------|------|----|------|
| 1. サイト又はエリア | バンコク及びラムチャバン | | | | | | | | |
| 2. 提案プロジェクト 予算 (US\$1,000) US\$1=¥133=B25.6 | 1) | 32,440 | 内貨分 1) | 21,420 | 外貨分 1) | 11,020 | | | |
| | 2) | 0 | 2) | 0 | 2) | 0 | | | |
| | 3) | 0 | 3) | 0 | 3) | 0 | | | |
| | 4) | 0 | 4) | 0 | 4) | 0 | | | |
| | | | | | | | | | |
| 3. 主な事業内容 | バンコク東部ラクラバン地区にインランドコンテナデポ (ICD) を建設する。 具体的には以下の通り。 (長期) 2001年に210万トンのコンテナを取り扱うため、CFS6棟を含む48haのICDを整備 (6バース)。 (短期) 1996年に130万トンのコンテナを取り扱うためCFS4棟を含む32haのICDを整備。 第1期計画 コンテナバース2、一般雑貨バース1、農産物専用バース (合計4バース) 1) ICDの施設: コンテナフレートステーション、コンテナヤード、荷役機器、駐車場、コンテナゲート、管理棟、メンテナンスショップ 2) 管理ゾーン: メインオフィスビル 1,200㎡ オーバータイムカーゴウェアハウス 2,100㎡ 3) 鉄道引込線: ラクラバンICDはSRTのEastern Lineと接続する。 半径 300m以上、軌道長 500m | | | | | | | | |
| 計画事業期間 | 1) | 1989.1 ~ 1991.8 | 2) | 1994.1 ~ 1996.1 | 3) | ~ | 4) | ~ | |
| 4. フィジビリティ とその前提条件 条件又は開発効果 | 有 | EIRR 1) | 17.60 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| | | FIRR 1) | 6.50 | 2) | 0.00 | 3) | 0.00 | 4) | 0.00 |
| [条件] ・経済成長率: 第6次5カ年計画中年6.5%、1991年以降年5% ・全国コンテナ貨物量: 1996年 15,540千トン(1,487千TEUS) 2001年 19,832千トン(1,818千TEUS) ・ラムチャバン港の整備: コンテナ貨物量 1996年 680万トン(638千TEU) 2001年1,060万トン(953千TEU) コンテナバース数 1996年 4 2001年 6 [開発効果] ・コンテナ輸送システムの効率化 ・合理化による輸送コストの低減及び経済発展の促進 ・雇用機会の増加、ICDとラムチャバン港間の交通量の減少 ・通関手続き費用の削減 | | | | | | | | | |
| 5. 技術移転 | 調査過程で共同作業を組み込む。 O/D調査にローカル・コンサルタントを雇用 カウンターパート研修の実施 | | | | | | | | |

案件の現状

| | | |
|--|---|--------------------------|
| 1. プロジェクトの現況 (区分) | 実施済・進行中 実施済 一部実施済 実施中 具体化進行中 | 具体化準備中 遅延・中断 中止・消滅 |
| 2. 主な理由 | 当事業はラムチャバン海岸部の開発計画のうち重要な部分を構成する。 ICD建設済。 | |
| 3. 主な情報源 | 、、、 | |
| 4. フォロ-アップ調査終了年度 及びその理由 | 終了年度 理由 | 2000 年度 提案事業の実現 |
| <p>状況</p> <p>次段階調査： 1993-1994年 D/D (タイ政府予算) F/S からの変更点 / 敷地面積を100 ha に増加</p> <p>資金調達： 自己資金 (内訳) 用地費 9.39億バーツ、D/D 0.37億バーツ、工事費8.74億バーツ、運転費用0.07億バーツ 合計 18.57億バーツ</p> <p>工事： (平成7年度現地調査) JICA 長期計画の CFS 6棟を含む ICD は建設済。</p> <p>インバクト： (平成12年度現地調査) フェーズプロジェクト完工後5年が経過し、中継コンテナ量は着実に年率20-30%で増加しており、JICA開発調査の予想量(400,000-600,000TEU)を上回っている。運輸省は、現在、1,000,000TEUの中継コンテナ取扱を見込んでいる。中継コンテナ取扱量の実績は1996年106,703TEU、1997年291,295TEU、1998年439,661TEU、1999年581,078TEU、2000年769,094TEU。</p> <p>今後の見通し： (平成7年度現地調査) 建設済 CFS のうち4棟については1996年1月にオペレーションを開始し、運営は民間(ICFS)が機材調達も含めて実施予定。 (平成12年度現地調査) フェーズプロジェクトは満足しうる結果を出しているが、港湾内・外輸送路が不備であることから、以下のルートの整備が必要である。チャオ・クーン・タハーン、バンプレック、メンブリ、高速道とのインターチェンジ。</p> <p>経緯： ICD は、建設運営主体がタイ国鉄(SRT)となり、Lard Krabang地区にICD を建設する許可を得たが、用地の値上がり等から、建設の開始が遅れている。 (平成3年度在外事務所調査) SRTはICD建設数を再調査する予定。ラクラバンICDに近接したバンナ・トラッド高速道路でICDを運営する民間会社が出現したため。 (平成7年度現地調査) トラックターミナルを隣接して建設する予定。 (平成9年度在外事務所調査) 港湾建設フェーズ2、第1期を1997年11月に開始、2001年2月に終了予定である(資金は政府予算と外国融資)。 コンサルタント/PATD 建設業者 / Italian-Thai Development Co.</p> | | |